

IV 調査結果

[解説・グラフ]

[1] 県の基本政策について

問1 「経済の活性化」について、第3期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

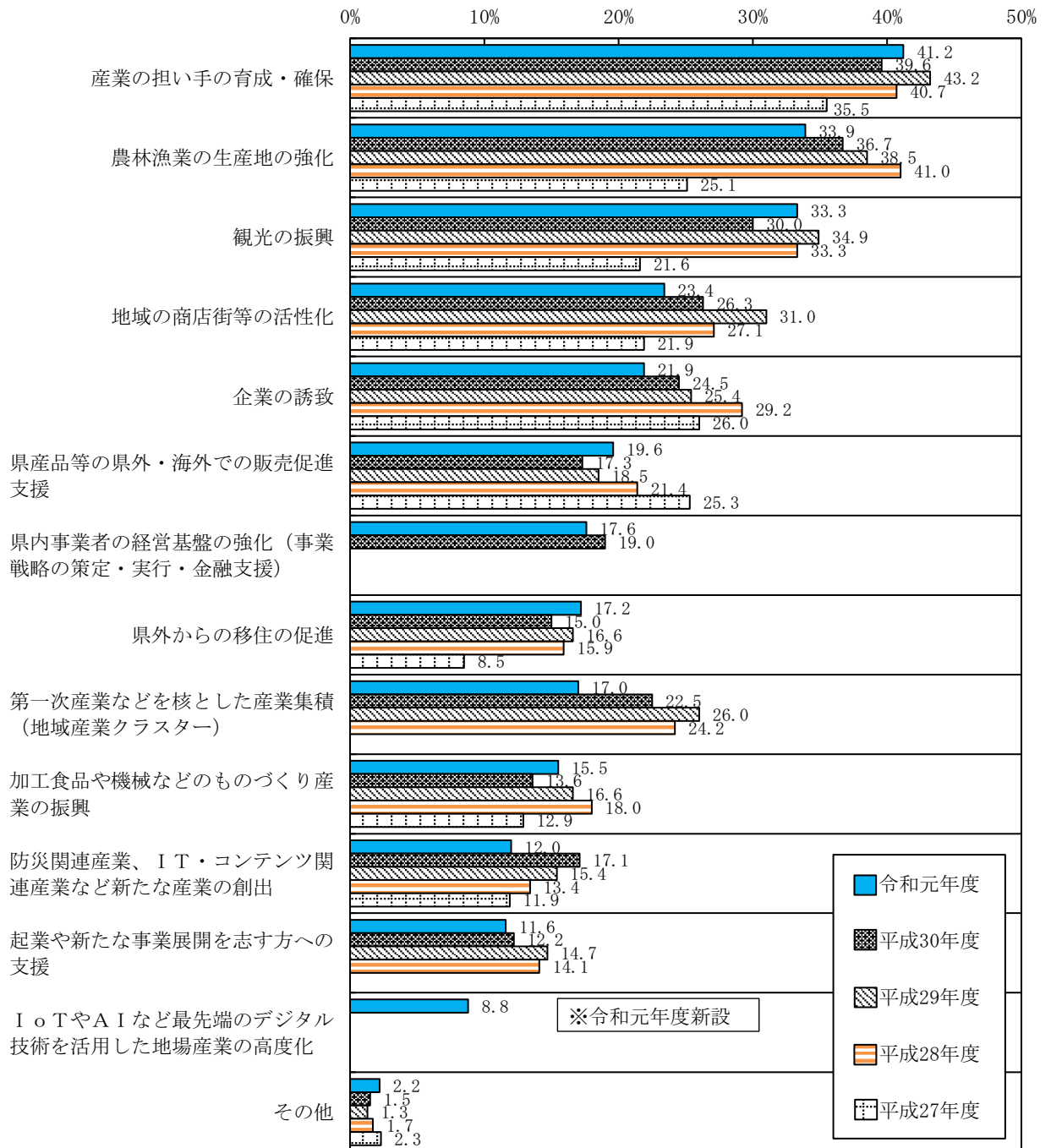
【総合】 「産業の担い手の育成・確保」が41.2%で1位になっている。

次いで「農林漁業の生産地の強化」が33.9%、「観光の振興」が33.3%と続いている。

【過去の調査との比較】

選択肢の一部が変更されたため単純な比較はできないが、昨年度とほぼ同じ傾向にある。

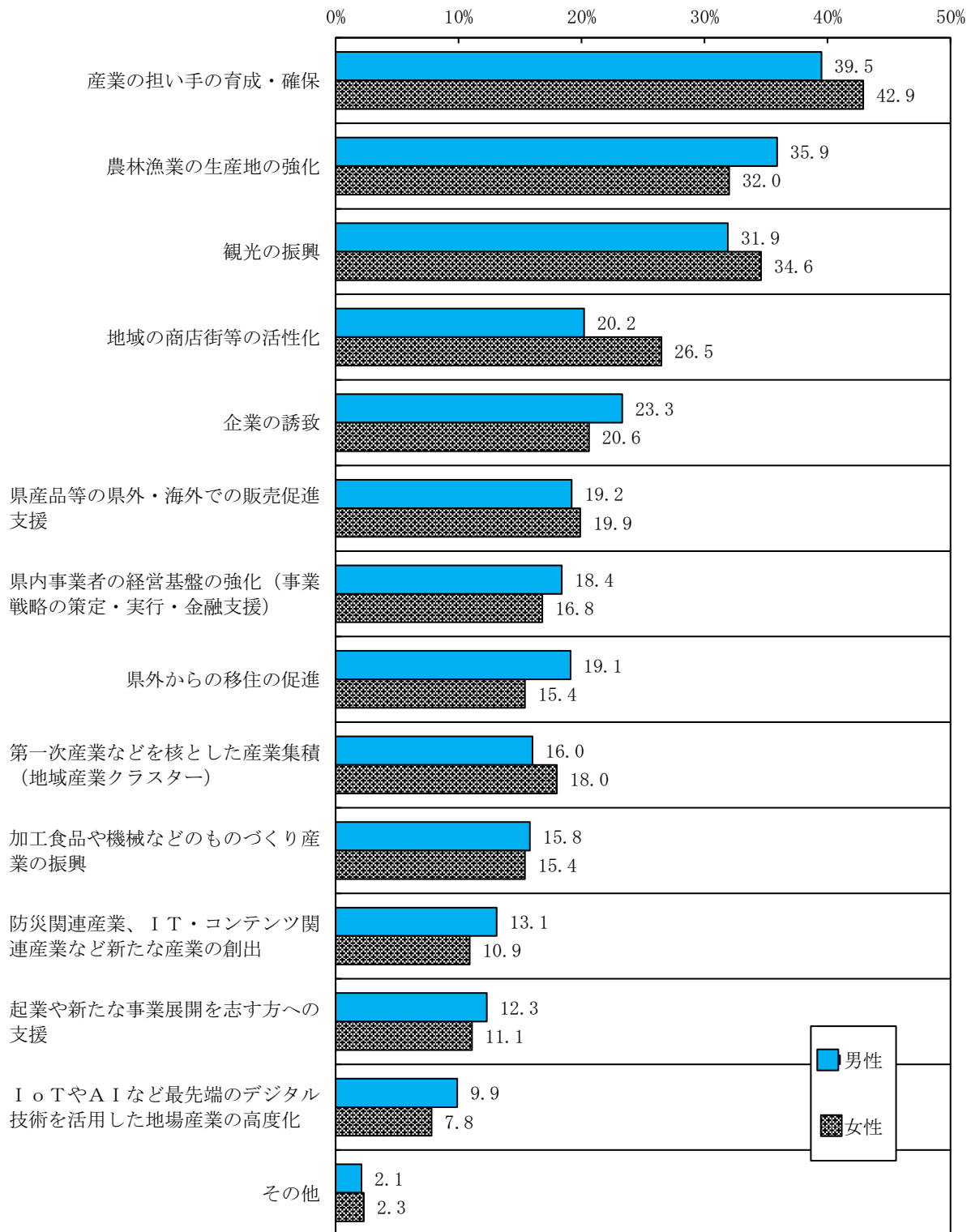
「観光の振興」が昨年度と比べ3.3ポイント上昇と施策の中で一番上昇している。



【性別】

男女ともに「産業の担い手の育成・確保」が最も高く、次いで、男性は「農林漁業の生産地の強化」が、女性は「観光の振興」となっている。

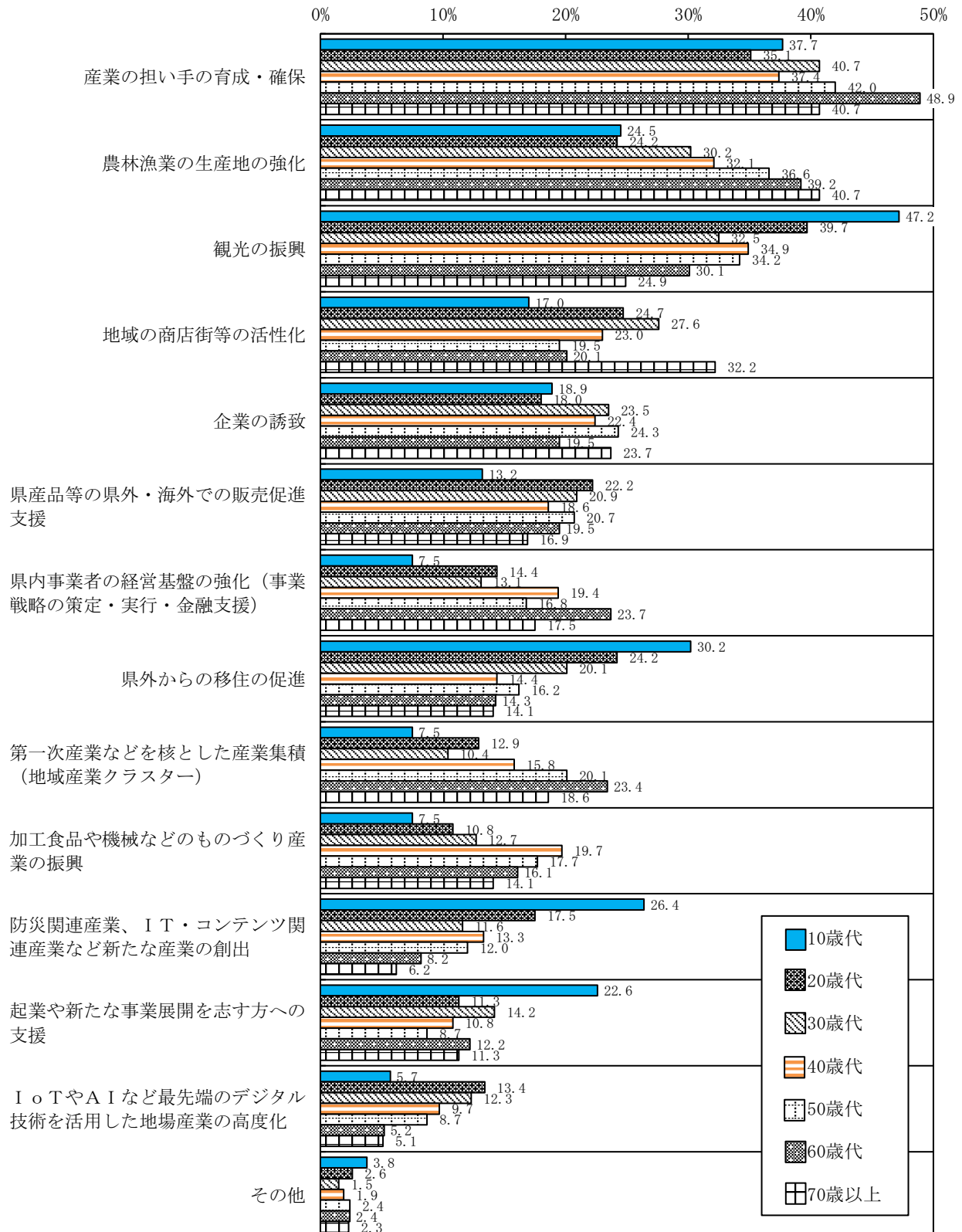
《 性別 》



【年代別】

10歳代、20歳代では「観光の振興」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「産業の担い手の育成・確保」が、70歳以上では同率で「産業の担い手の育成・確保」と「農林漁業の生産地の強化」が最も高くなっている。

《 年 代 別 》



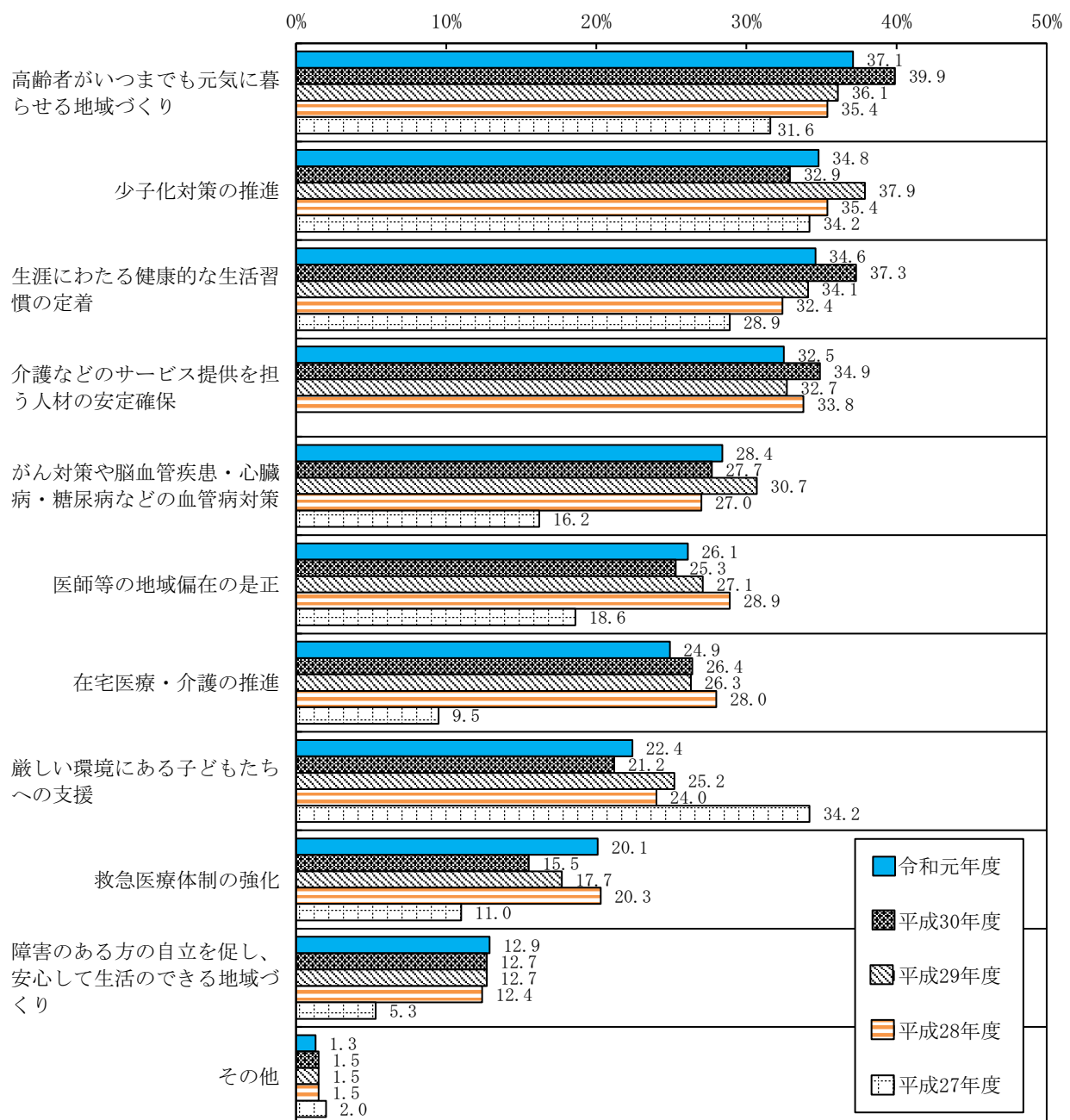
問2 「日本一の健康長寿県づくり」について、第3期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで〇印）

【総合】 「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が37.1%で1位になっている。

次いで「少子化対策の推進」が34.8%、「生涯にわたる健康的な生活習慣の定着」が34.6%と続いている。

【過去の調査との比較】

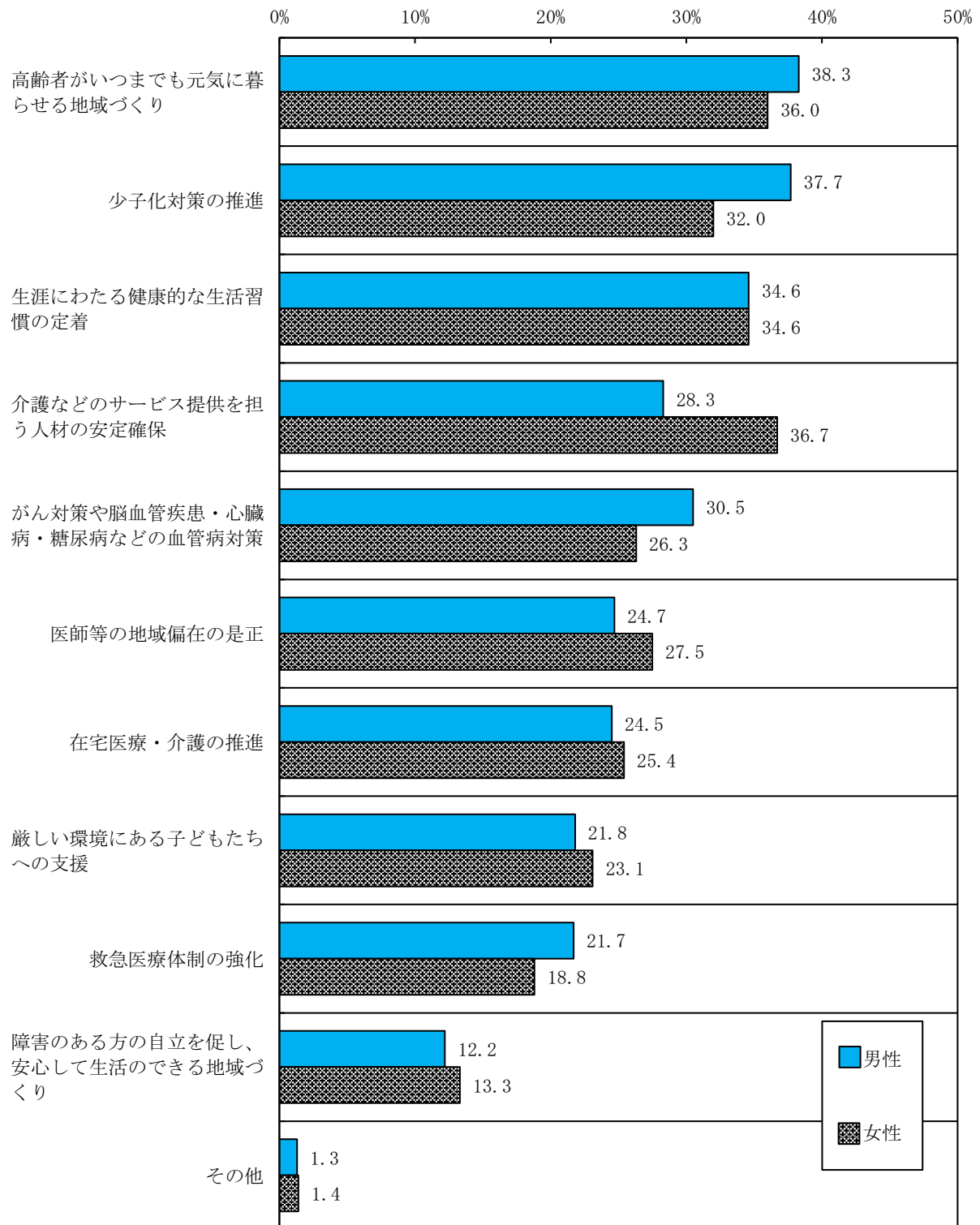
今年度も、昨年度と同じく「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が2.8ポイント減少しながらも1位になっており、「少子化対策の推進」が1.9ポイント増加して4位から2位となっている。



【性別】

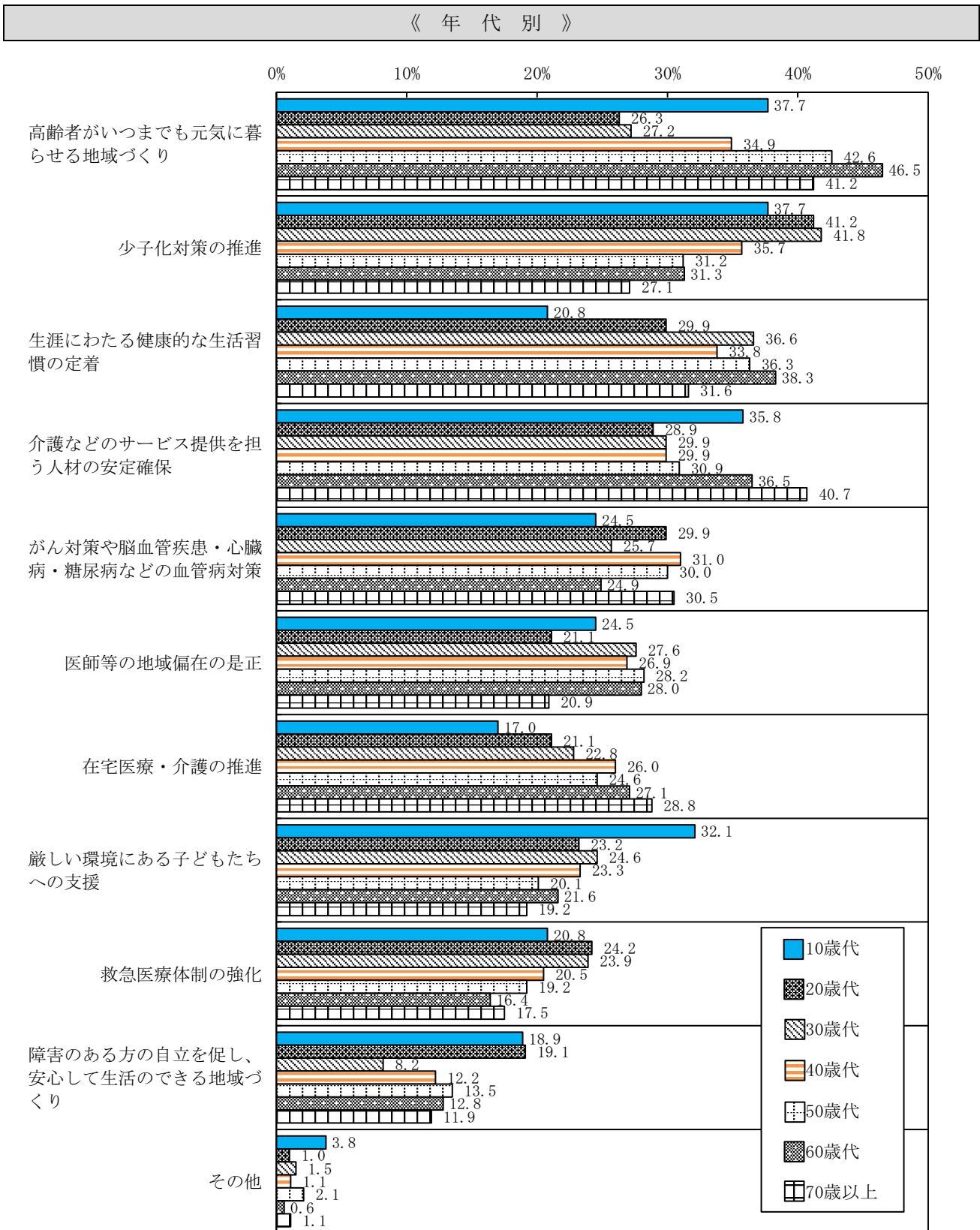
男性では「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が、女性では「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」が最も高くなっており、「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」では、女性が男性よりも8.4ポイント高くなっている。

《 性別 》



【年代別】

10 歳代では同率で「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」と「少子化対策の推進」が、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「少子化対策の推進」が、50 歳代、60 歳代では「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が、70 歳以上では同率で「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」と「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」が最も高くなっている。



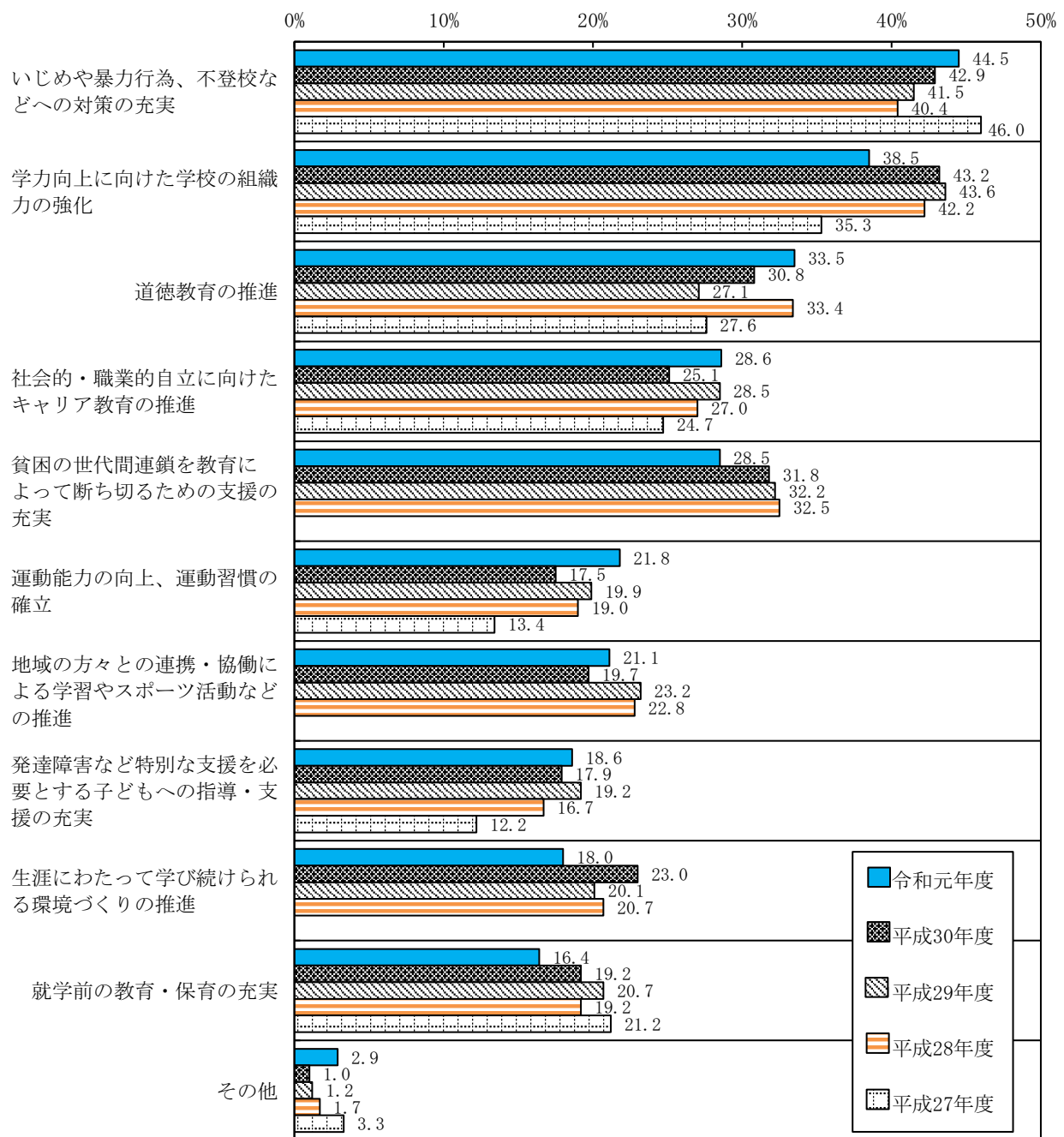
問3 「教育の充実と子育て支援」について、教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで〇印）

【総合】 「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が44.5%で1位になっている。

次いで「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が38.5%、「道徳教育の推進」が33.5%と続いている。

【過去の調査との比較】

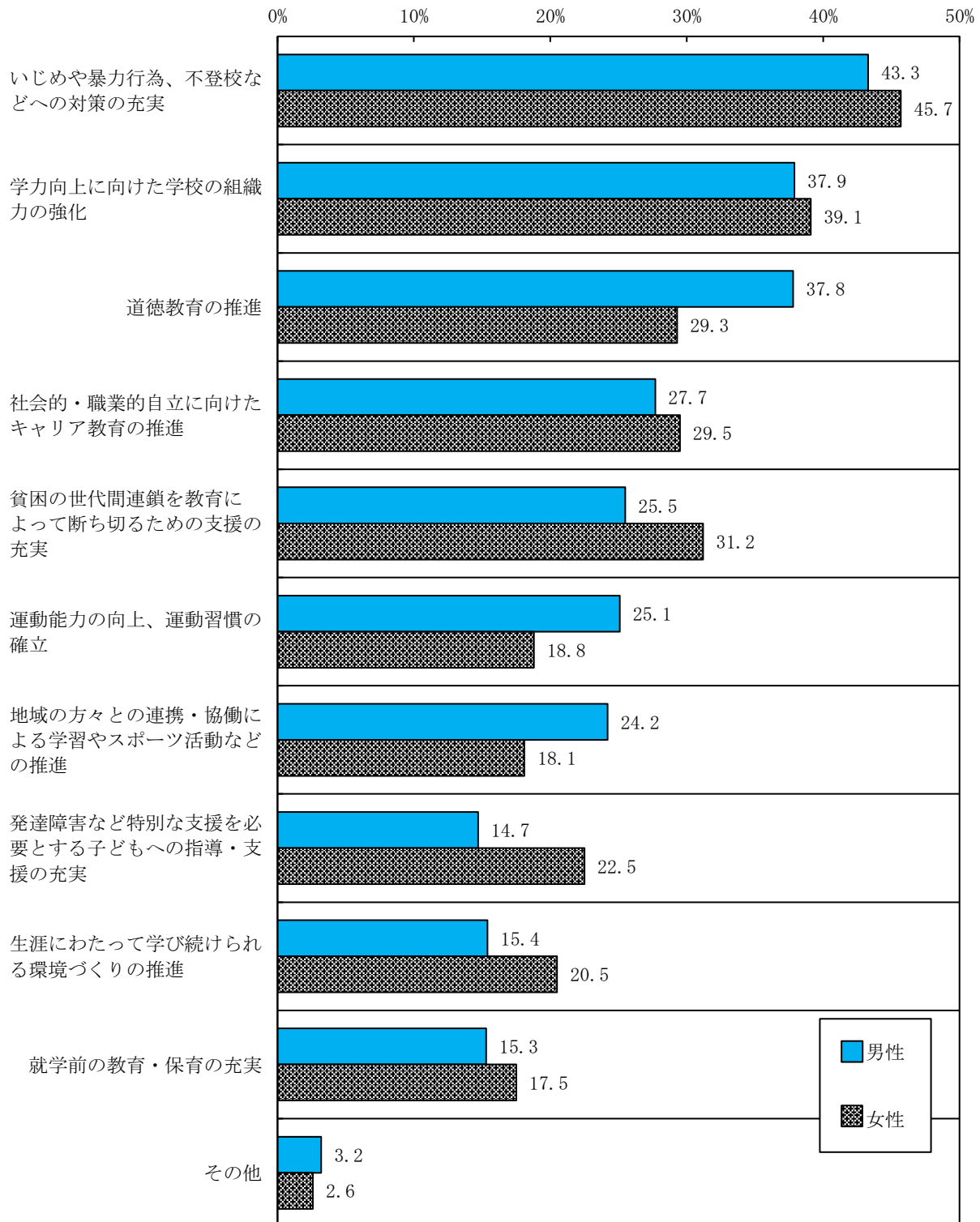
今年度は「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が1.6ポイント増加し1位になっている。「学力向上に向けた学校の組織力の強化」は昨年度より4.7ポイント減少し、2位になっている。



【性別】

男女とも「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が最も高く、「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が続いている。

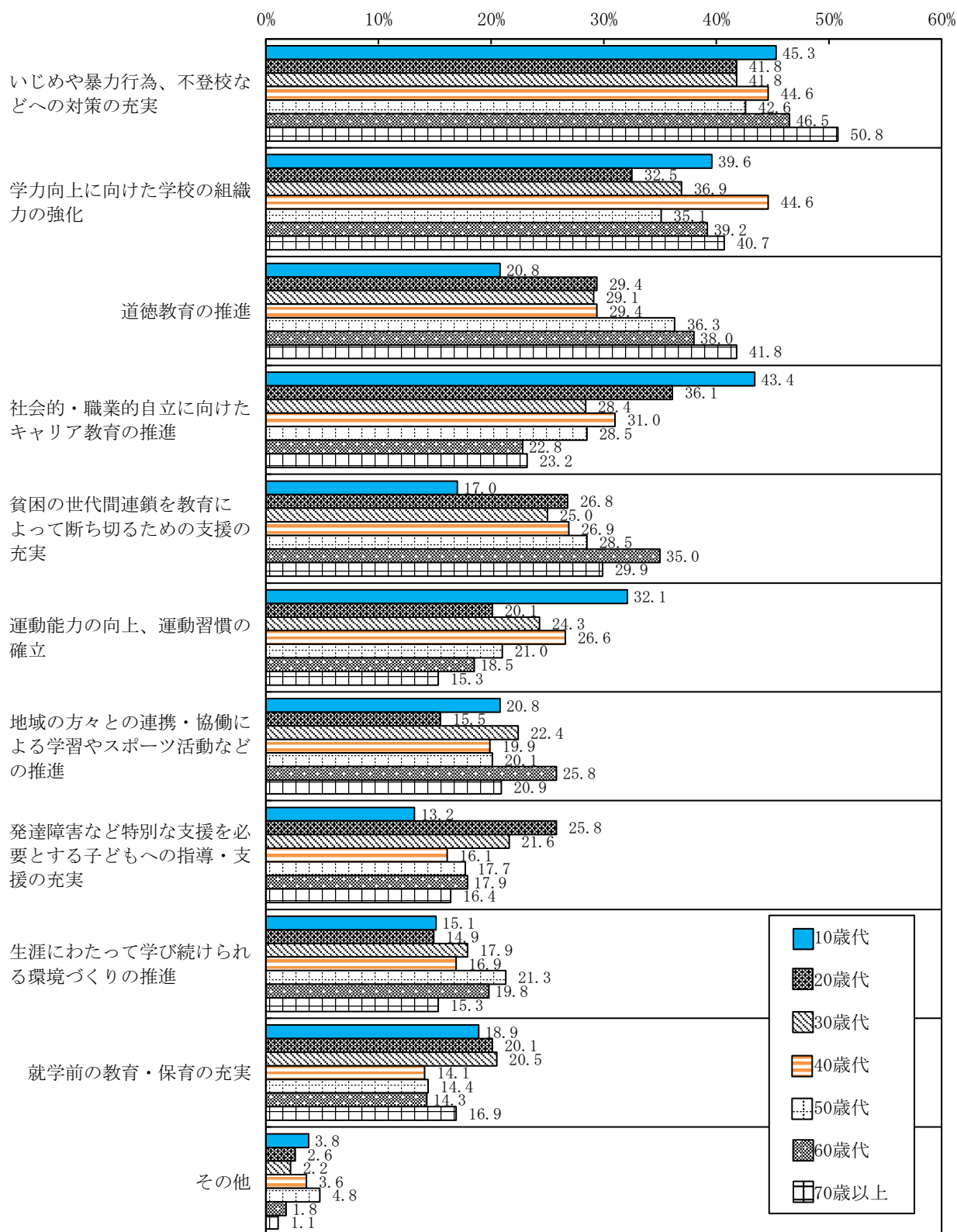
《 性別 》



【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上では「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が、40歳代では同率で「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」と「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が最も高くなっている。

《 年代別 》



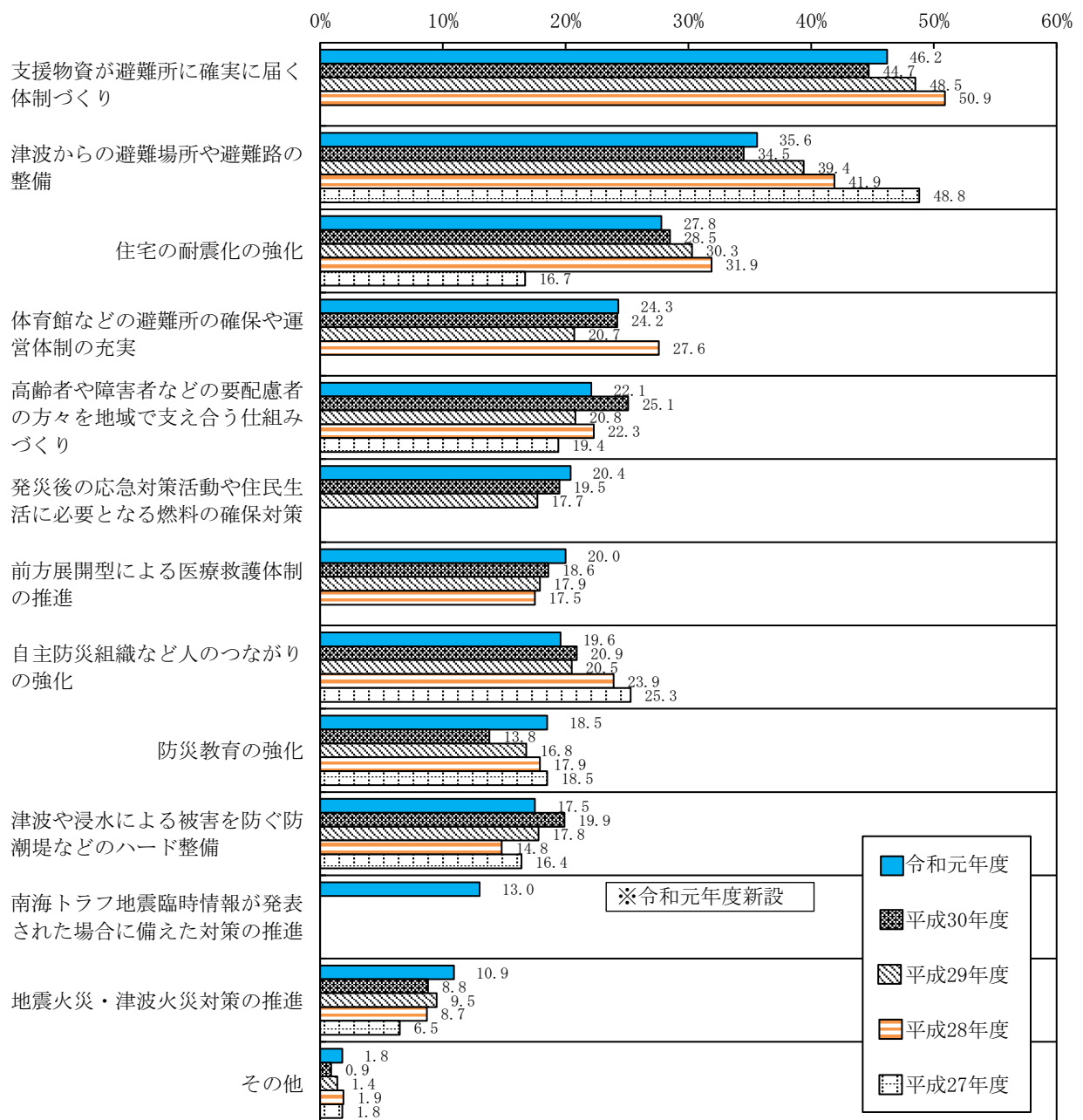
問4 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第4期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで〇印）

【総合】 「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が46.2%で1位になっている。

次いで「津波からの避難場所や避難路の整備」が35.6%、「住宅の耐震化の強化」が27.8%と続いている。

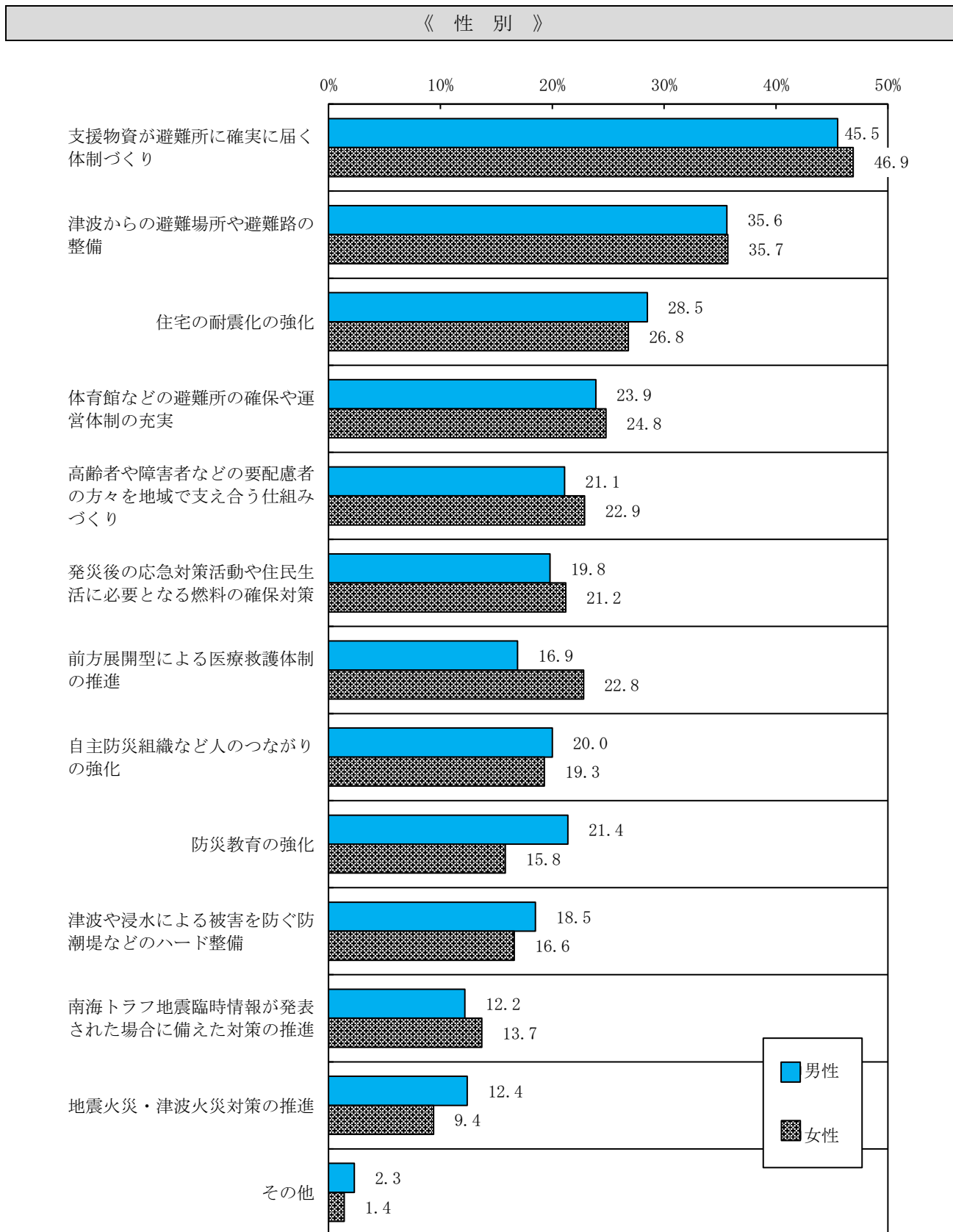
【過去の調査との比較】

選択数が増えたため単純な比較はできないが、昨年度と同じく今年度も「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が1位になっている。



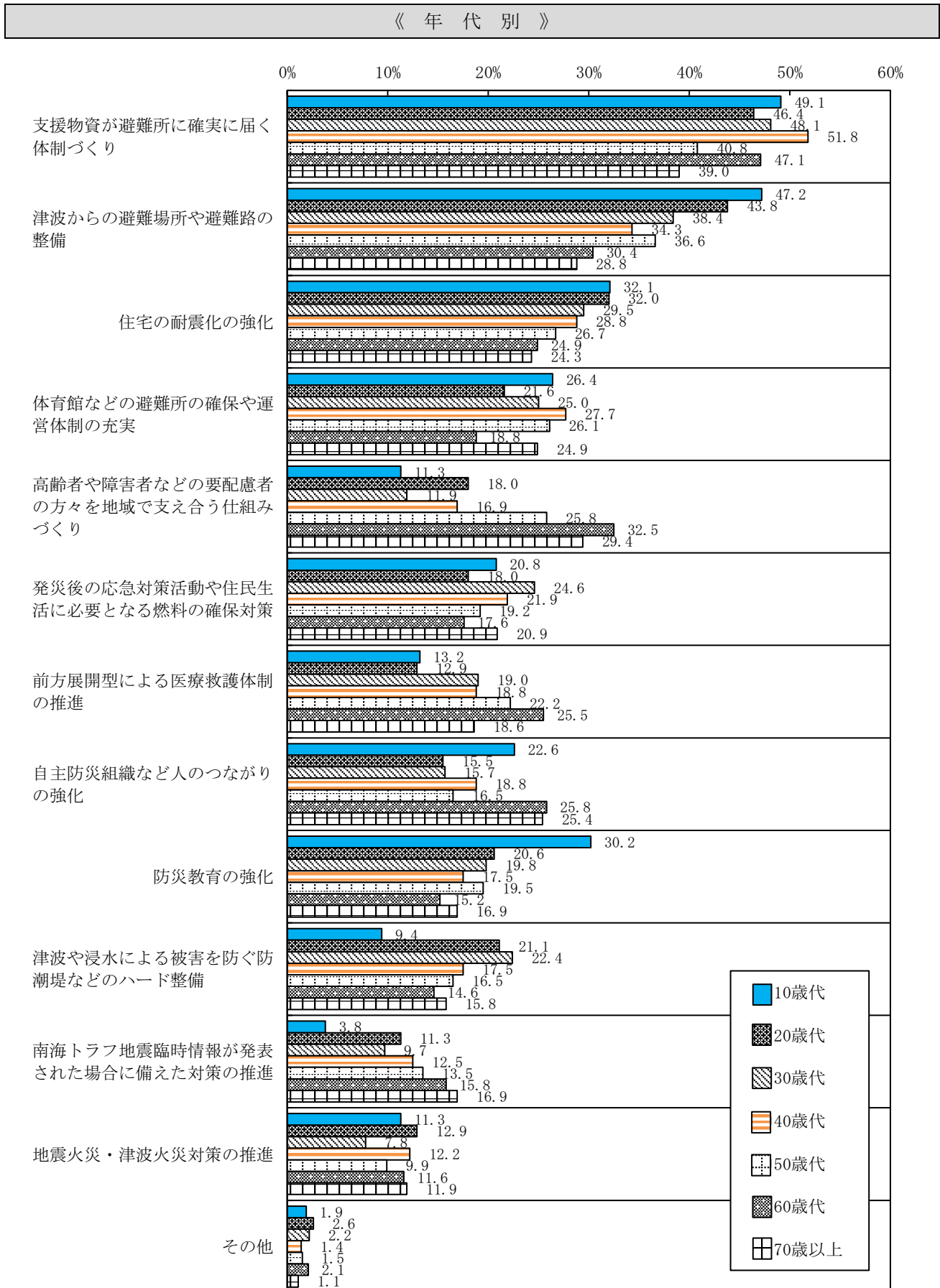
【性別】

男女とも「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が最も高くなっている。



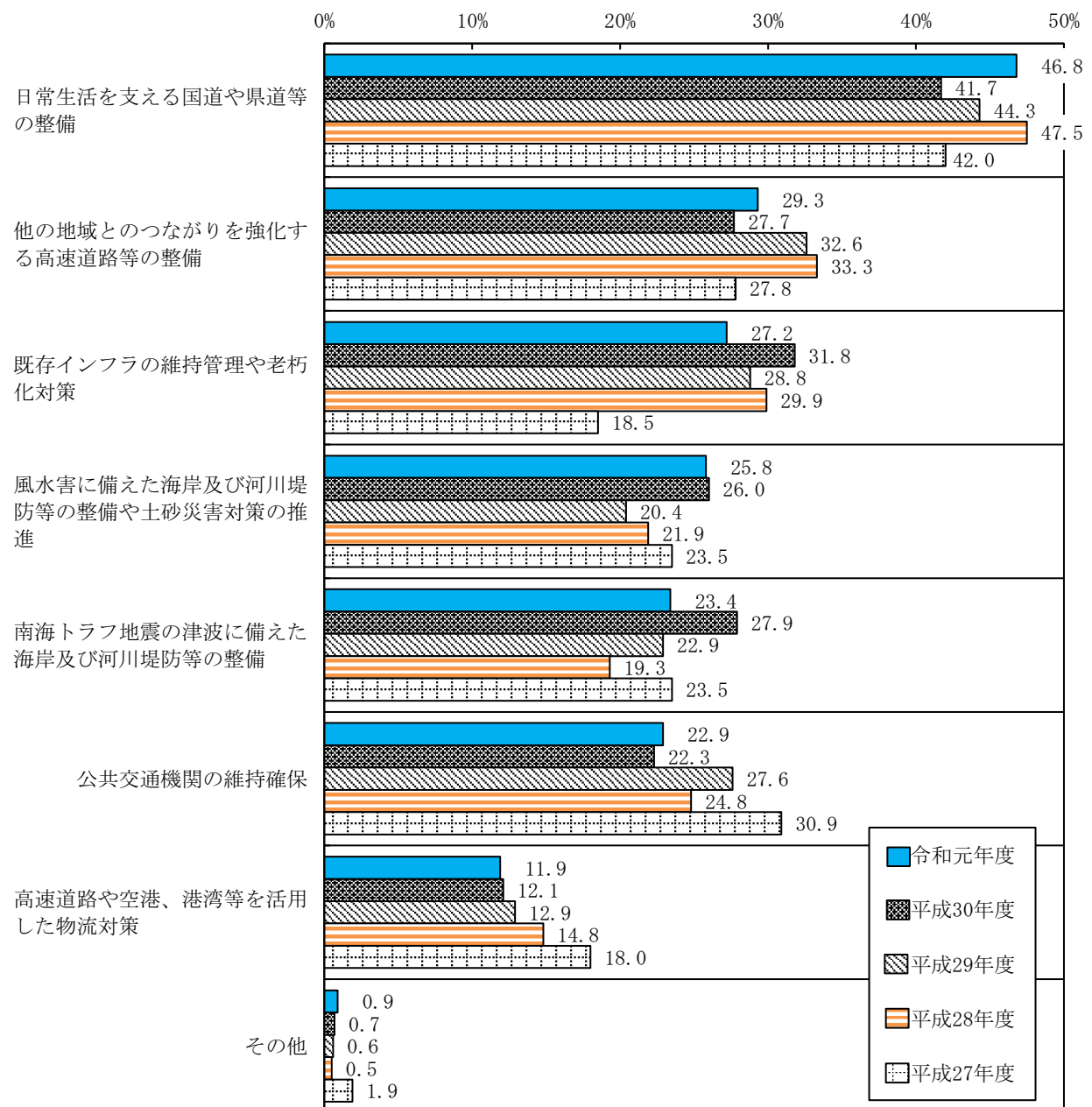
問5 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで〇印）

【総合】 「日常生活を支える国道や県道等の整備」が46.8%で1位になっている。

次いで「他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備」が29.3%、「既存インフラの維持管理や老朽化対策」が27.2%と続いている。

【過去の調査との比較】

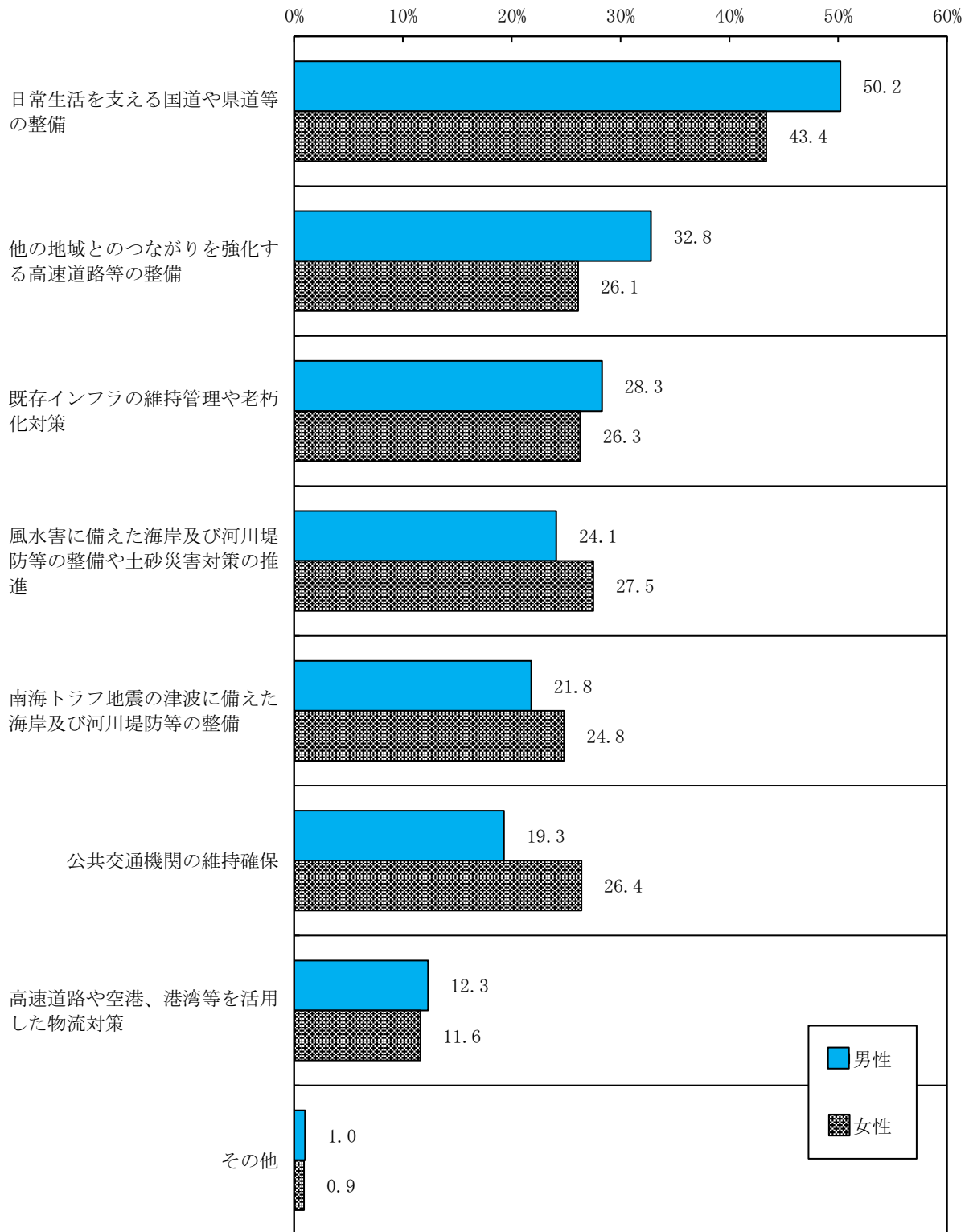
今年度は、昨年度と同じく「日常生活を支える国道や県道等の整備」が1位になっており、「他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備」が1.6ポイント増加し、2位になっている。



【性別】

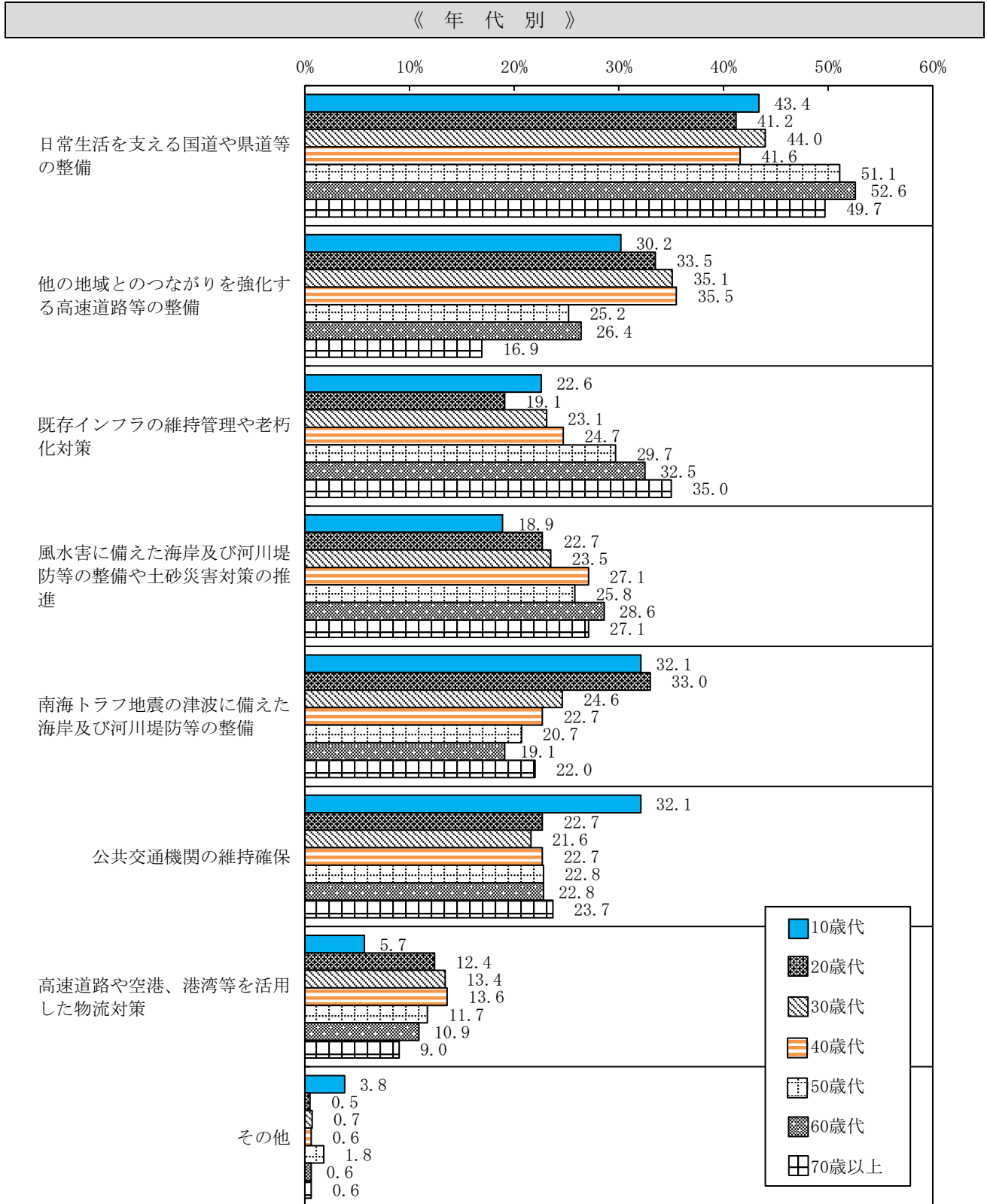
男女とも「日常生活を支える国道や県道等の整備」が最も高く、次いで男性では「他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備」が、女性では「風水害に備えた海岸及び河川堤防等の整備や土砂災害対策の推進」が続いている。

《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「日常生活を支える国道や県道等の整備」が最も高くなっている。



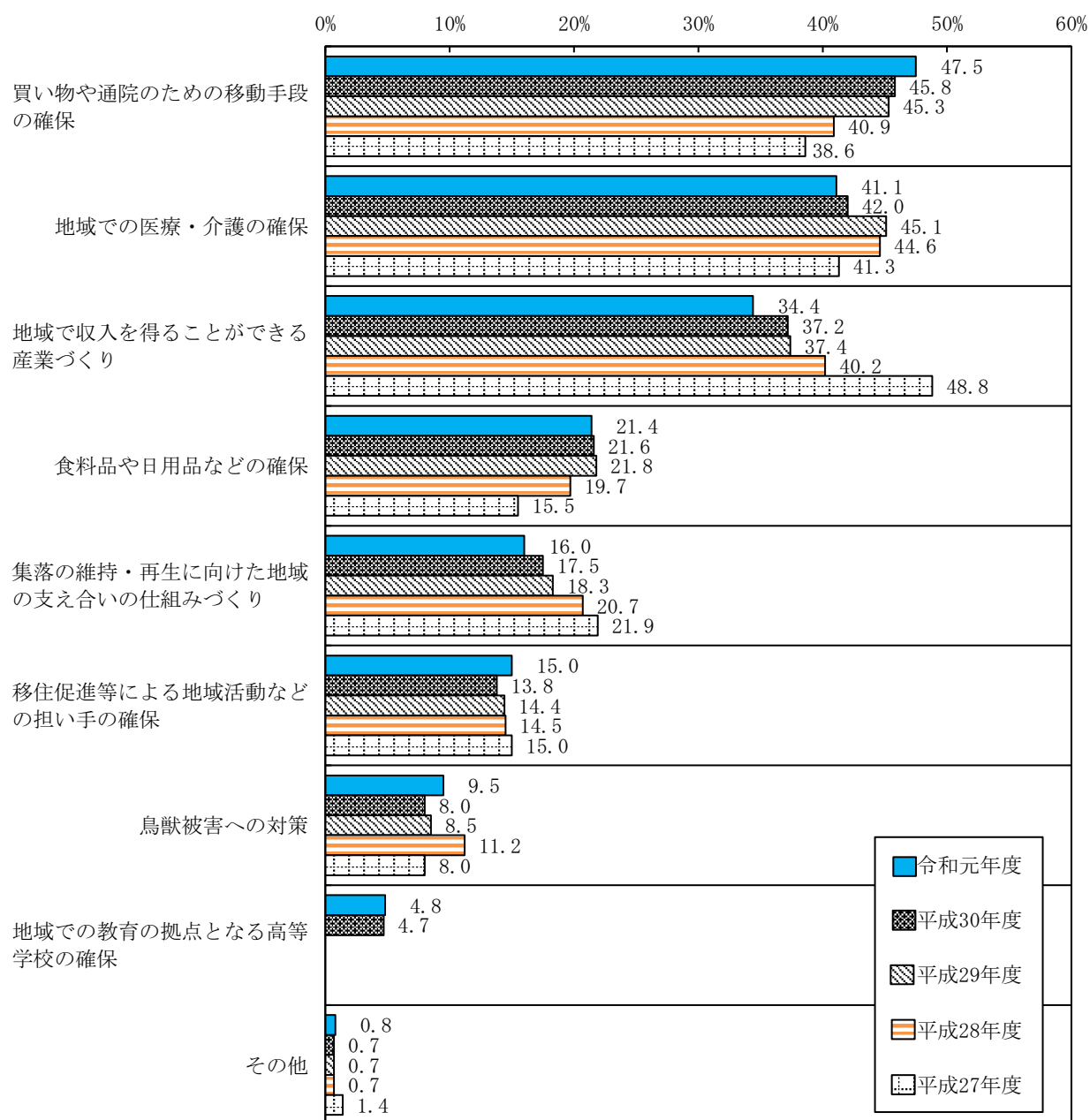
問6 「中山間対策の充実・強化」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

【総合】 「買い物や通院のための移動手段の確保」が47.5%で1位になっている。

次いで「地域での医療・介護の確保」が41.1%、「地域で収入を得ることができる産業づくり」が34.4%と続いている。

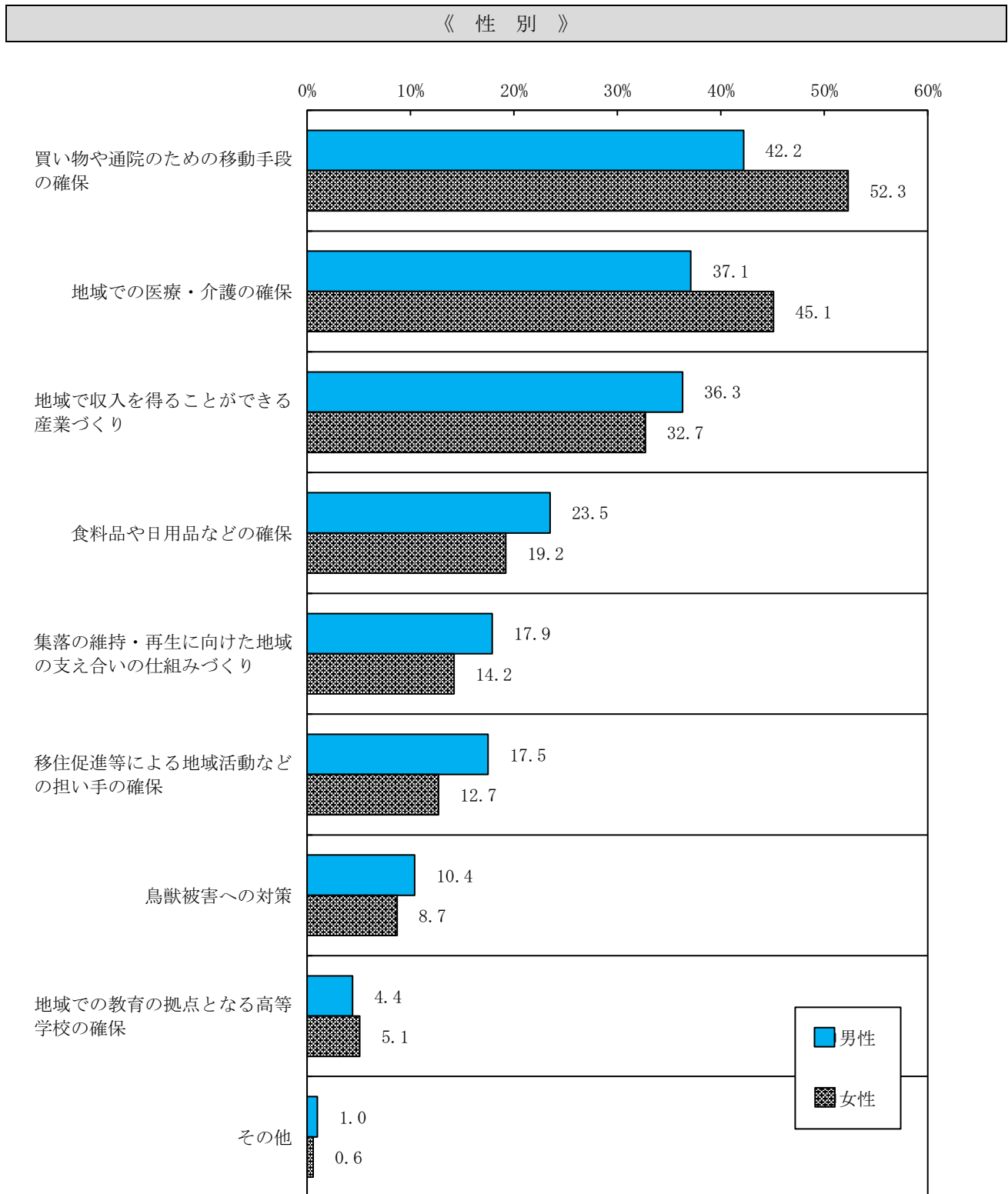
【過去の調査との比較】

今年度も、昨年度と同じく「買い物や通院のための移動手段の確保」が1位となっており、2位と3位も同じ順位となっている。



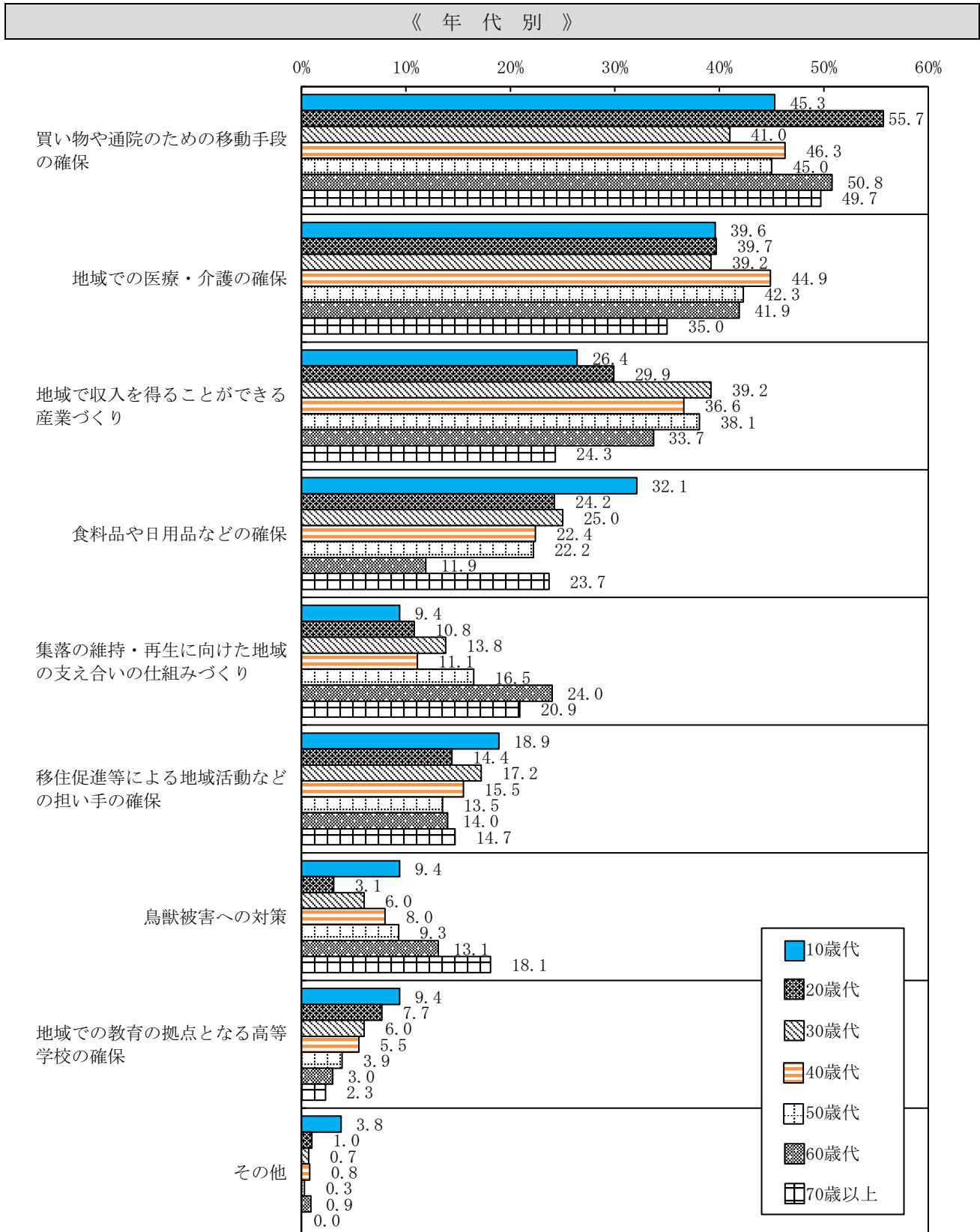
【性別】

男女とも「買い物や通院のための移動手段の確保」が最も高く、「地域での医療・介護の確保」、「地域で収入を得ることができる産業づくり」が続いている。



【年代別】

すべての年代で「買い物や通院のための移動手段の確保」が最も高くなっている。



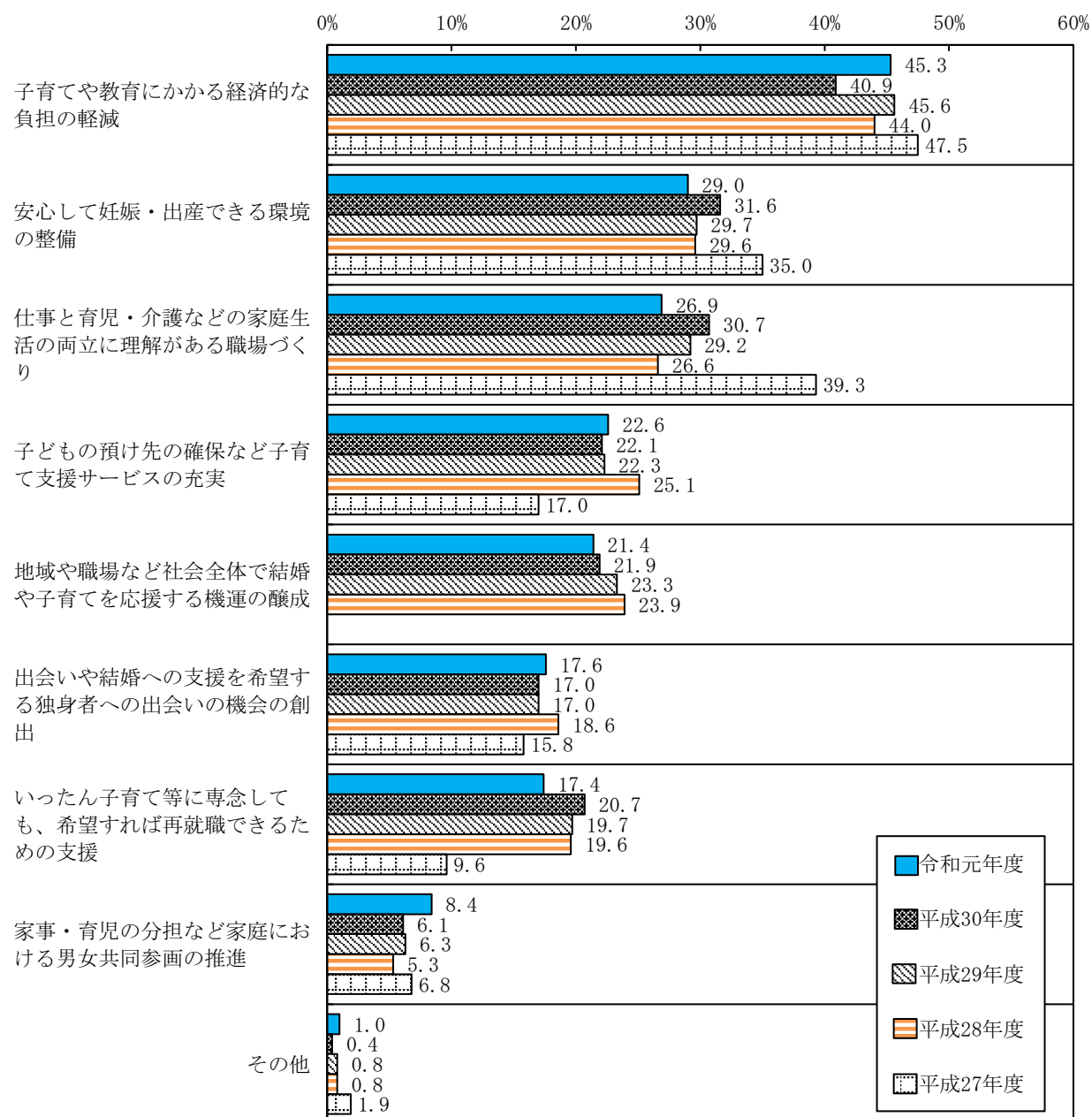
問7 「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

【総合】 「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が45.3%で1位になっている。

次いで「安心して妊娠・出産できる環境の整備」が29.0%、「仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり」が26.9%と続いている。

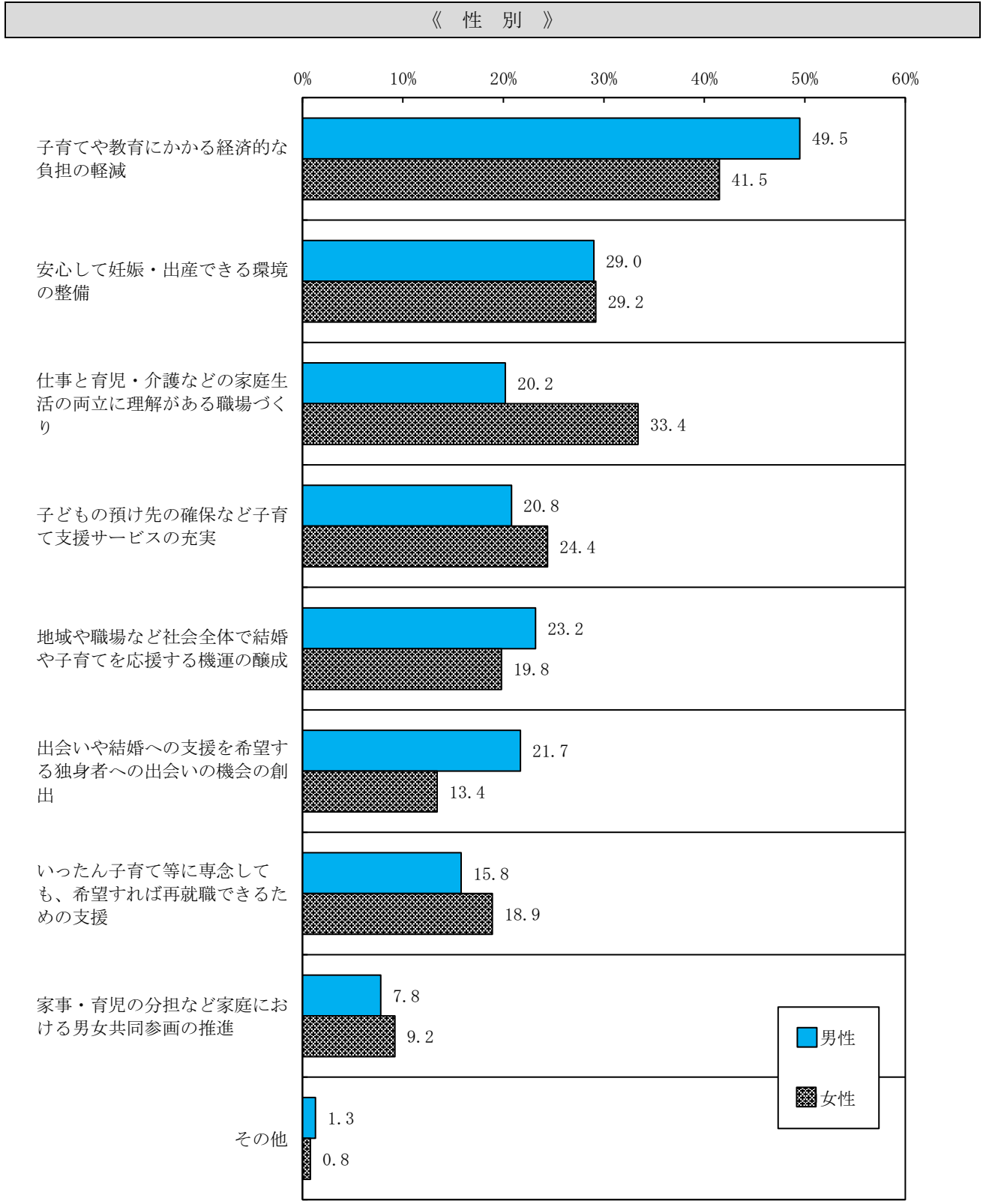
【過去の調査との比較】

今年度も、「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が昨年度から4.4ポイント増加し1位になっている。



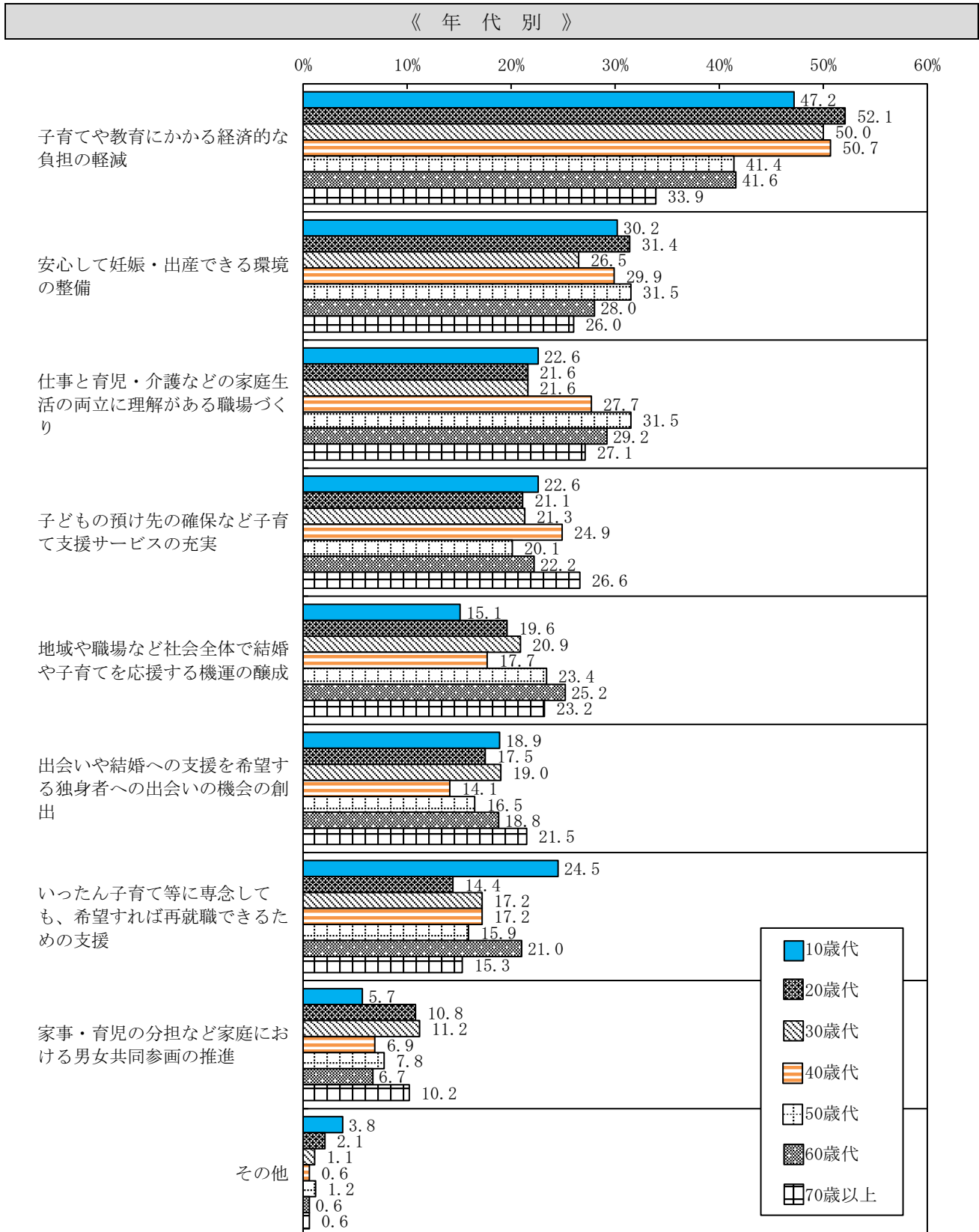
【性別】

男女とも「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が最も高くなっている。次いで男性では「安心して妊娠・出産できる環境の整備」、「地域や職場など社会全体で結婚や子育てを応援する機運の醸成」が、女性では「仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり」、「安心して妊娠・出産できる環境の整備」が続いている。



【年代別】

すべての年代で「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が最も高くなっている。



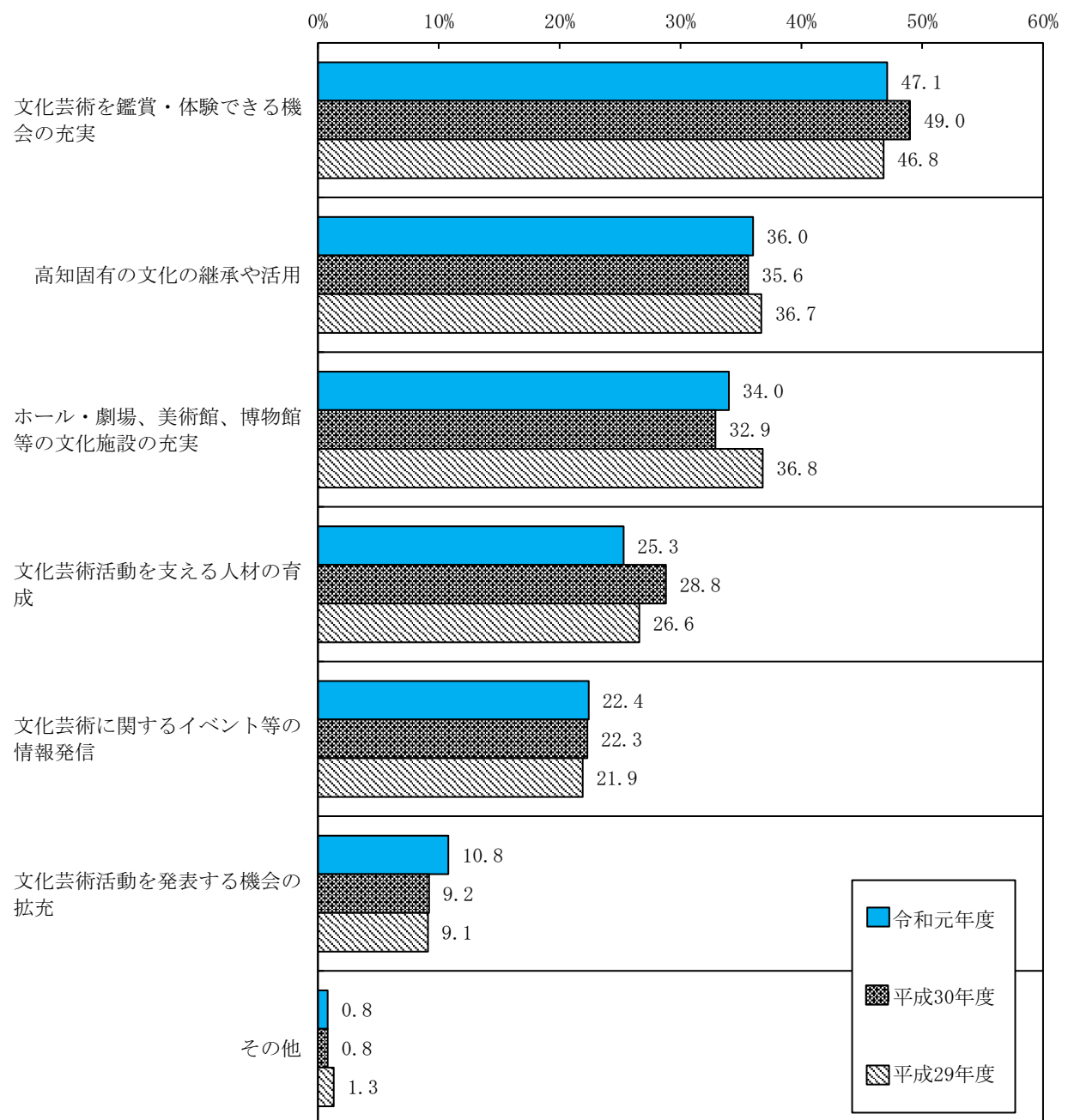
問8 文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

【総合】 「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が47.1%で1位になっている。

次いで「高知固有の文化の継承や活用」が36.0%、「ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実」が34.0%と続いている。

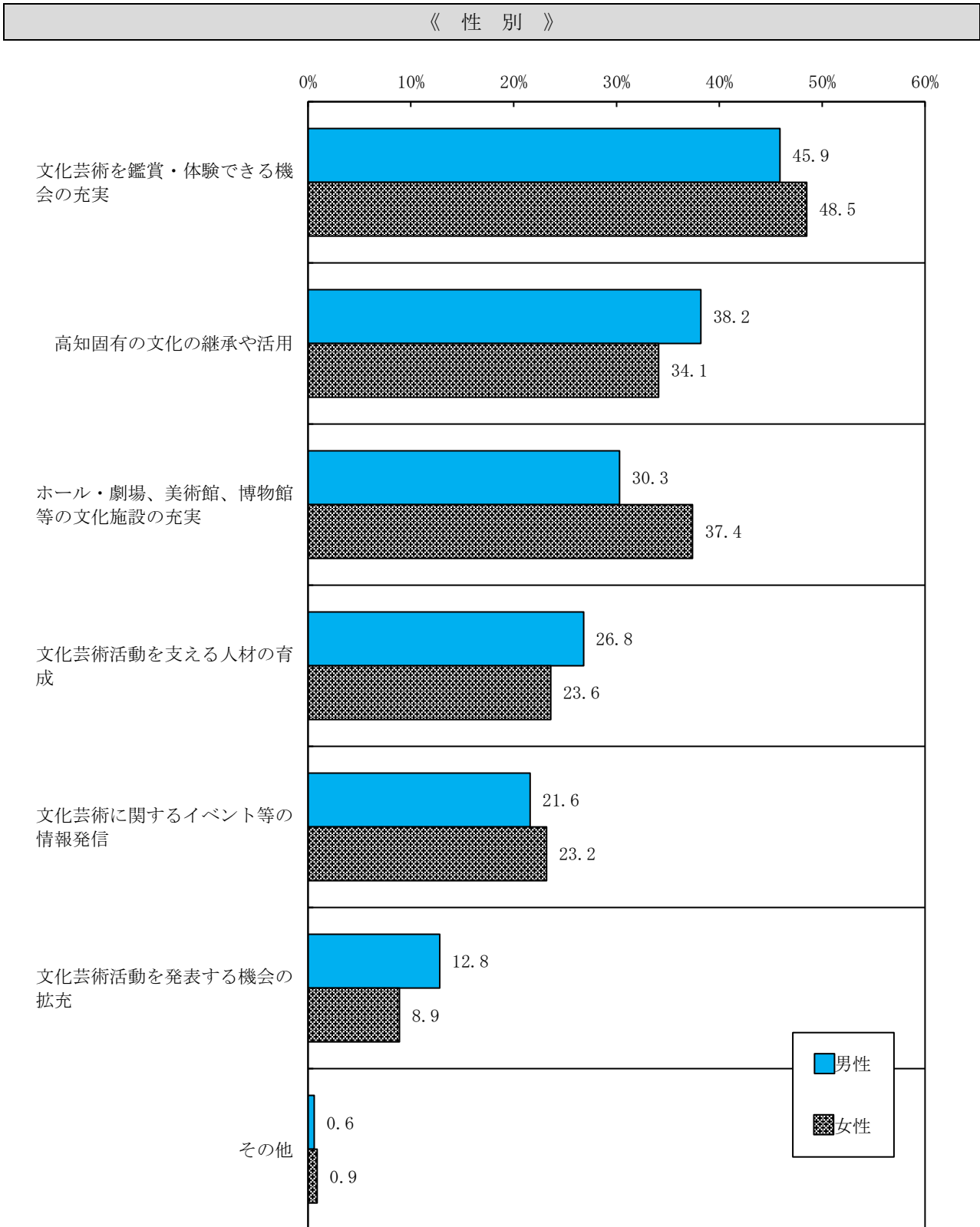
【過去の調査との比較】

今年度も、昨年度と同じく「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が1位となっており、2位と3位も同じ順位となっている。



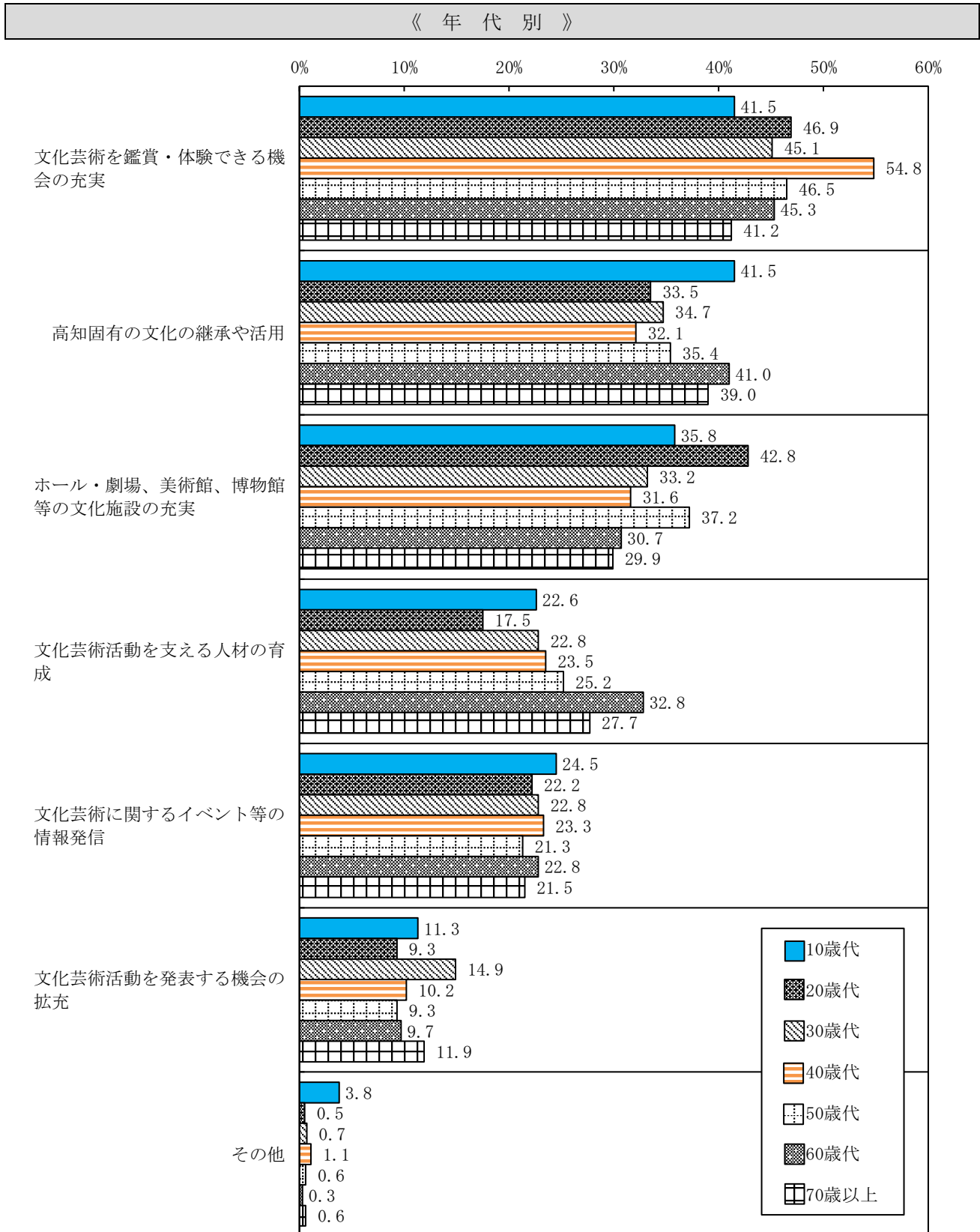
【性別】

男女とも「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が最も高くなっており、次いで男性では「高知固有の文化の継承や活用」、「ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実」が、女性では「ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実」、「高知固有の文化の継承や活用」が続いている。



【年代別】

すべての年代で「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が、10歳代ではこれと同率で「高知固有の文化の継承や活用」が最も高くなっている。



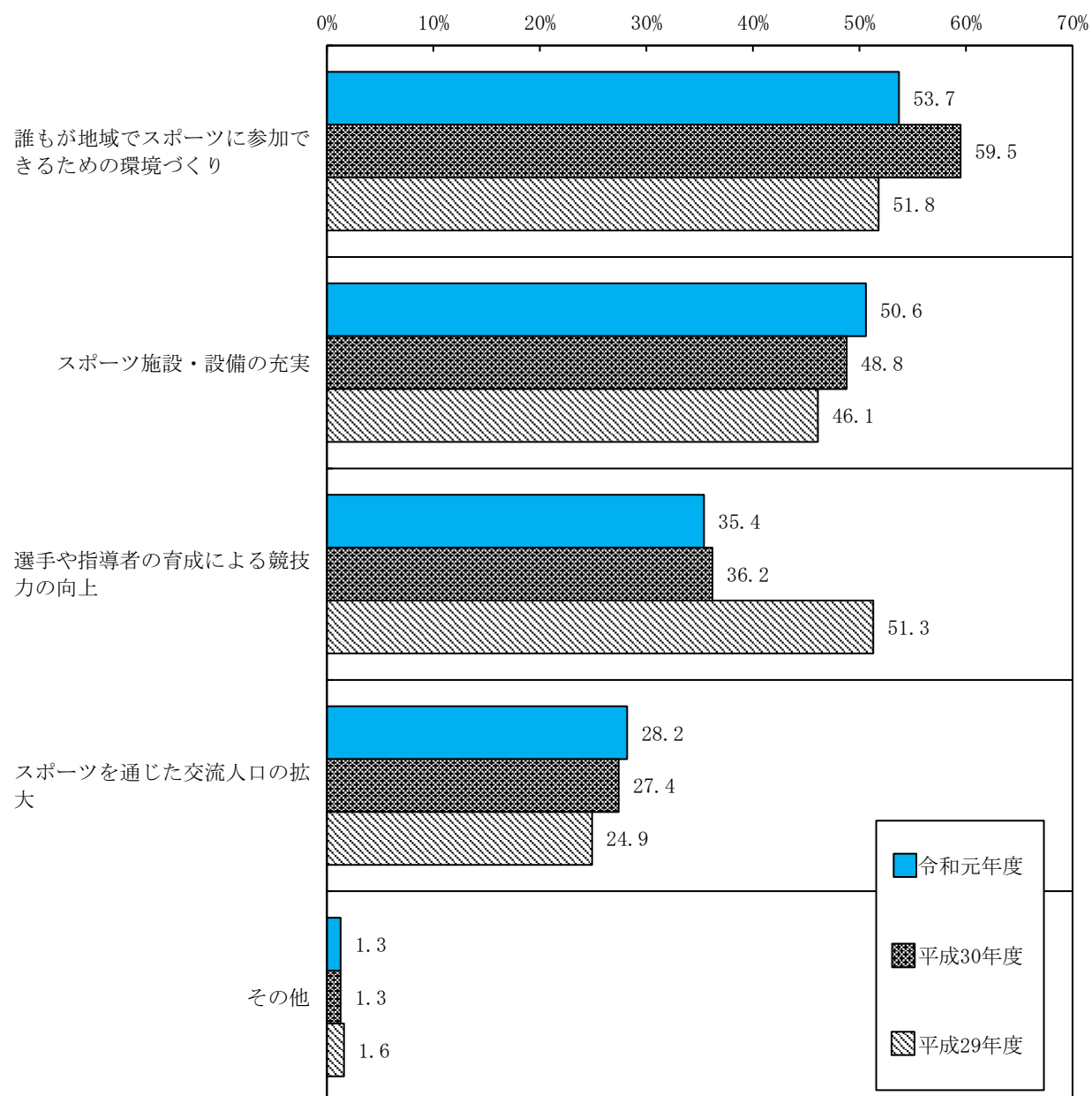
問9 スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

【総合】 「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が53.7%で1位になっている。

次いで「スポーツ施設・設備の充実」が50.6%、「選手や指導者の育成による競技力の向上」が35.4%と続いている。

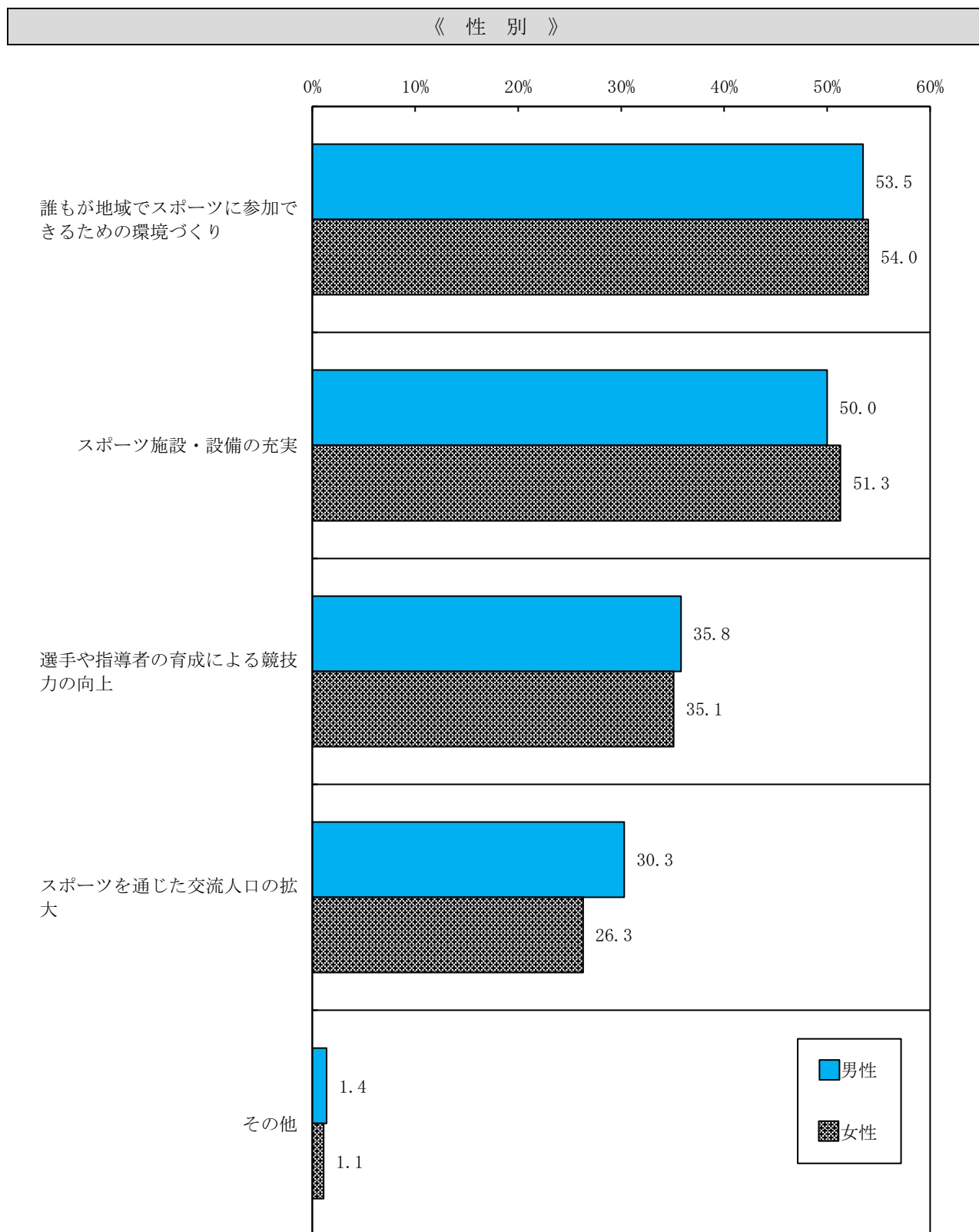
【過去の調査との比較】

今年度も、昨年度と同じく「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が1位となっており、2位と3位も同じ順位となっている。



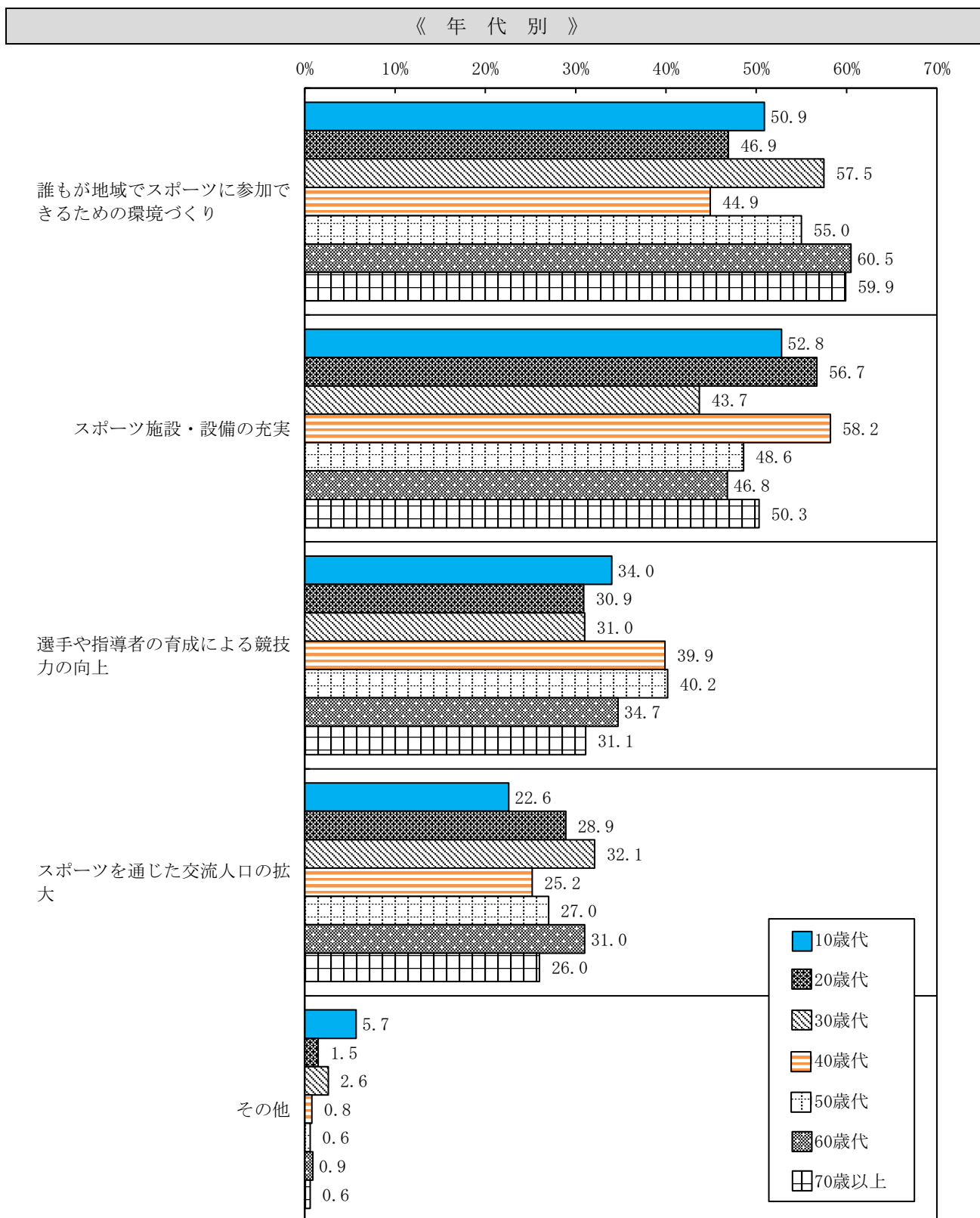
【性別】

男女とも「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が最も高く、次いで「スポーツ施設・設備の充実」、「選手や指導者の育成による競技力の向上」となっている。



【年代別】

10歳代、20歳代、40歳代では「スポーツ施設・設備の充実」が、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が最も高くなっている。



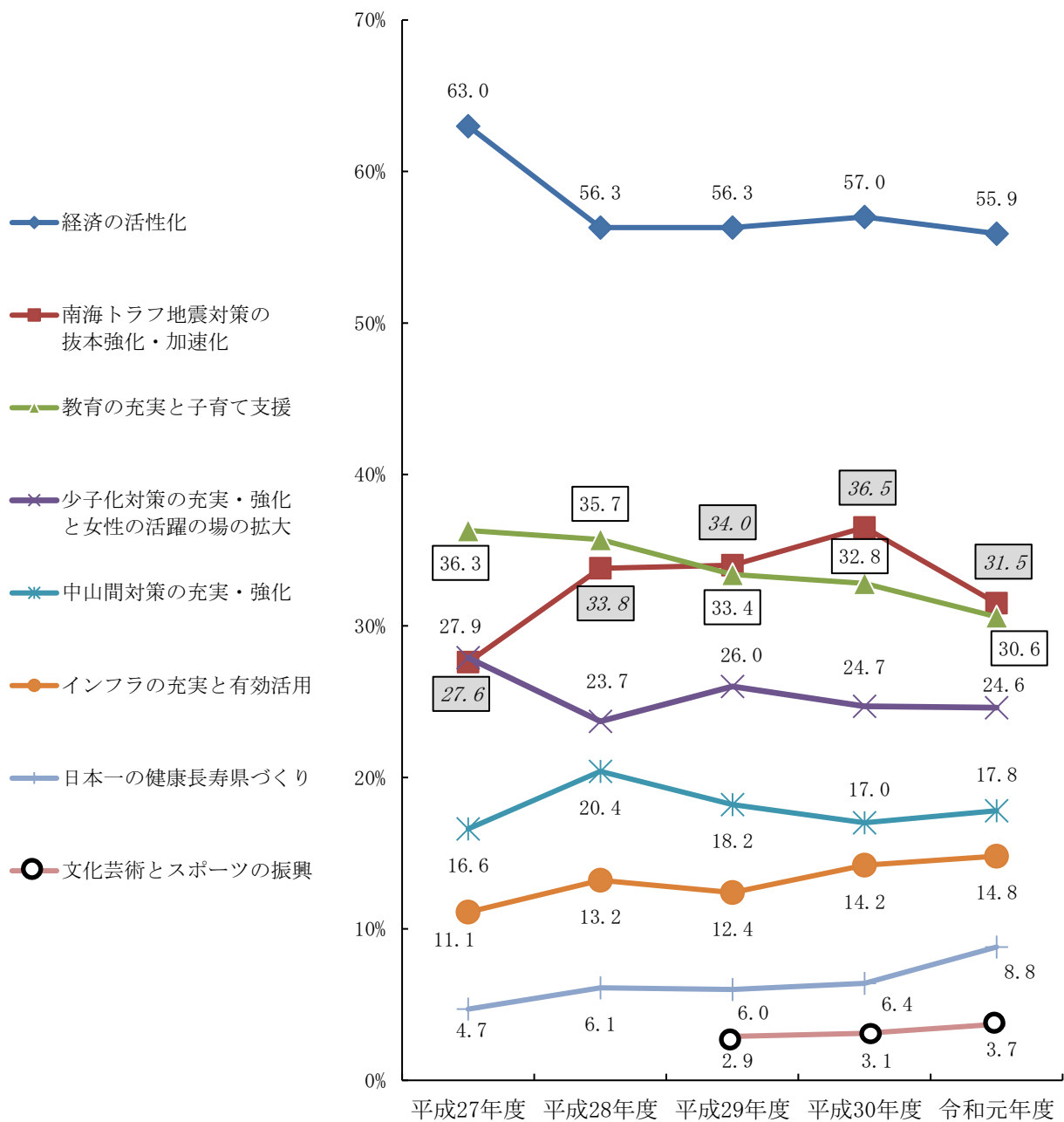
問 10 県が行っている8つの政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。(2つまで○印)

【総合】 「経済の活性化」が55.9%で1位になっている。

次いで「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が31.5%、「教育の充実と子育て支援」が30.6%と続いている。

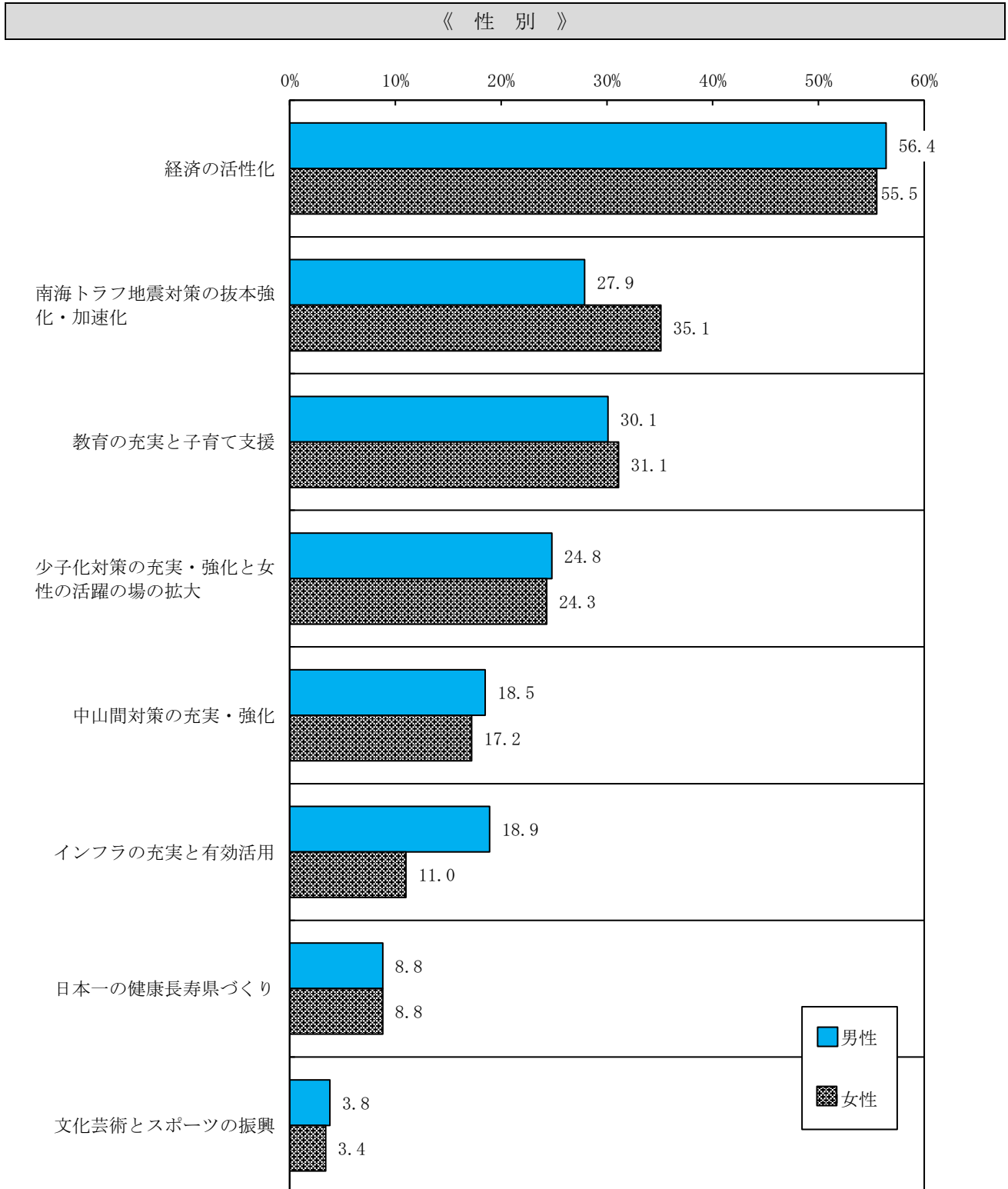
【過去の調査との比較】

今年度も、昨年度と同じく「経済の活性化」が1位となっており、2位と3位も同じ順位となっている。



【性別】

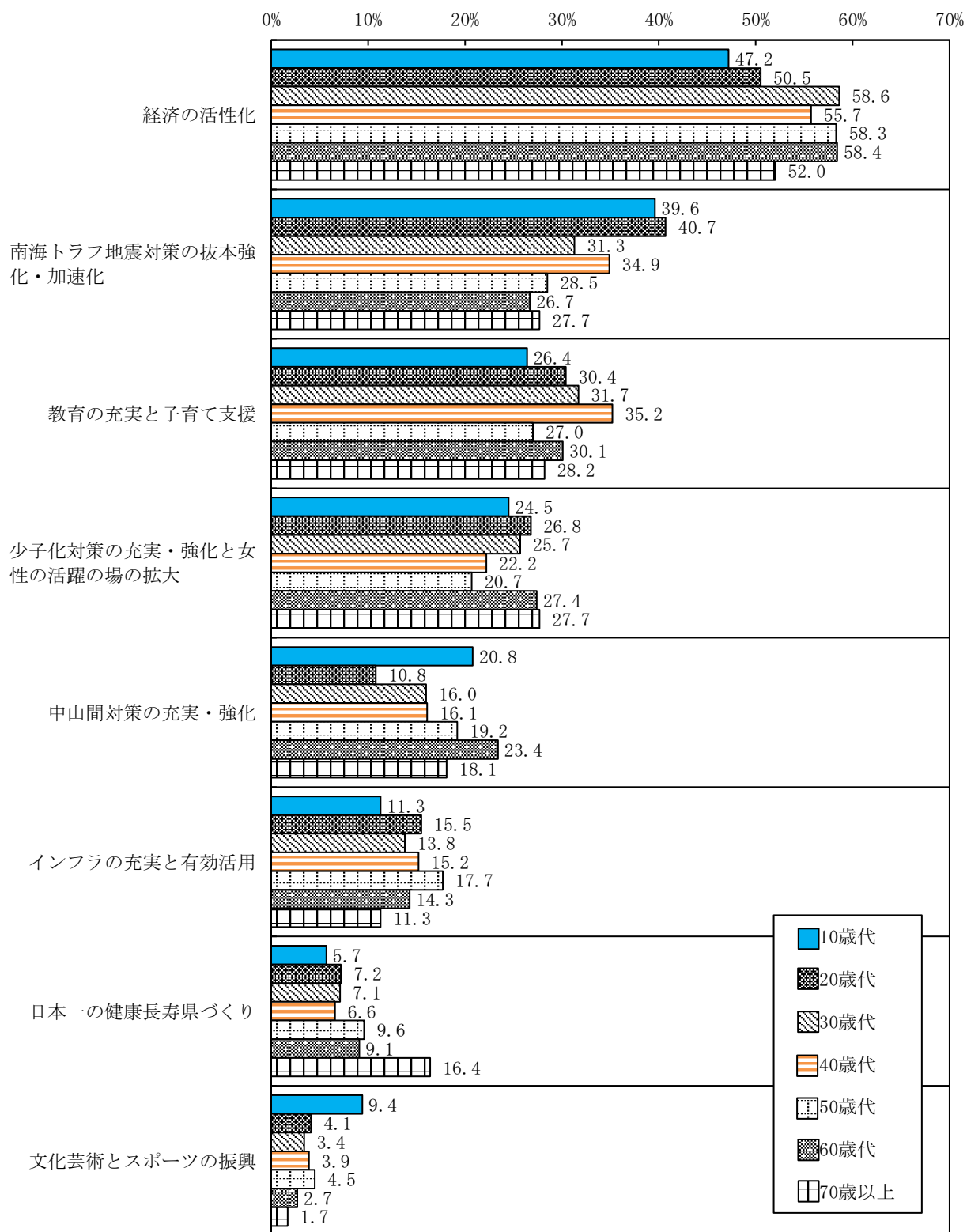
男女とも「経済の活性化」が最も高くなっている。次いで男性では「教育の充実と子育て支援」、
「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が、女性では「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」、
「教育の充実と子育て支援」が続いている。



【年代別】

すべての年代で「経済の活性化」が最も高くなっている。

《 年代別 》

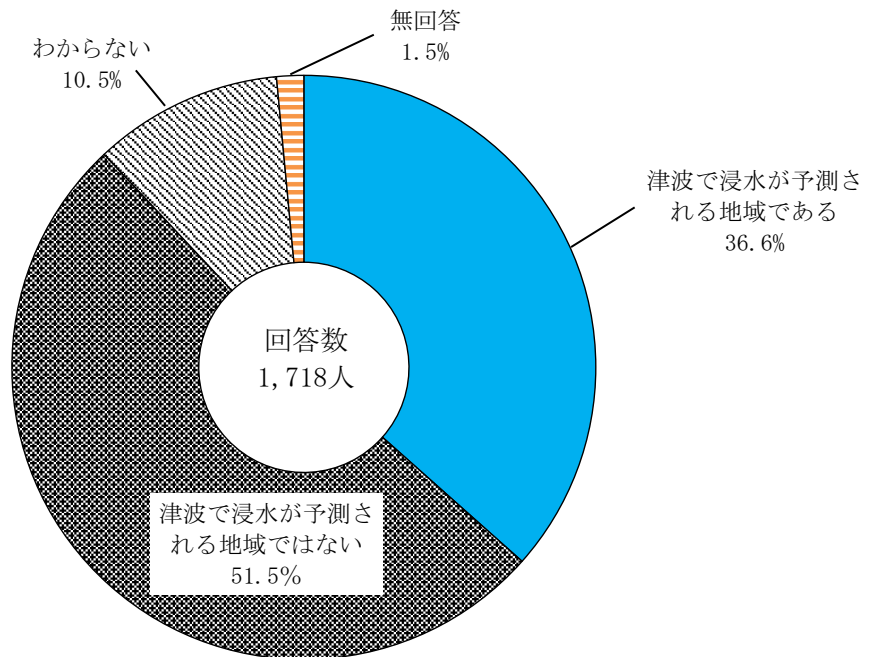


[2] 南海トラフ地震対策について

問 12 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(1つだけ○印)

【総合】 「わからない」が10.5%となっており、より一層の周知の工夫が必要である。

《 総 合 》



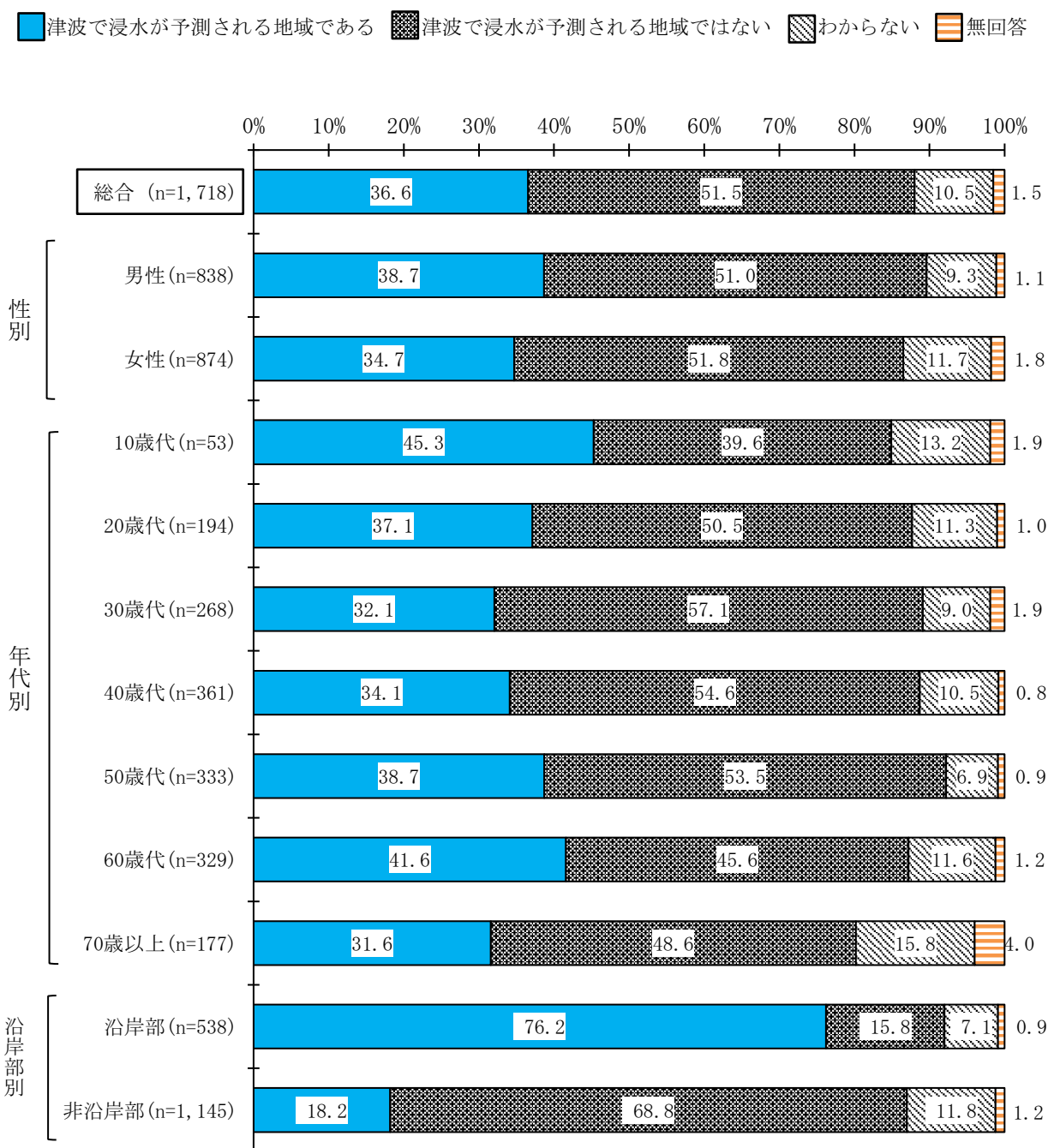
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

70歳以上では「わからない」が他の年代と比べると高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》

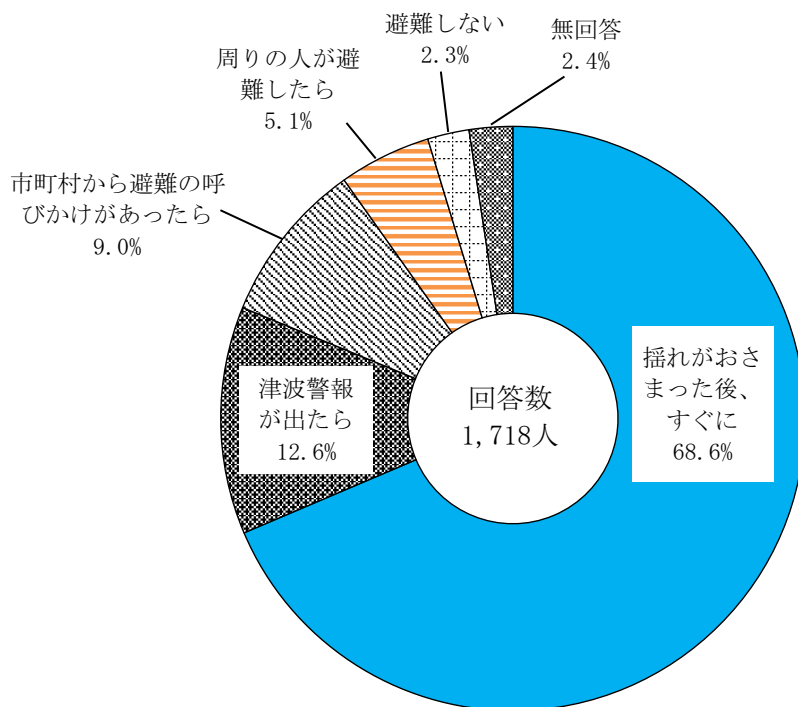


問 13 あなたが津波の浸水が予測される地域にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。
(1つだけ○印)

【総合】 「揺れがおさまった後、すぐに」が68.6%で1位になっている。

次いで「津波警報が出たら」が12.6%、「市町村から避難の呼びかけがあったら」が9.0%と続いている。

《 総 合 》



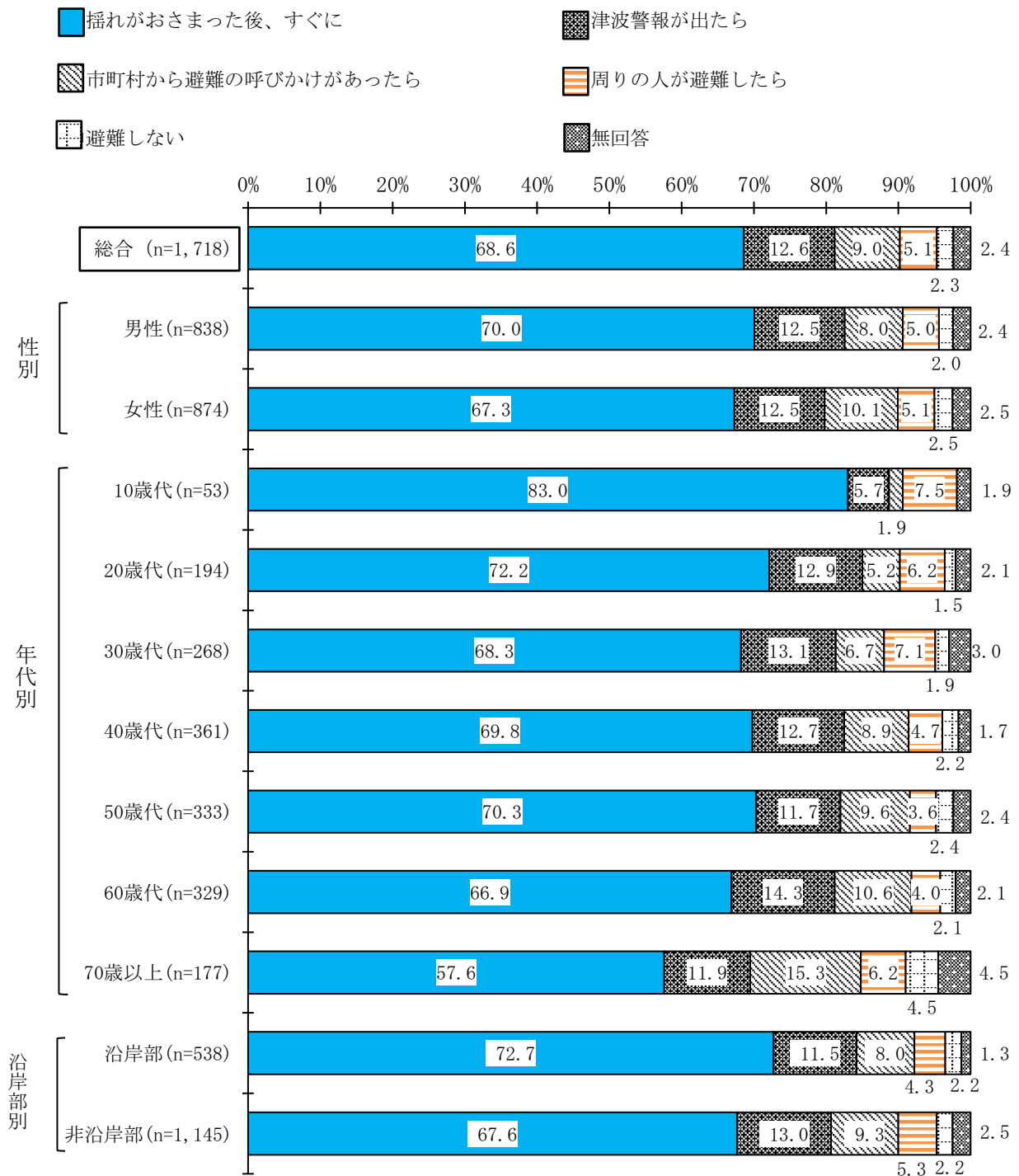
【性別】

男女とも「揺れがおさまった後、すぐに」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「揺れがおさまった後、すぐに」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》



【問 12×問 13 のクロス分析】

「あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。」という質問への回答に対し、「あなたはいつ避難しますか。」について見てみると、「わからない」では「揺れがおさまった後、すぐに」が低く、「津波警報が出たら」、「市町村から避難の呼びかけがあったら」、「周りの人が避難したら」、「避難しない」が高くなっている。

《問 12×問 13 のクロス分析》

(単位：%)

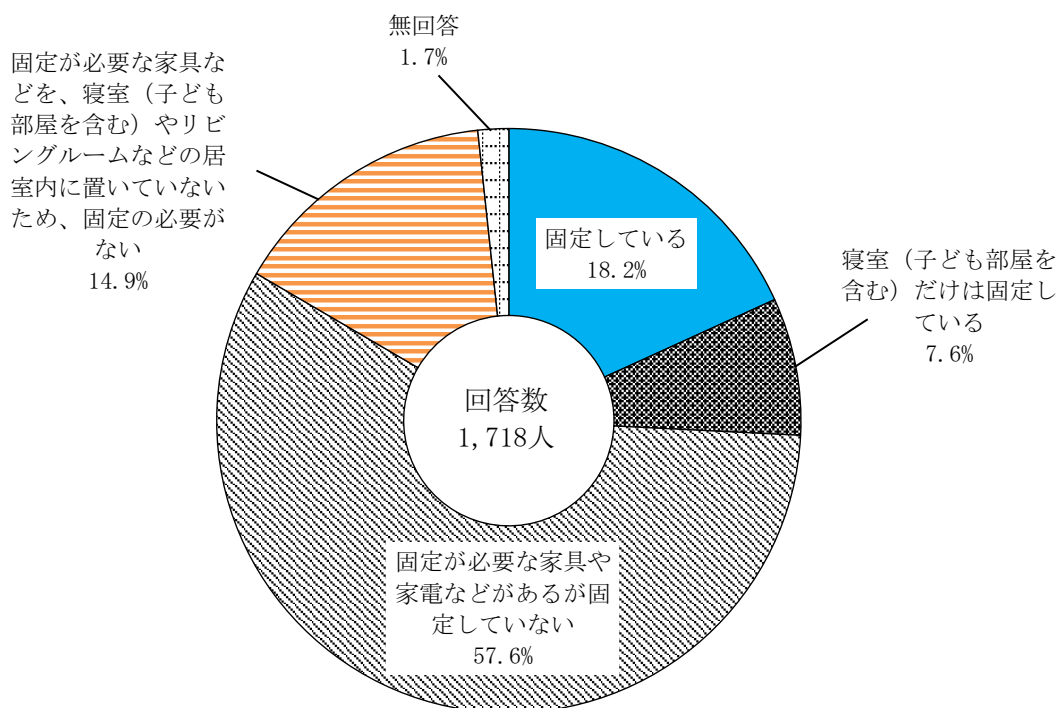
		問 13				
		揺れがおさまった後、すぐに	津波警報が出たら	市町村から避難の呼びかけがあったら	周りの人が避難したら	避難しない
問 12	津波で浸水が予測される地域である	71.7	13.7	7.5	4.0	2.7
	津波で浸水が予測される地域ではない	71.6	10.7	9.0	4.8	1.7
	わからない	51.4	18.8	14.4	11.6	3.3

問 14 あなたのお宅では、固定が必要な家具や家電などを固定していますか。(1つだけ○印)

【総合】 「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が57.6%で1位になっている。

次いで「固定している」が18.2%、「固定が必要な家具などを、寝室(子ども部屋を含む)やリビンググループなどの居室内に置いていないため、固定の必要がない」が14.9%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

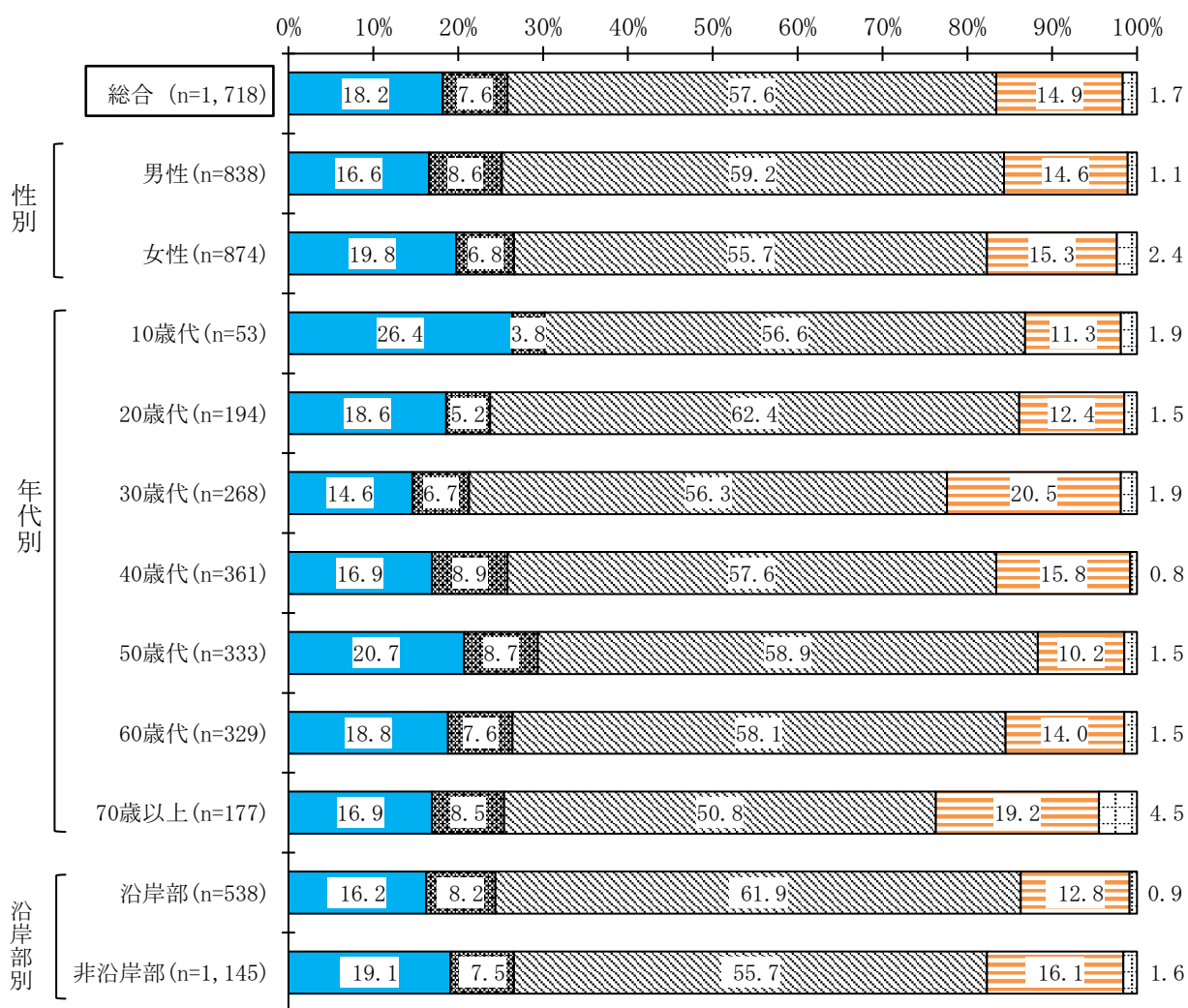
男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》

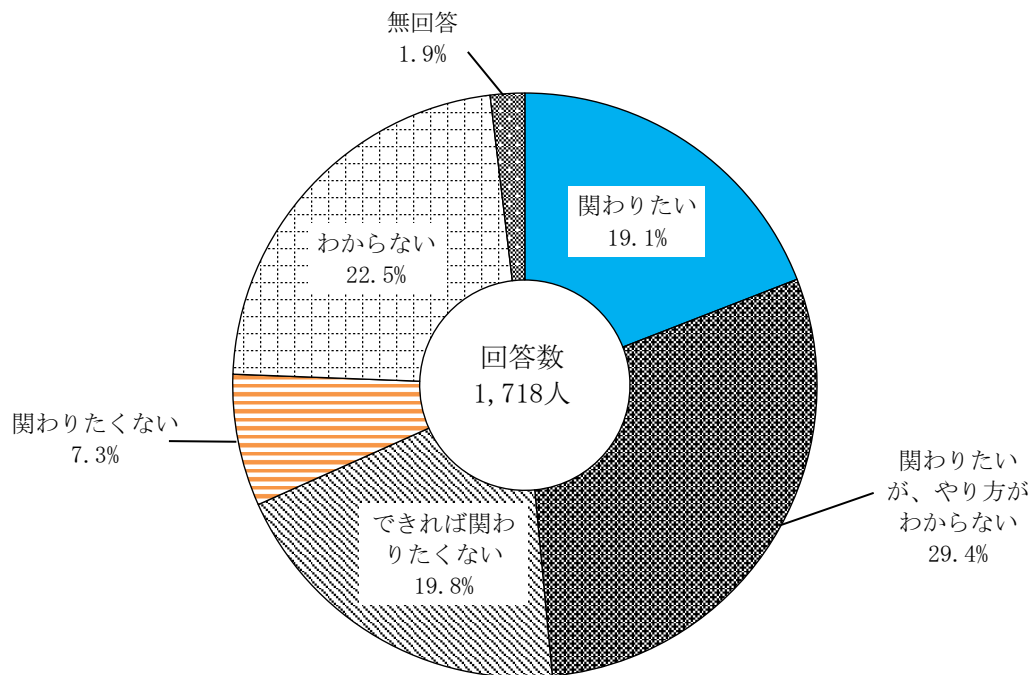
- 固定している
- 寝室（子ども部屋を含む）だけは固定している
- 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない
- 固定が必要な家具などを、寝室（子ども部屋を含む）やリビングルームなどの居室内に置いていないため、固定の必要がない
- 無回答



問 15 あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。(1つだけ○印)

【総合】 「関わりたいが、やり方がわからない」が29.4%で1位になっている。
次いで「わからない」が22.5%、「できれば関わりたくない」が19.8%と続いている。

《 総 合 》



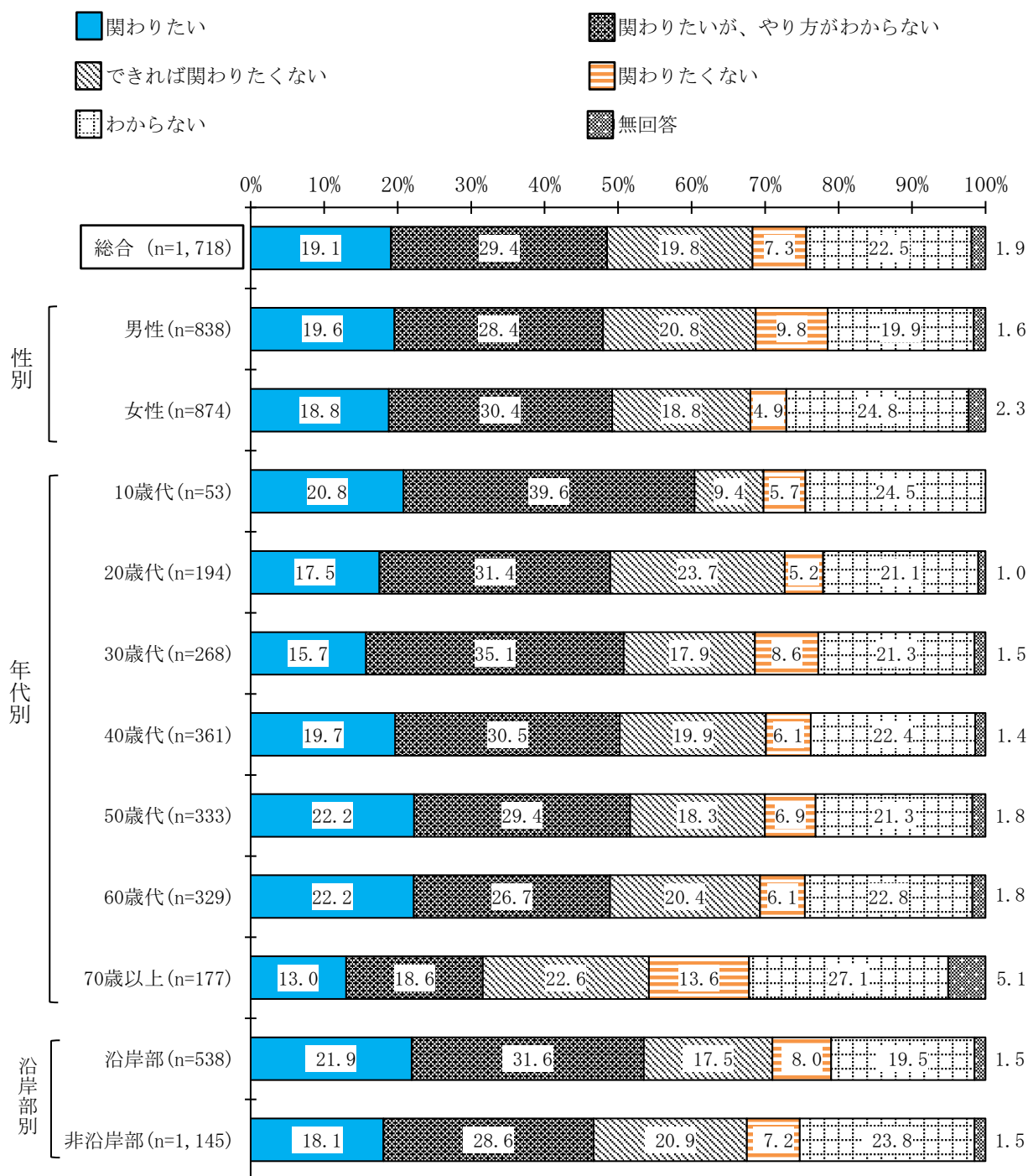
【性別】

男女とも「関わりたいが、やり方がわからない」が最も高く、次いで男性が「できれば関わりたい」が、女性が「わからない」が続いている。

【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「関わりたいが、やり方がわからない」が、70歳以上は「わからない」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》

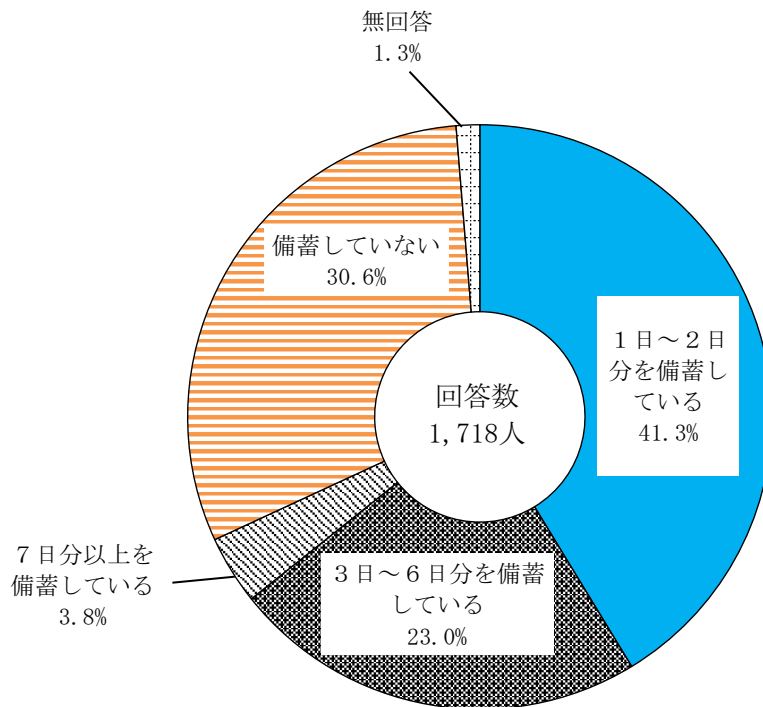


問 16 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含みます。(1つだけ○印)

【総合】 「1日～2日分を備蓄している」が41.3%で1位になっている。

次いで「備蓄していない」が30.6%、「3日～6日分を備蓄している」が23.0%と続いている。

《 総 合 》



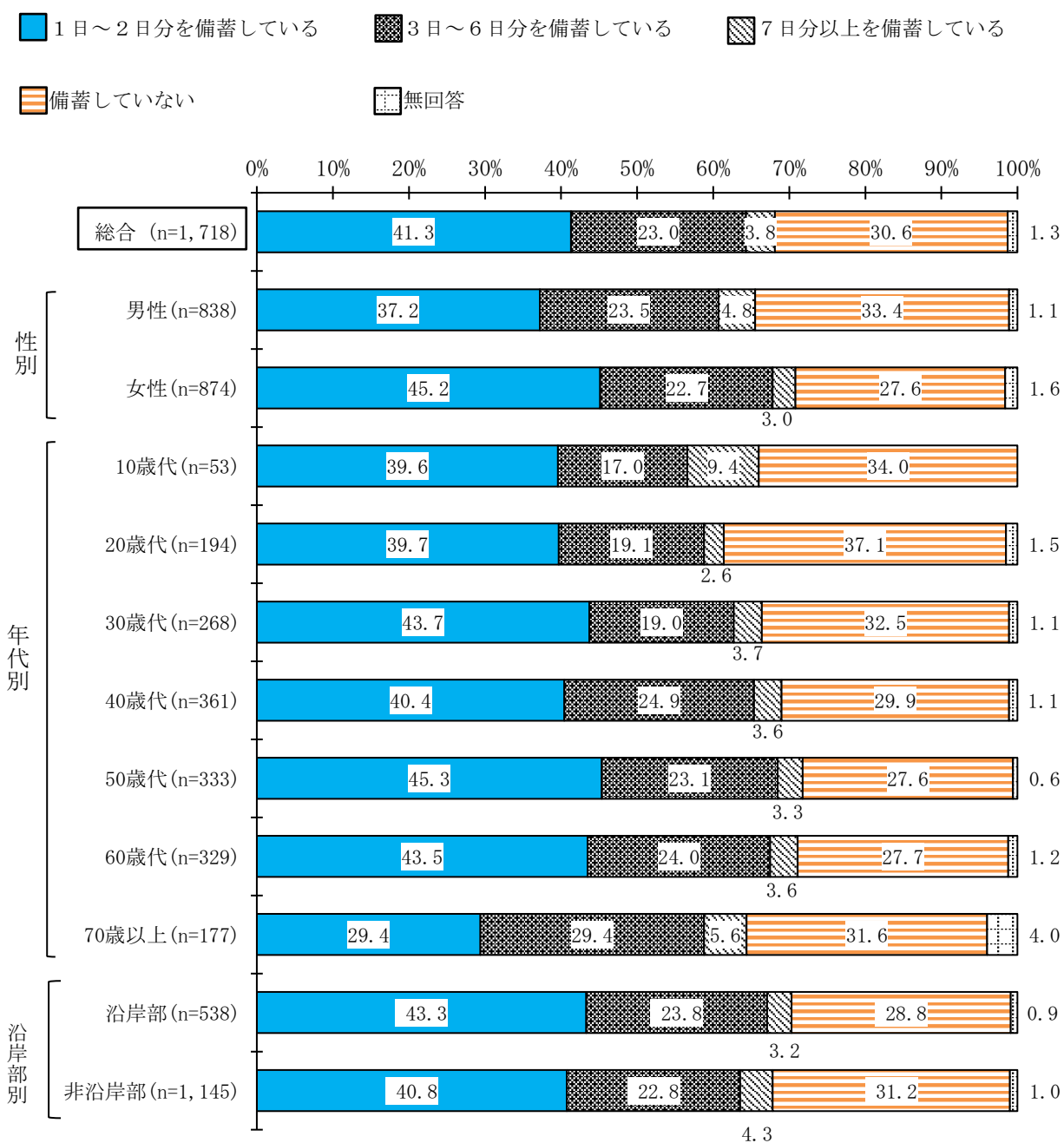
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「1日～2日分を備蓄している」が、70歳以上では「備蓄していない」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》

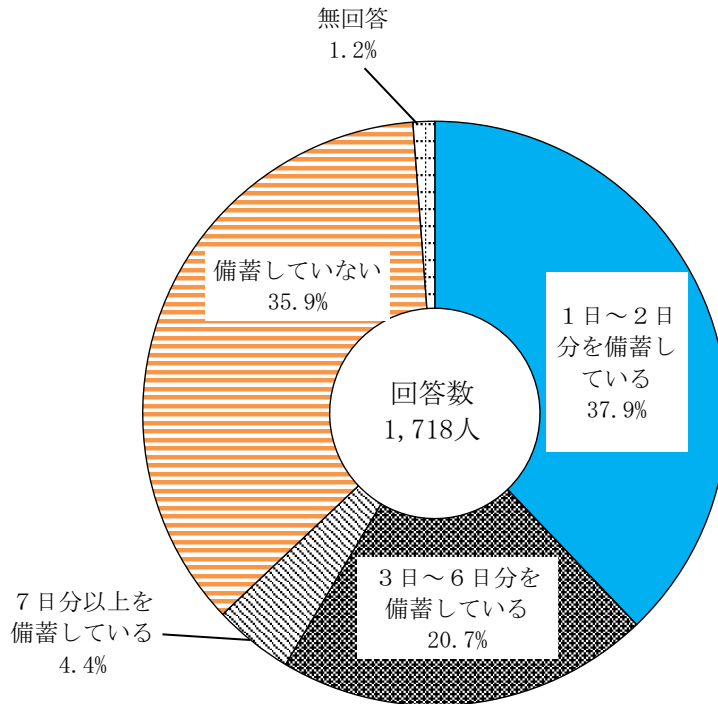


問17 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。(1つだけ○印)

【総合】 「1日～2日分を備蓄している」が37.9%で1位になっている。

次いで「備蓄していない」が35.9%、「3日～6日分を備蓄している」が20.7%と続いている。

《 総 合 》



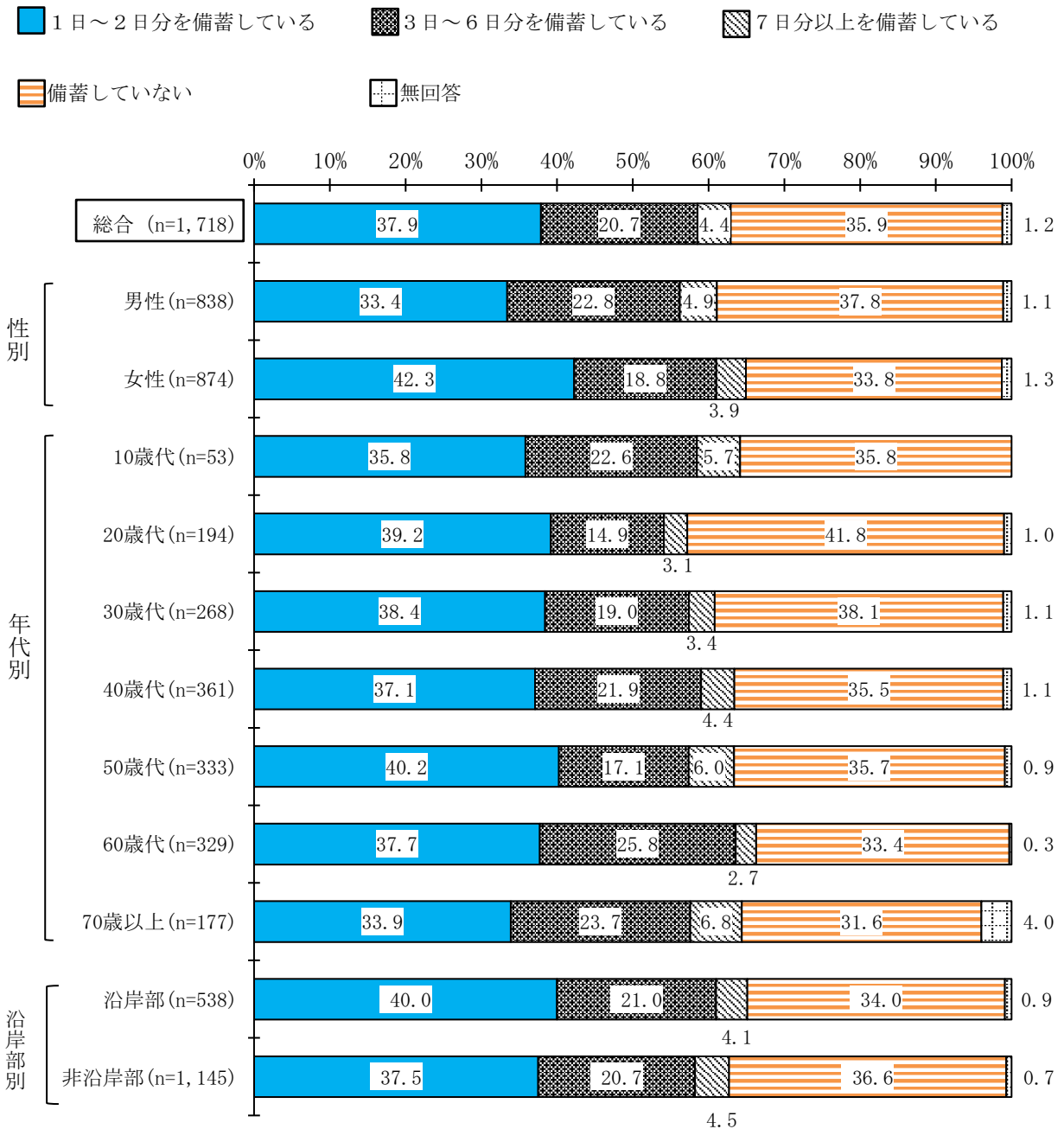
【性別】

男性は「備蓄していない」が、女性は「1日～2日分を備蓄している」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代は同率で「1日～2日分を備蓄している」と「備蓄していない」が、20歳代では「備蓄していない」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「1日～2日分を備蓄している」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》

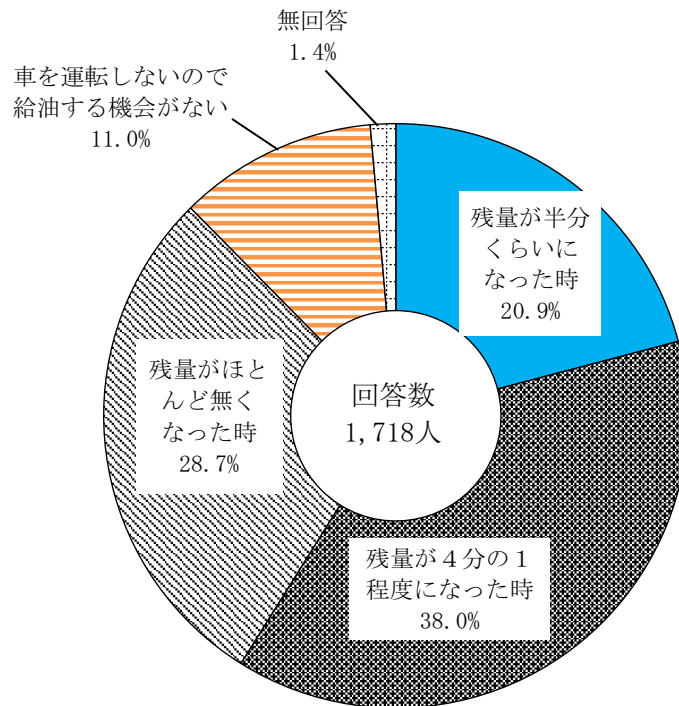


問18 普段、車に給油するためにガソリンスタンドに行くのは、燃料タンクの残量がどれくらいになった時ですか。(1つだけ○印)

【総合】 「残量が4分の1程度になった時」が38.0%で1位になっている。

次いで「残量がほとんど無くなった時」が28.7%、「残量が半分くらいになった時」が20.9%と続いている。

《 総 合 》



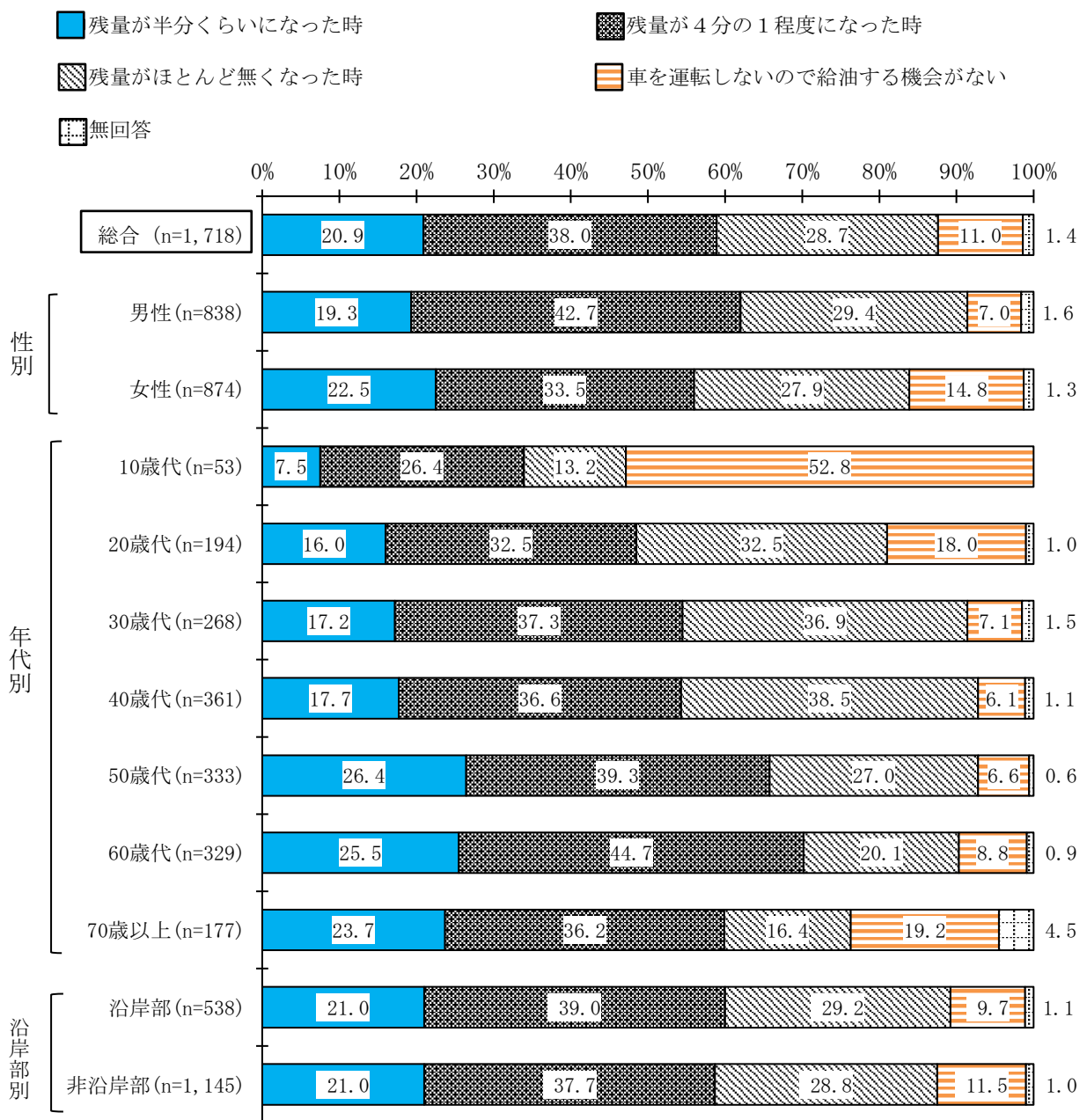
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

10歳代では「車を運転しないので給油する機会がない」が、20歳代では同率で「残量が4分の1程度になった時」と「残量がほとんど無くなった時」が、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「残量が4分の1程度になった時」が、40歳代では「残量がほとんど無くなった時」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》

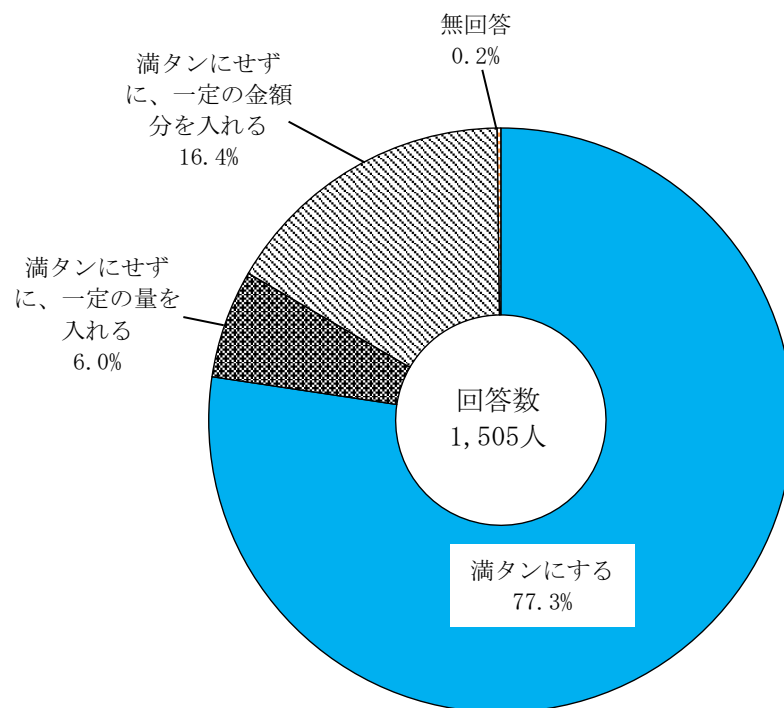


副問1 (問18で「1 残量が半分くらいになった時」・「2 残量が4分の1程度になった時」・
「3 残量がほとんどなくなった時」を選んだ方のみお答えください。)
普段、ガソリンスタンドで車に給油する時は、どれくらいの量を入れますか。
(1つだけ○印)

【総合】 「満タンにする」が77.3%で1位になっている。

次いで「満タンにせずに、一定の金額分を入れる」が16.4%、「満タンにせずに、一定の量を入れる」が6.0%と続いている。

《 総 合 》



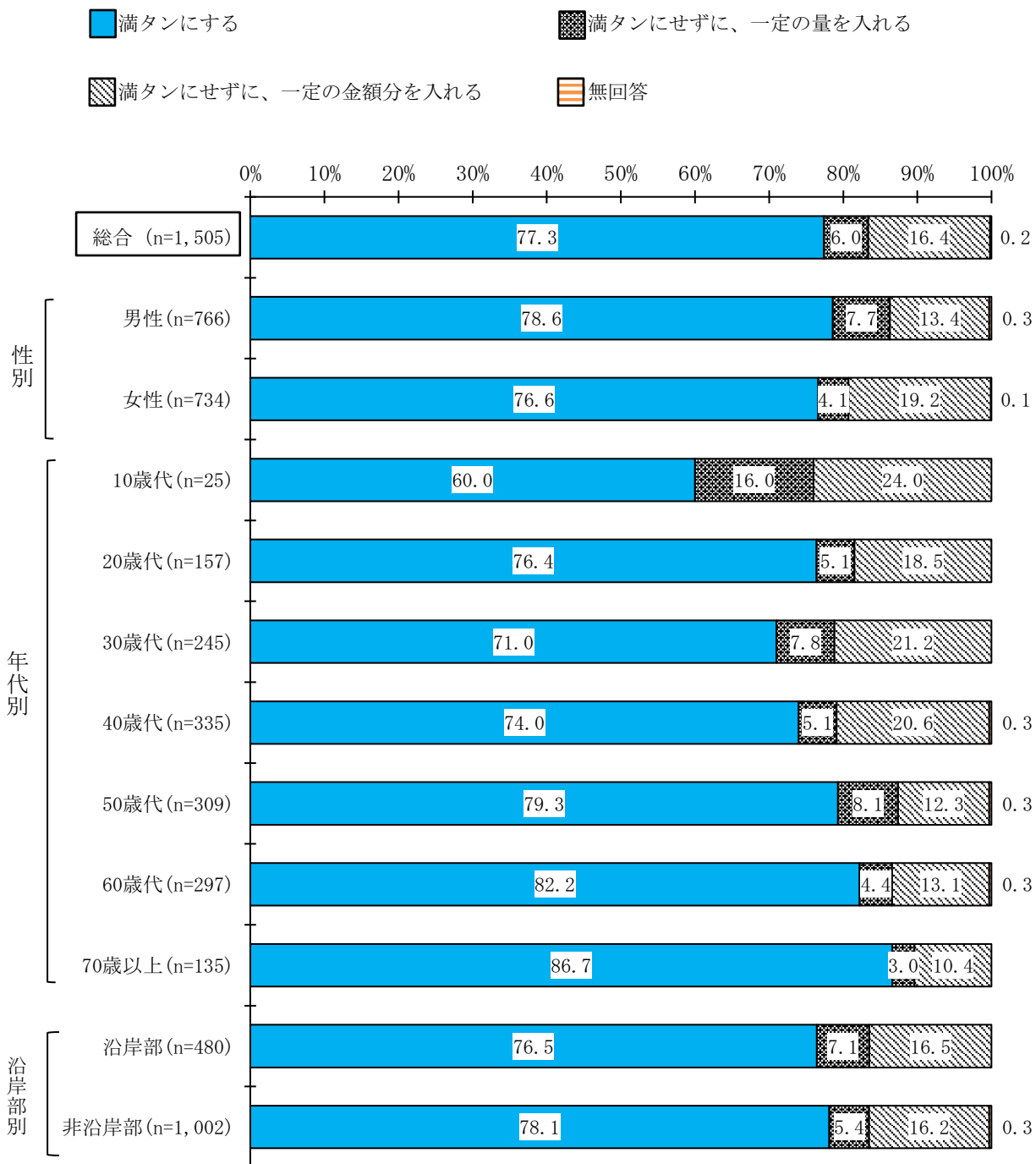
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「満タンにする」が最も高くなっている。

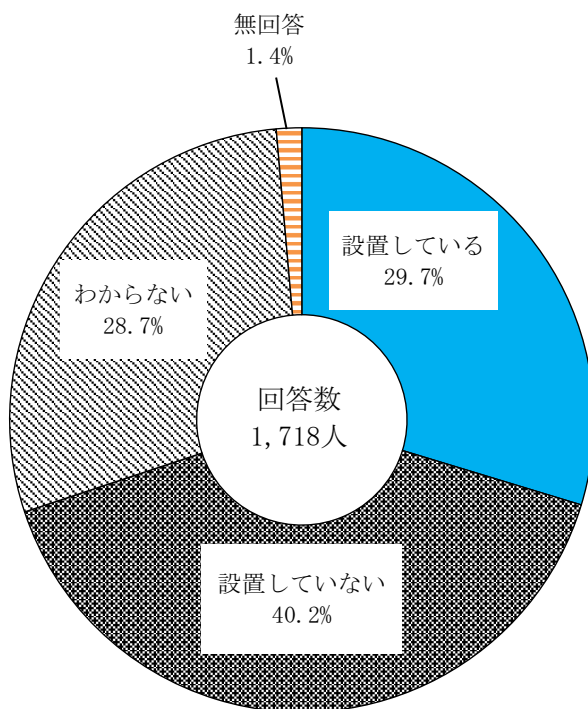
《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》



問19 ご自宅に感震ブレーカー（地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める装置）を設置していますか。（1つだけ○印）

【総合】 「設置していない」が40.2%で1位になっている。
次いで「設置している」が29.7%、「わからない」が28.7%と続いている。

《 総 合 》



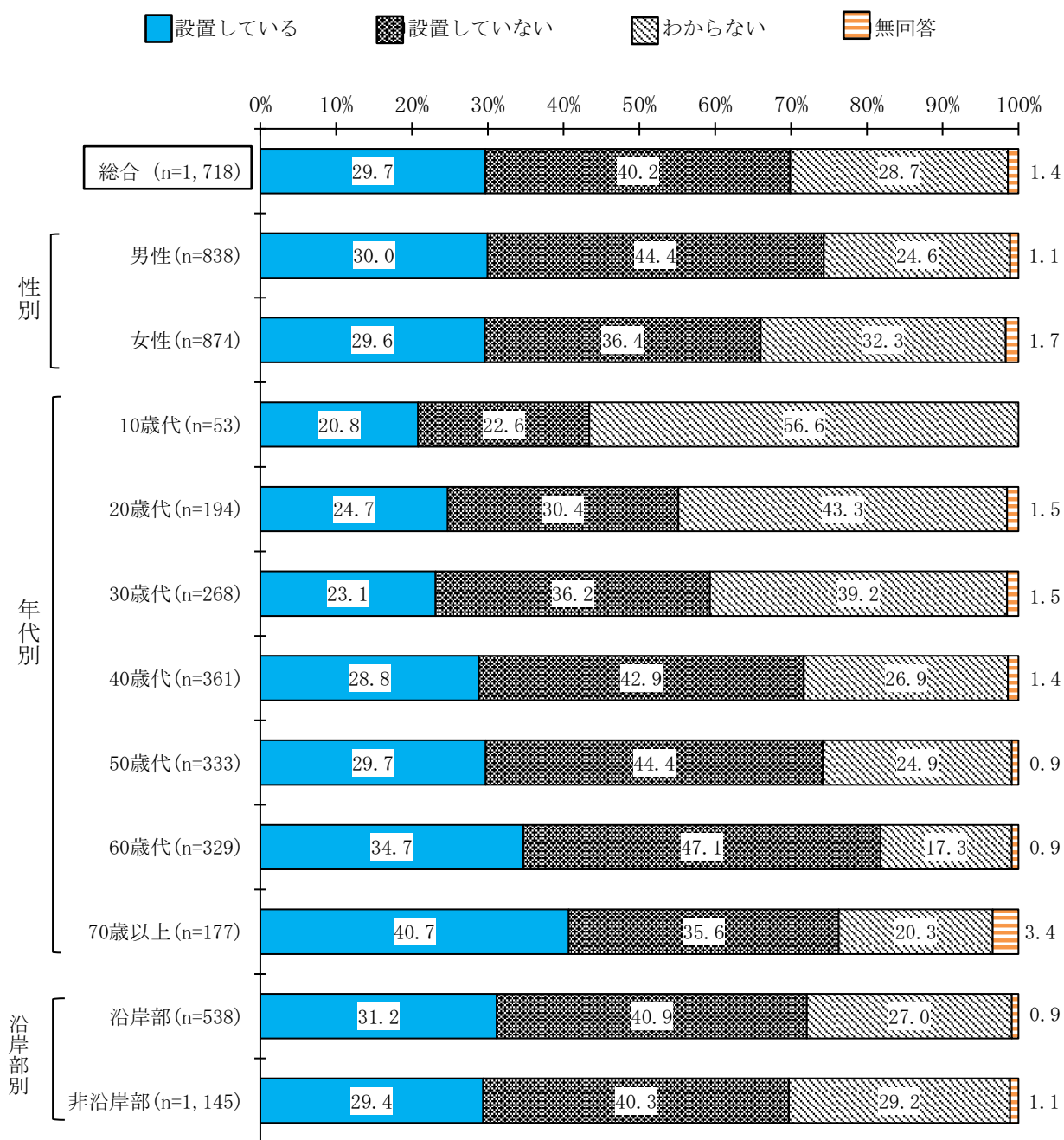
【性別】

男女とも「設置していない」が最も高く、次いで男性は「設置している」が、女性は「わからない」が続いている。

【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代では「わからない」が、40歳代、50歳代、60歳代では「設置していない」が、70歳以上では「設置している」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》



副問1 (問19で「2 設置していない」を選んだ方のみお答えください。)

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。

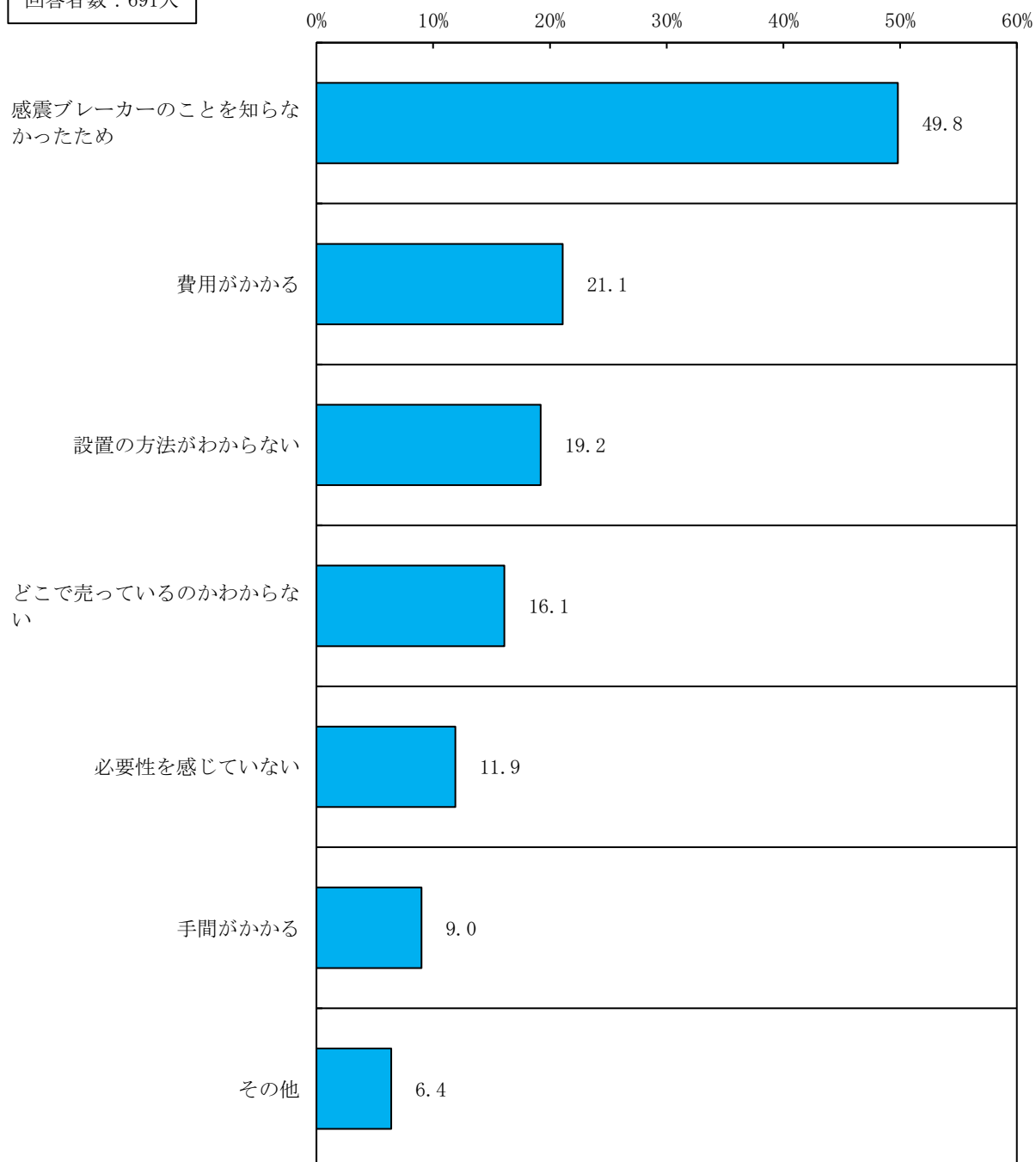
(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「感震ブレーカーのことを知らなかったため」が49.8%で1位になっている。

次いで「費用がかかる」が21.1%、「設置の方法がわからない」が19.2%と続いている。

《 総 合 》

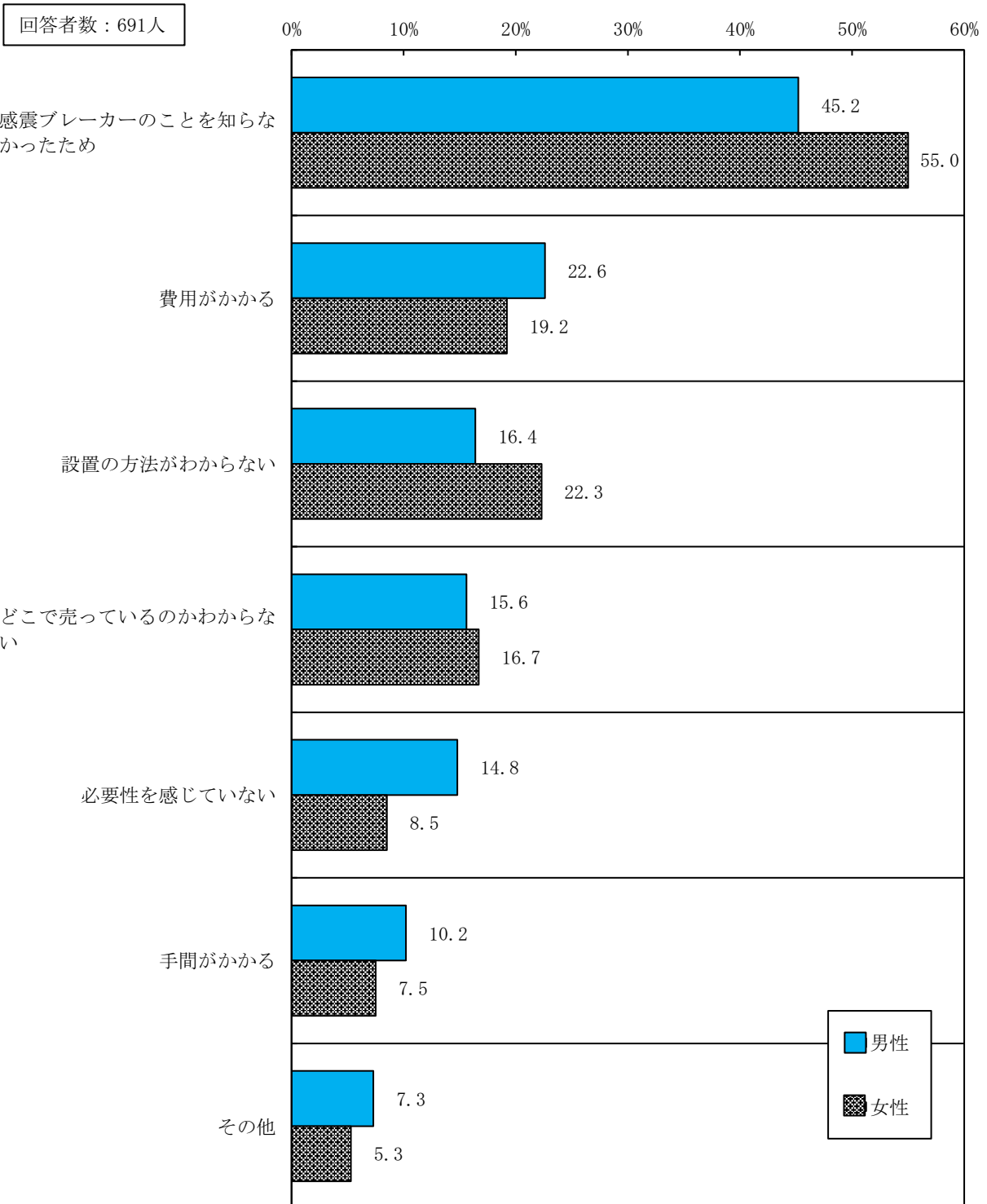
回答者数：691人



【性別】

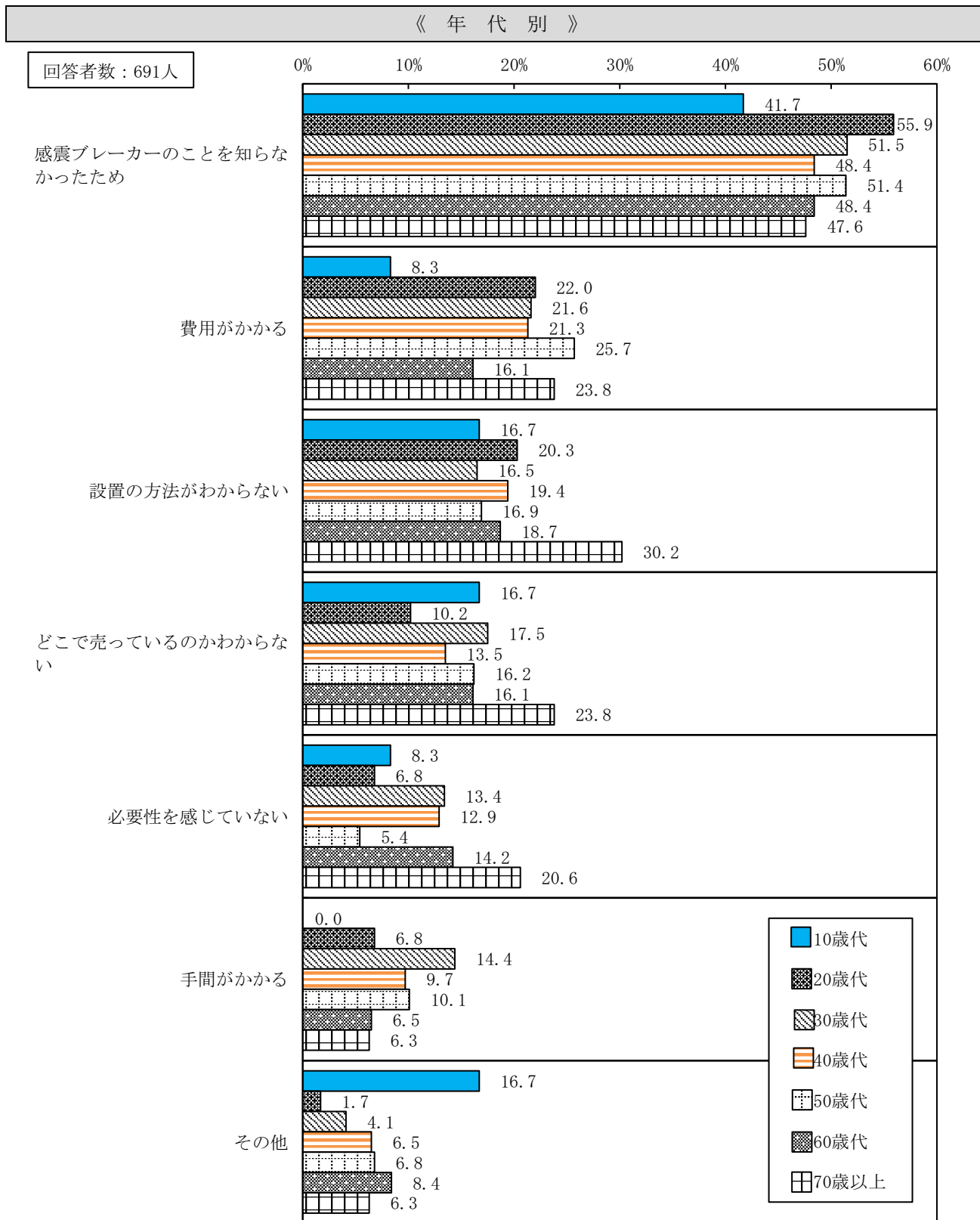
男女とも「感電ブレーカーのことを知らなかったため」が最も高く、次いで男性は「費用がかかる」、
「設置の方法がわからない」、女性は「設置の方法がわからない」、「費用がかかる」が続いている。

《 性別 》



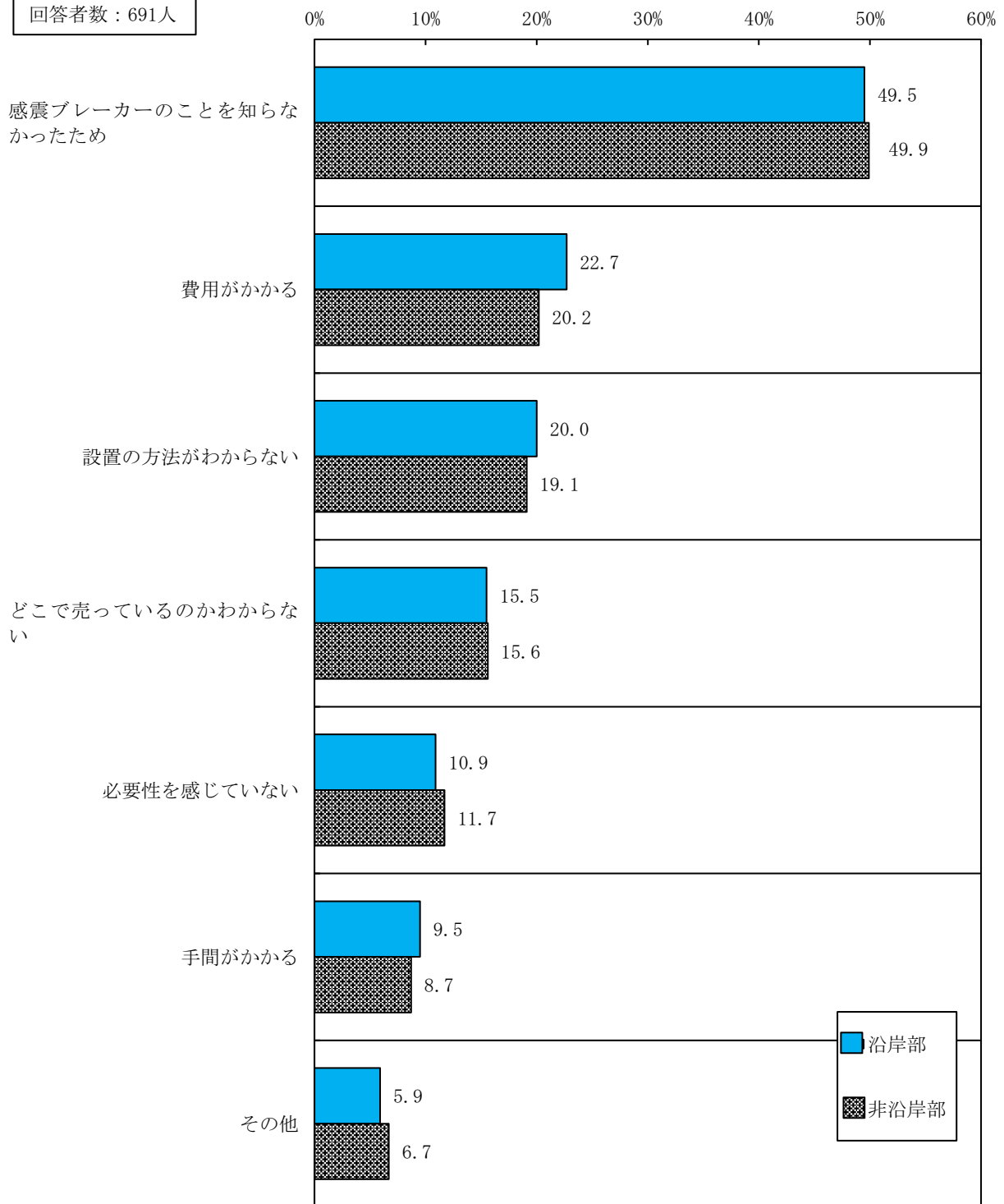
【年代別】

すべての年代で「感電ブレーカーのことを知らなかったため」が最も高くなっている。



《 沿岸部別 》

回答者数：691人



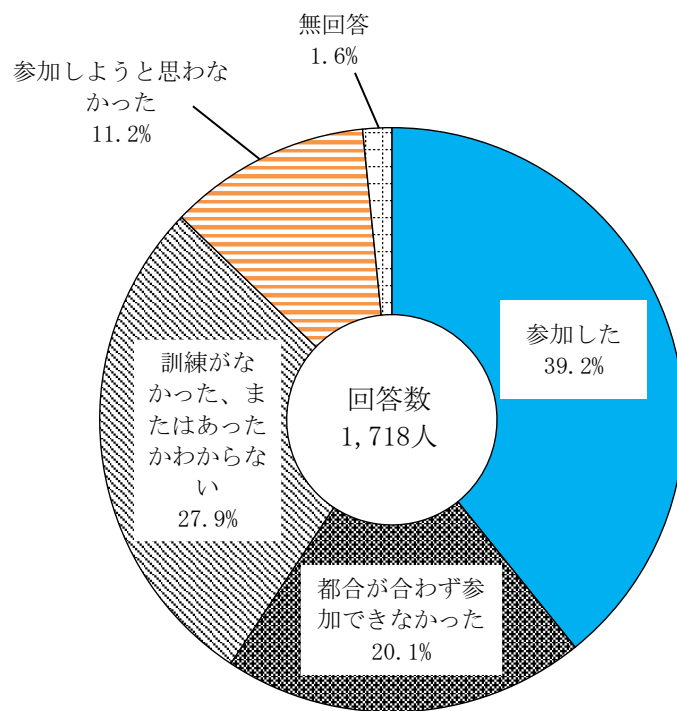
【地域の防災力について】

問20 過去1年間に地域や職場の地震に関する防災訓練に参加したことがありますか。
(1つだけ○印)

【総合】 「参加した」が39.2%で1位になっている。

次いで「訓練がなかった、またはあったかわからない」が27.9%、「都合が合わず参加できなかった」が20.1%と続いている。

《 総合 》



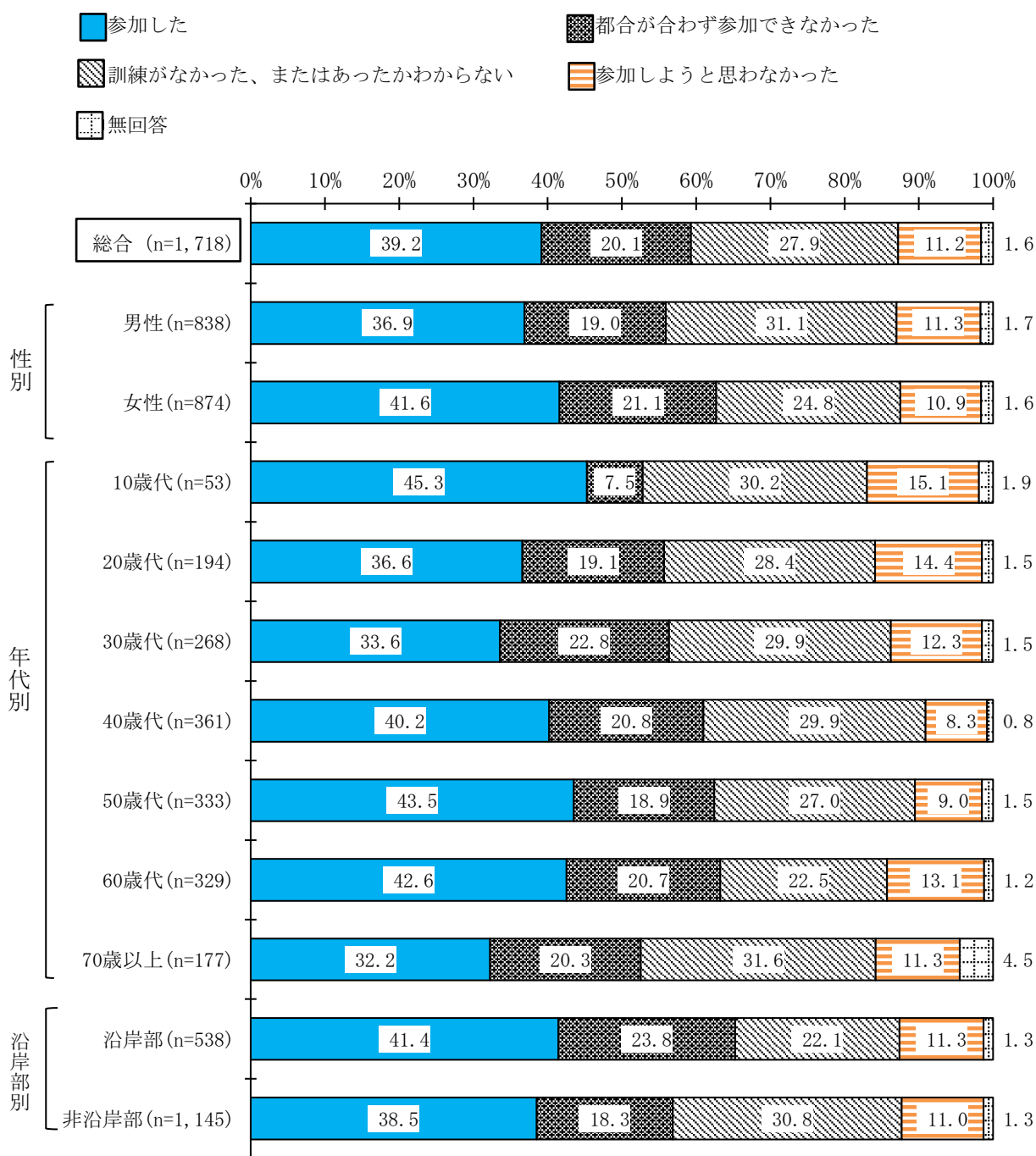
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「参加した」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》



問21 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。

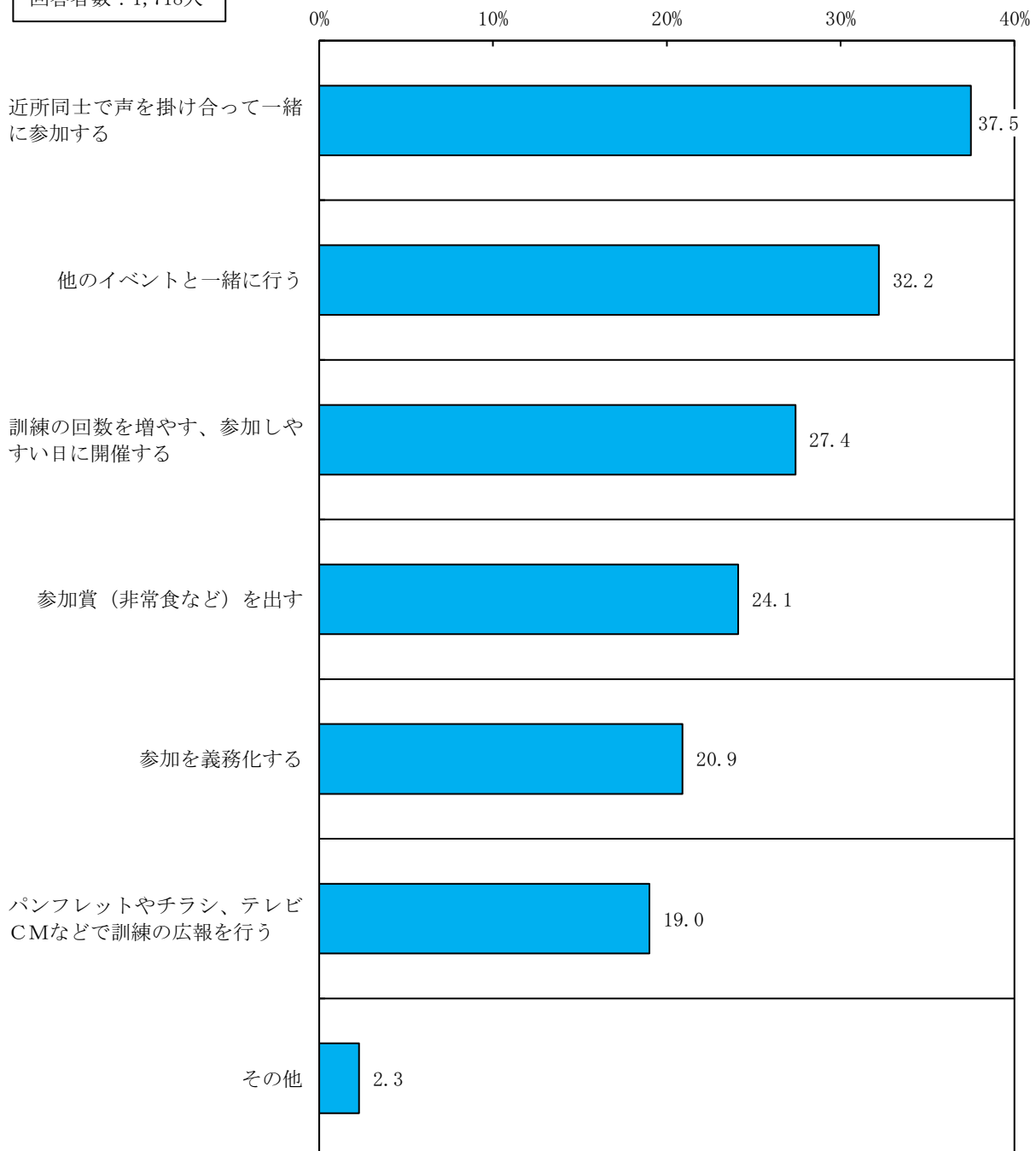
(2つまで〇印)

【総合】 「近所同士で声を掛け合って一緒に参加する」が37.5%で1位になっている。

次いで「他のイベントと一緒にを行う」が32.2%、「訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する」が27.4%となっている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

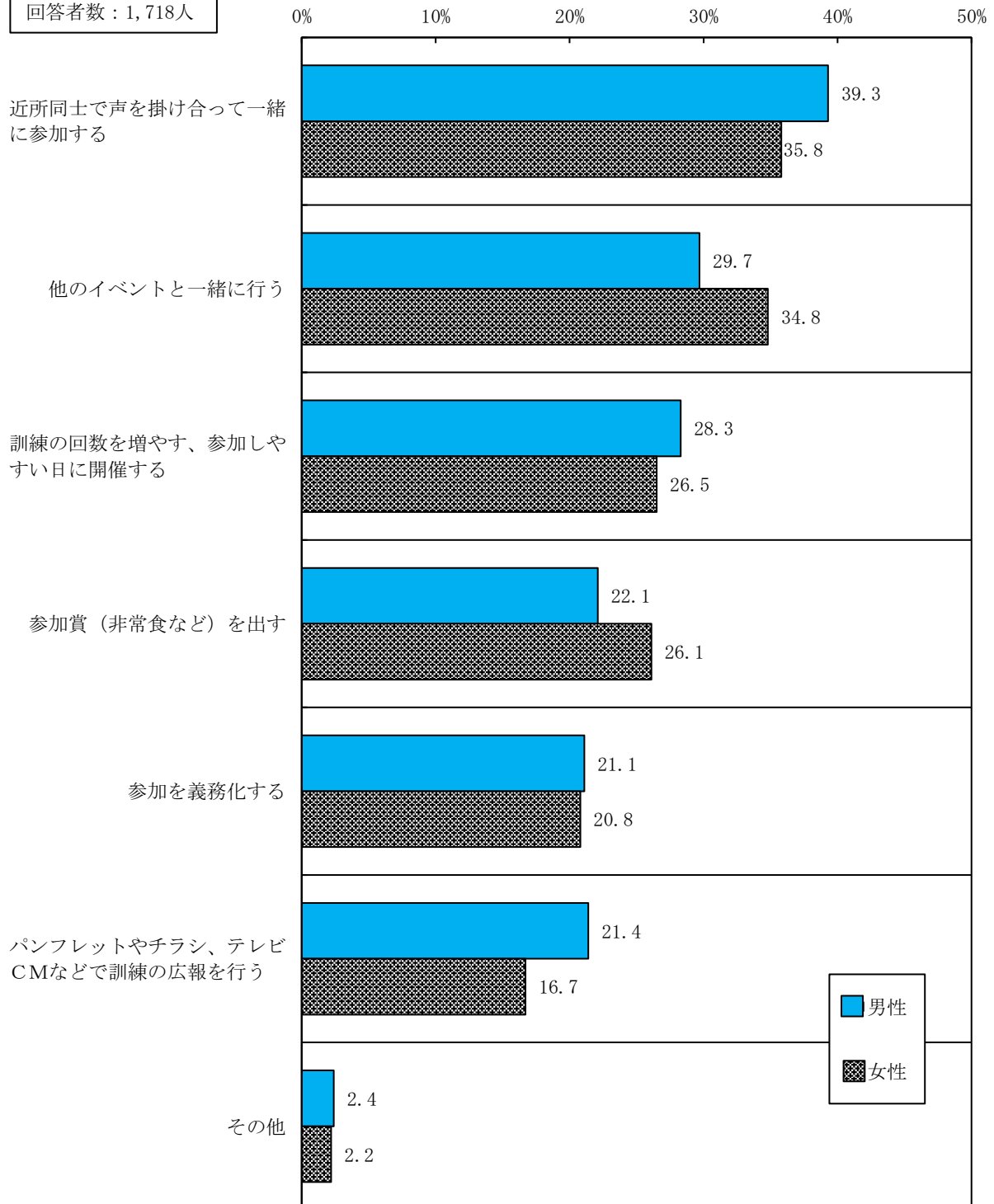


【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

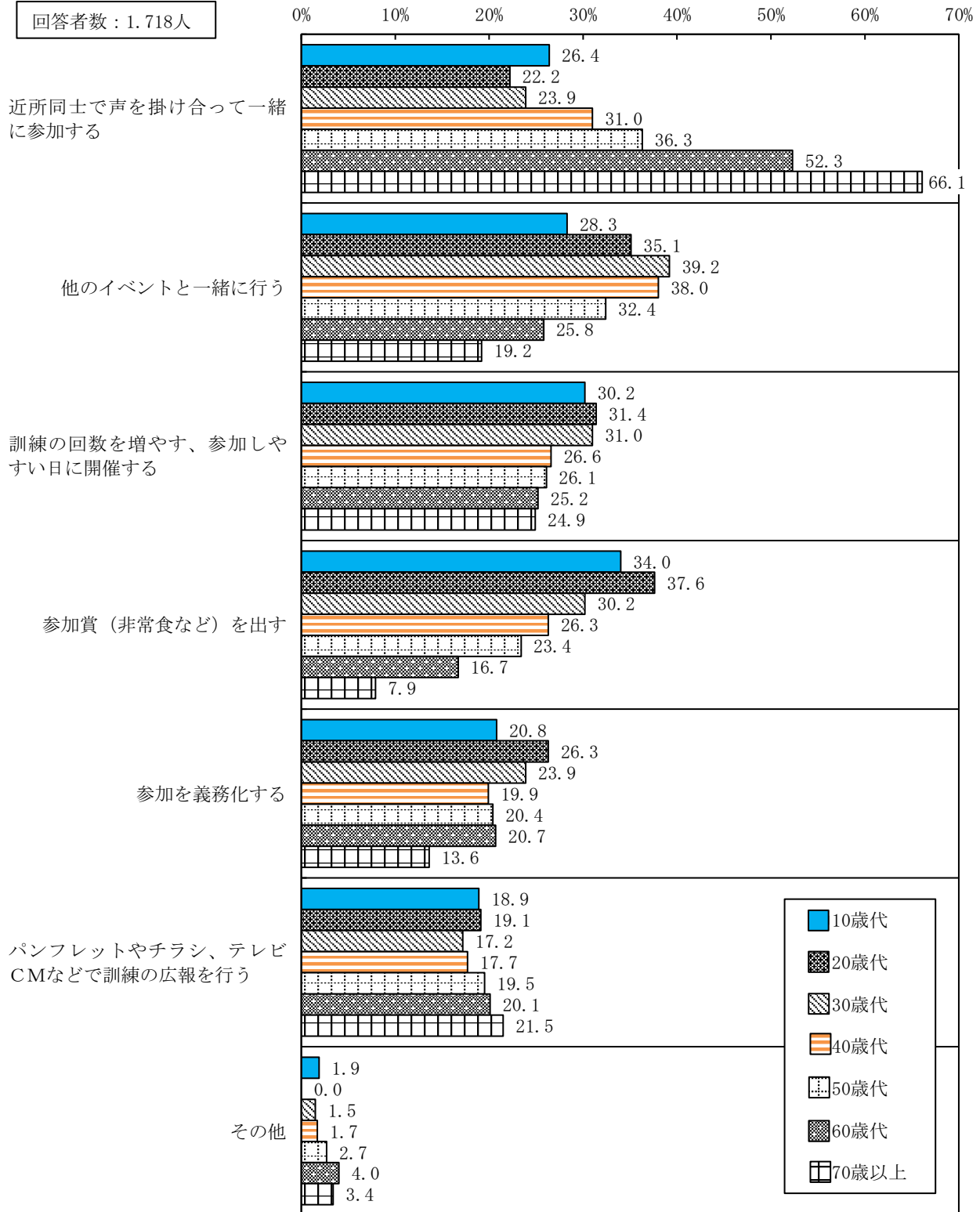


【年代別】

10歳代、20歳代では「参加賞(非常食など)を出す」が、30歳代、40歳代では「他のイベントと一緒に」が、50歳代、60歳代、70歳以上では「近所同士で声を掛け合っ一緒に参加する」が最も高くなっている。

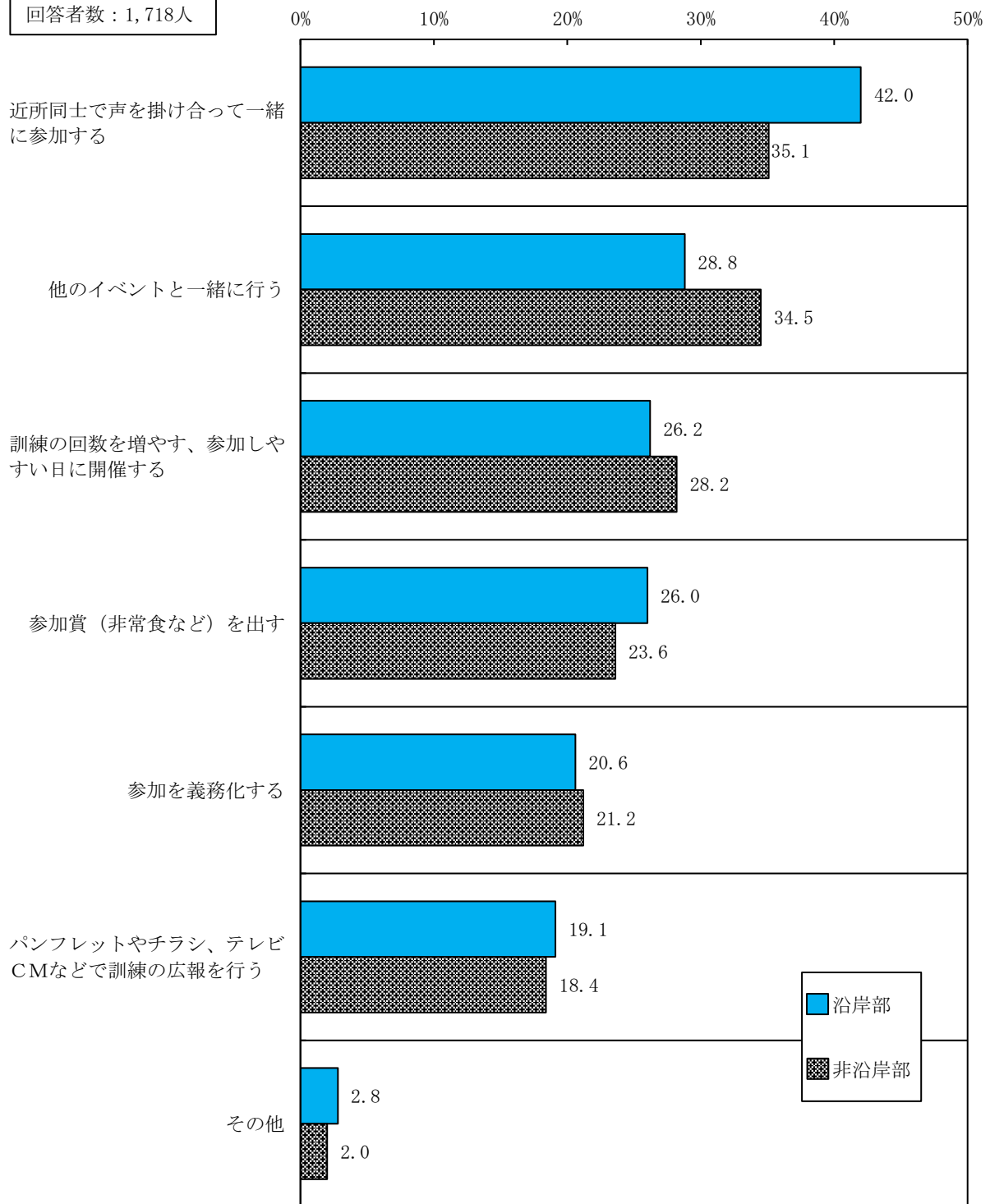
《 年代別 》

回答者数：1,718人



《 沿岸部別 》

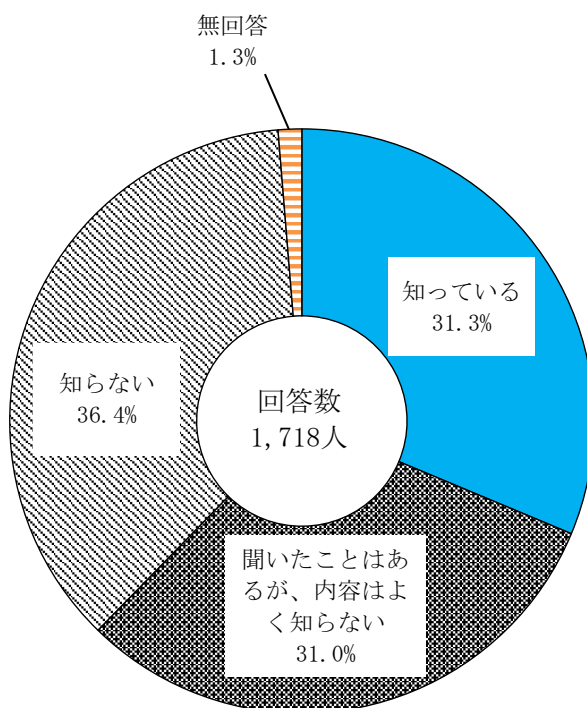
回答者数：1,718人



問 22 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存じでしたか。
(1つだけ○印)

【総合】 「知らない」が36.4%で1位になっている。
次いで「知っている」が31.3%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が31.0%と続いている。

《 総 合 》



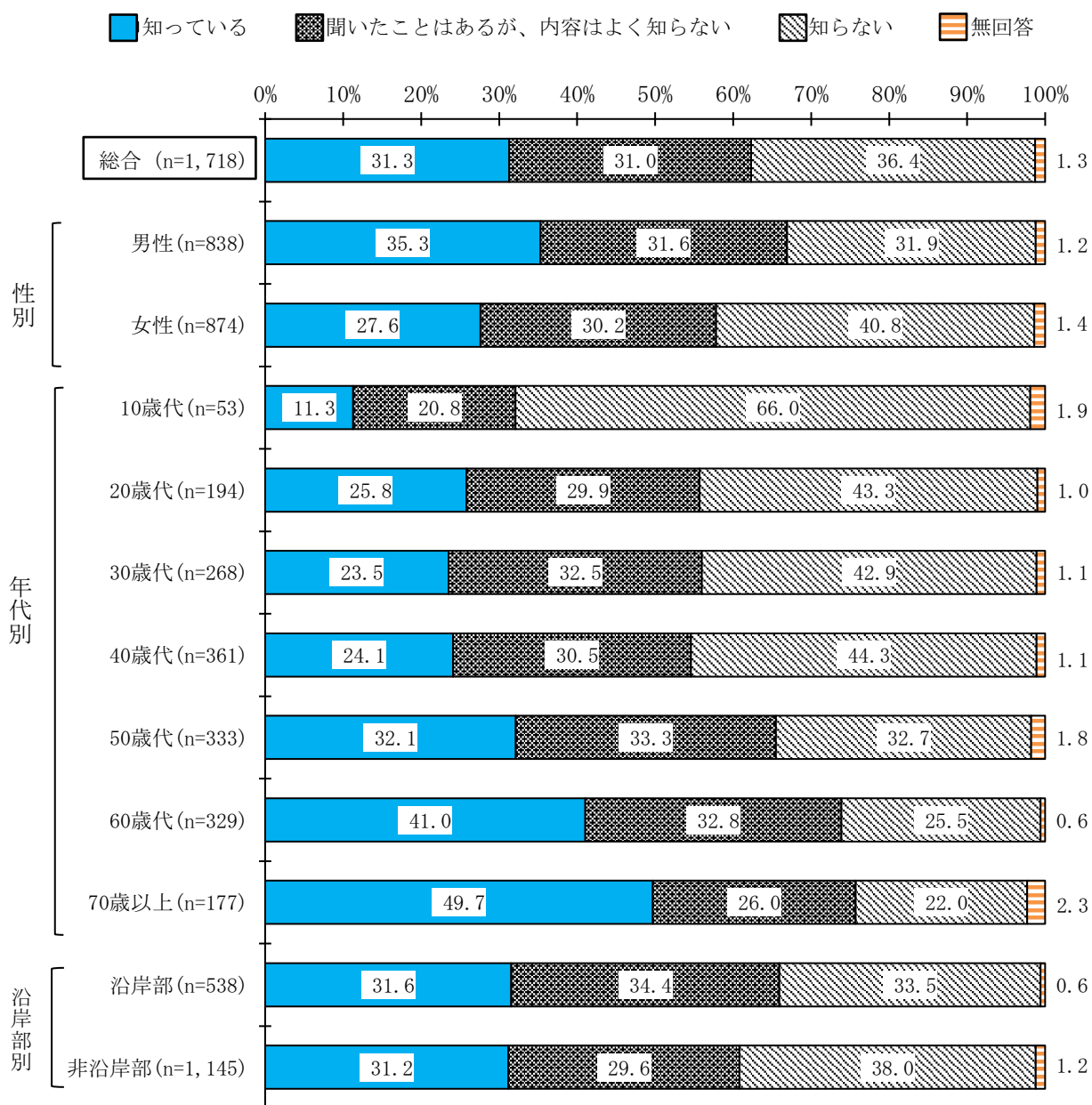
【性別】

男性では「知っている」が最も高く、「知らない」、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が続き、女性では「知らない」が最も高く、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」、「知っている」が続いている。

【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、40歳代では「知らない」が、50歳代では「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が、60歳代、70歳以上では「知っている」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》



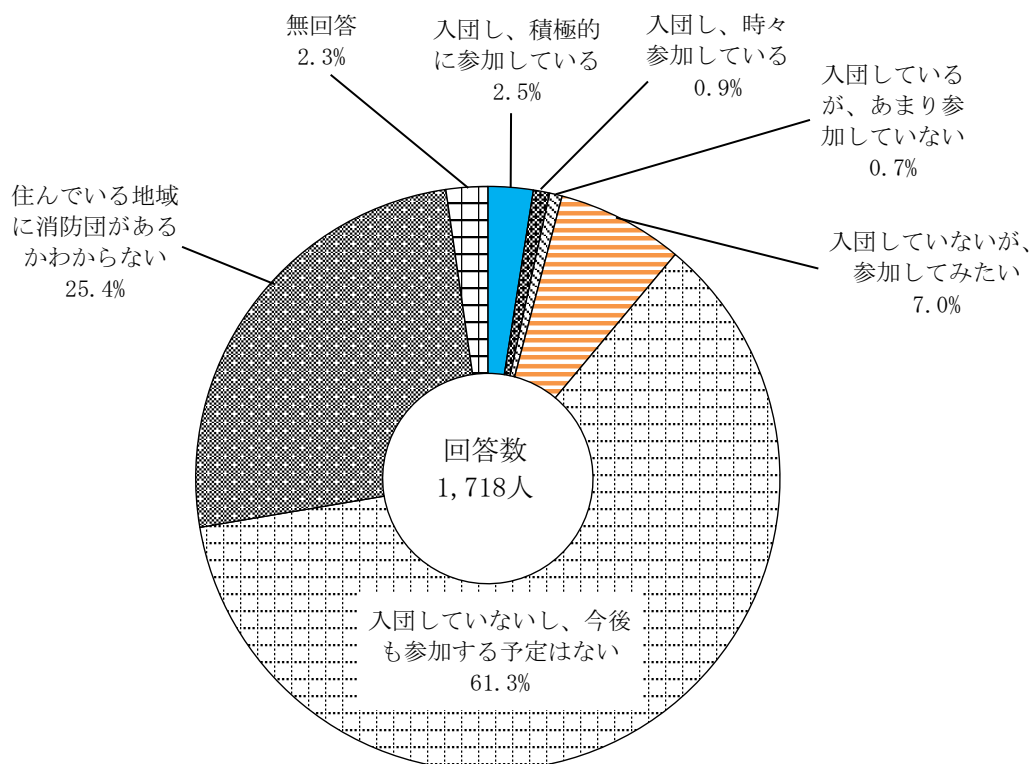
【消防団について】

問23 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(1つだけ○印)

【総合】 「入団していないし、今後も参加する予定はない」が61.3%で1位になっている。

次いで「住んでいる地域に消防団があるかわからない」が25.4%、「入団していないが、参加してみたい」が7.0%と続いている。

《 総合 》



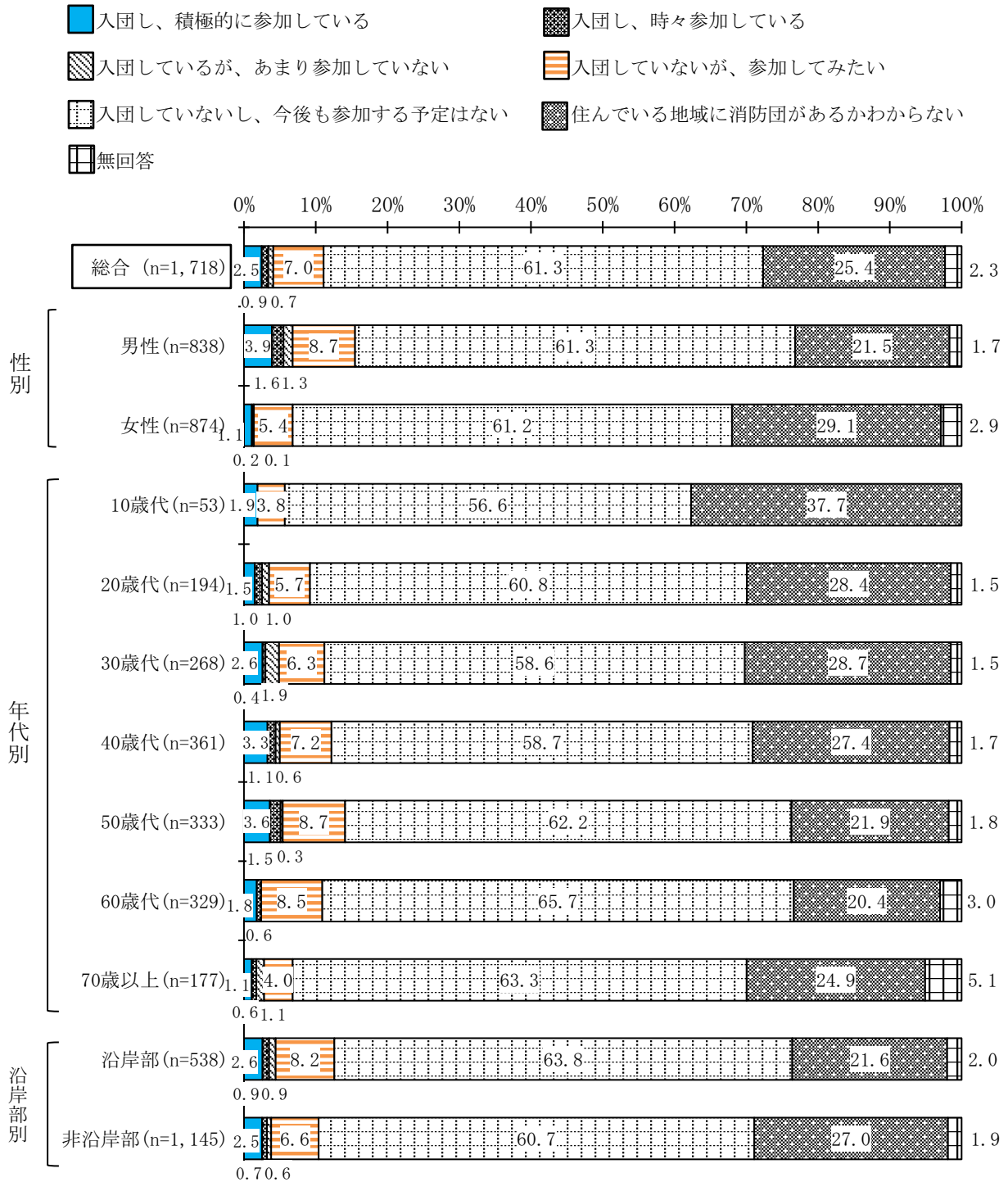
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「入団していないし、今後も参加する予定はない」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・沿岸部別 》

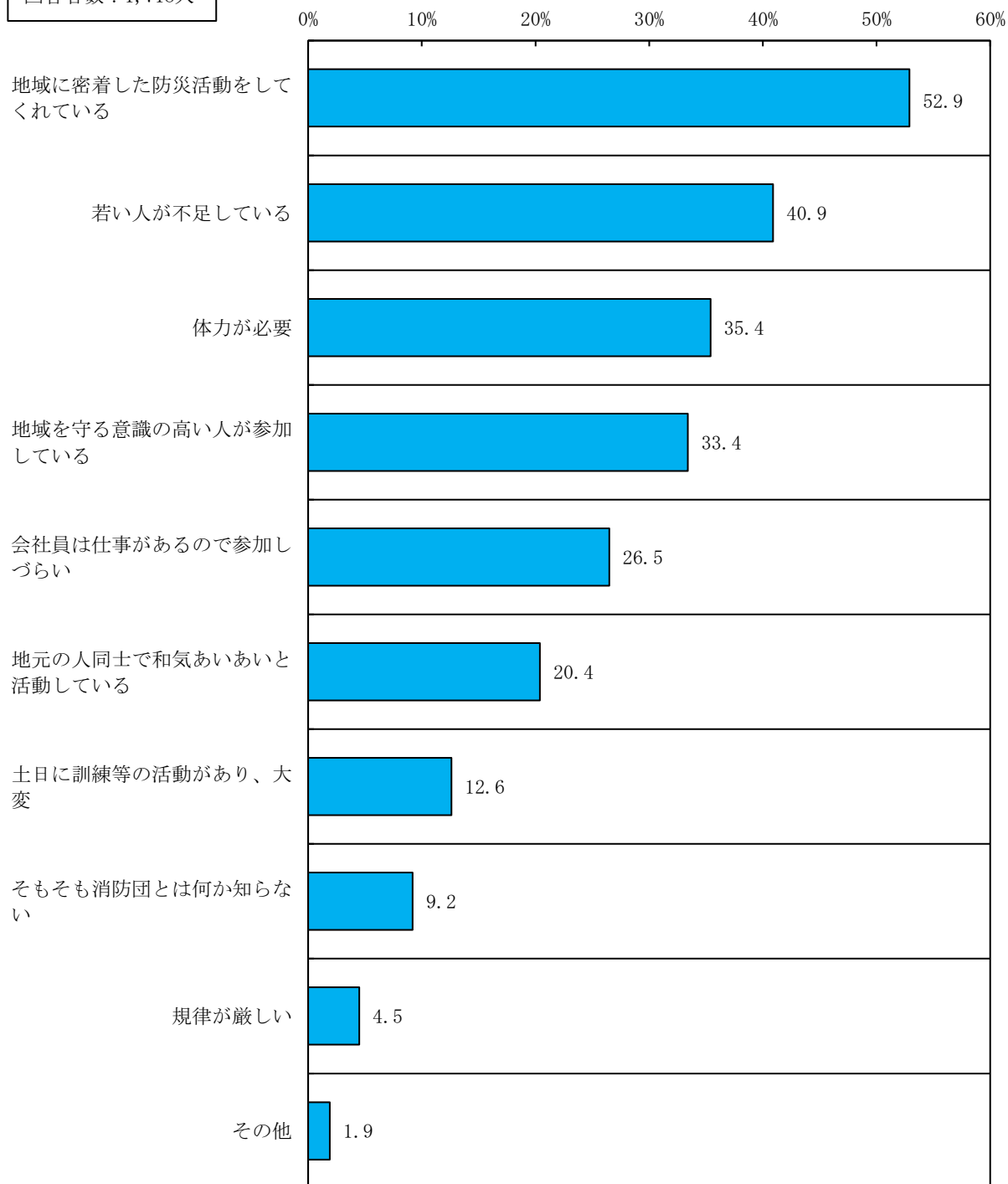


問24 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。（3つまで〇印）

【総合】 「地域に密着した防災活動をしている」が52.9%で1位になっている。
次いで「若い人が不足している」が40.9%、「体力が必要」が35.4%が続いている。

《 総 合 》

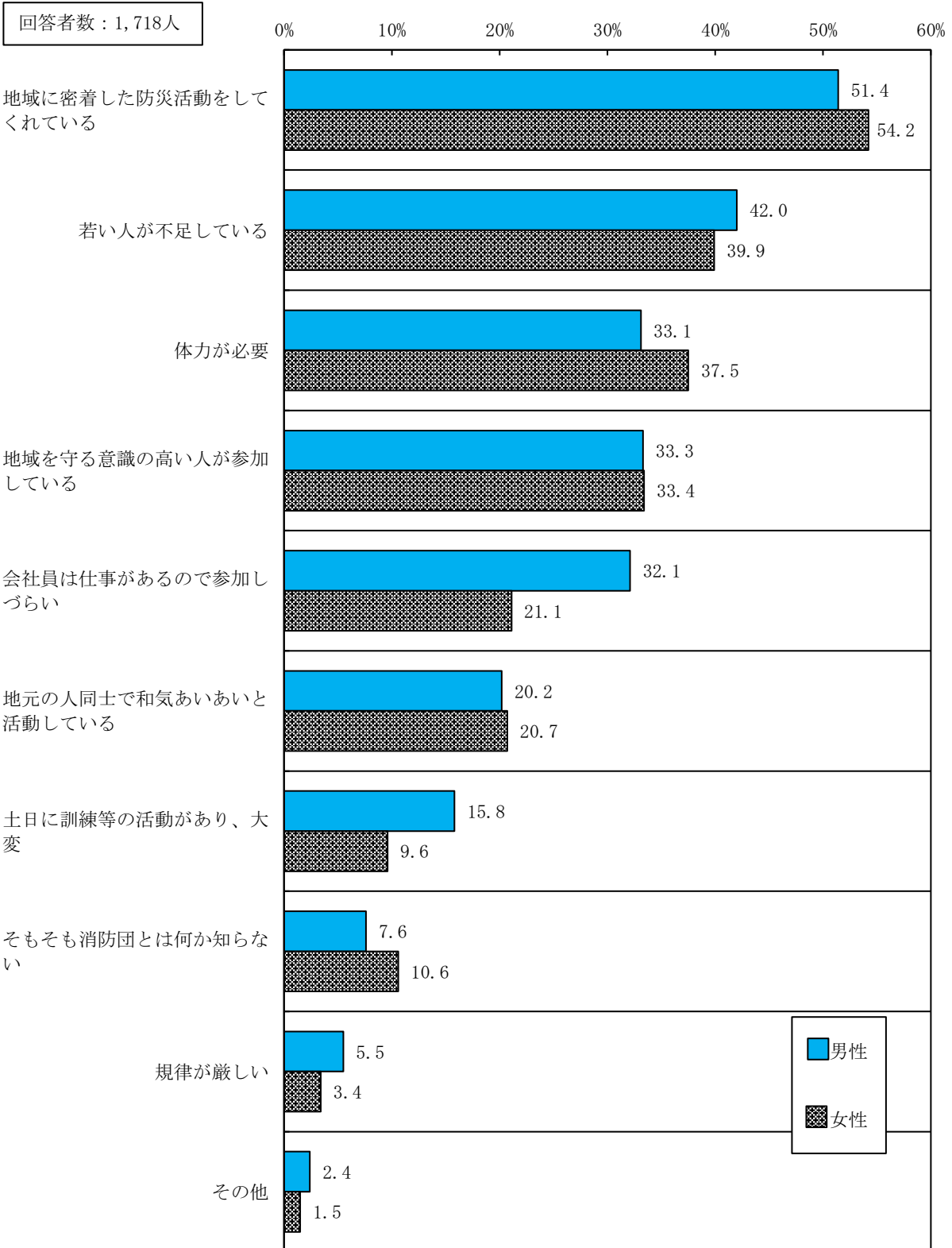
回答者数：1,718人



【性別】

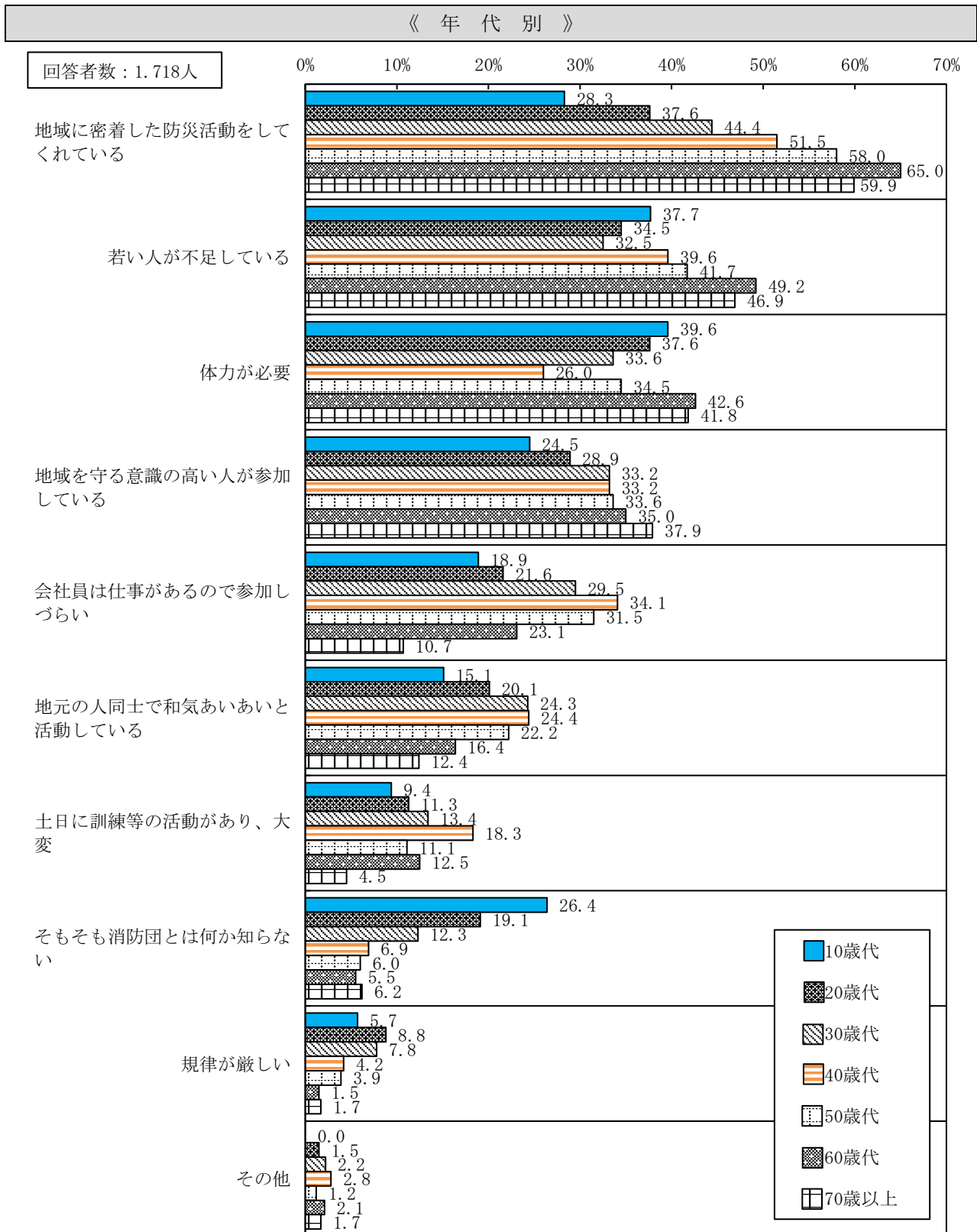
男女とも「地域に密着した防災活動をしてきている」が最も高く、男性では「若い人が不足している」、「地域を守る意識の高い人が参加している」が続く、女性では「若い人が不足している」、「体力が必要」が続いている。

《 性別 》



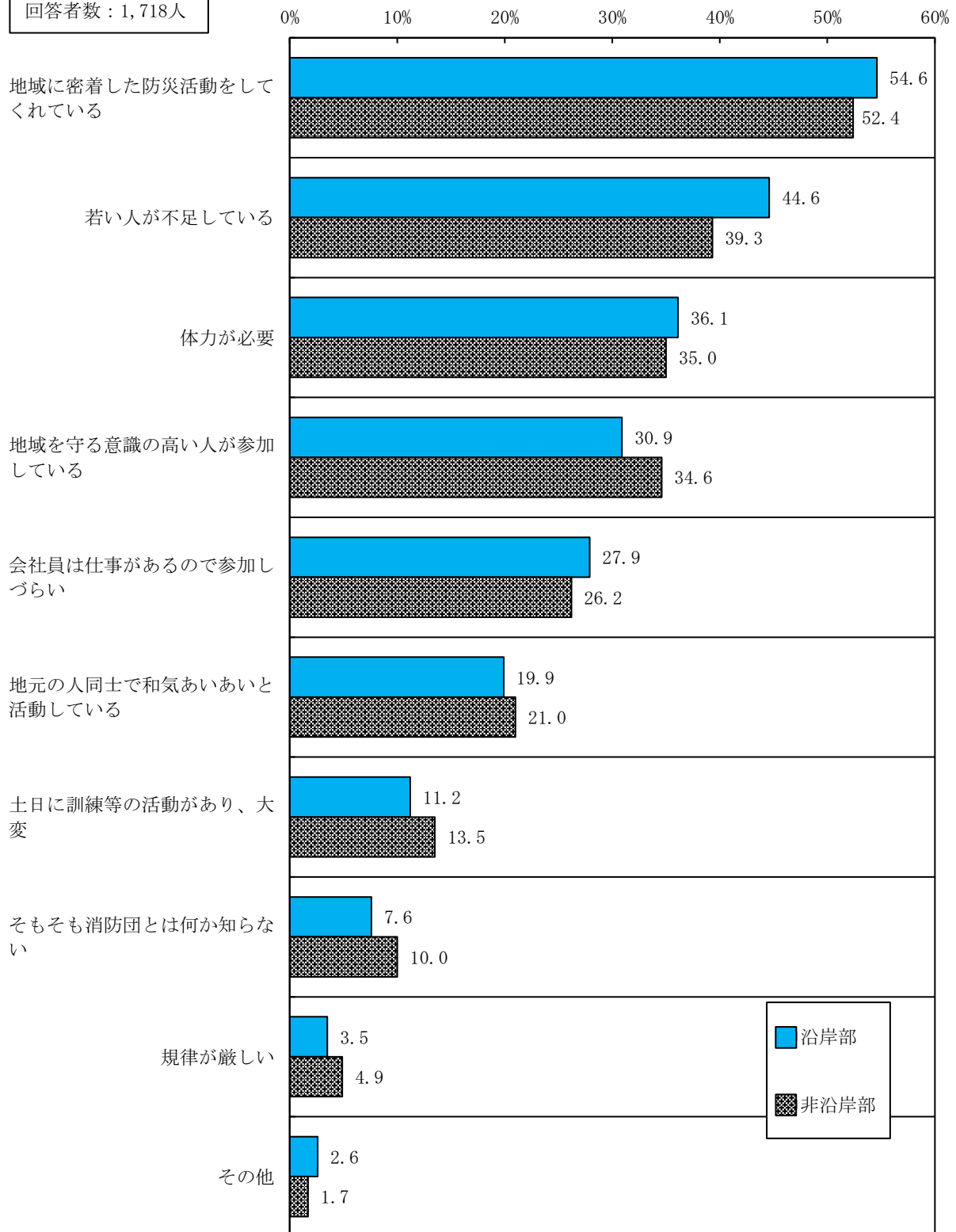
【年代別】

10歳代では「体力が必要」が、20歳代では同率で「地域に密着した防災活動をしてきている」と「体力が必要」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「地域に密着した防災活動をしてきている」が最も高くなっている。



《 沿岸部別 》

回答者数：1,718人



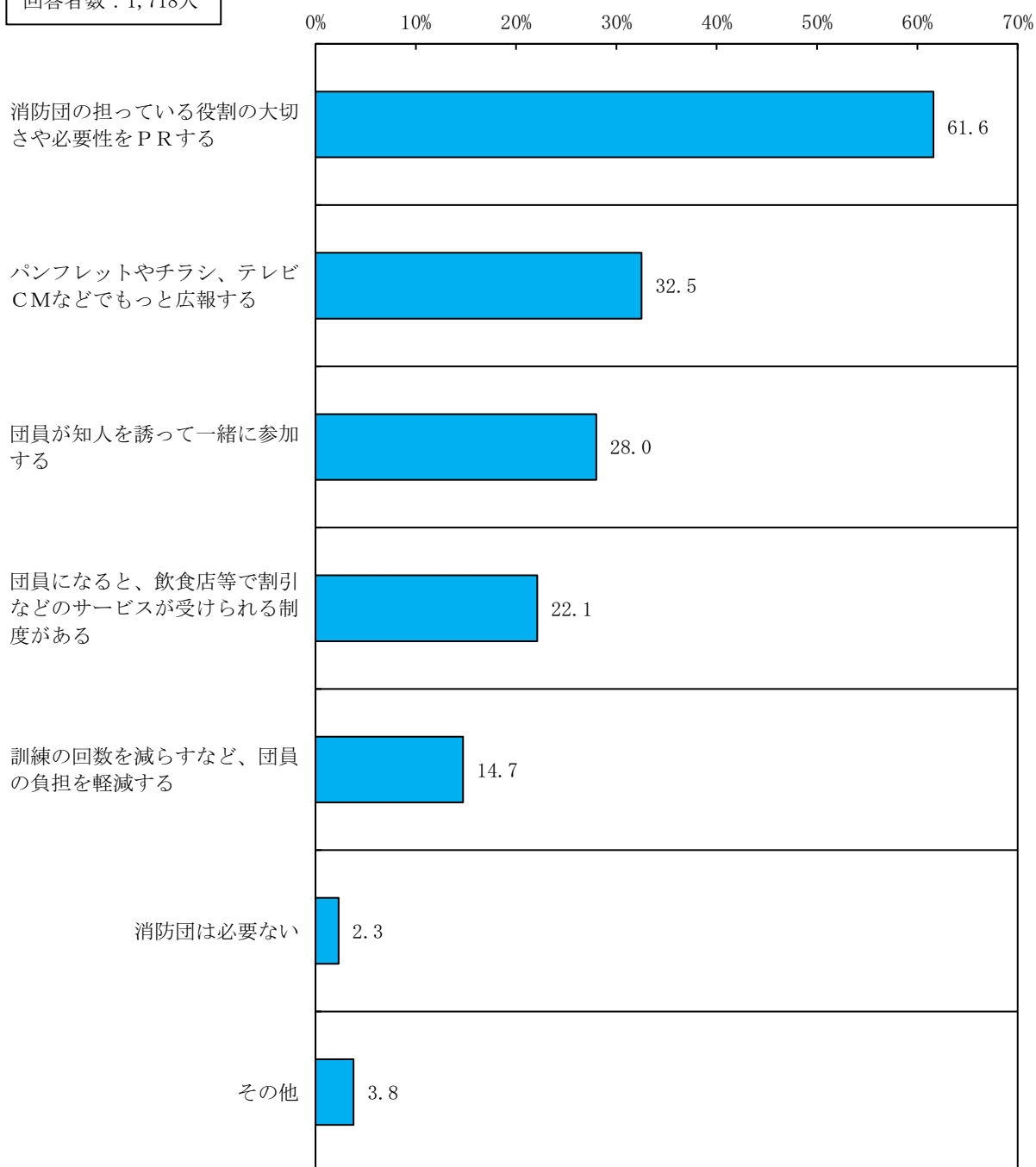
問25 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。（2つまで〇印）

【総合】 「消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする」が61.6%で1位になっている。

次いで「パンフレットやチラシ、テレビCMなどでもっと広報する」が32.5%、「団員が知人を誘って一緒に参加する」が28.0%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

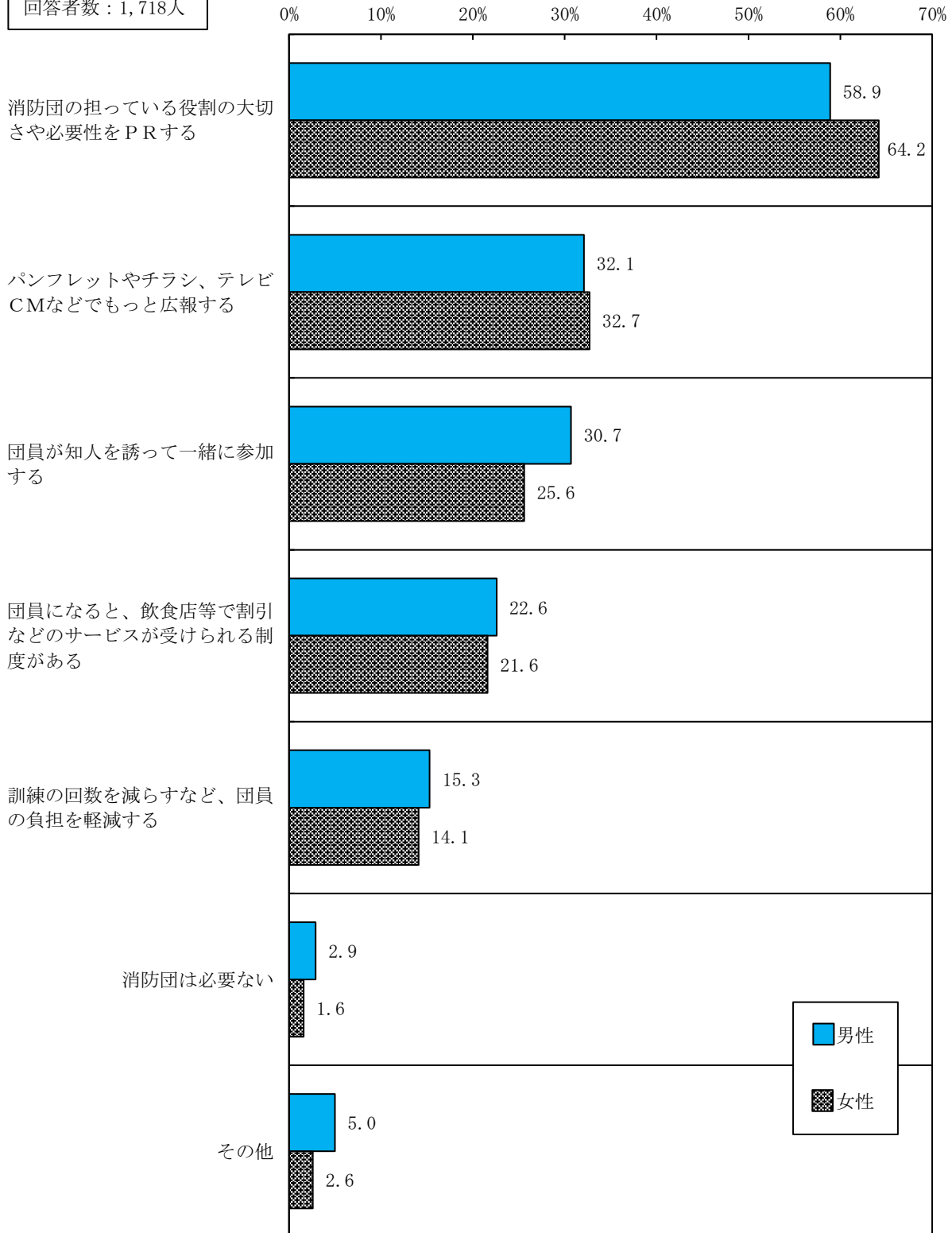


【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

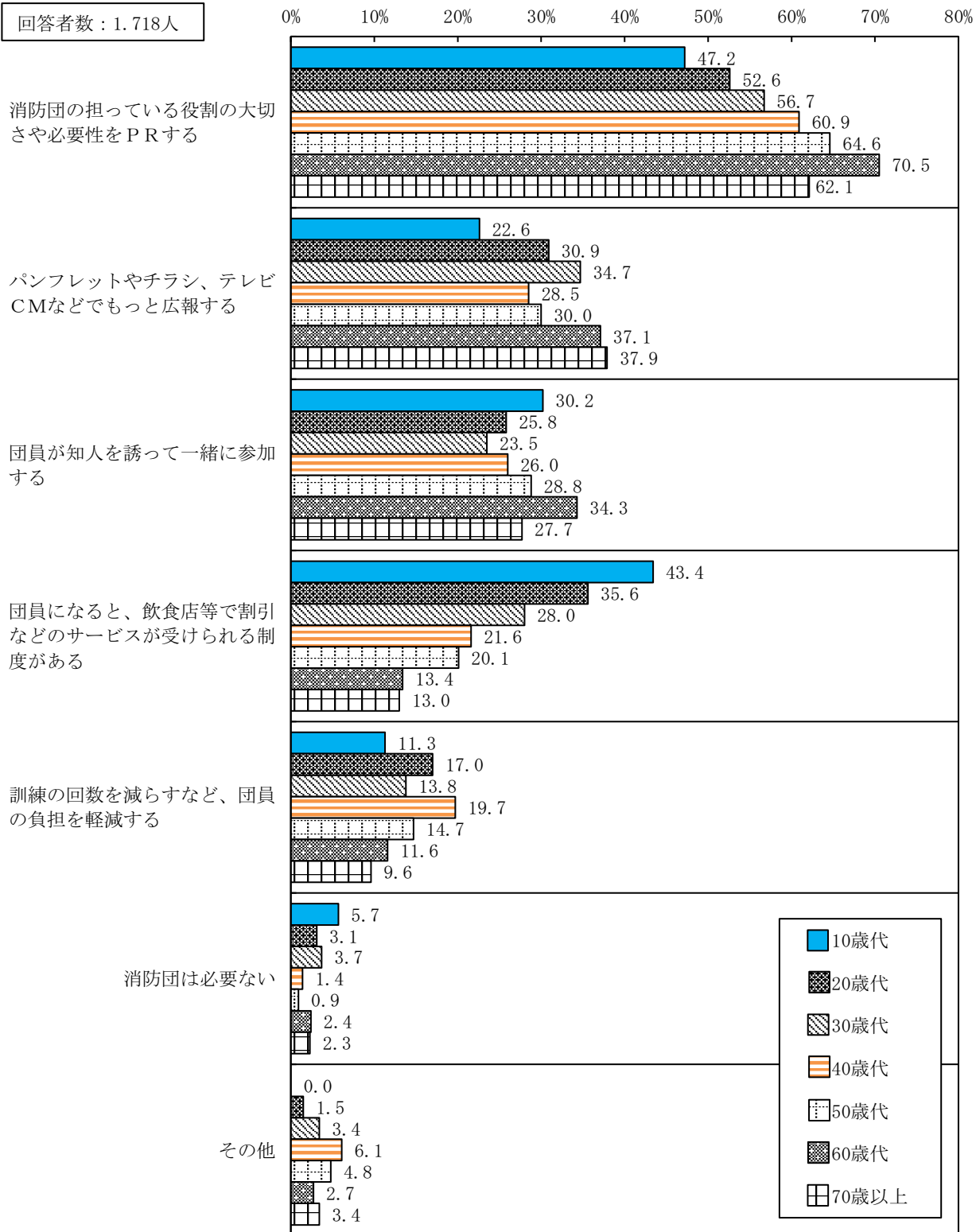


【年代別】

すべての年代で「消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする」が最も高くなっている。

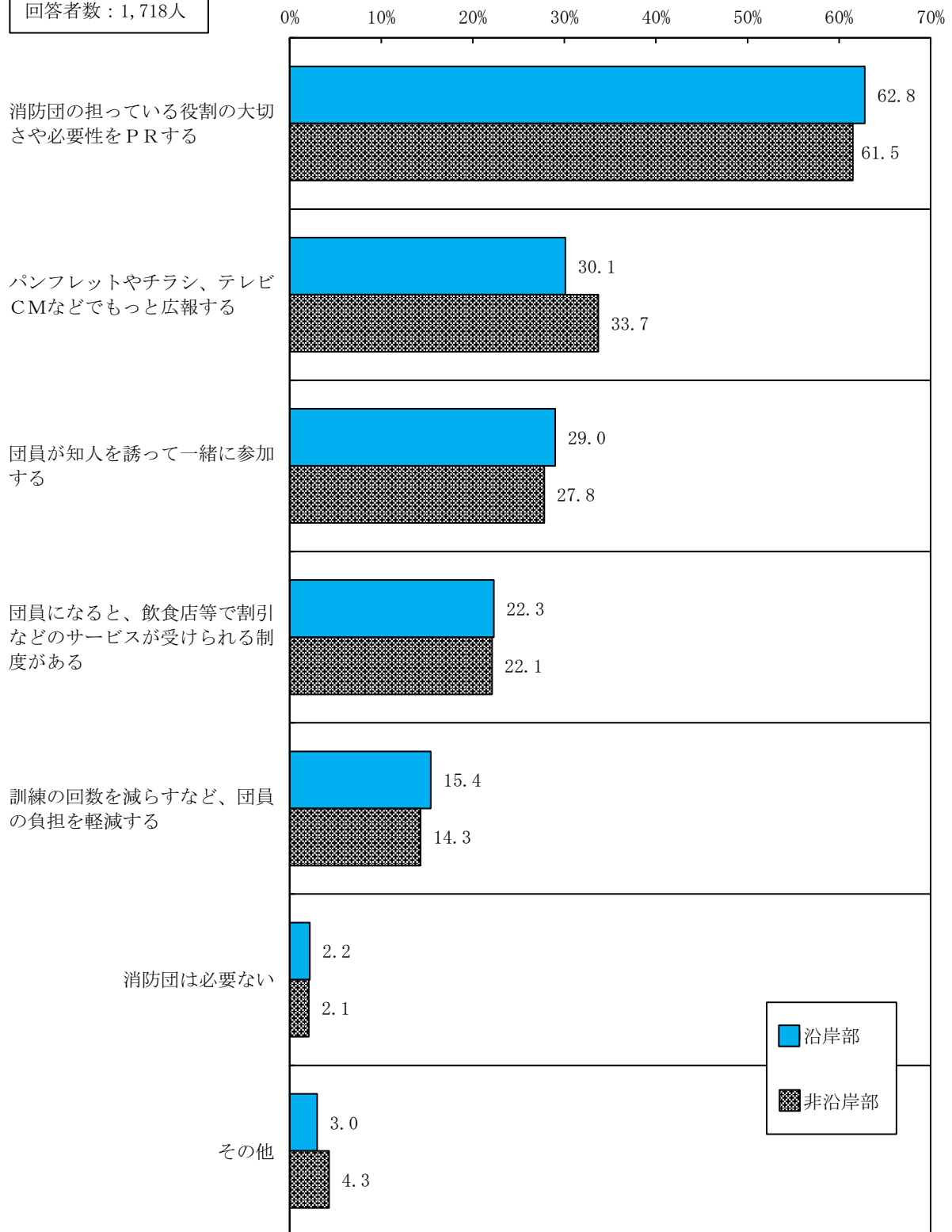
《 年代別 》

回答者数：1,718人



《 沿 岸 部 別 》

回答者数：1,718人



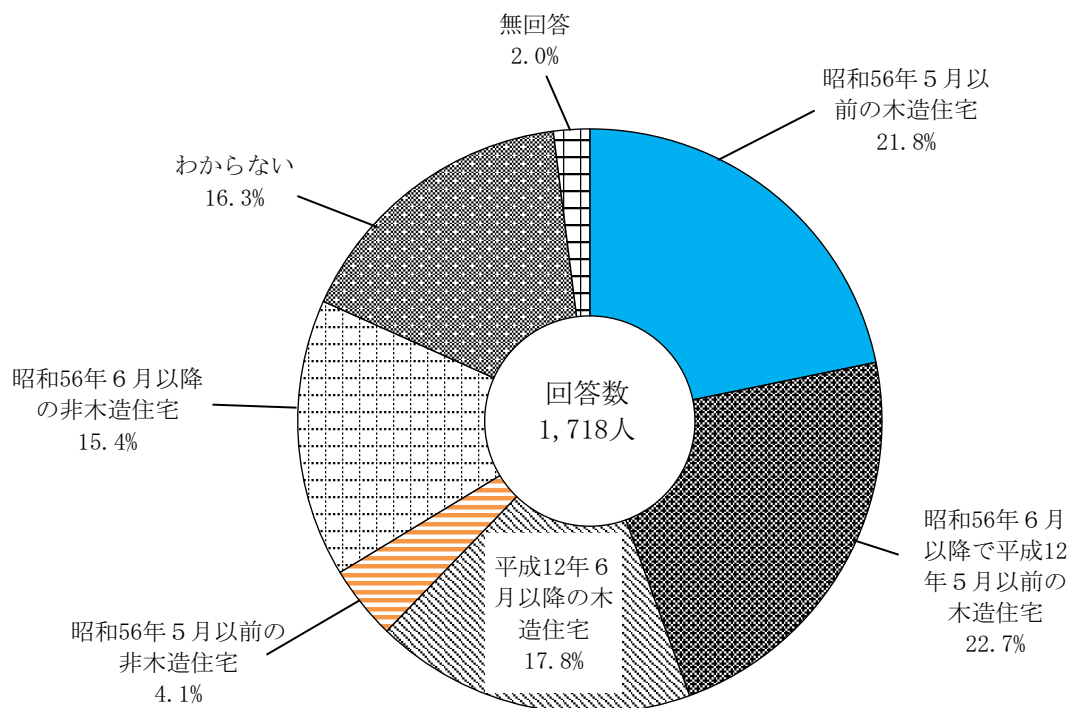
【住宅の耐震化について】

問 26 あなたのお住まい（持家、借家に関わらず）の建築年と構造をお答えください。増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。（1つだけ○印）

【総合】 「昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅」が22.7%で1位となっている。

次いで「昭和56年5月以前の木造住宅」が21.8%、「平成12年6月以降の木造住宅」が17.8%と続いている。

《 総 合 》



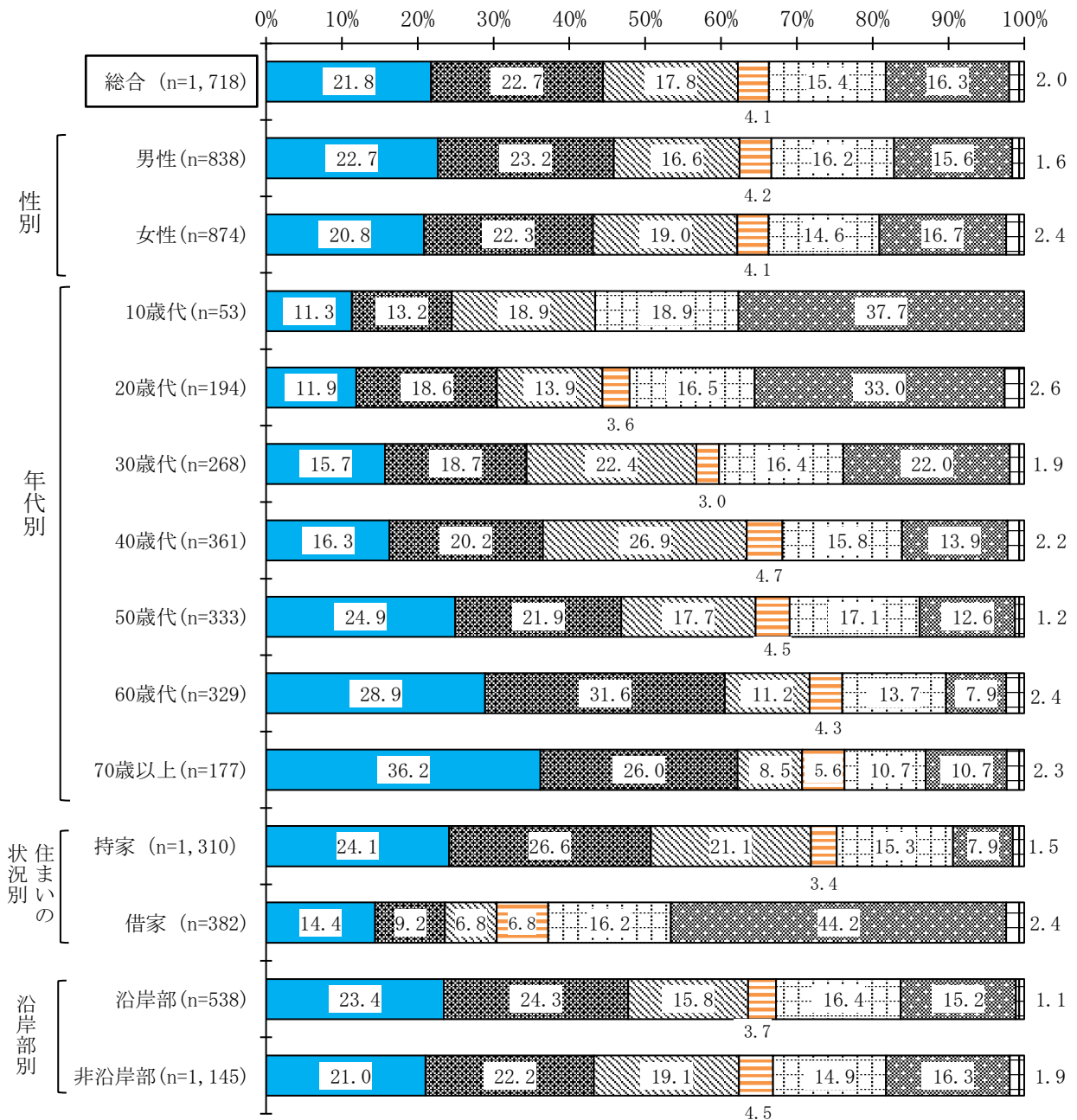
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

10歳代、20歳代では「わからない」が、30歳代、40歳代では「平成12年6月以降の木造住宅」が、50歳代、70歳以上では「昭和56年5月以前の木造住宅」が、60歳代では「昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・住まいの状況別・沿岸部別 》

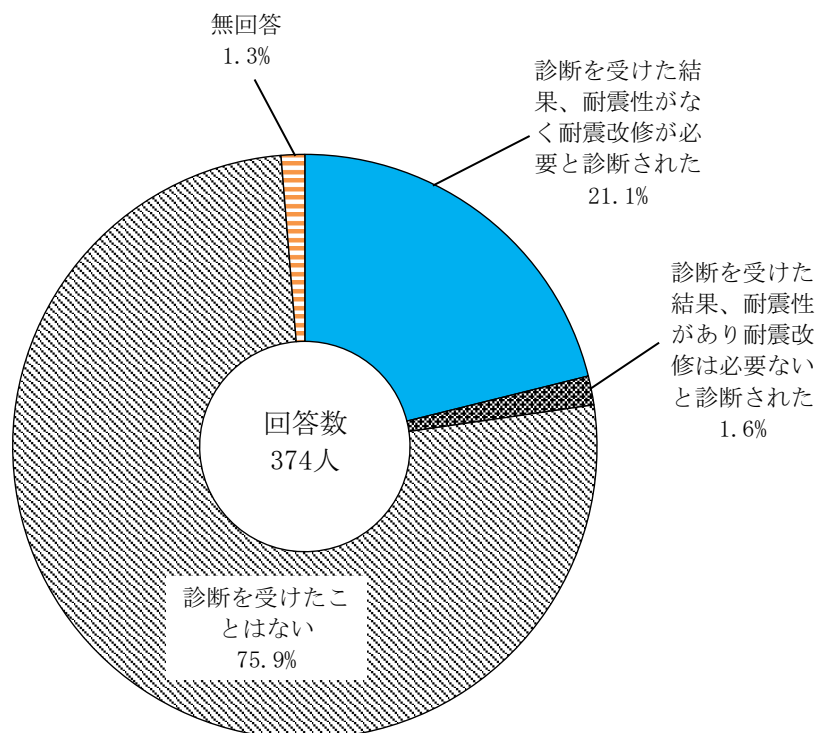


副問1（問26で「1 昭和56年5月以前の木造住宅」を選んだ方のみお答えください。）
専門家による耐震診断（地震の揺れに対する建物の強さの診断）を受けたことがありますか、
また、その結果はどうでしたか。（1つだけ〇印）

【総合】 「診断を受けたことはない」が75.9%で1位となっている。

次いで「診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」が21.1%、「診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された」が1.6%となっている。

《 総 合 》



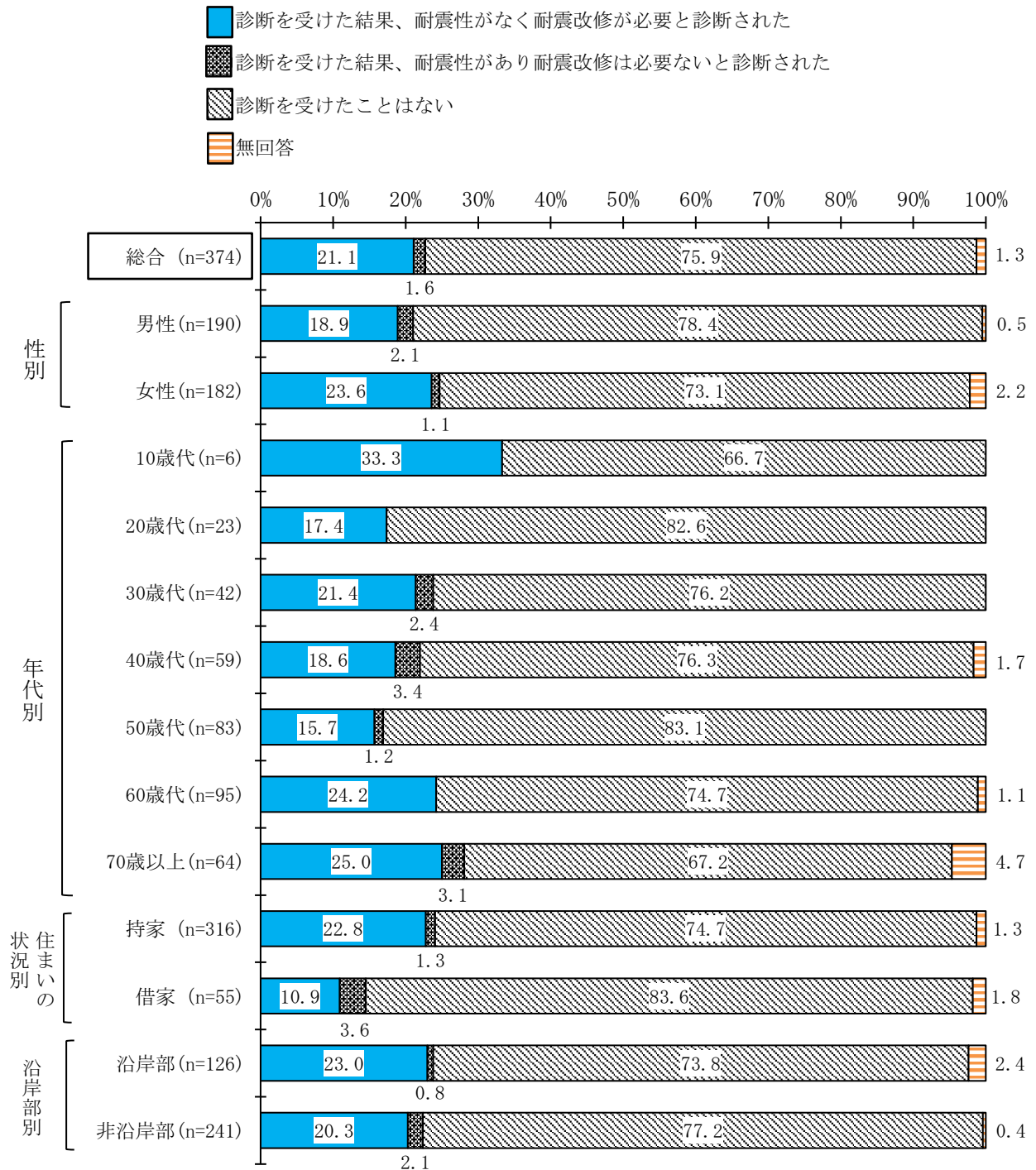
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「診断を受けたことはない」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・住まいの状況別・沿岸部別 》

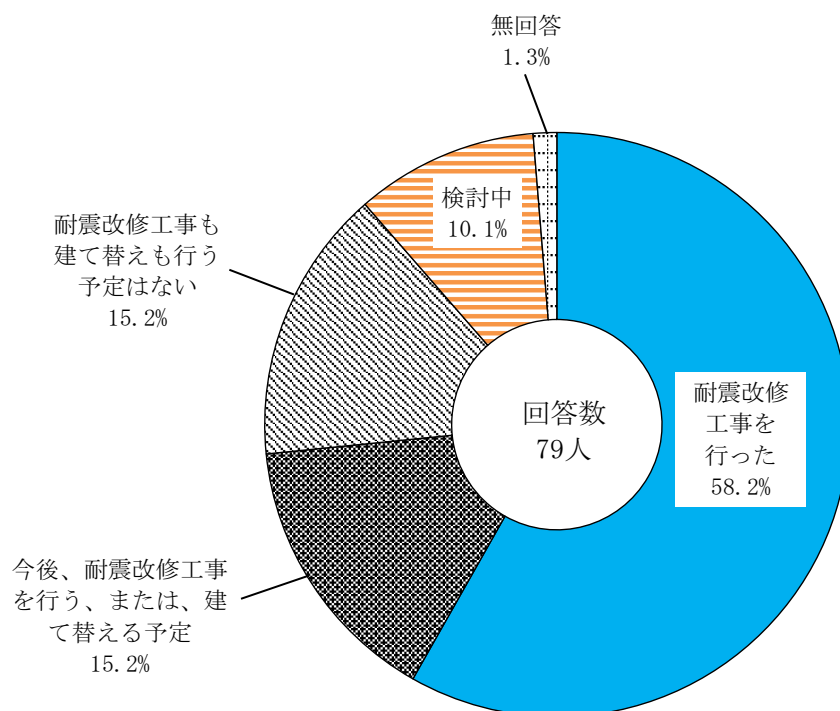


副問2（副問1で「1 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」を選んだ方のみお答えください。）
耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。（1つだけ○印）

【総合】 「耐震改修工事を行った」が58.2%で1位となっている。

次いで「今後、耐震改修工事を行う、または、建て替える予定」と「耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」が同率の15.2%で続いている。

《 総 合 》



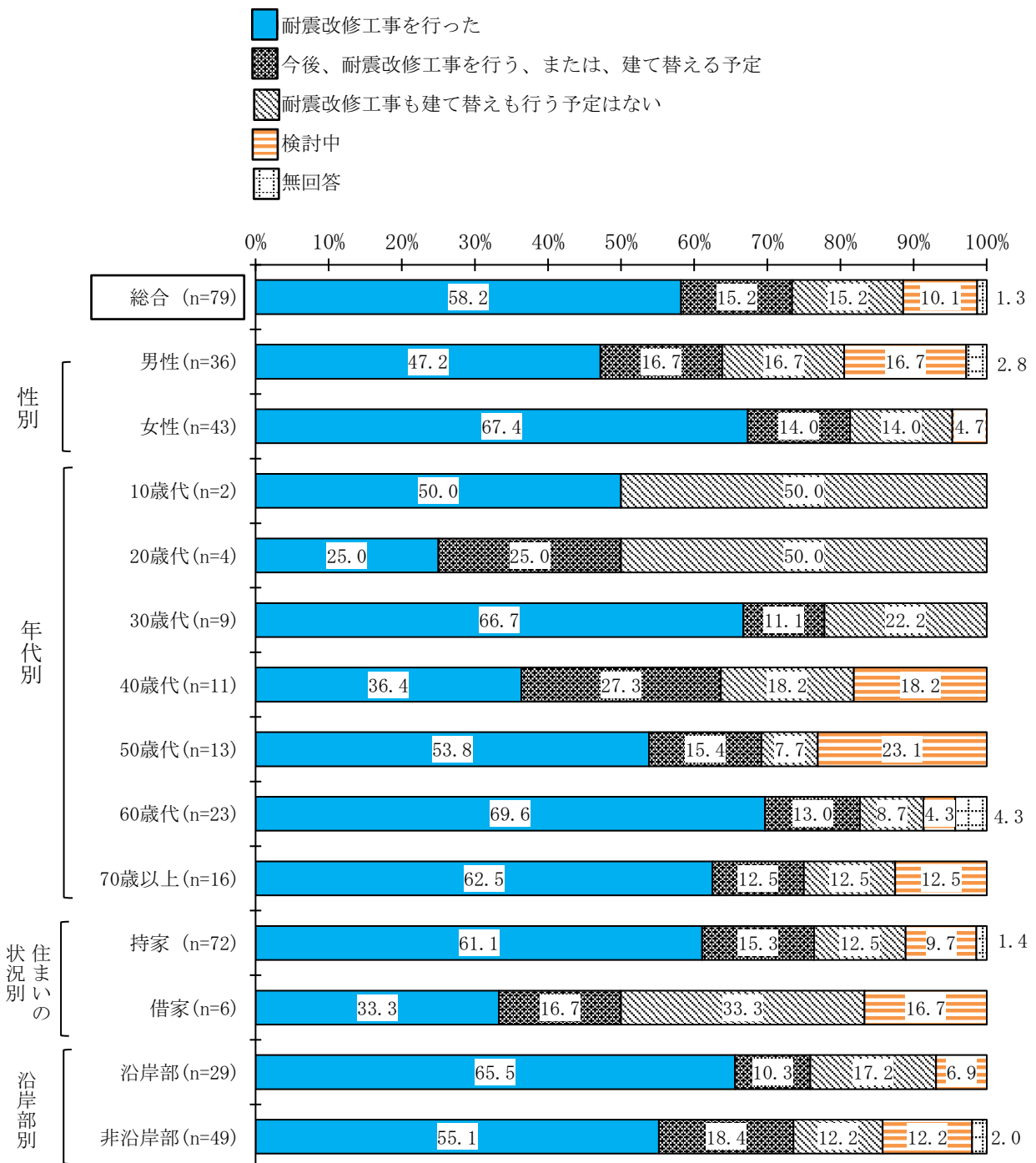
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

10歳代では同率で「耐震改修工事を行った」と「耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」が、20歳代では「耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「耐震改修工事を行った」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・住まいの状況別・沿岸部別 》



副問3（副問1で「3 診断を受けたことはない」を選んだ方のみお答えください。）

耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。

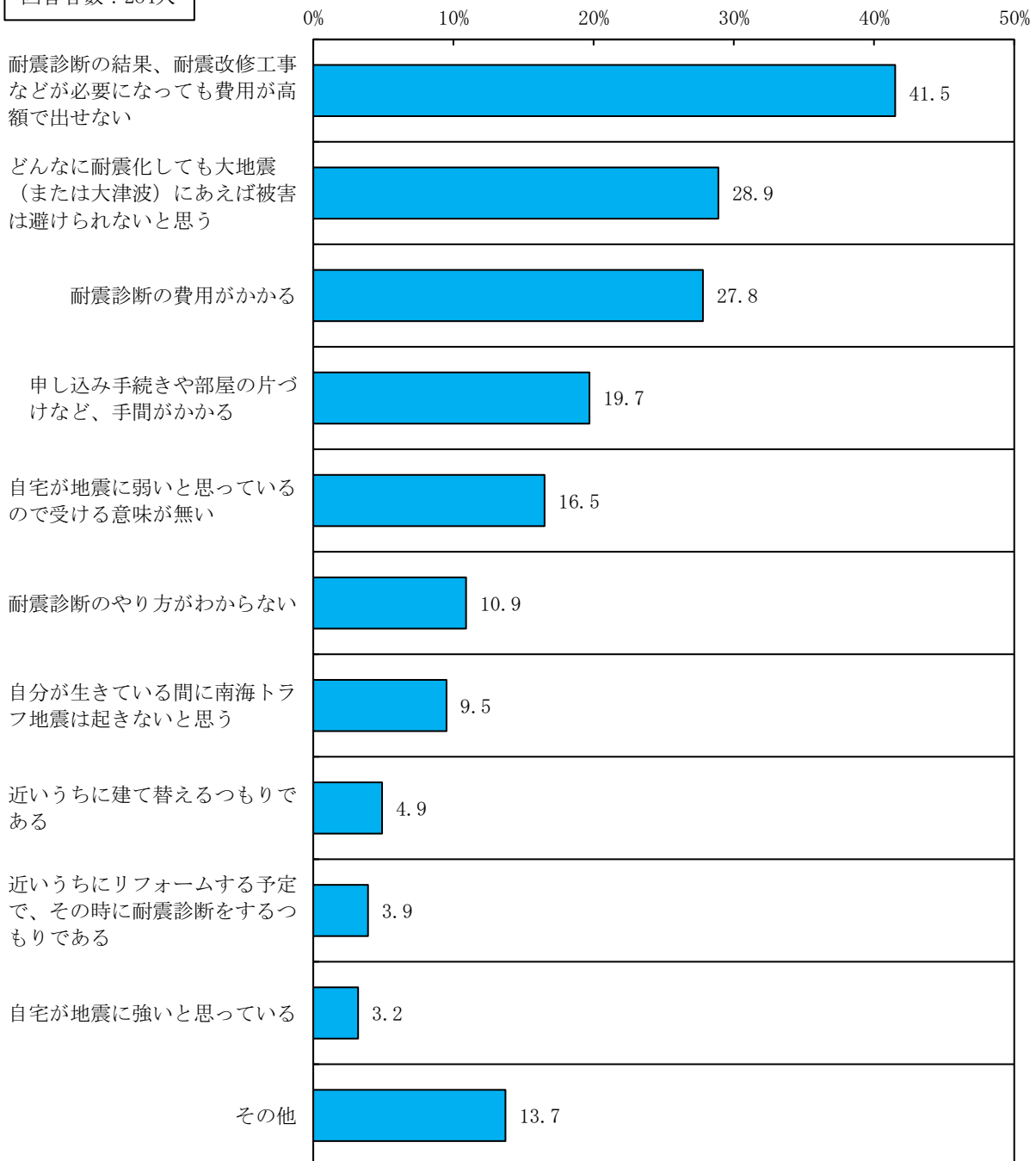
（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が41.5%で1位になっている。

次いで「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」が28.9%、「耐震診断の費用がかかる」が27.8%と続いている。

《 総 合 》

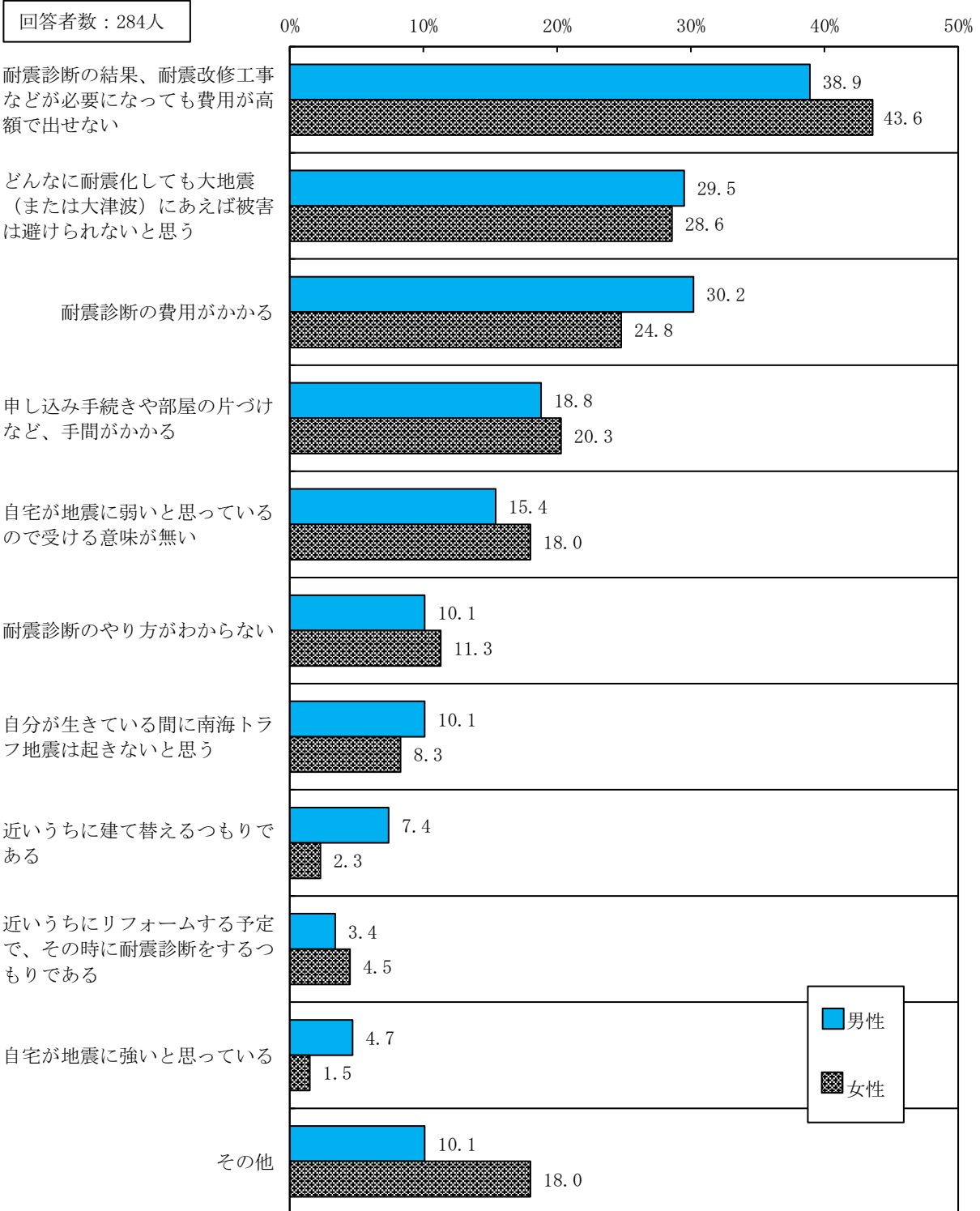
回答者数：284人



【性別】

男女とも「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が最も高くなっている。次いで、男性では「耐震診断の費用がかかる」が、女性では「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」が続いている。

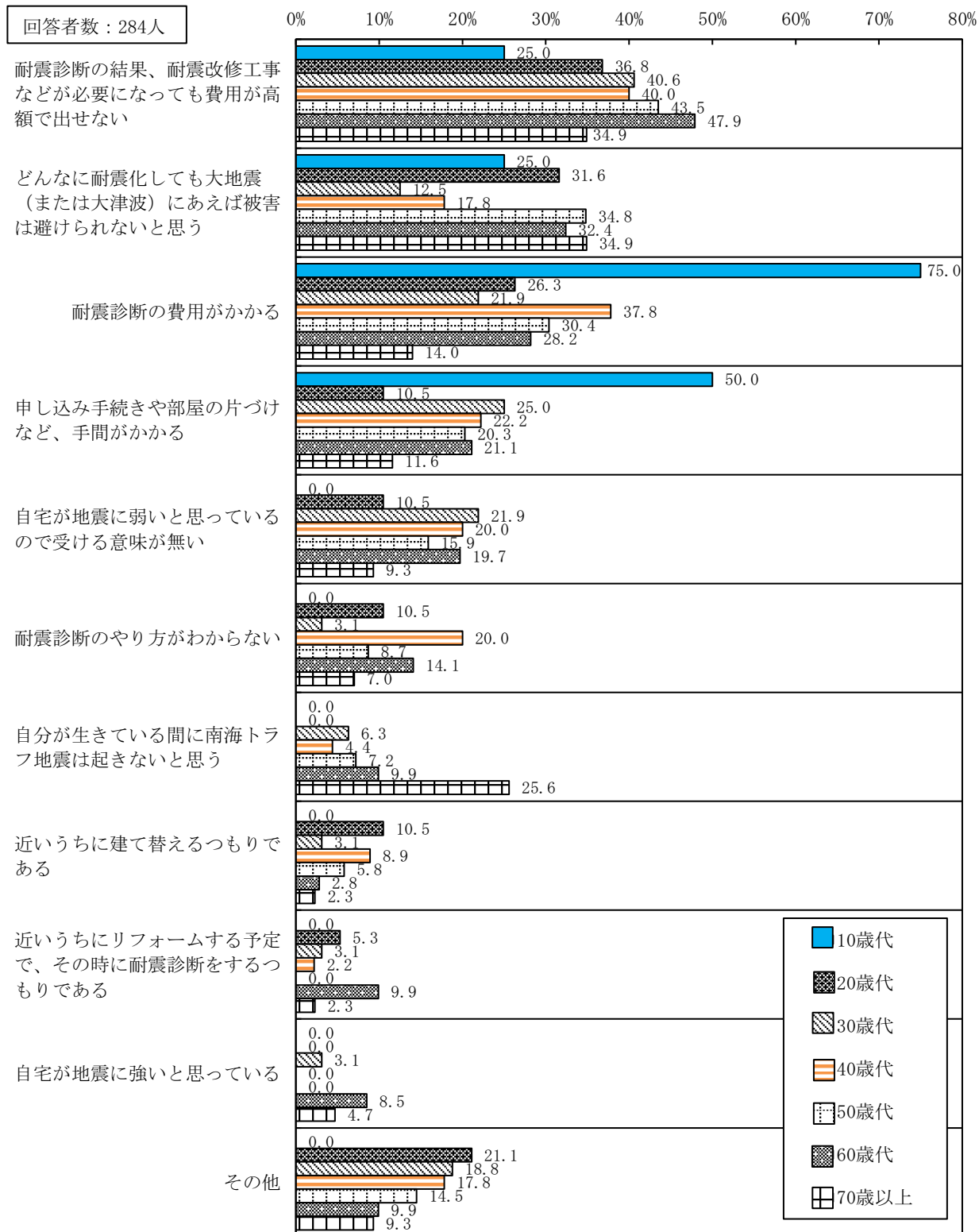
《 性別 》



【年代別】

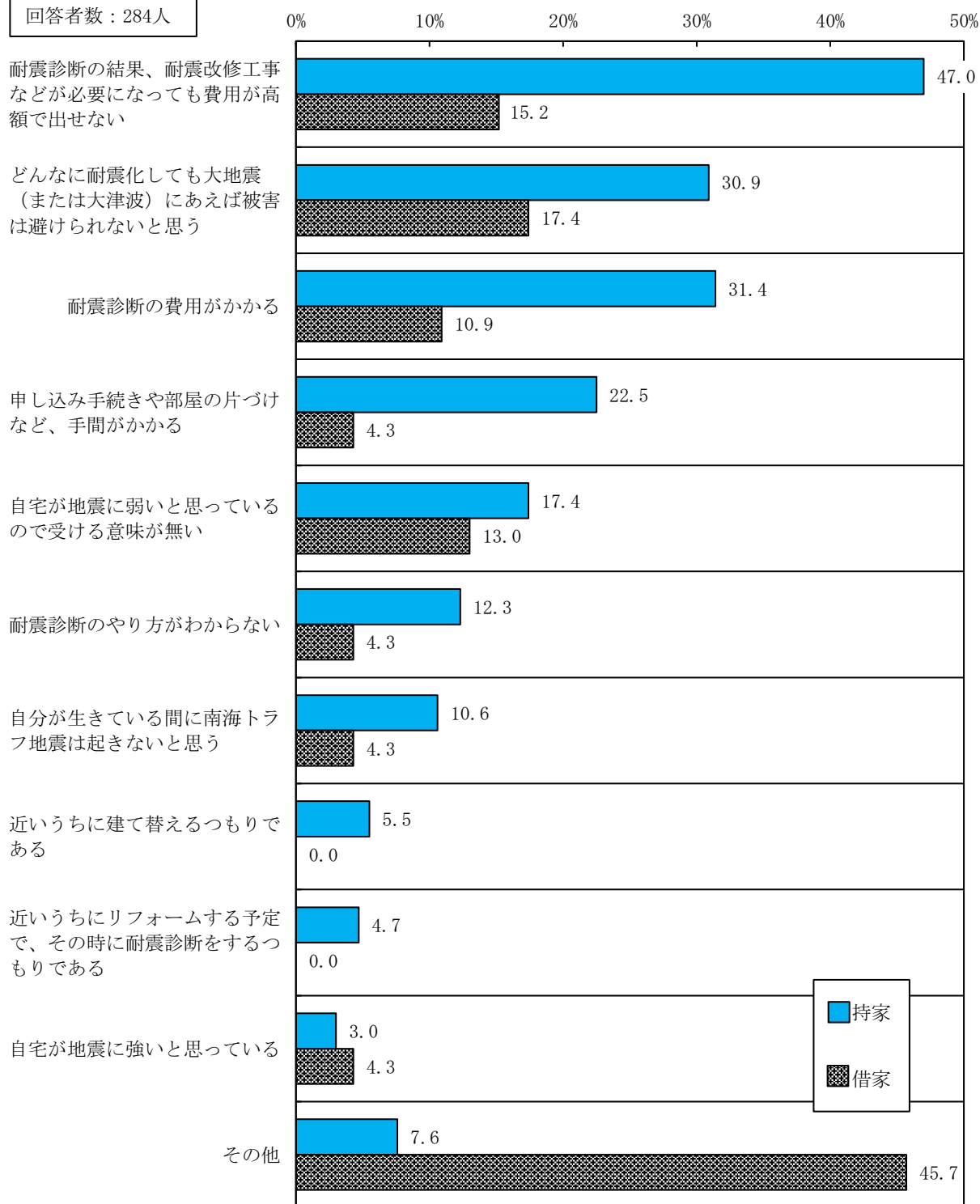
10歳代では「耐震診断の費用がかかる」が、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が、70歳以上では同率で「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」と「どんなに耐震化しても大地震(または大津波)にあえば被害は避けられないと思う」が最も高くなっている。

《 年代別 》



《 住まいの状況別 》

回答者数：284人

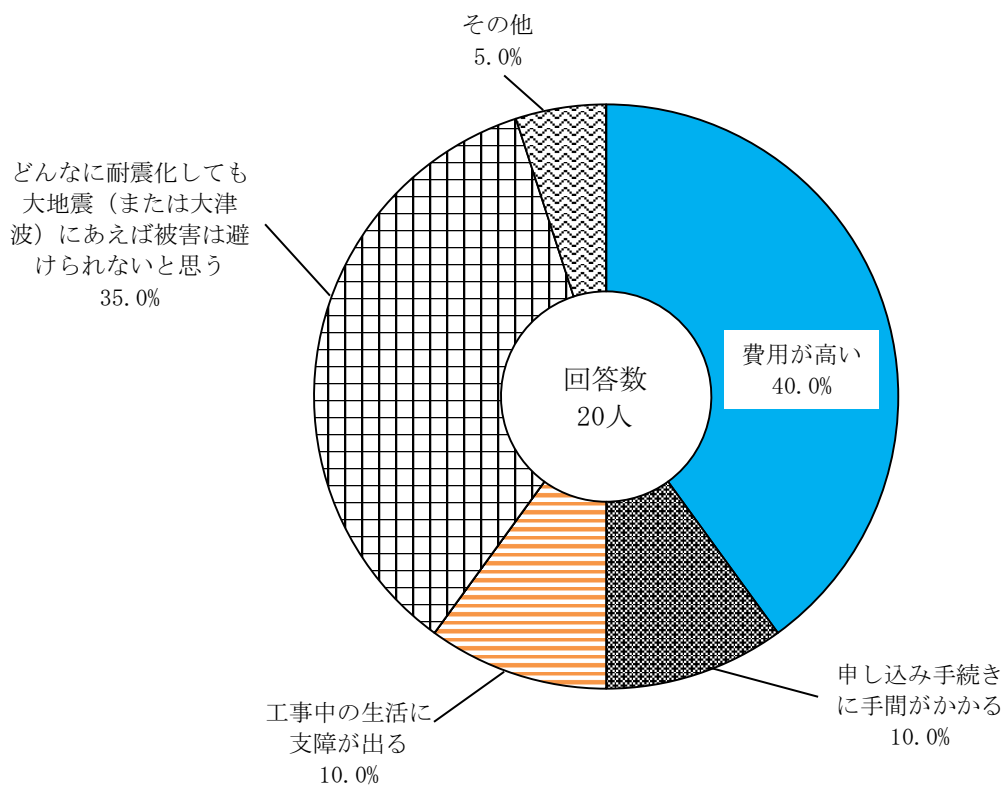


副問4（副問2で「3 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」・「4 検討中」を選んだ方のみお答えください。）
耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。（1つだけ○印）

【総合】 「費用が高い」が40.0%で1位となっている。

次いで「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」が35.0%、同率で「申し込み手続きに手間がかかる」と「工事中の生活に支障が出る」が10.0%と続いている。

《 総合 》



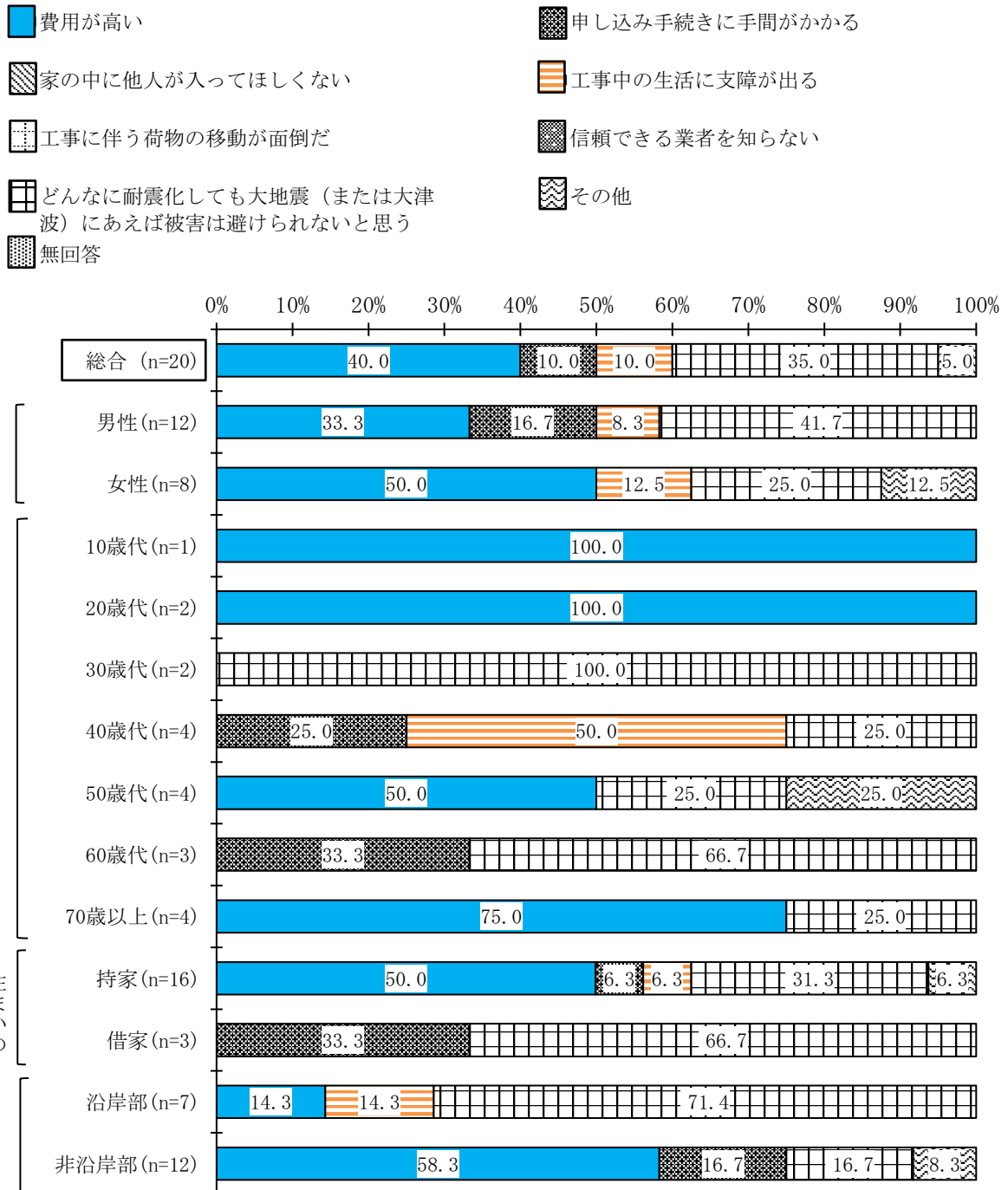
【性別】

男性は「どんなに耐震化しても大地震(または大津波)にあえば被害は避けられないと思う」が最も高く、「費用が高い」、「申し込み手続きに手間がかかる」と続き、女性は「費用が高い」が最も高く、「どんなに耐震化しても大地震(または大津波)にあえば被害は避けられないと思う」、「工事中の生活に支障が出る」と続いている。

【年代別】

10歳代、20歳代、50歳代、70歳以上では「費用が高い」が、30歳代、60歳代では「どんなに耐震化しても大地震(または大津波)にあえば被害は避けられないと思う」が、40歳代では「工事中の生活に支障が出る」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・住まいの状況別・沿岸部別 》



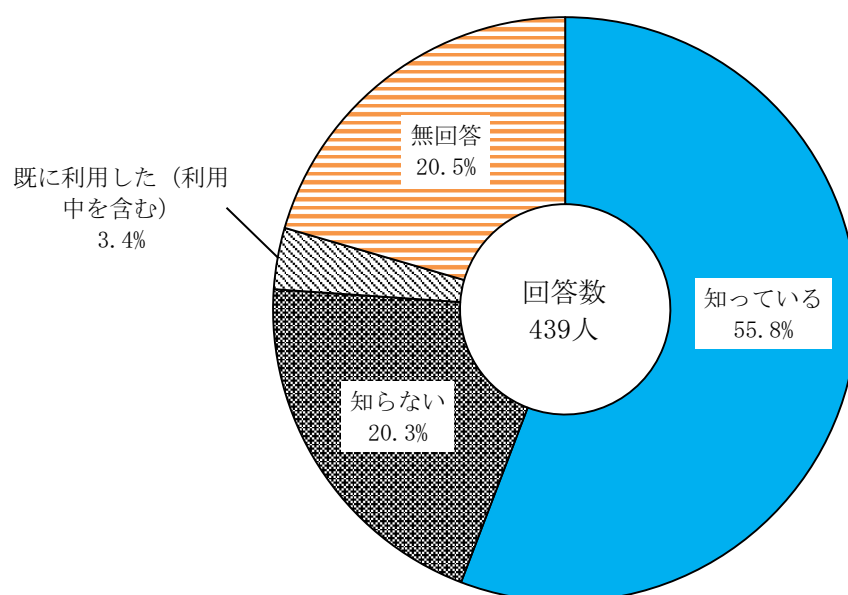
副問5（各問から副問5へ誘導された方のみお答えください。）

県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますが、ご存じですか。（1つだけ○印）

【総合】 「知っている」が55.8%で1位となっている。

次いで「知らない」が20.3%、「既に利用した(利用中を含む)」が3.4%と続いている。

《 総 合 》



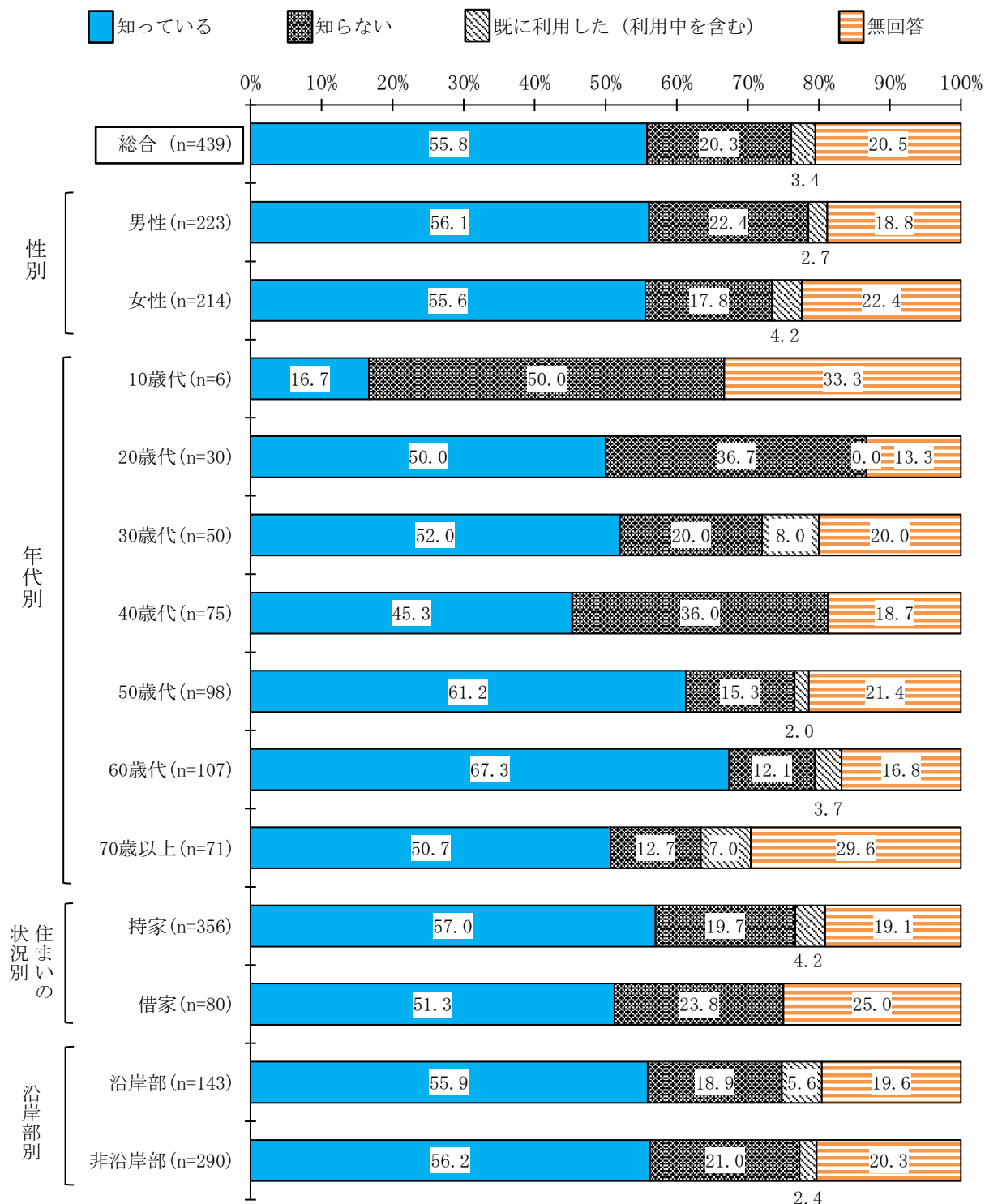
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「知っている」が、10歳代では「知らない」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・住まいの状況別・沿岸部別 》



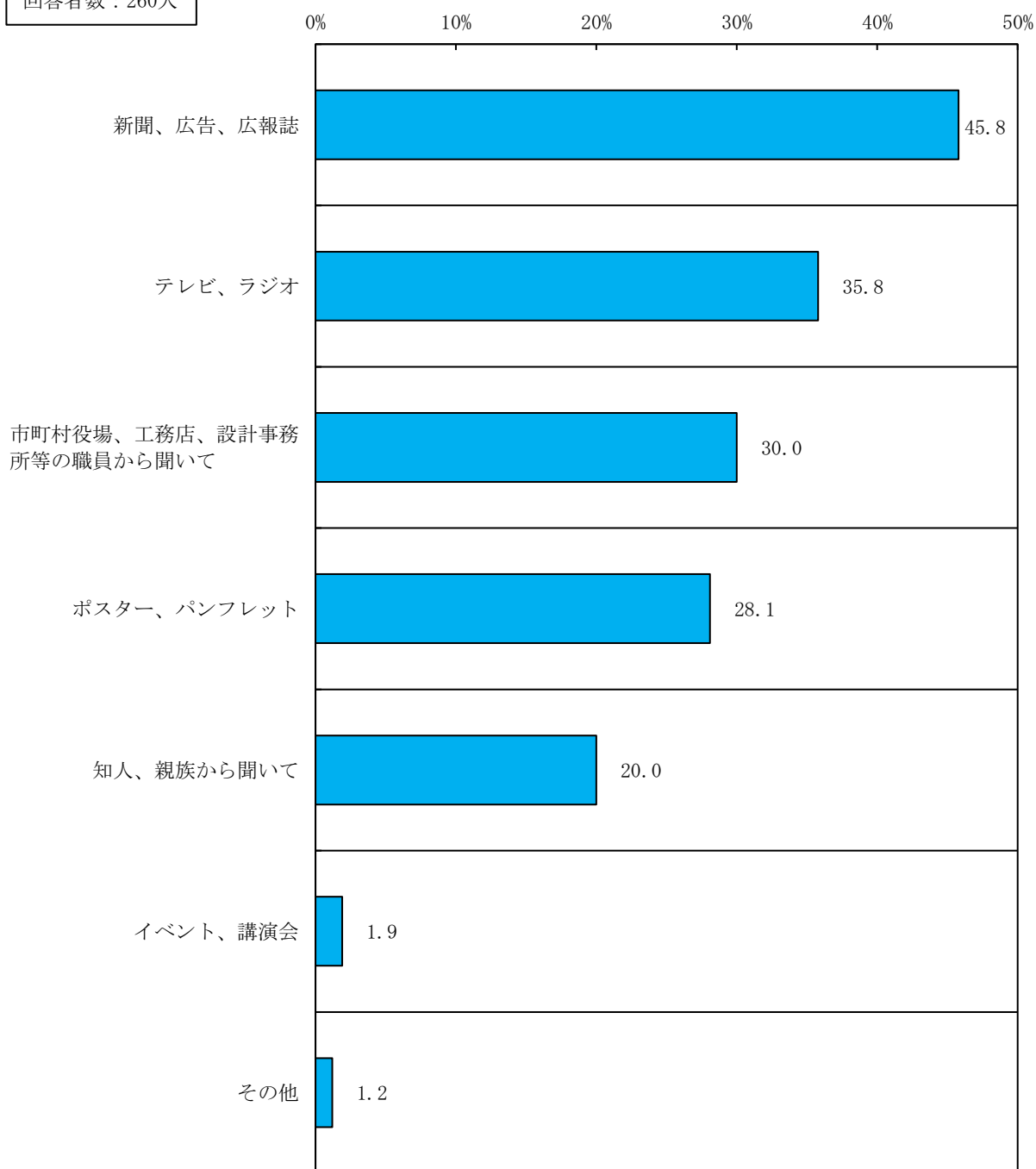
副問6（副問5で「1 知っている」・「3 既に利用した（利用中を含む）」を選んだ方のみお答えください。）
どのようにしてこの補助制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「新聞、広告、広報誌」が45.8%で1位になっている。

次いで「テレビ、ラジオ」が35.8%、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が30.0%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：260人

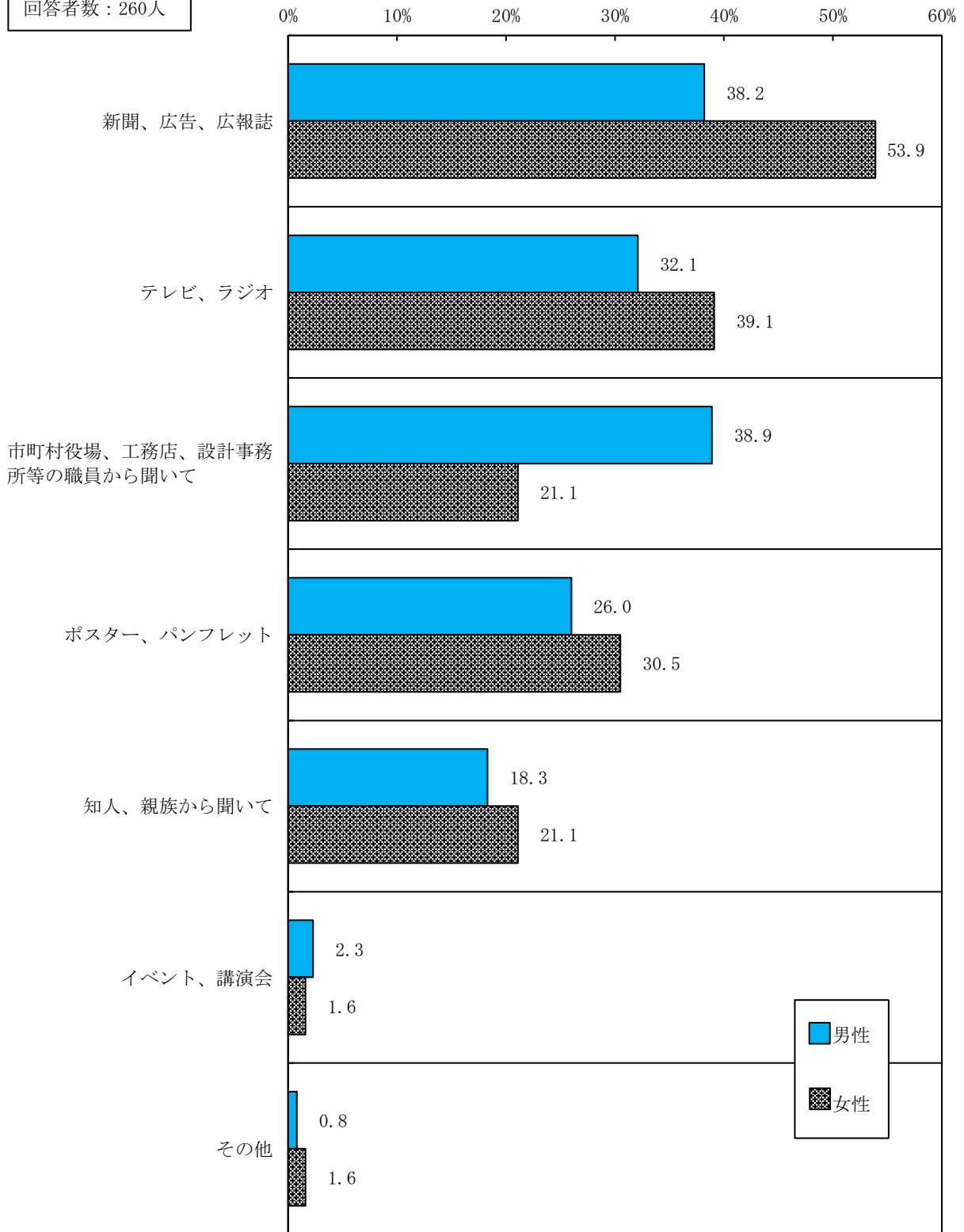


【性別】

男性は「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が最も高く、「新聞、広告、広報誌」、「テレビ、ラジオ」、女性は「新聞、広告、広報誌」が最も高く、「テレビ、ラジオ」、「ポスター、パンフレット」と続いている。

《 性別 》

回答者数：260人

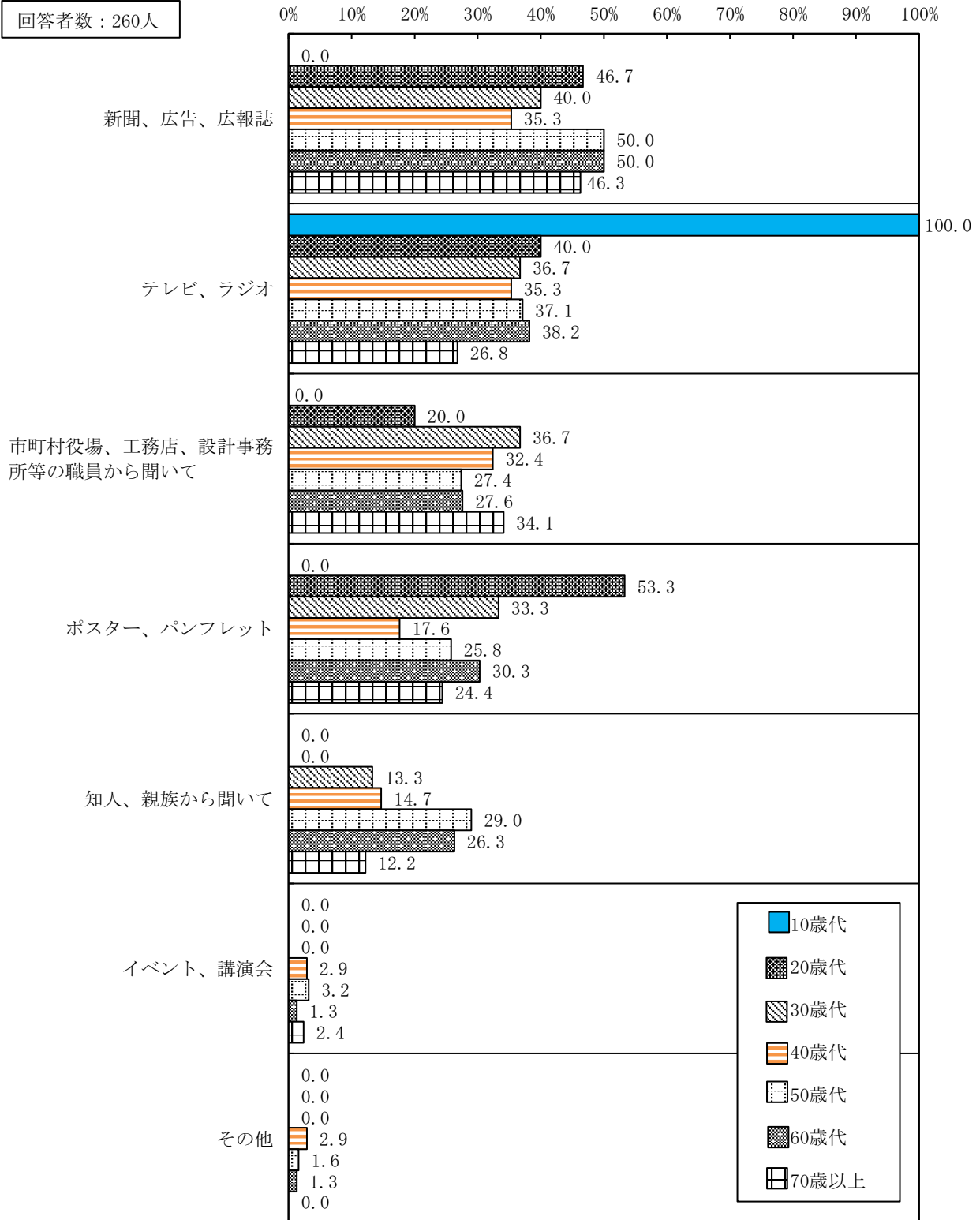


【年代別】

10歳代では「テレビ、ラジオ」が、20歳代では「ポスター、パンフレット」が、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「新聞、広告、広報誌」が、40歳代では同率で「新聞、広告、広報誌」と「テレビ、ラジオ」が最も高くなっている。

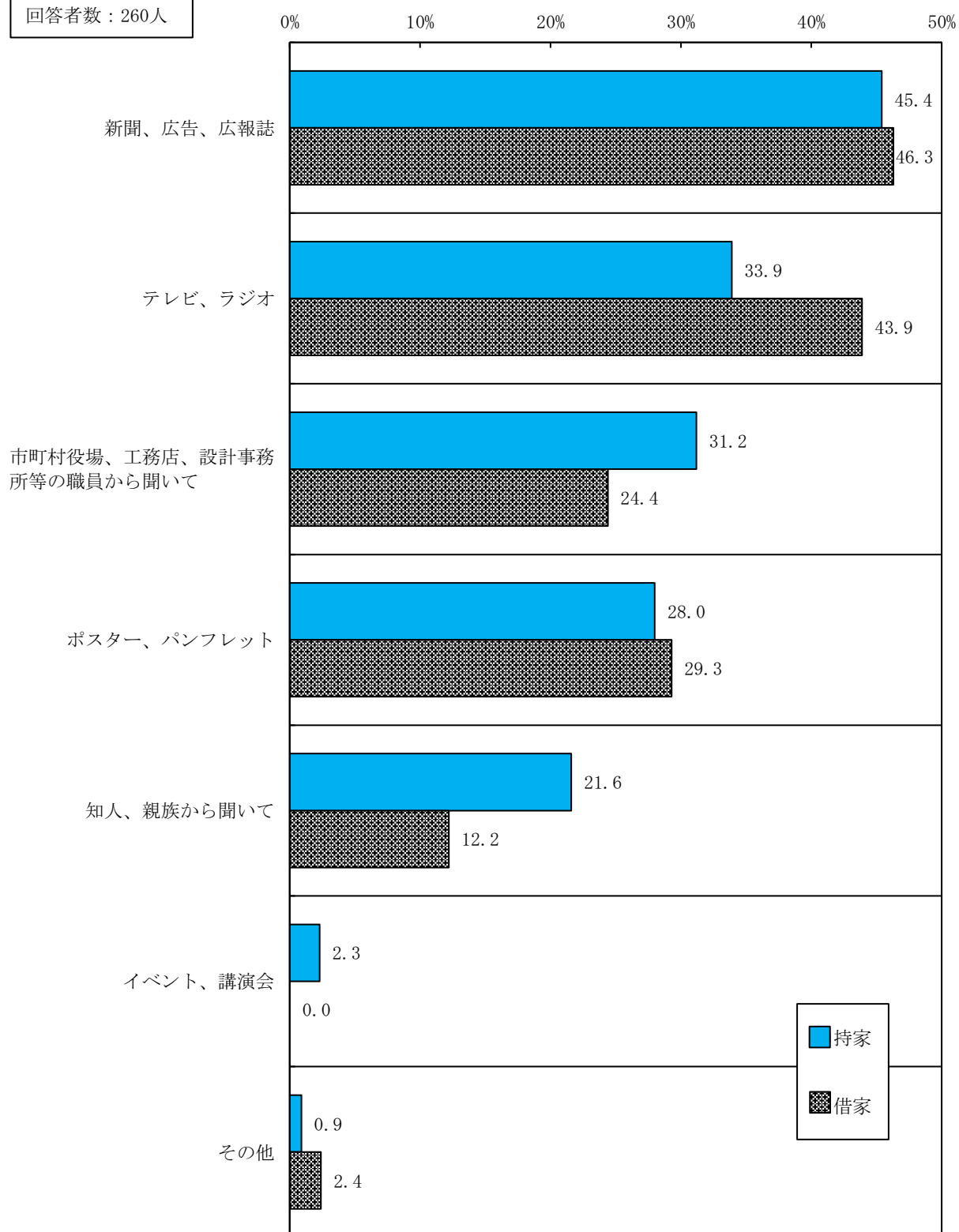
《 年代別 》

回答者数：260人



《 住まいの状況別 》

回答者数：260人

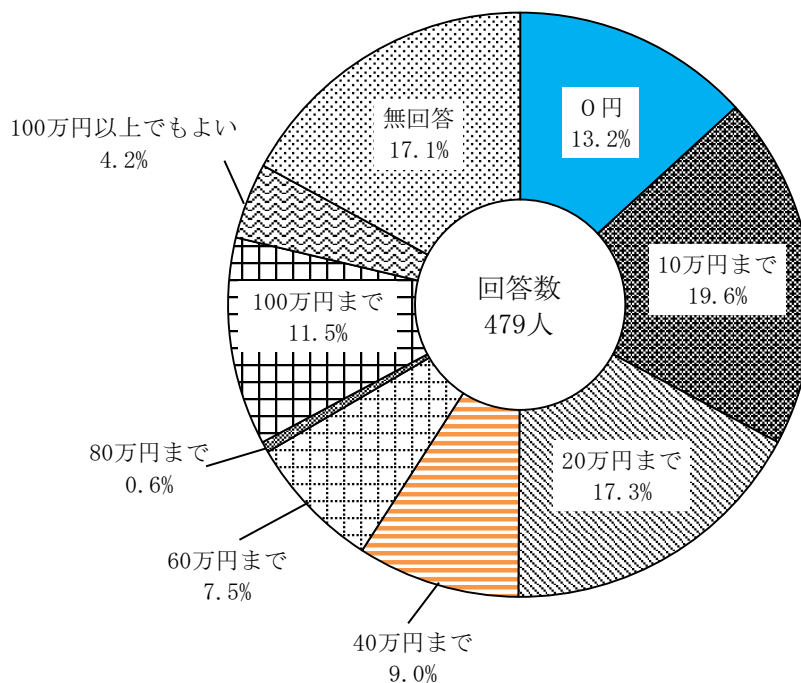


問 27 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてもよいと思いますか。(1つだけ○印)

【総合】 「10万円まで」が19.6%で1位となっている。

次いで「20万円まで」が17.3%、「0円」が13.2%と続いている。

《 総 合 》



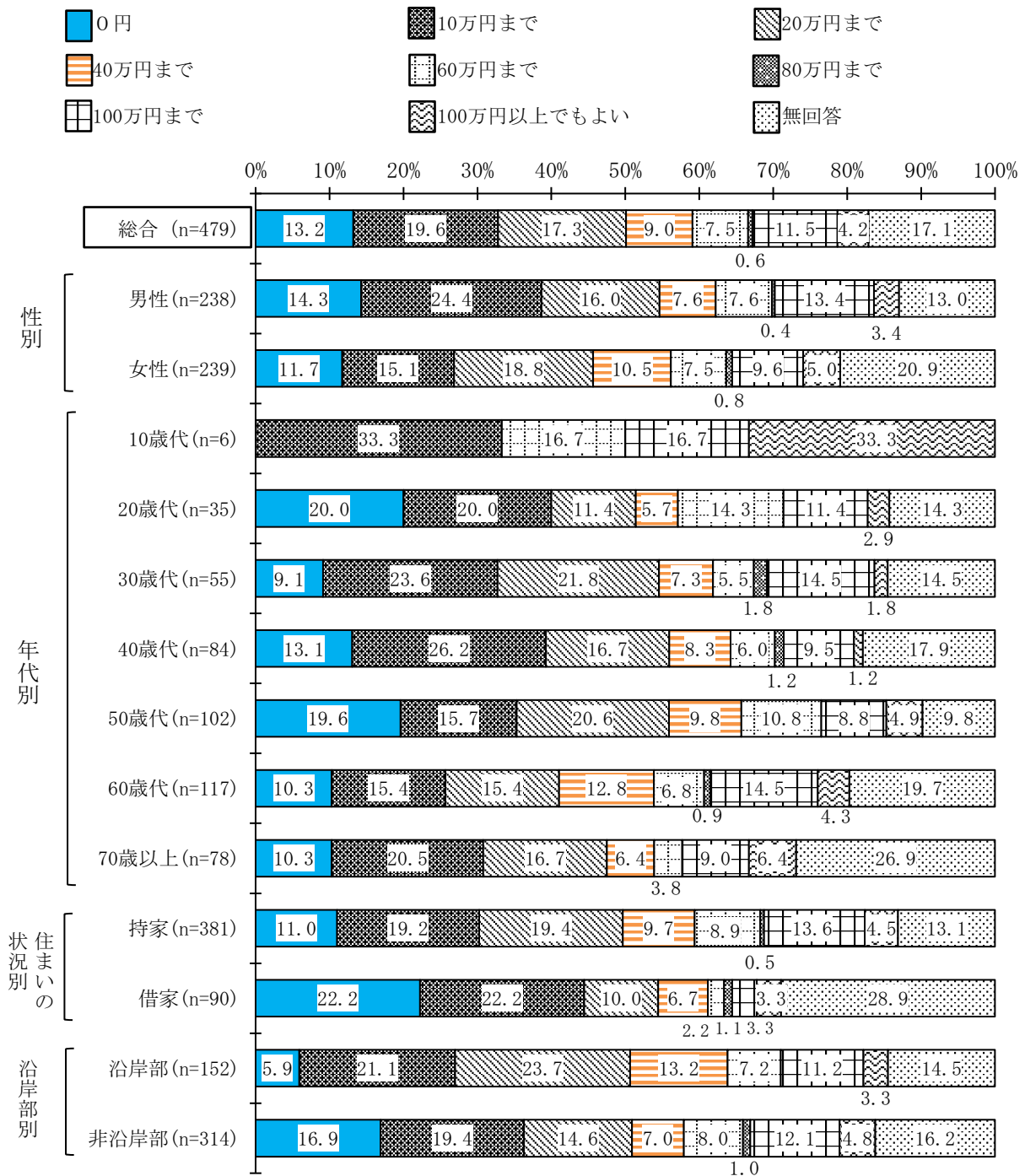
【性別】

男性は「10万円まで」が最も高く、「20万円まで」、「0円」、女性は「20万円」が最も高く、「10万円まで」、「0円」と続いている。

【年代別】

10歳代では同率で「10万円まで」と「100万円以上でもよい」が、20歳代では同率で「0円」と「10万円まで」が、30歳代、40歳代、70歳以上では「10万円まで」が、50歳代では「20万円まで」が、60歳代では同率で「10万円まで」と「20万円まで」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別・住まいの状況別・沿岸部別 》



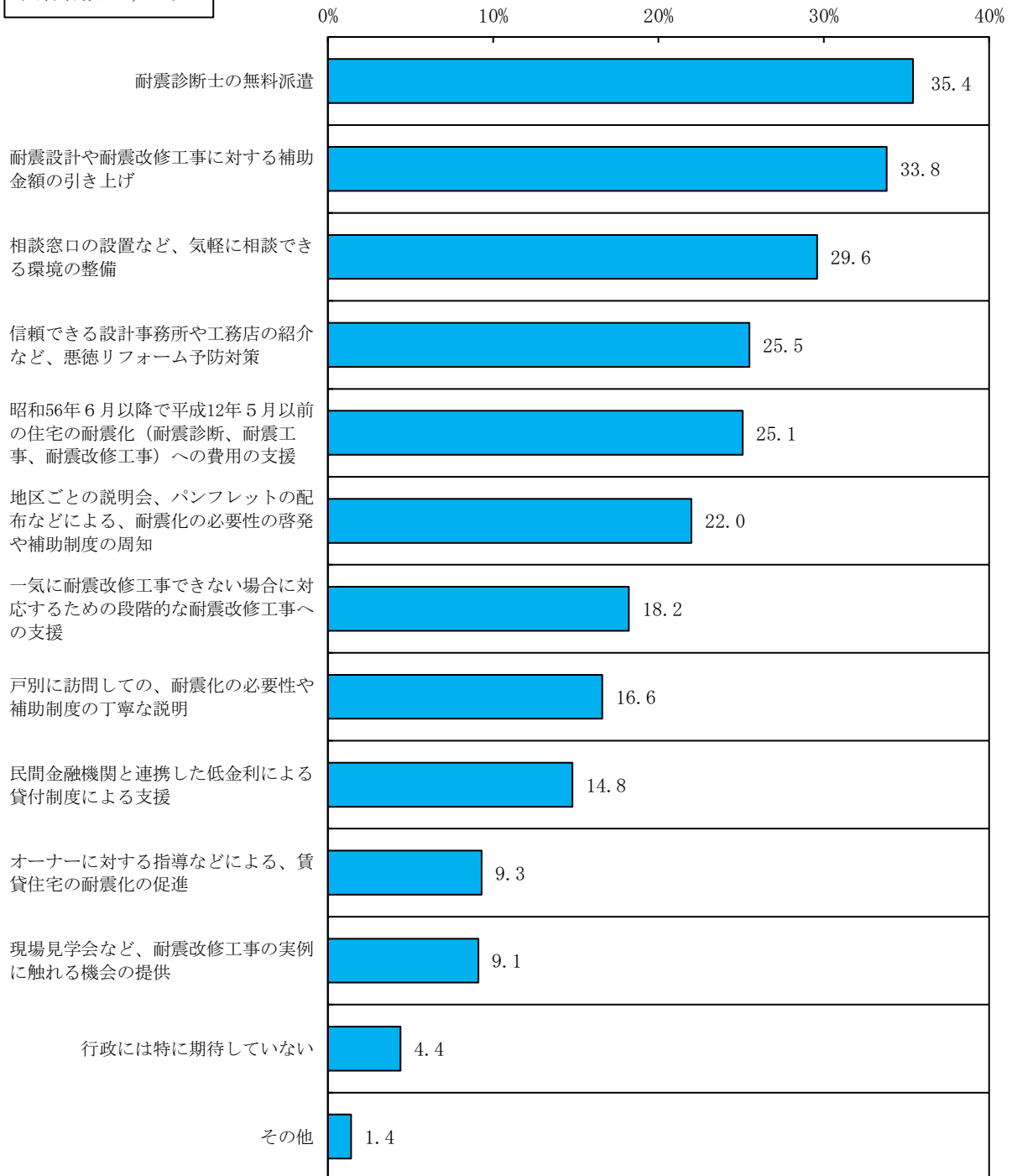
問28 今後、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。
(3つまで○印)

【総合】 「耐震診断士の無料派遣」が35.4%で1位になっている。

次いで「耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ」が33.8%、「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」が29.6%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

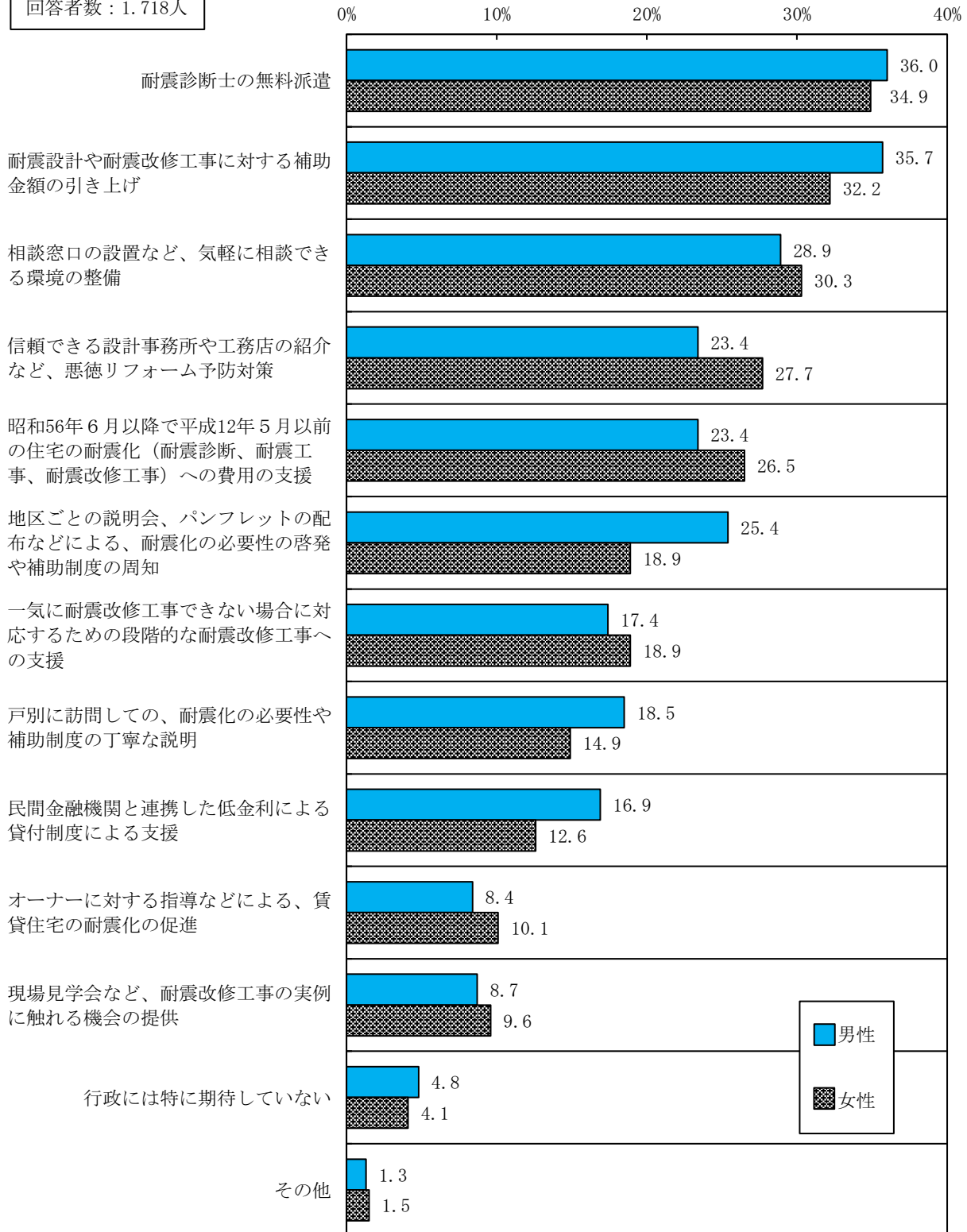


【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

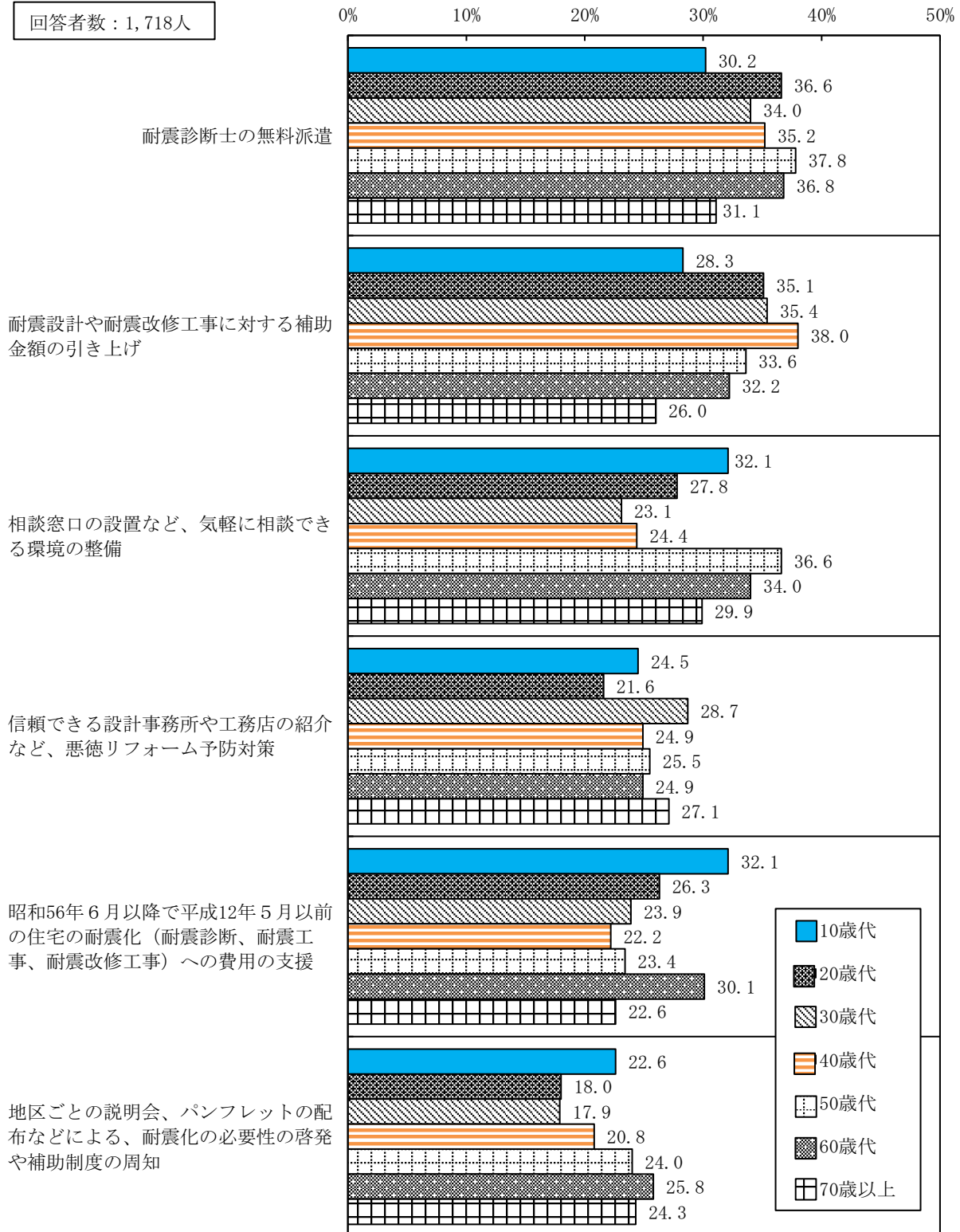


【年代別】

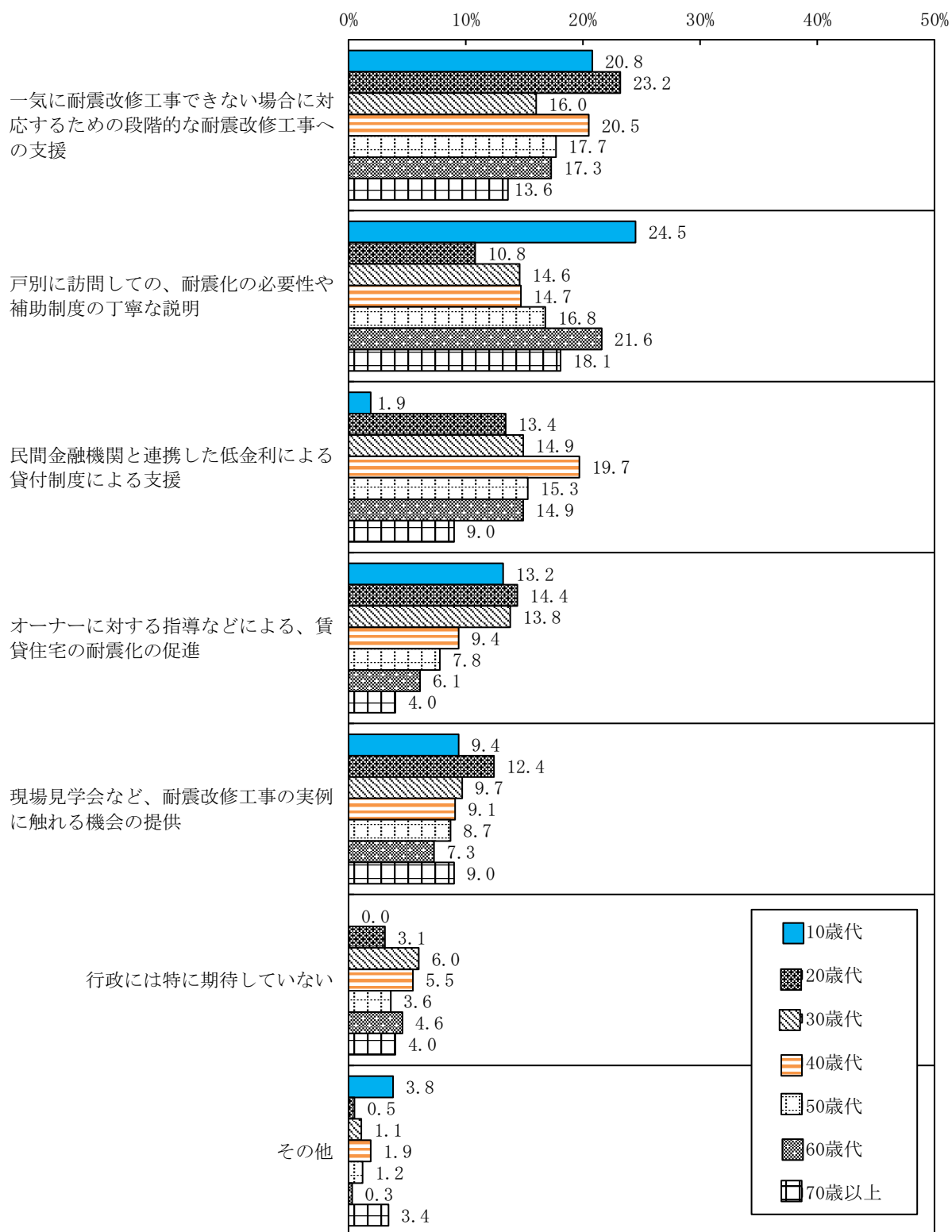
10歳代では同率で「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」と「昭和56年6月以降で平成12年5月以前の住宅の耐震化(耐震診断、耐震工事、耐震改修工事)への費用の支援」が、20歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「耐震診断士の無料派遣」が、30歳代、40歳代では「耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人

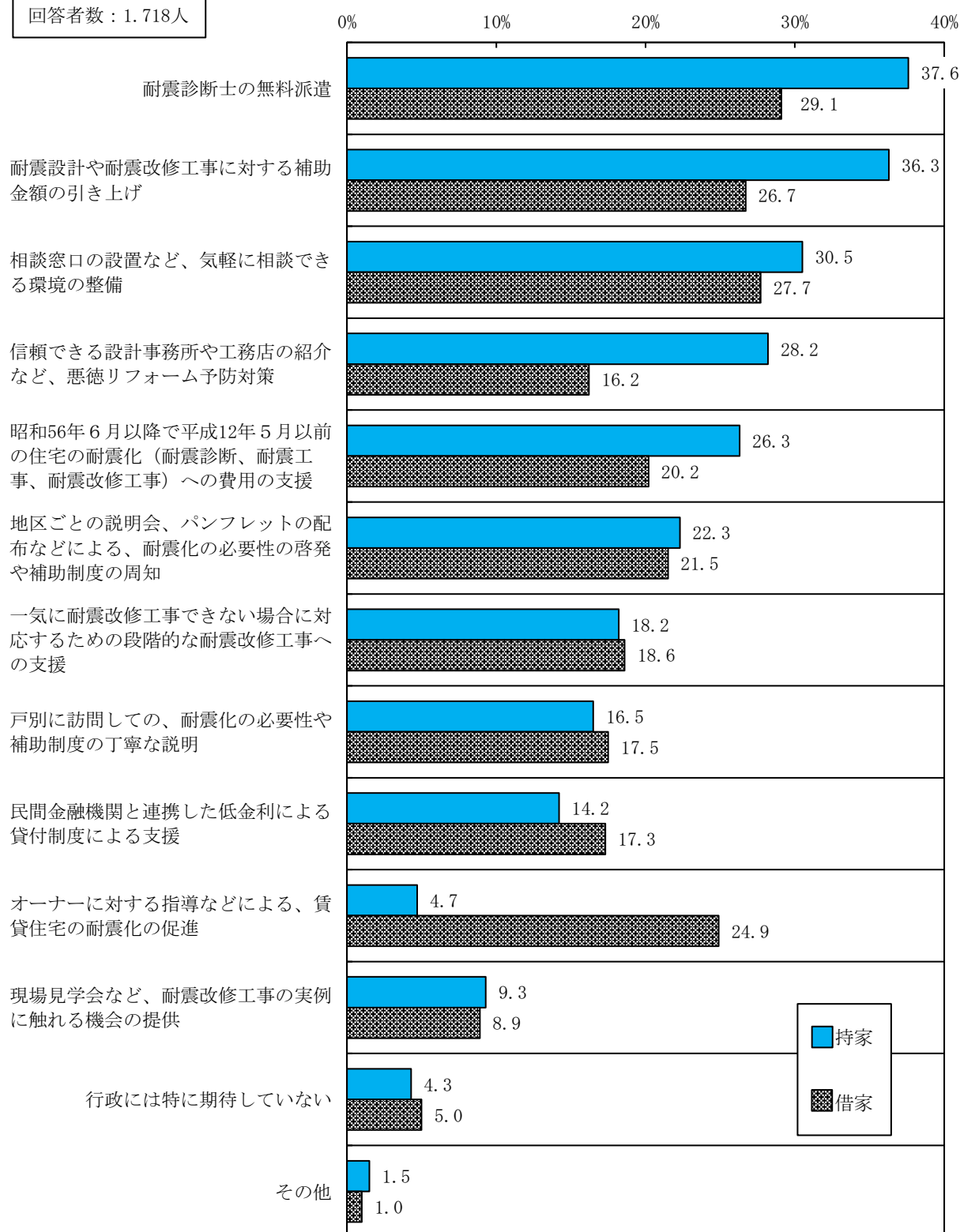


《 年代別 》



《 住まいの状況別 》

回答者数：1,718人



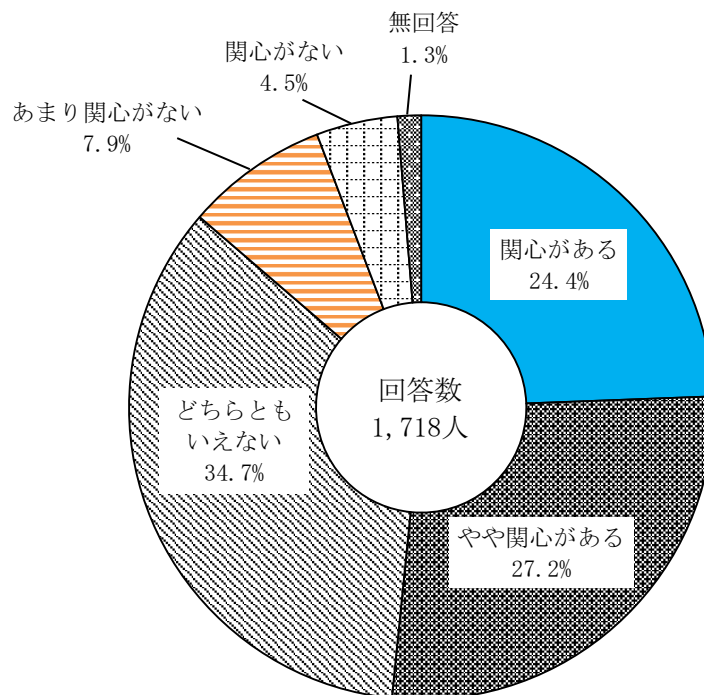
[3] 障害者差別解消について

問 29 あなたは、障害福祉について関心がありますか。（1つだけ○印）

【総合】 「どちらともいえない」が34.7%で1位となっている。

次いで「やや関心がある」が27.2%、「関心がある」が24.4%と続いている。

《 総 合 》



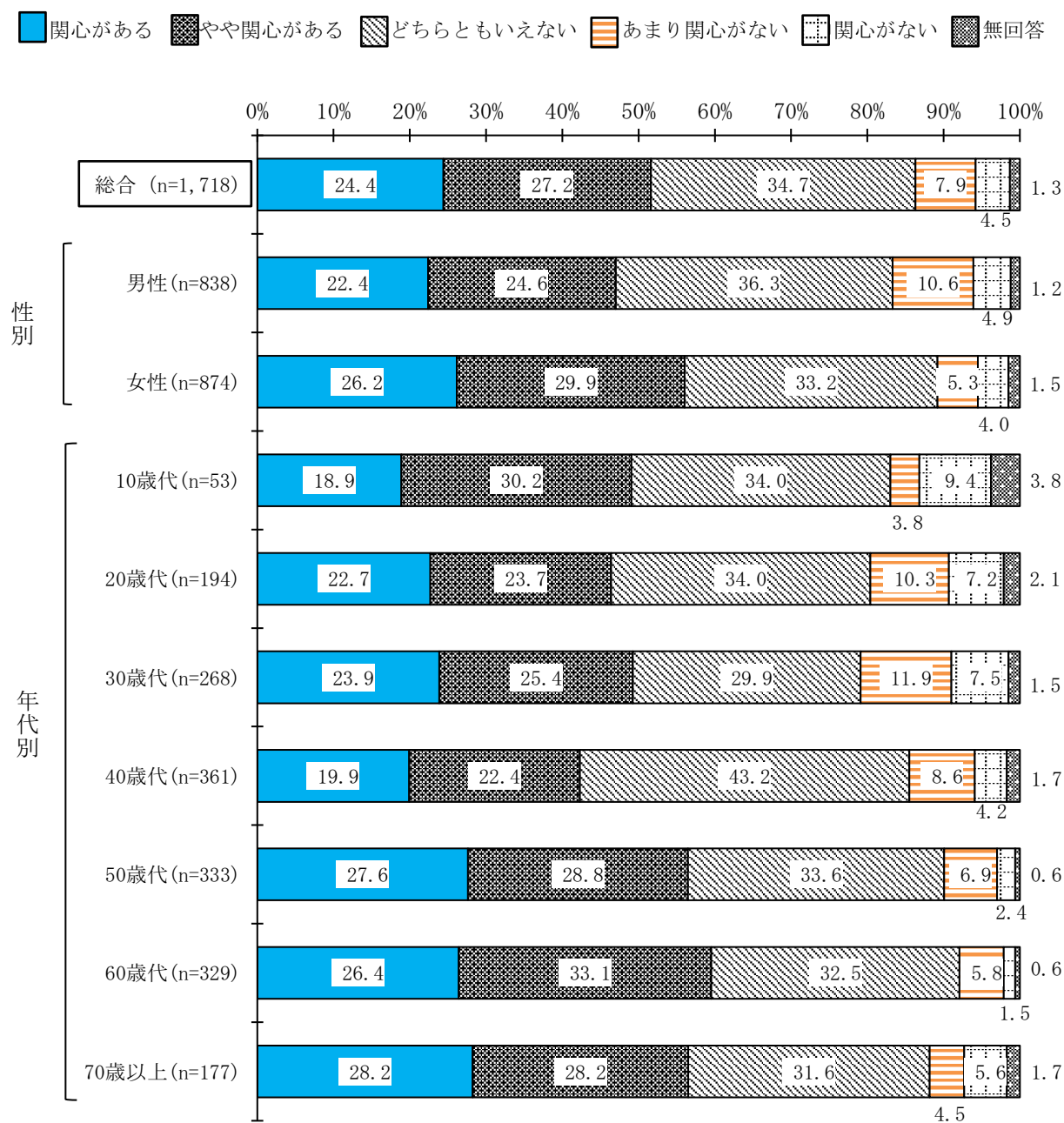
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

60歳代を除くすべての年代で「どちらともいえない」が、60歳代では「やや関心がある」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》

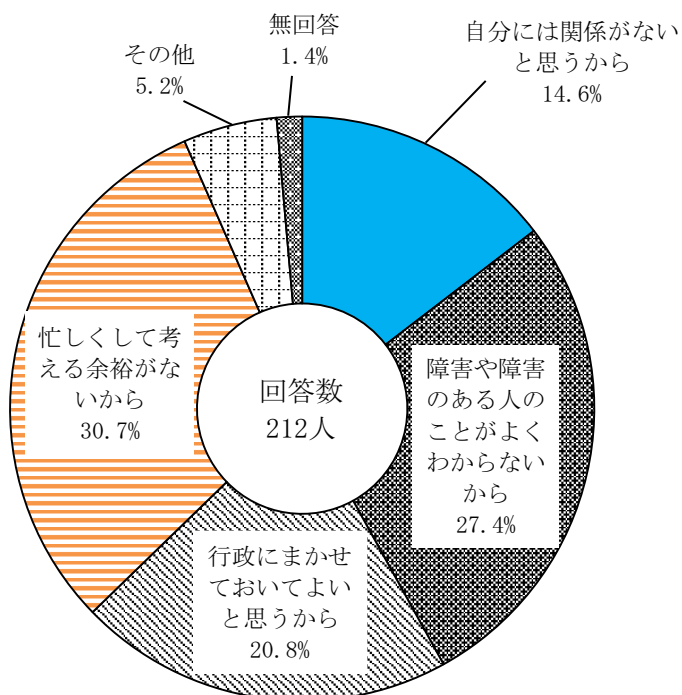


副問1（問29で「4 あまり関心がない」・「5 関心がない」を選んだ方のみお答えください。）
その理由は何ですか。（1つだけ○印）

【総合】 「忙しくて考える余裕がないから」が30.7%で1位となっている。

次いで「障害や障害のある人のことがよくわからないから」が27.4%、「行政にまかせておいてよいと思うから」が20.8%となっている。

《 総 合 》



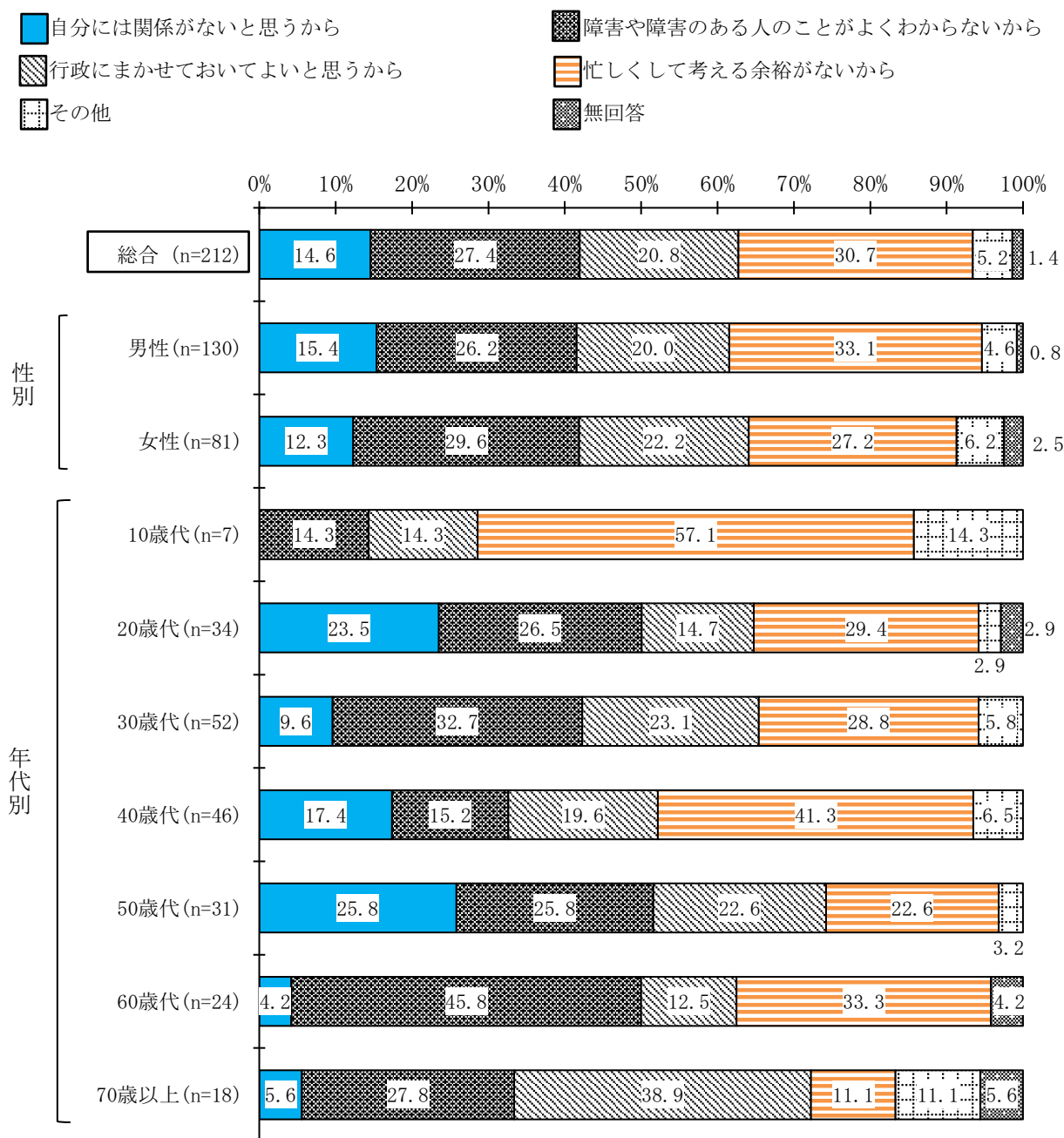
【性別】

男性では「忙しくて考える余裕がないから」が、女性では「障害や障害のある人のことがよくわからないから」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代、40歳代では「忙しくて考える余裕がないから」が、30歳代、60歳代では「障害や障害のある人のことがよくわからないから」が、50歳代では同率で「自分には関係がないと思うから」と「障害や障害のある人のことがよくわからないから」が、70歳以上では「行政にまかせておいてよいと思うから」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》

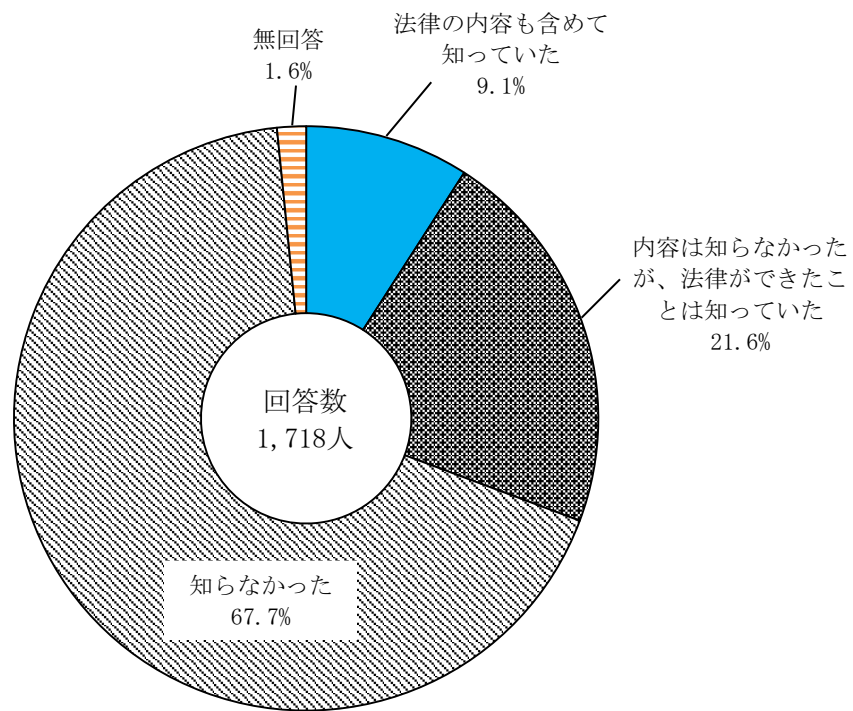


問 30 あなたは、障害者差別解消法について知っていましたか。(1つだけ○印)

【総合】 「知らなかった」が67.7%と1位となっている。

次いで「内容は知らなかったが、法律ができたことは知っていた」が21.6%、「法律の内容も含めて知っていた」が9.1%と続いている。

《 総 合 》



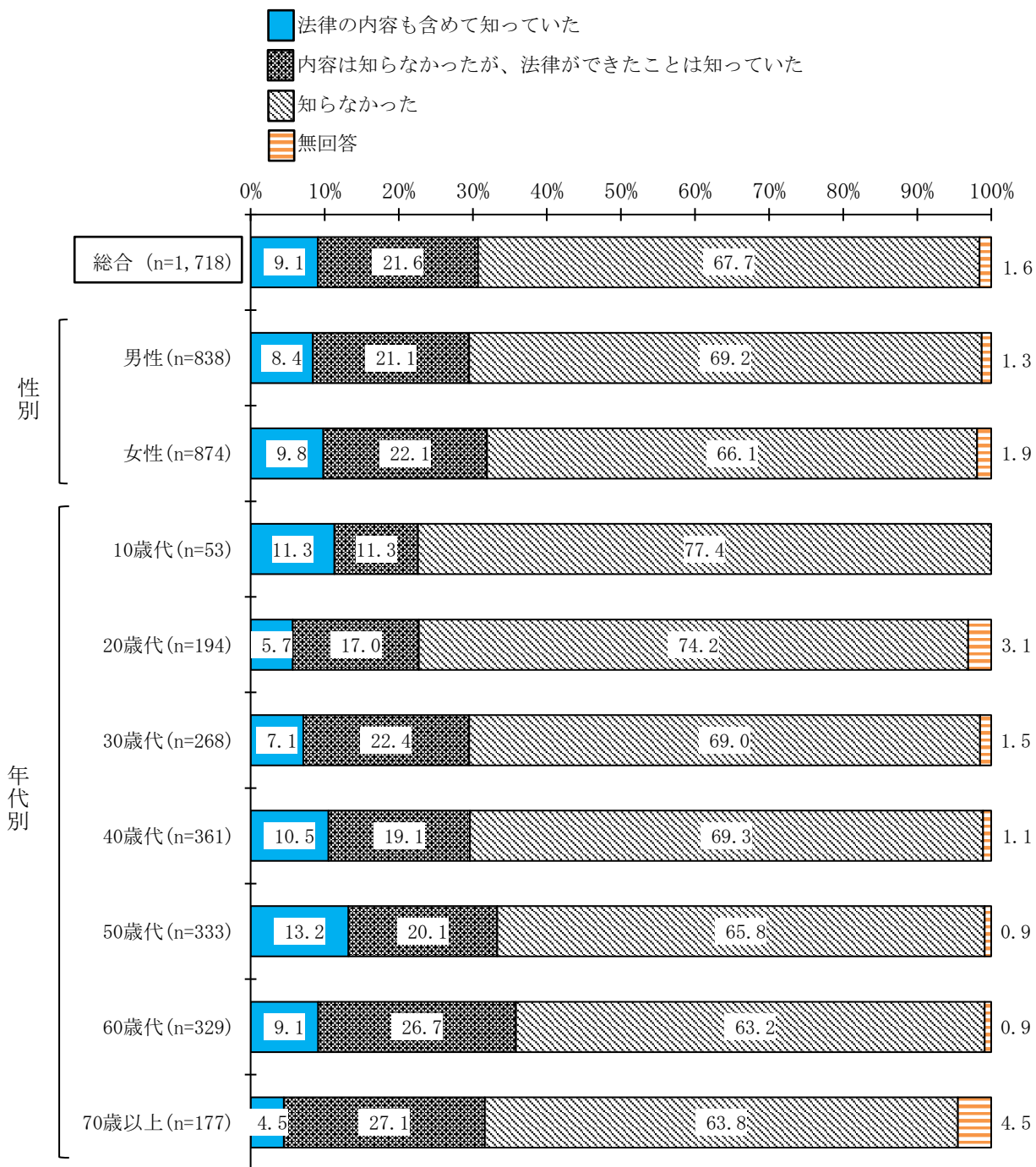
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「知らなかった」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》

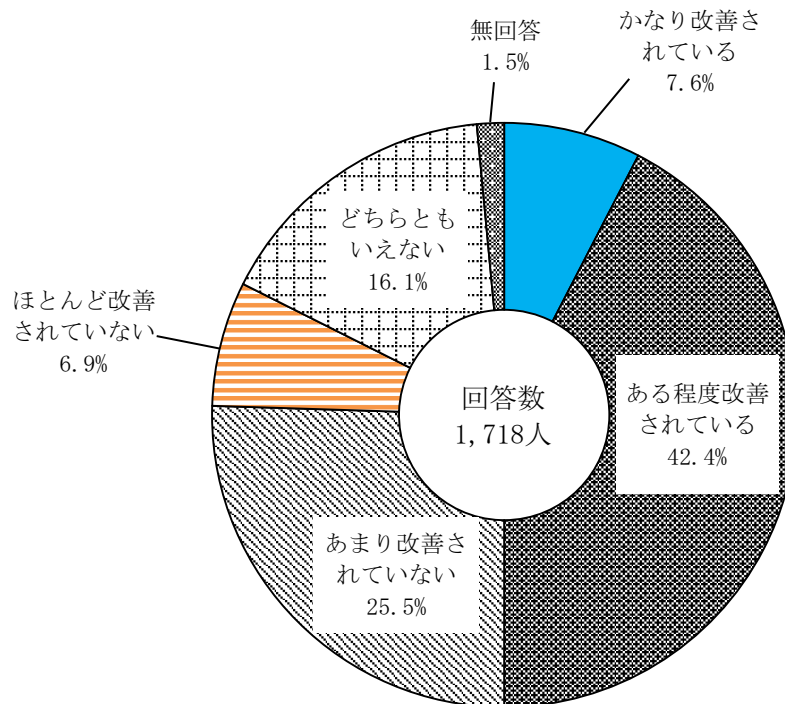


問 31 あなたは、障害者に対する差別や偏見は改善されてきたと思いますか。（1つだけ○印）

【総合】 「ある程度改善されている」が42.4%と1位となっている。

次いで「あまり改善されていない」が25.5%、「どちらともいえない」が16.1%となっている。

《 総 合 》



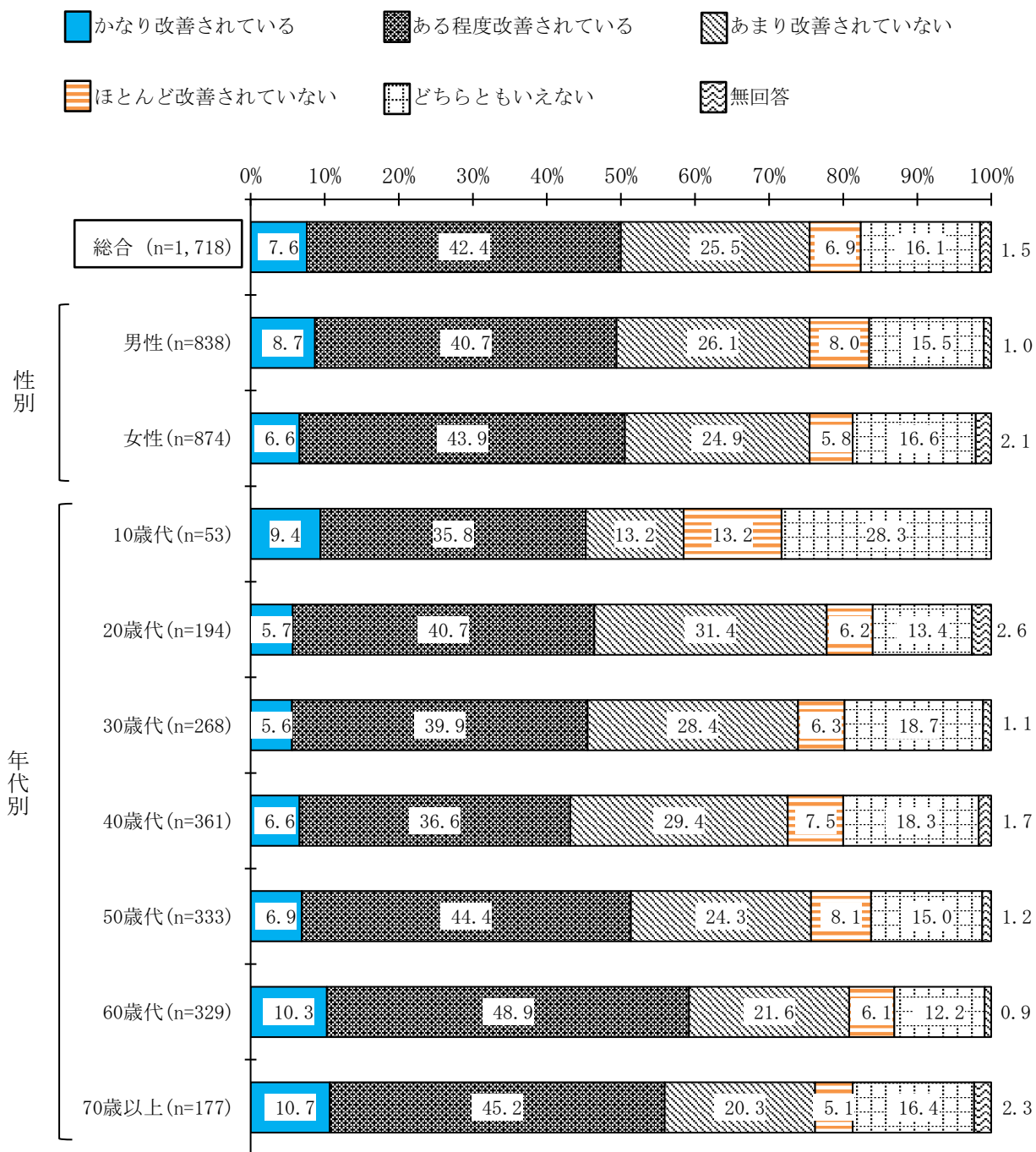
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「ある程度改善されている」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》



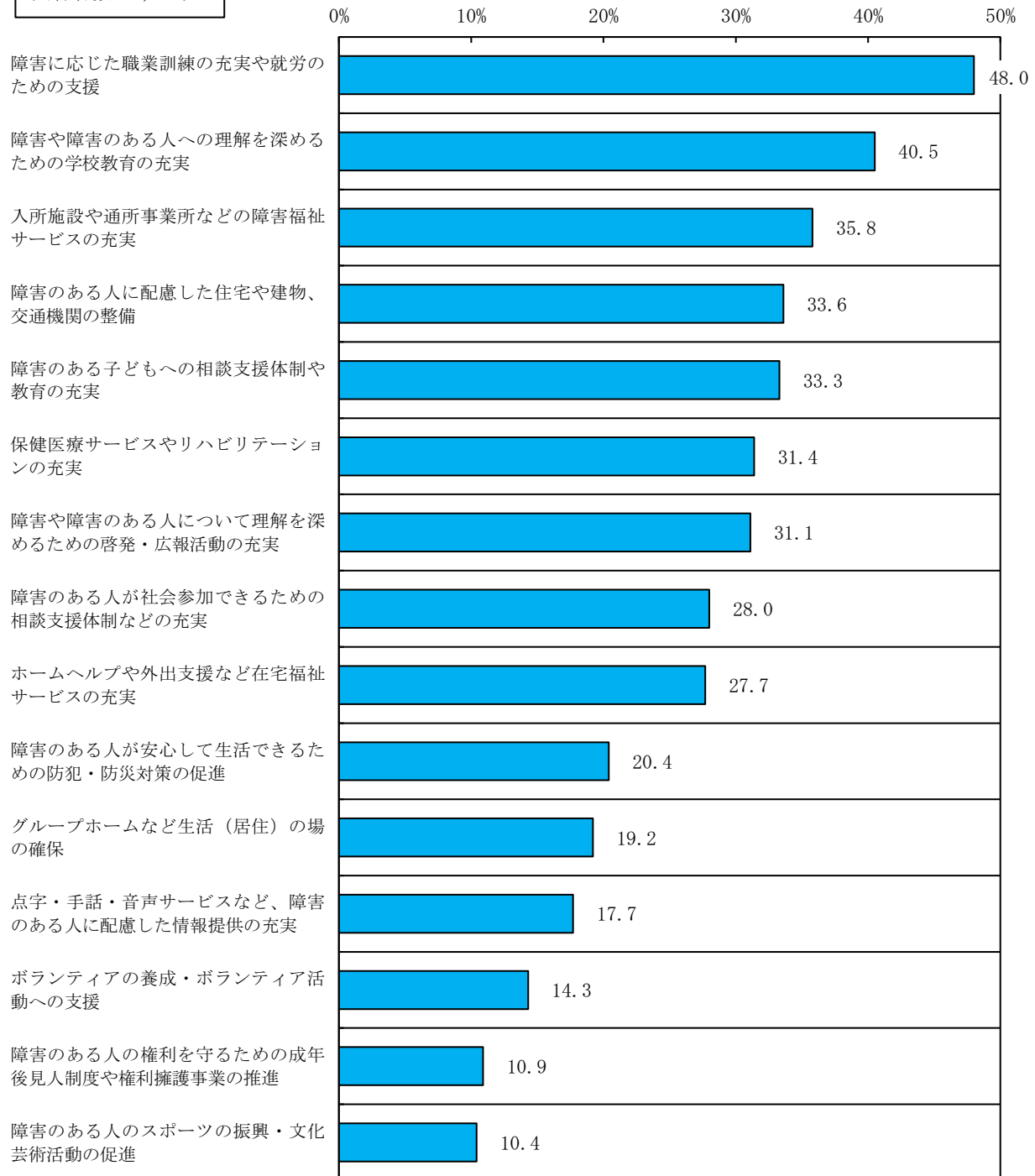
問32 障害のある人もない人も安心して暮らすことができる共生社会の実現に向け、県や市町村が、特に力を入れて取り組むべきだと思うものは何ですか。（5つまで〇印）

【総合】 「障害に応じた職業訓練の充実や就労のための支援」が48.0%で1位になっている。

次いで「障害や障害のある人への理解を深めるための学校教育の充実」が40.5%、「入所施設や通所事業所などの障害福祉サービスの充実」が35.8%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

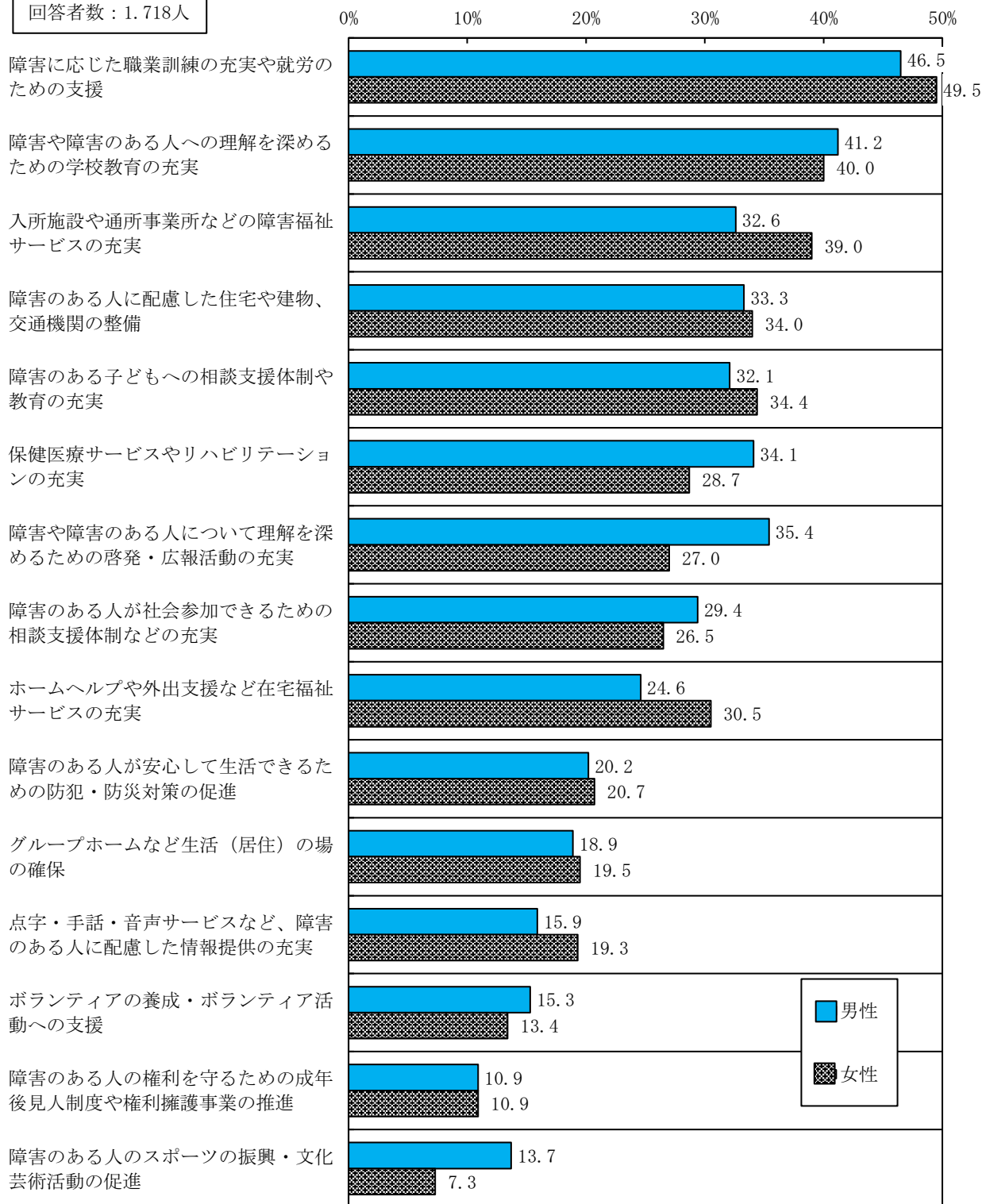


【性別】

男女とも「障害に応じた職業訓練の充実や就労のための支援」が最も高く、男性は「障害や障害のある人への理解を深めるための学校教育の充実」、「障害や障害のある人について理解を深めるための啓発・広報活動の充実」、女性は「障害や障害のある人への理解を深めるための学校教育の充実」、「入所施設や通所事業所などの障害福祉サービスの充実」と続いている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

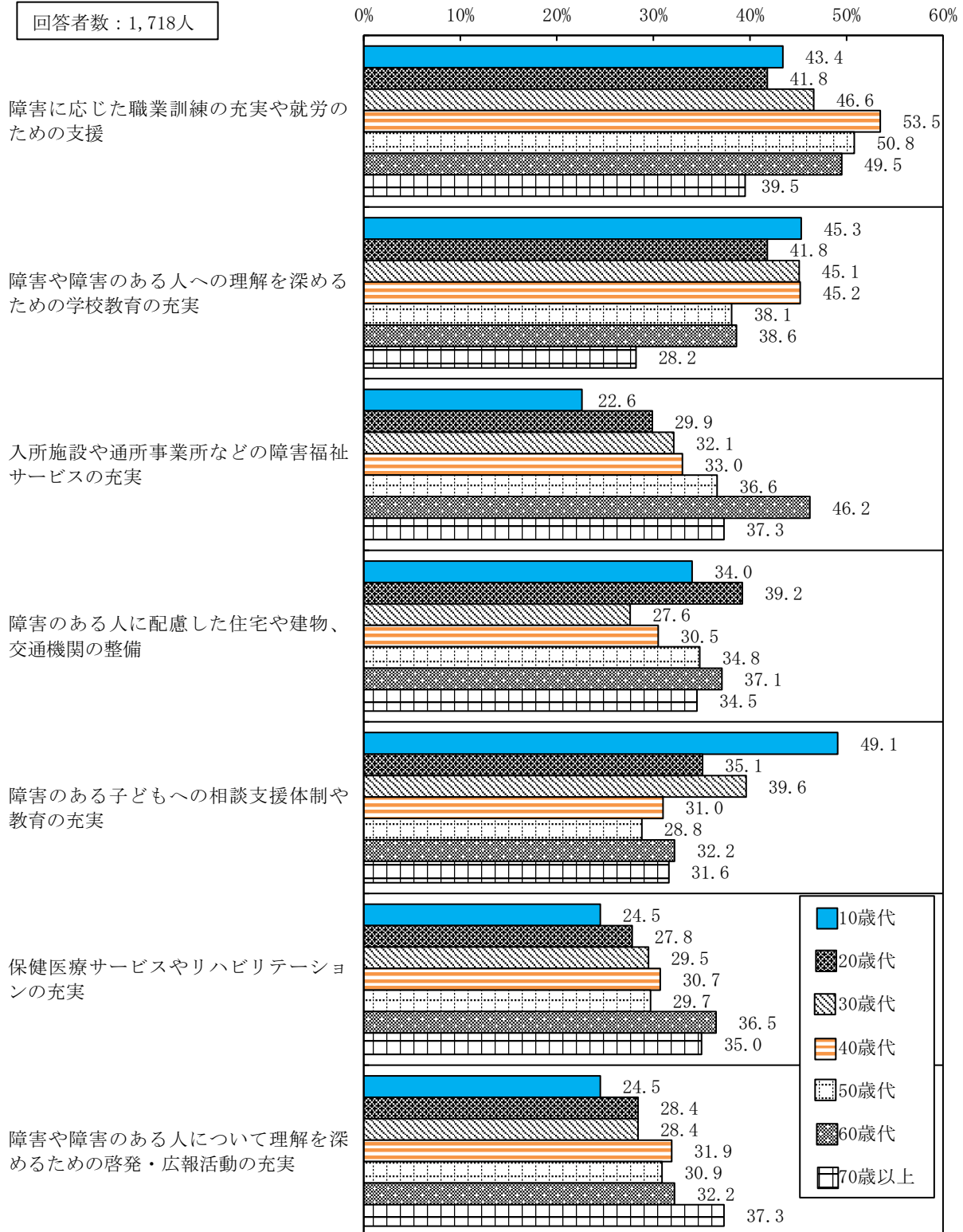


【年代別】

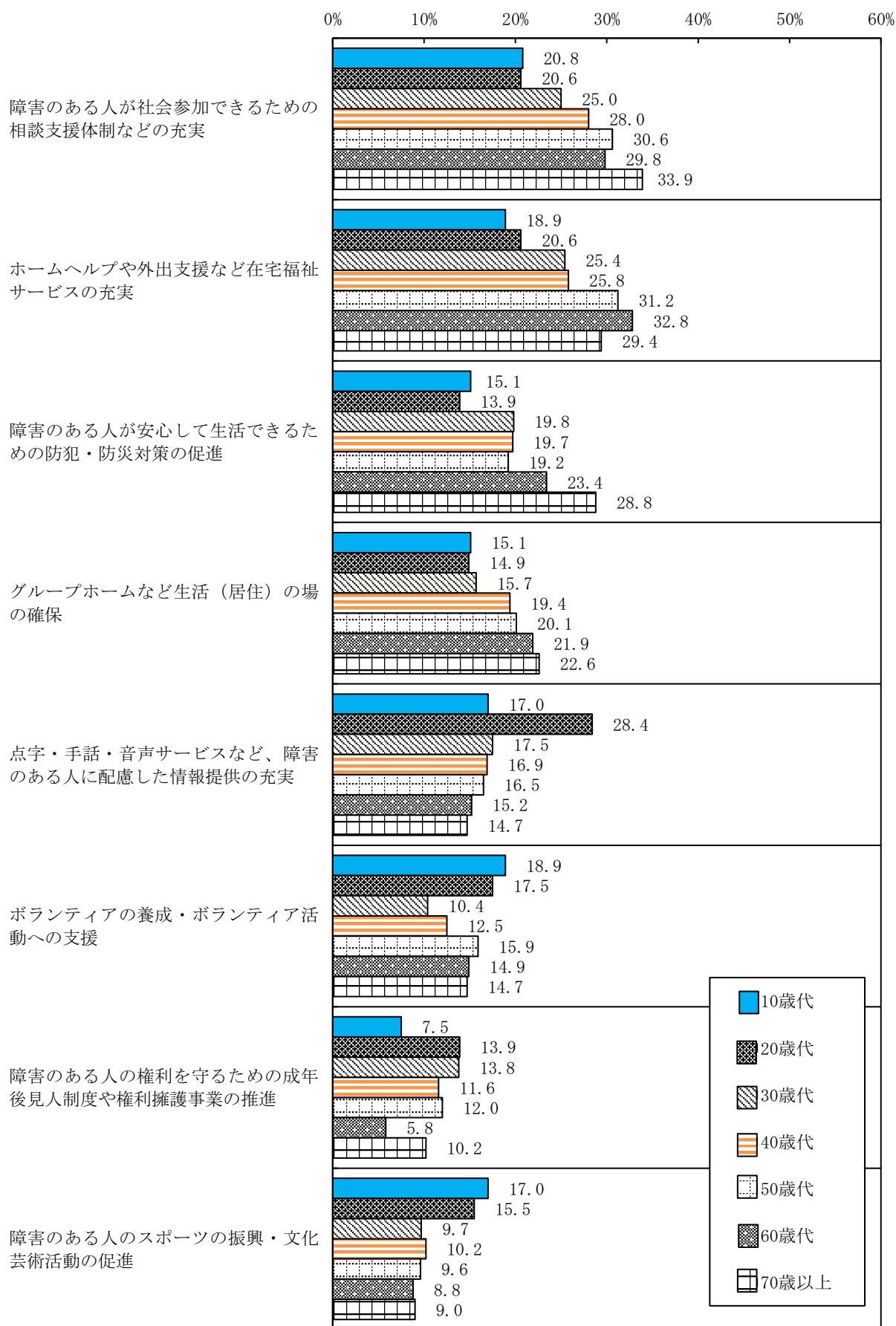
10歳代では「障害のある子どもへの相談支援体制や教育の充実」が、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「障害に応じた職業訓練の充実や就労のための支援」が、20歳代ではこれと同率で「障害や障害のある人への理解を深めるための学校教育の充実」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人



《 年代別 》

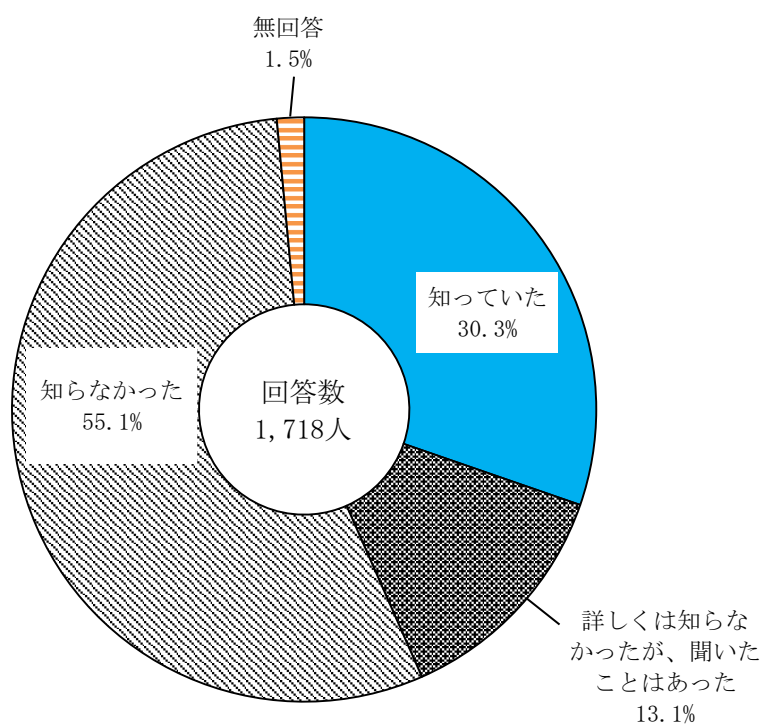


問 33 「害」の表記について、こうした動きがあることを知っていましたか。（1つだけ○印）

【総合】 「知らなかった」が55.1%で1位となっている。

次いで「知っていた」が30.3%、「詳しくは知らなかったが、聞いたことはあった」が13.1%と続いている。

《 総 合 》



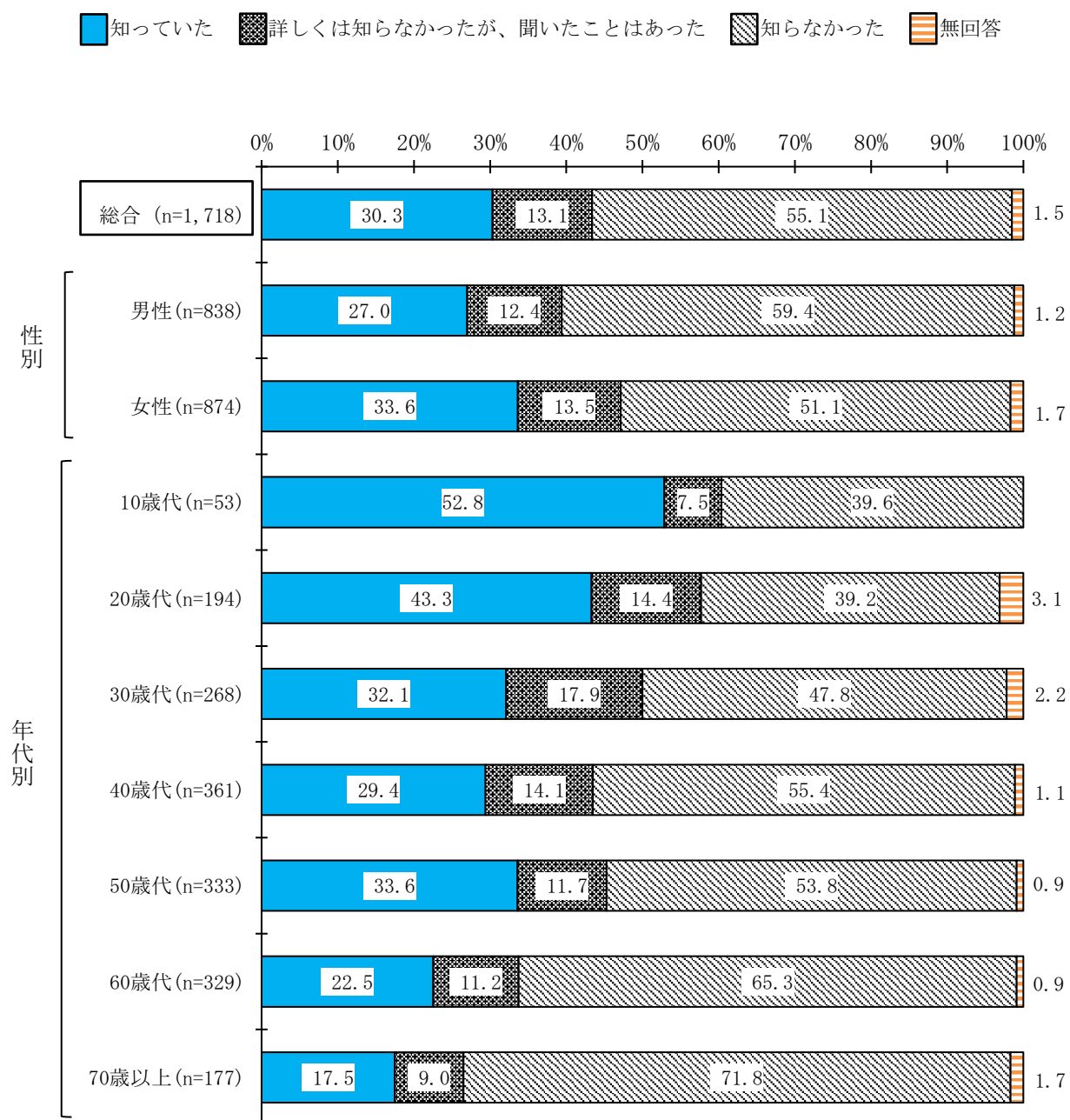
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

10歳代と20歳代を除くすべての年代で「知らなかった」が、10歳代と20歳代では「知っていた」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》

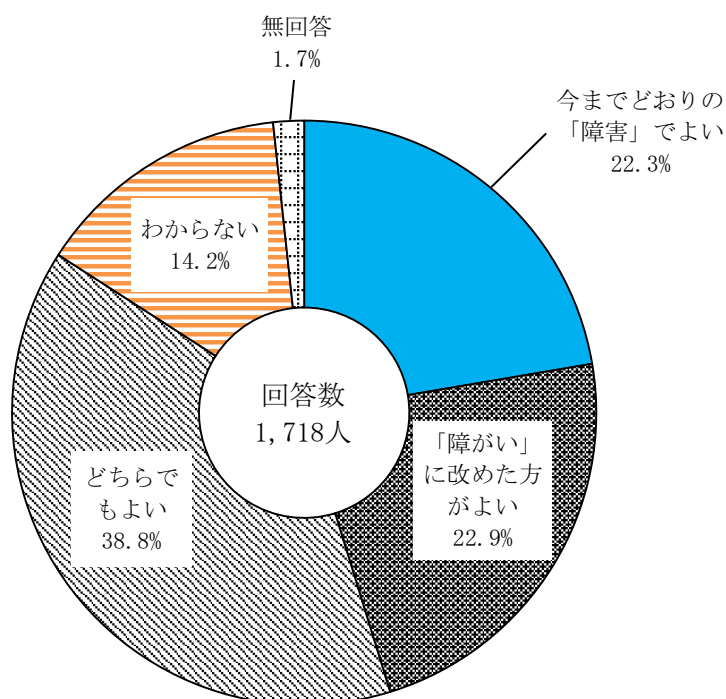


問 34 「障害」のひらがな表記についてどのようにお考えですか。（1つだけ○印）

【総合】 「どちらでもよい」が38.8%と1位となっている。

次いで「「障がい」に改めた方がよい」が22.9%、「今までどおりの「障害」でよい」が22.3%と続いている。

《 総 合 》



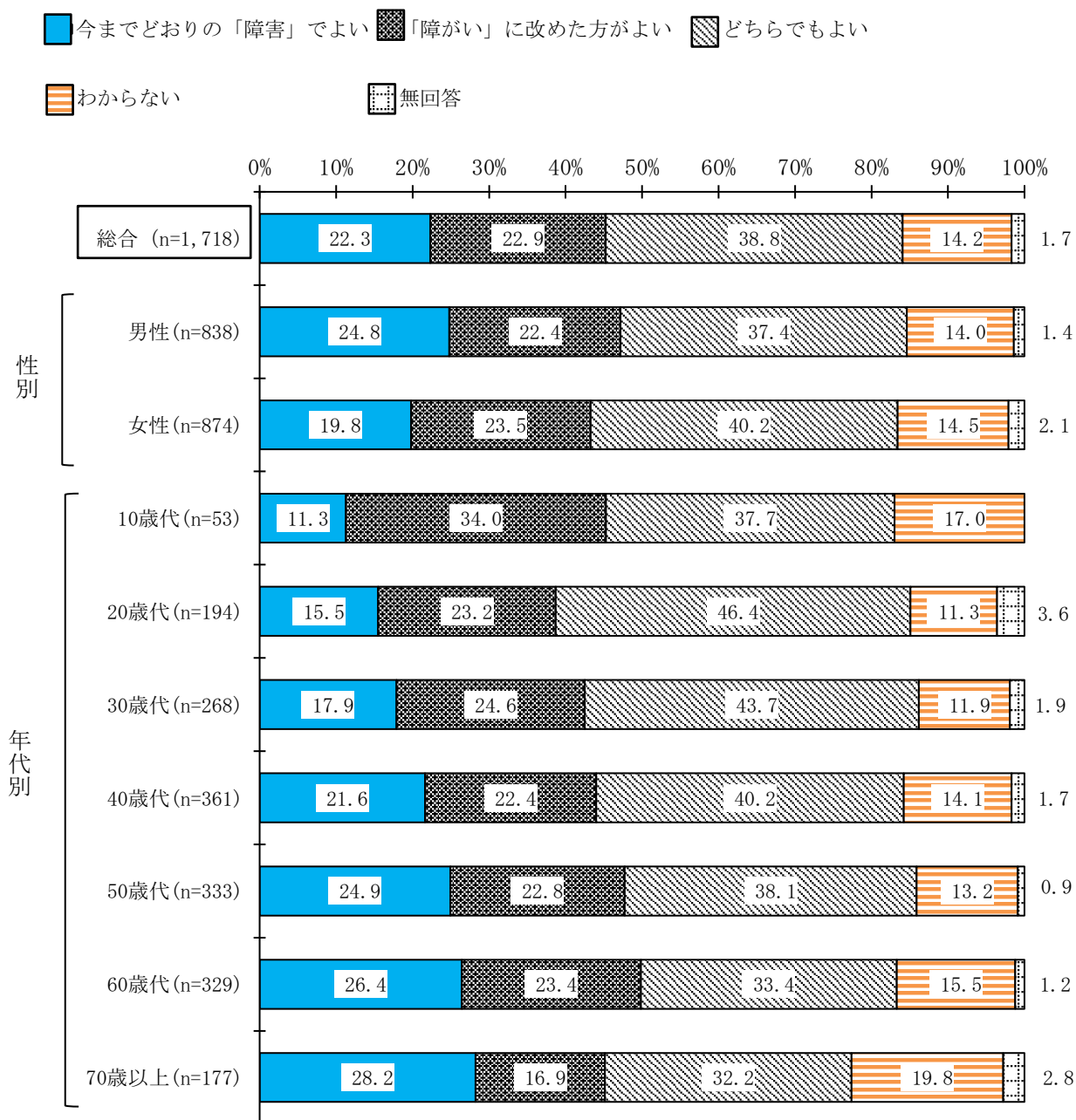
【性別】

男女ともに「どちらでもよい」が最も高く、男性は「今までどおりの「障害」でよい」、「「障がい」に改めた方がよい」、女性は「「障がい」に改めた方がよい」、「今までどおりの「障害」でよい」と続いている。

【年代別】

すべての年代で「どちらでもよい」が最も高くなっている。

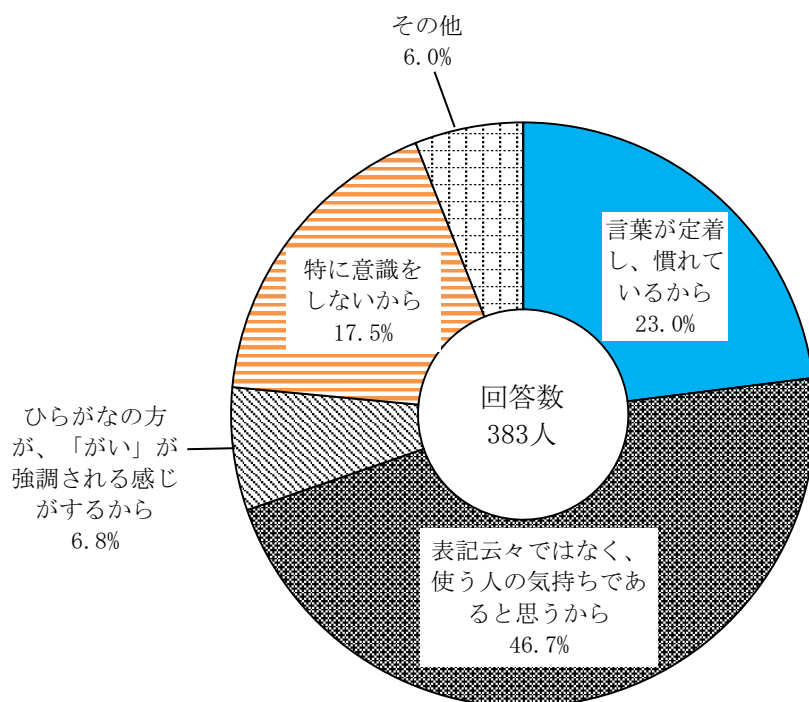
《 総合・性別・年代別 》



副問1 (問34で「1 今までどおりの「障害」でよい」を選んだ方のみお答えください。)
その理由は何ですか。(1つだけ○印)

【総合】 「表記云々ではなく、使う人の気持ちであると思うから」が46.7%で1位となっている。
次いで「言葉が定着し、慣れているから」が23.0%、「特に意識をしないから」が17.5%と続いている。

《 総合 》



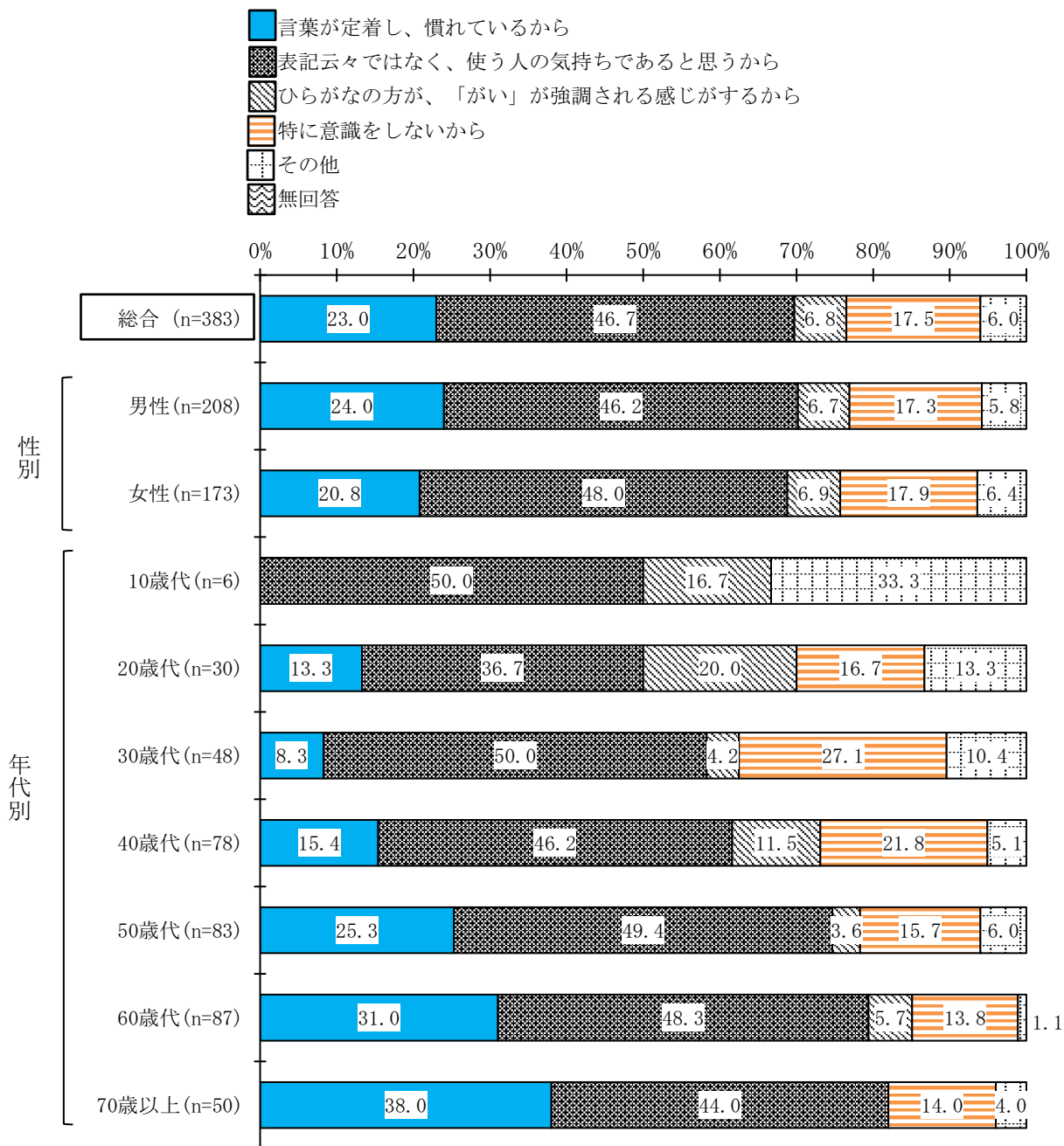
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「表記云々ではなく、使う人の気持ちであると思うから」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》

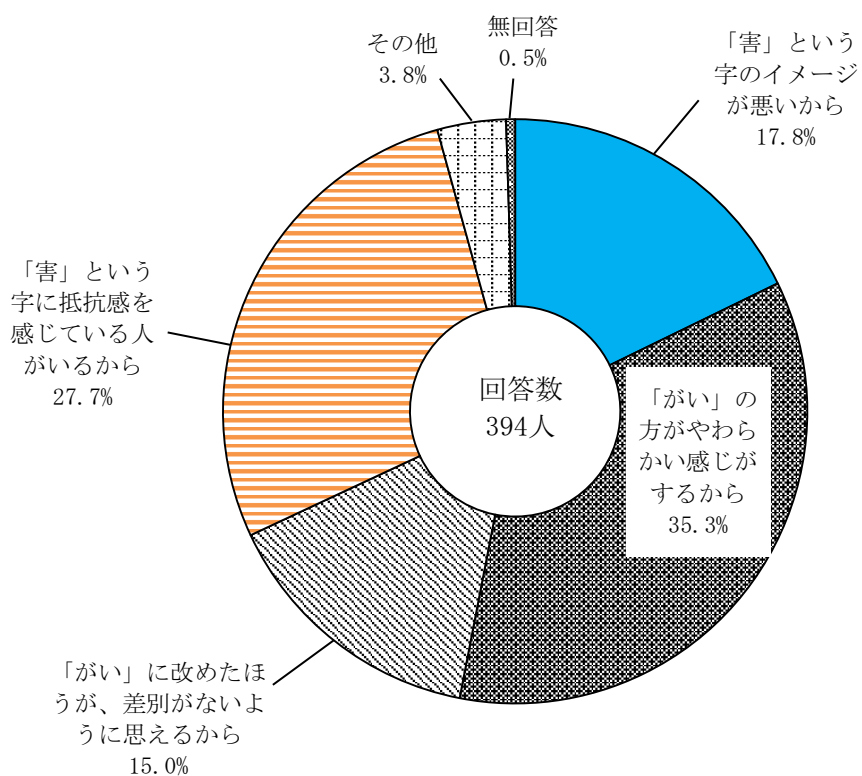


副問2（問34で「2 「障がい」に改めた方がよい」を選んだ方のみお答えください。）
その理由は何ですか。（1つだけ○印）

【総合】 「「がい」の方がやわらかい感じがするから」が35.3%で1位となっている。

次いで「「害」という字に抵抗感を感じている人がいるから」が27.7%、「「害」という字のイメージが悪いから」が17.8%となっている。

《 総 合 》



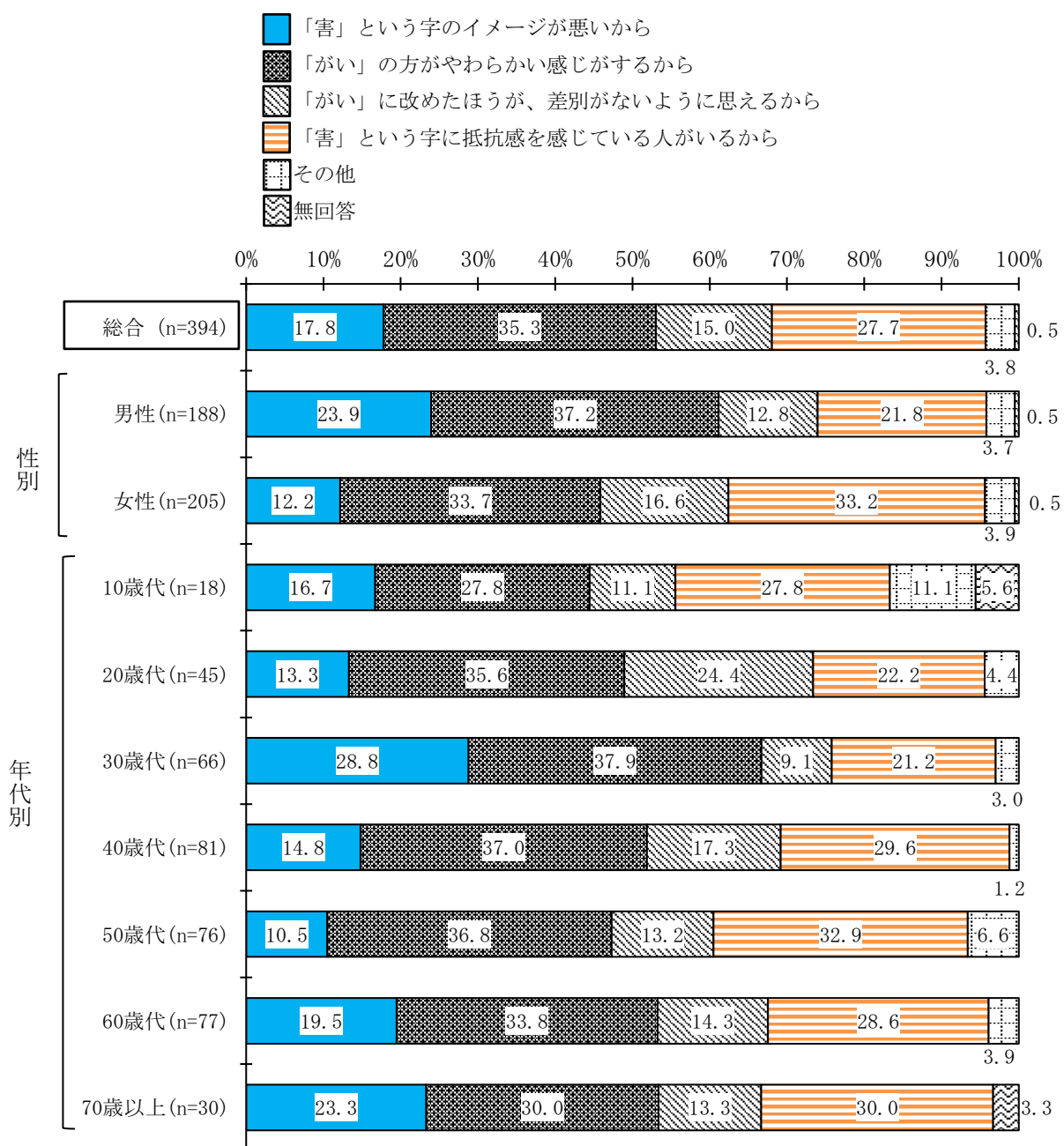
【性別】

男女とも「「がい」の方がやわらかい感じがするから」が最も高く、男性は「「害」という字のイメージが悪いから」、「害」という字に抵抗感を感じている人がいるから」、女性は「「害」という字に抵抗感を感じている人がいるから」、「「がい」に改めたほうが、差別がないように思えるから」と続いている。

【年代別】

すべての年代で「「がい」の方がやわらかい感じがするから」が最も高く、10歳代と70歳以上ではこれと同率で「「害」という字に抵抗感を感じている人がいるから」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》



[4] 第3期産業振興計画 ver.4 について

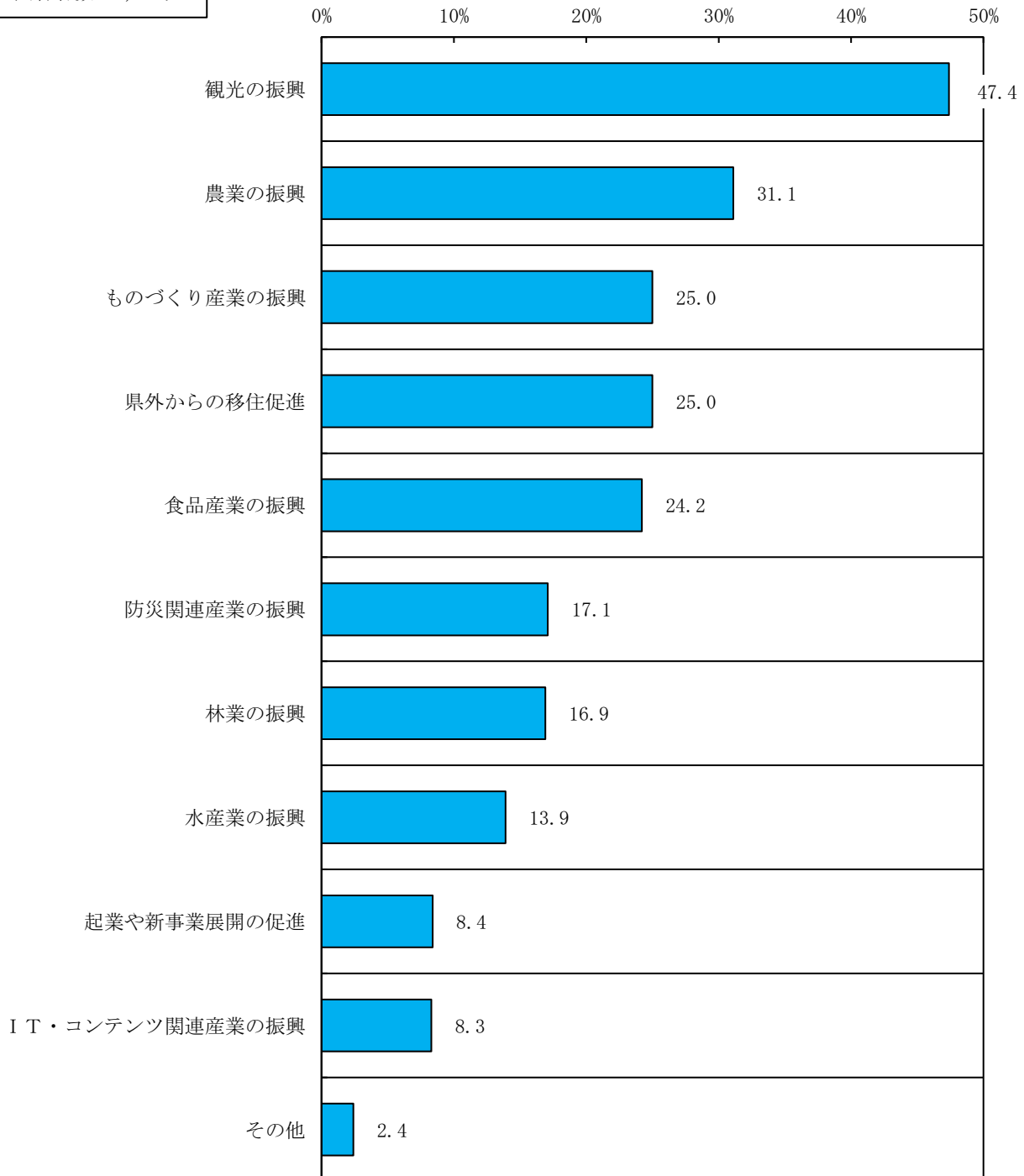
問35 第3期産業振興計画における次の取り組みのうち特に評価できるものは何ですか。
(3つまで○印)

【総合】 「観光の振興」が47.4%で1位となっている。

次いで「農業の振興」が31.1%、「ものづくり産業の振興」と「県外からの移住促進」が同率の25.0%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

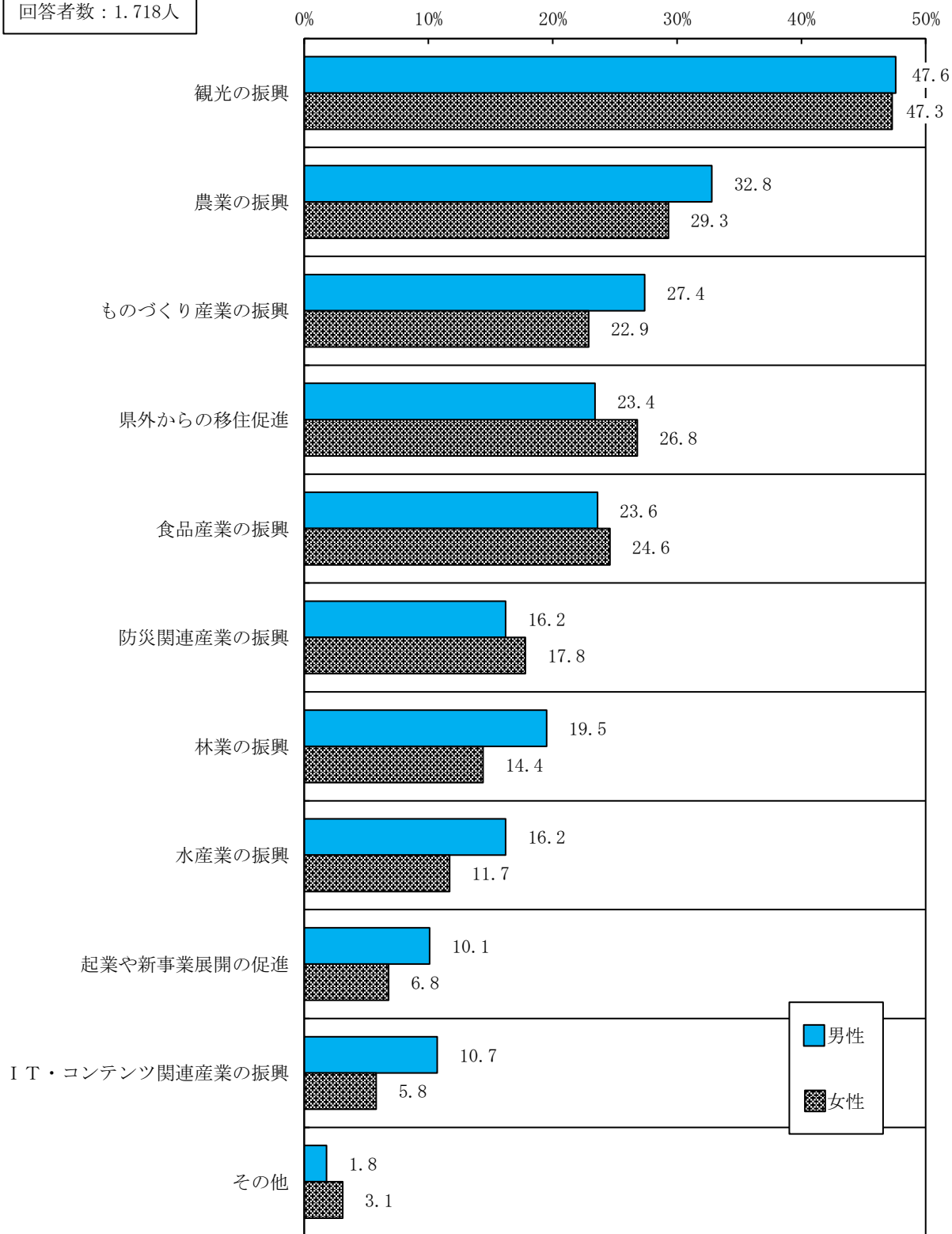


【性別】

男女とも「観光の振興」が最も高く、男性は「農業の振興」、「ものづくり産業の振興」、女性は「農業の振興」、「県外からの移住促進」と続いている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

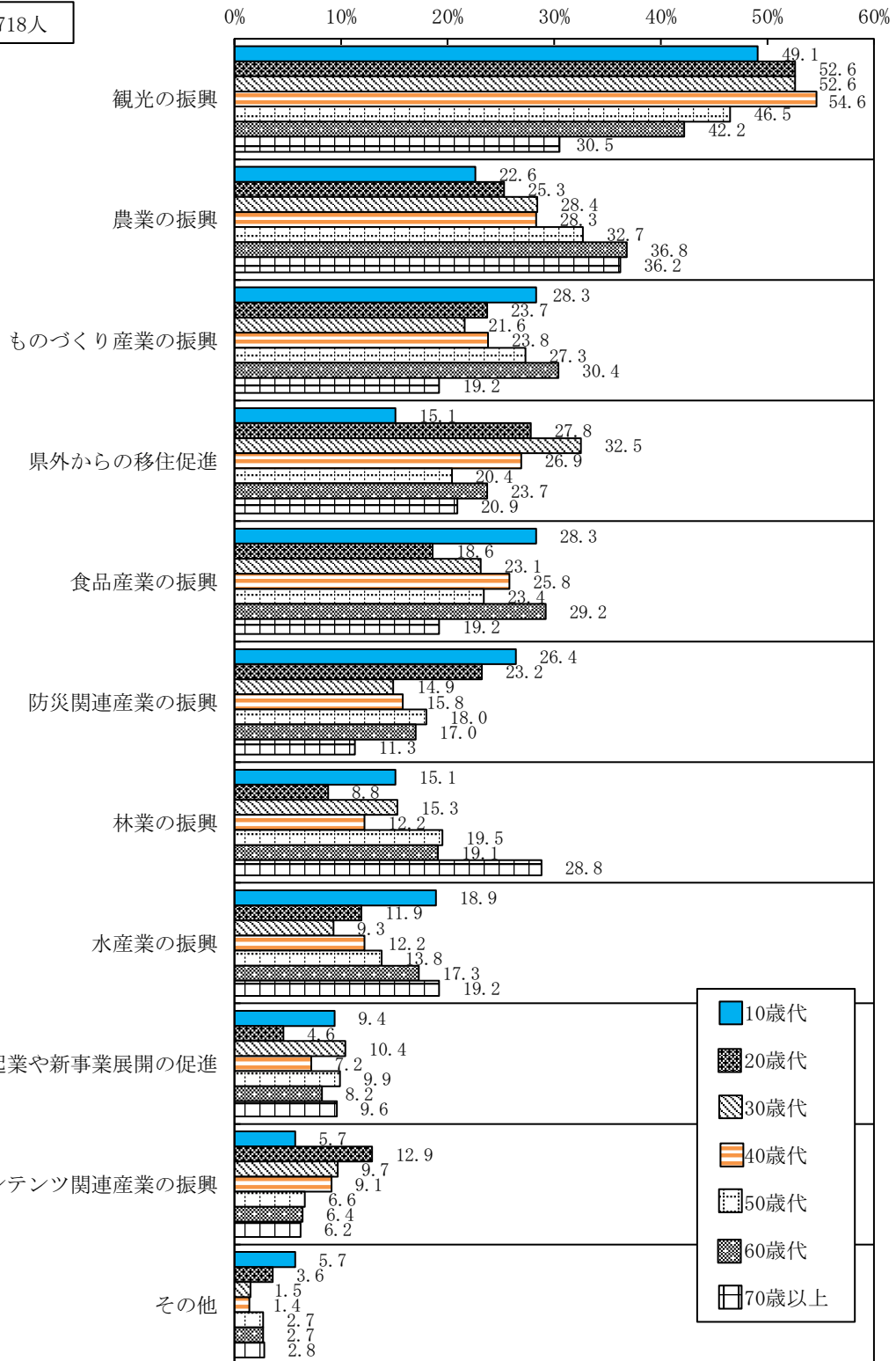


【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「観光の振興」が最も高く、70歳以上では「農業の振興」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人



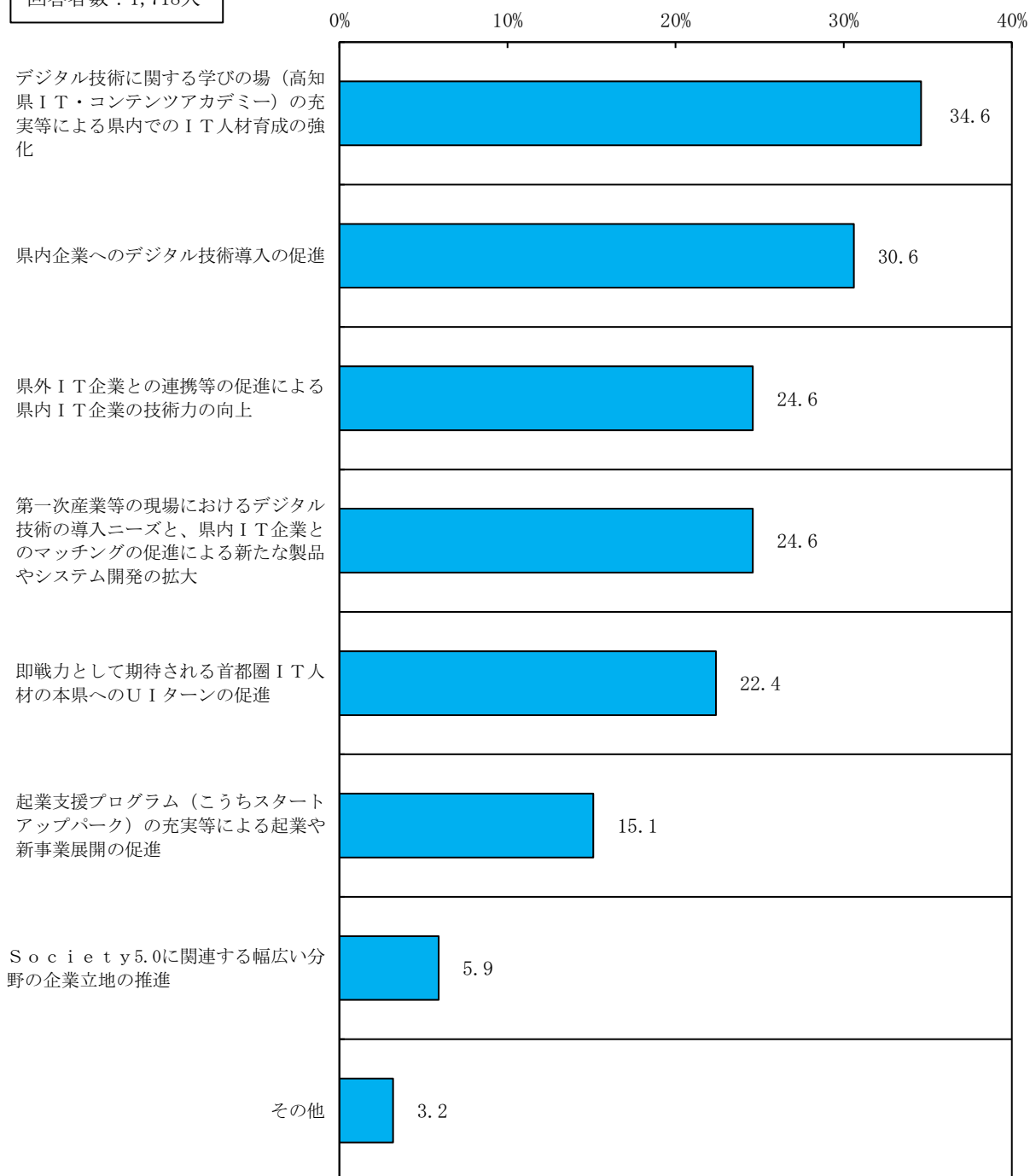
問36 本県において、デジタル技術を活用した取り組みをさらに進めるために、特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで〇印）

【総合】 「デジタル技術に関する学びの場（高知県IT・コンテンツアカデミー）の充実等による県内でのIT人材育成の強化」が34.6%で1位になっている。

次いで「県内企業へのデジタル技術導入の促進」が30.6%、「県外IT企業との連携等の促進による県内IT企業の技術力の向上」、「第一次産業等の現場におけるデジタル技術の導入ニーズと、県内IT企業とのマッチングの促進による新たな製品やシステム開発の拡大」が同率で24.6%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

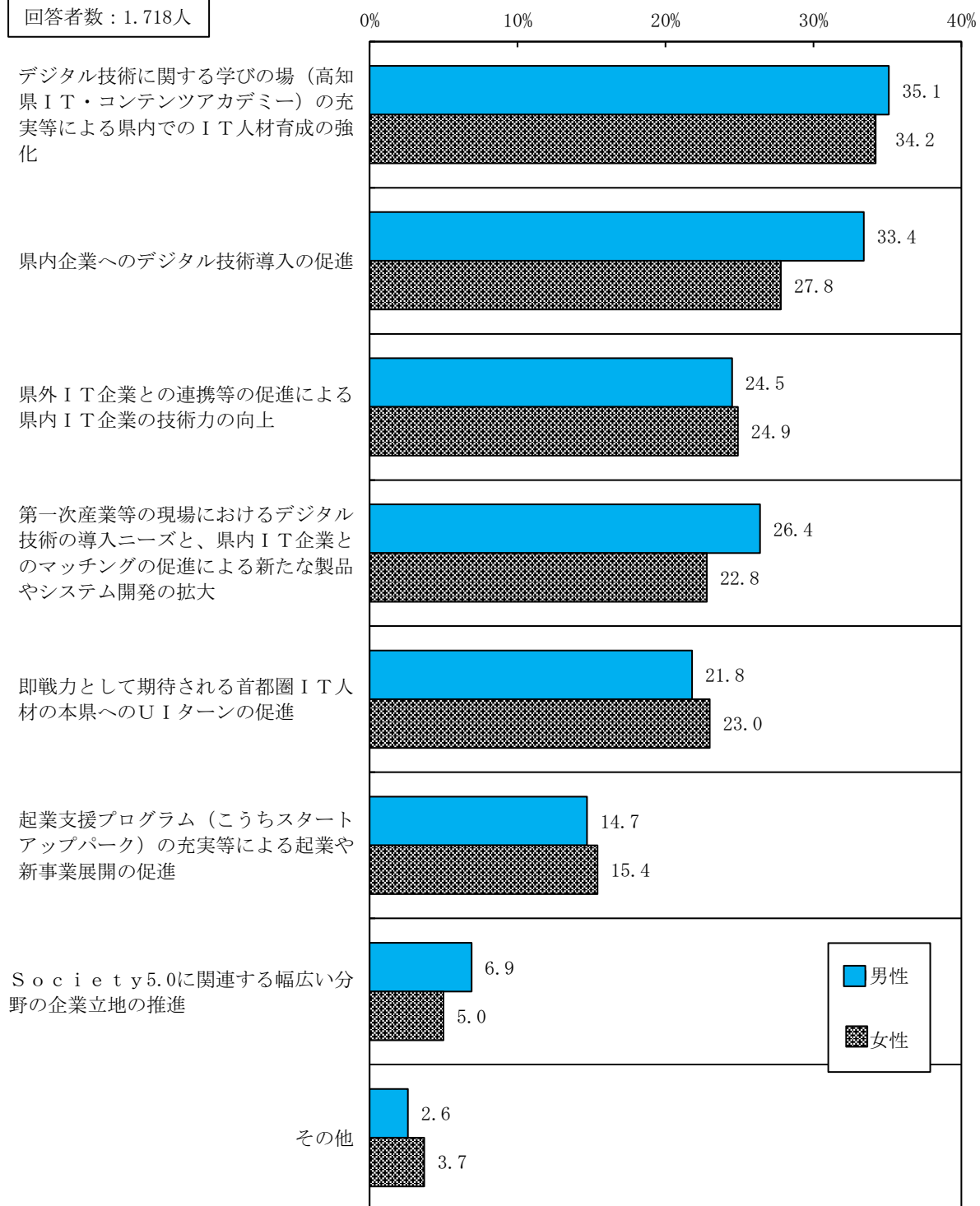


【性別】

男女とも「デジタル技術に関する学びの場(高知県IT・コンテンツアカデミー)の充実等による県内でのIT人材育成の強化」が最も高く、男性は「県内企業へのデジタル技術導入の促進」、「第一次産業等の現場におけるデジタル技術の導入ニーズと、県内IT企業とのマッチングの促進による新たな製品やシステム開発の拡大」、女性は「県内企業へのデジタル技術導入の促進」、「県外IT企業との連携等の促進による県内IT企業の技術力の向上」が続いている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

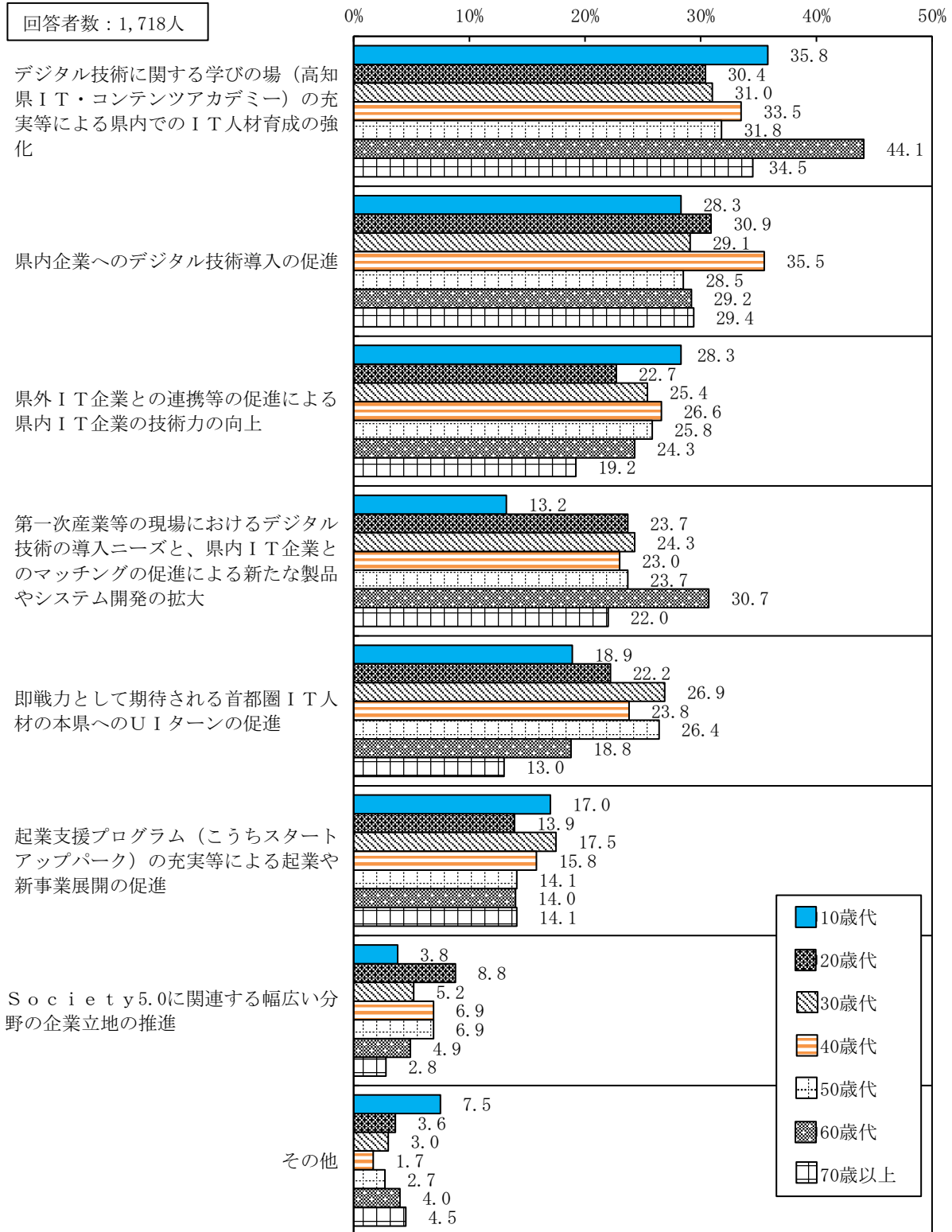


【年代別】

10歳代、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「デジタル技術に関する学びの場（高知県IT・コンテンツズアカデミー）の充実等による県内でのIT人材育成の強化」が、20歳代、40歳代では「県内企業へのデジタル技術導入の促進」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人



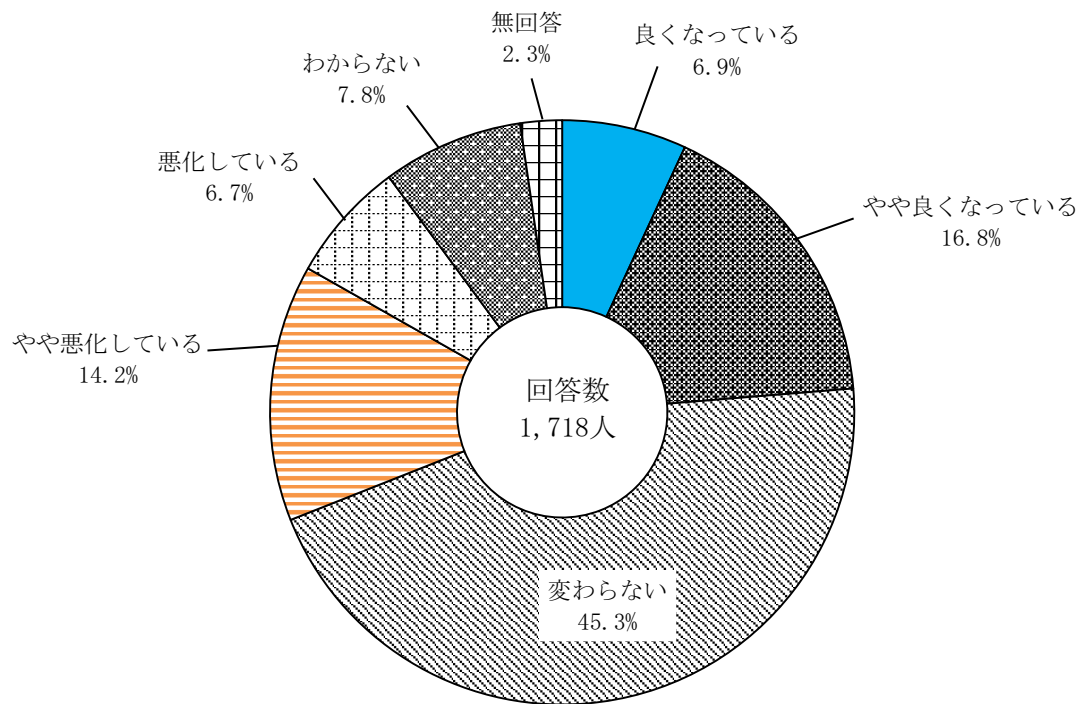
[5] 暮らしと環境、地球温暖化について

問 37 あなたが住んでいる地域（市町村）の環境について、あなたは、日頃どのような実感をお持ちですか。（1つだけ〇印）

【総合】 「変わらない」が45.3%で1位となっている。

次いで「やや良くなっている」が16.8%、「やや悪化している」が14.2%が続いている。

《 総 合 》



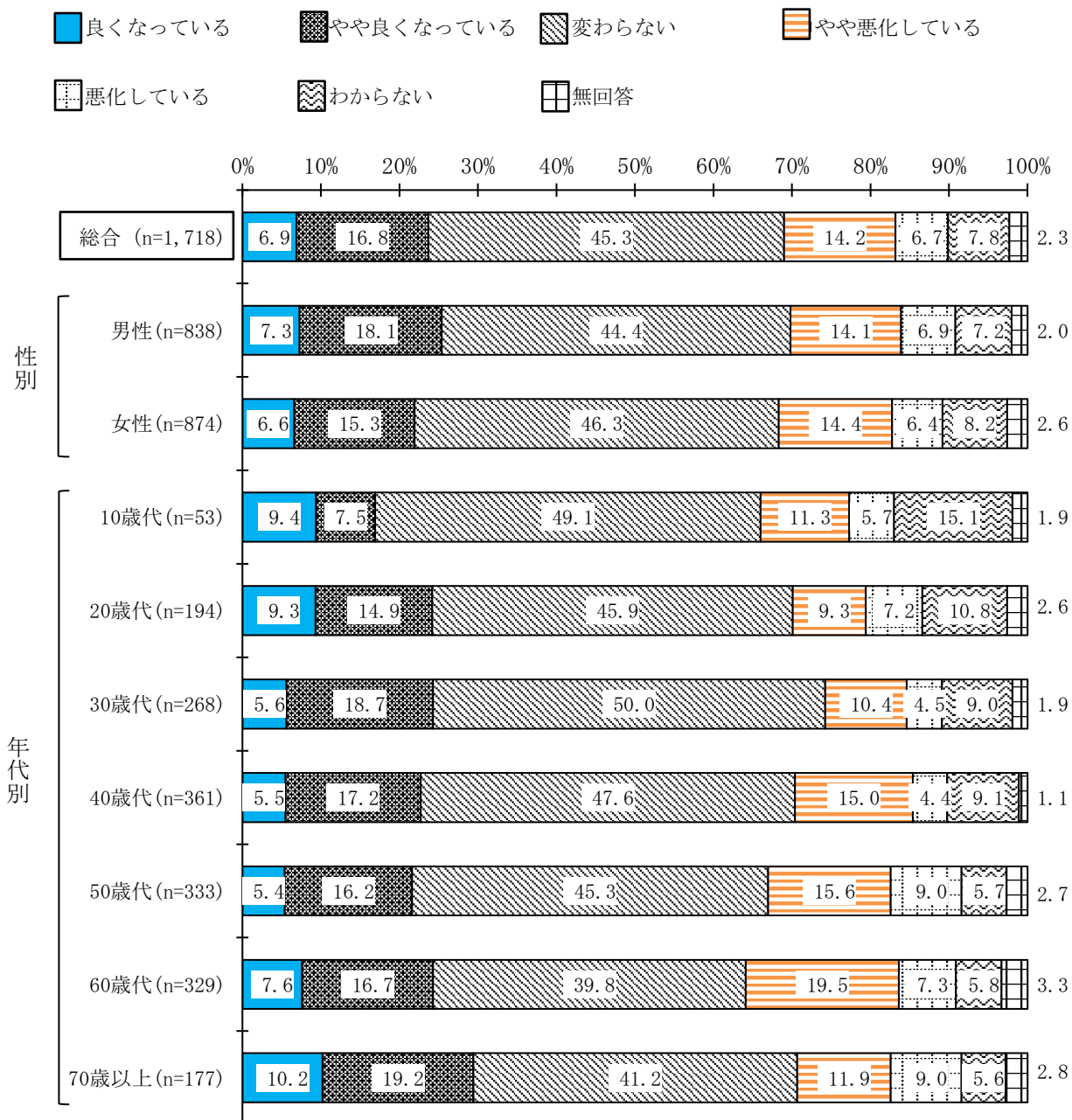
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「変わらない」が最も高くなっている。

《 総合・総合・性別・年代別 》



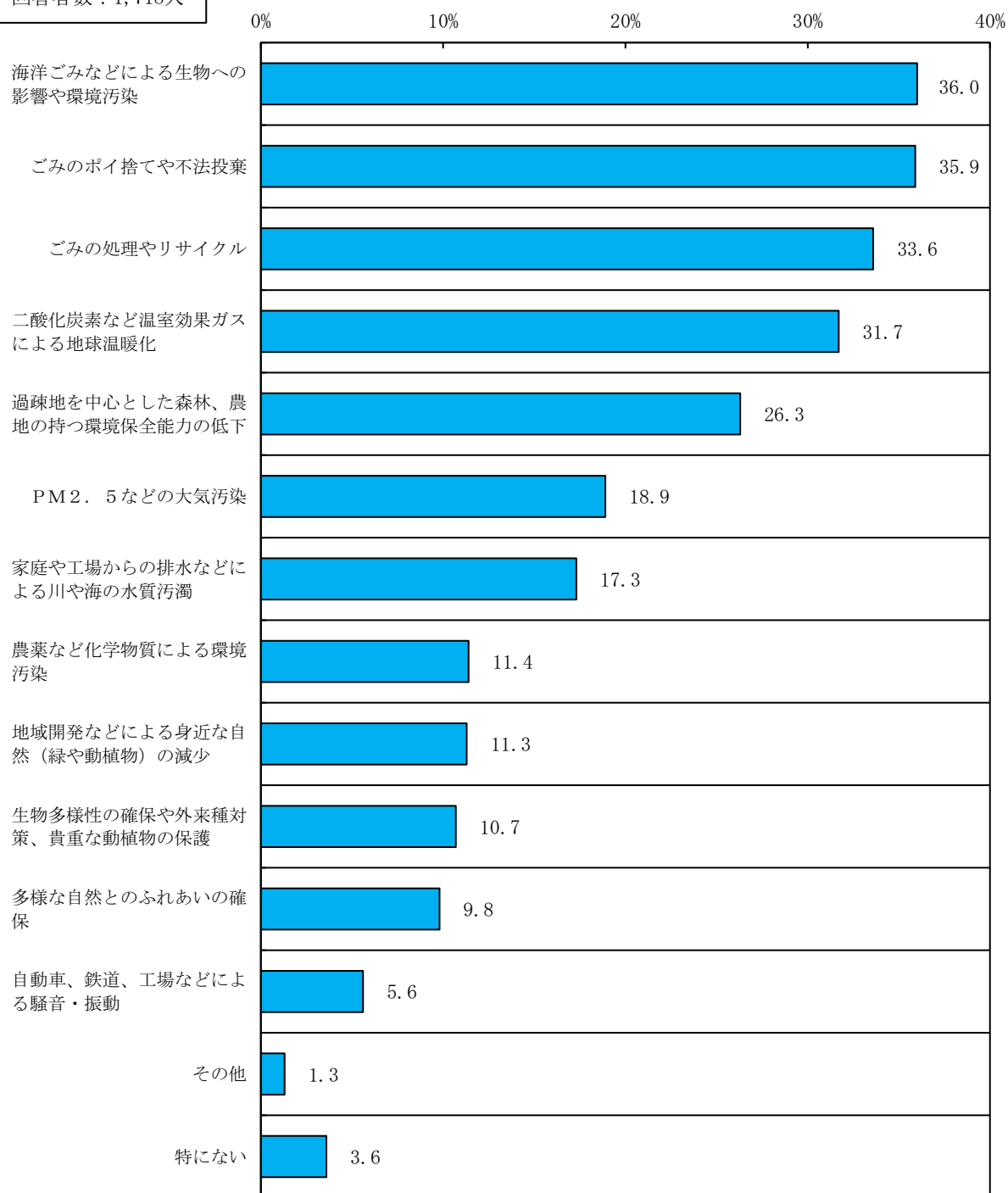
問38 あなたは、現在、主にどのような環境問題に関心がありますか。（3つまで○印）

【総合】 「海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染」が36.0%で1位になっている。

次いで「ごみのポイ捨てや不法投棄」が35.9%、「ごみの処理やリサイクル」が33.6%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

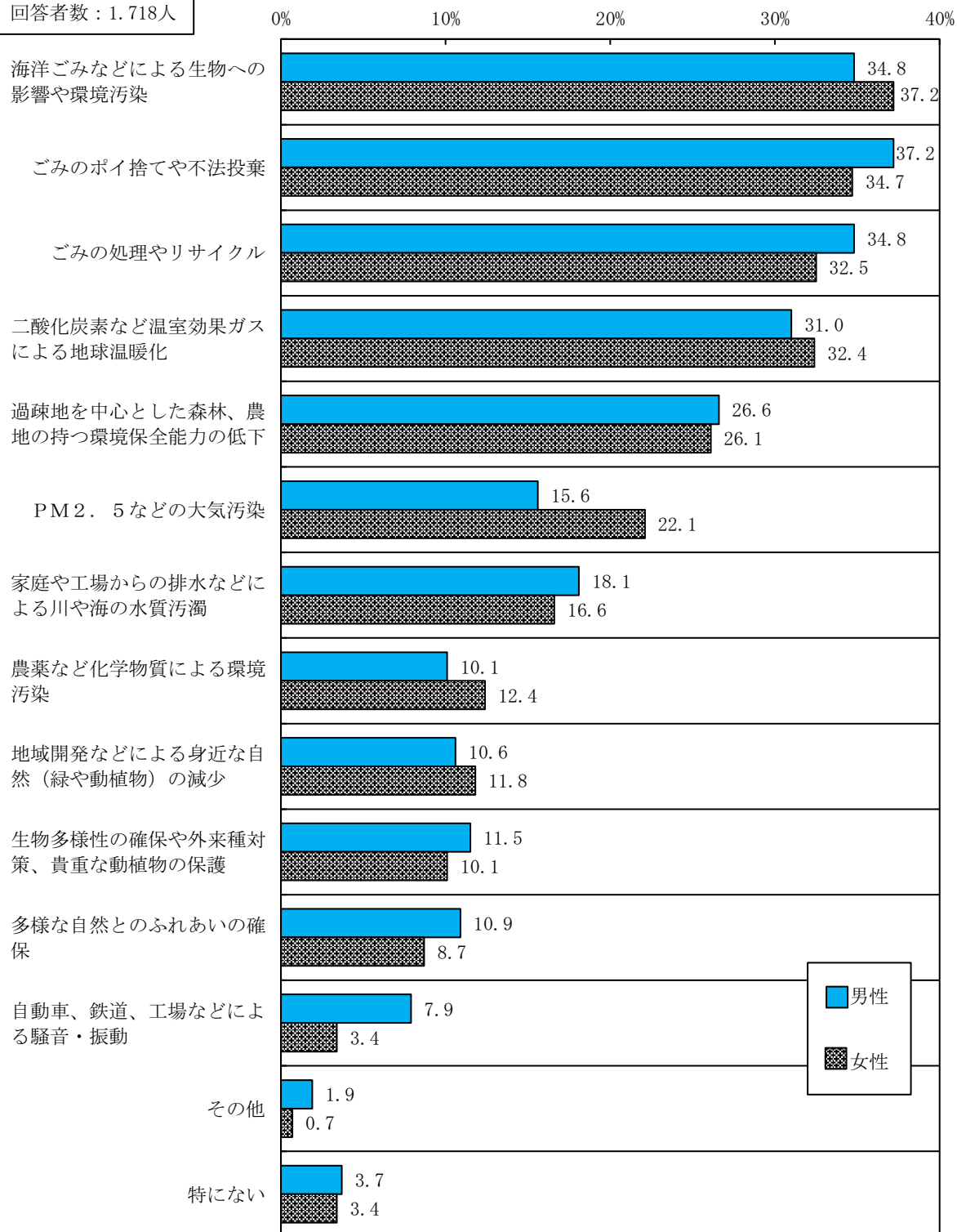


【性別】

男性では「ごみのポイ捨てや不法投棄」が最も高く、同率で「海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染」と「ごみの処理やリサイクル」と続き、女性では「海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染」が最も高く、「ごみのポイ捨てや不法投棄」、「ごみの処理やリサイクル」と続いている。

《 性別 》

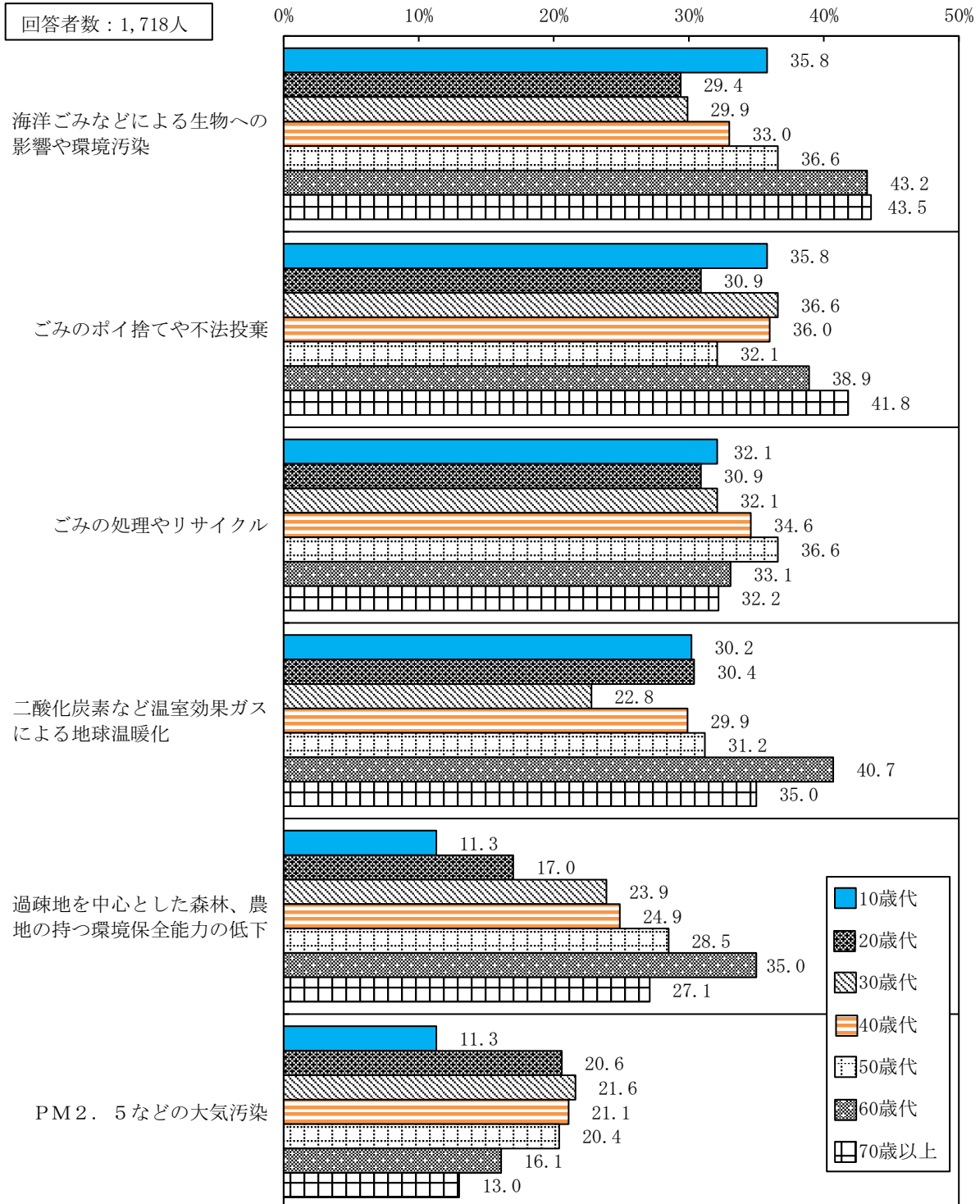
回答者数：1,718人



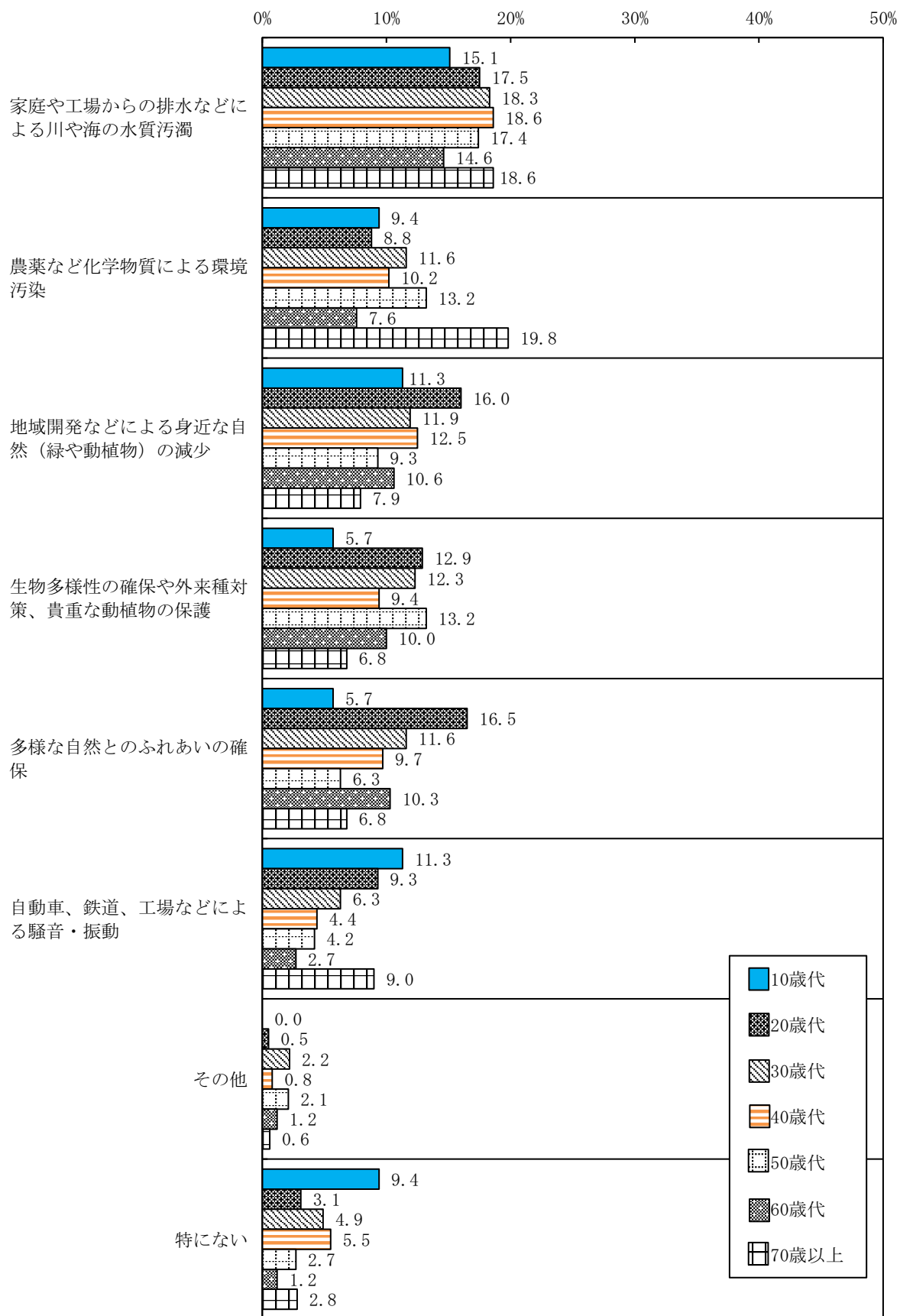
【年代別】

10歳代では同率で「海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染」と「ごみのポイ捨てや不法投棄」が、20歳代では同率で「ごみのポイ捨てや不法投棄」と「ごみの処理やリサイクル」が、30歳代、40歳代では「ごみのポイ捨てや不法投棄」が、50歳代では同率で「海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染」と「ごみの処理やリサイクル」が、60歳代、70歳以上では「海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染」が最も高くなっている。

《 年代別 》



《 年代別 》



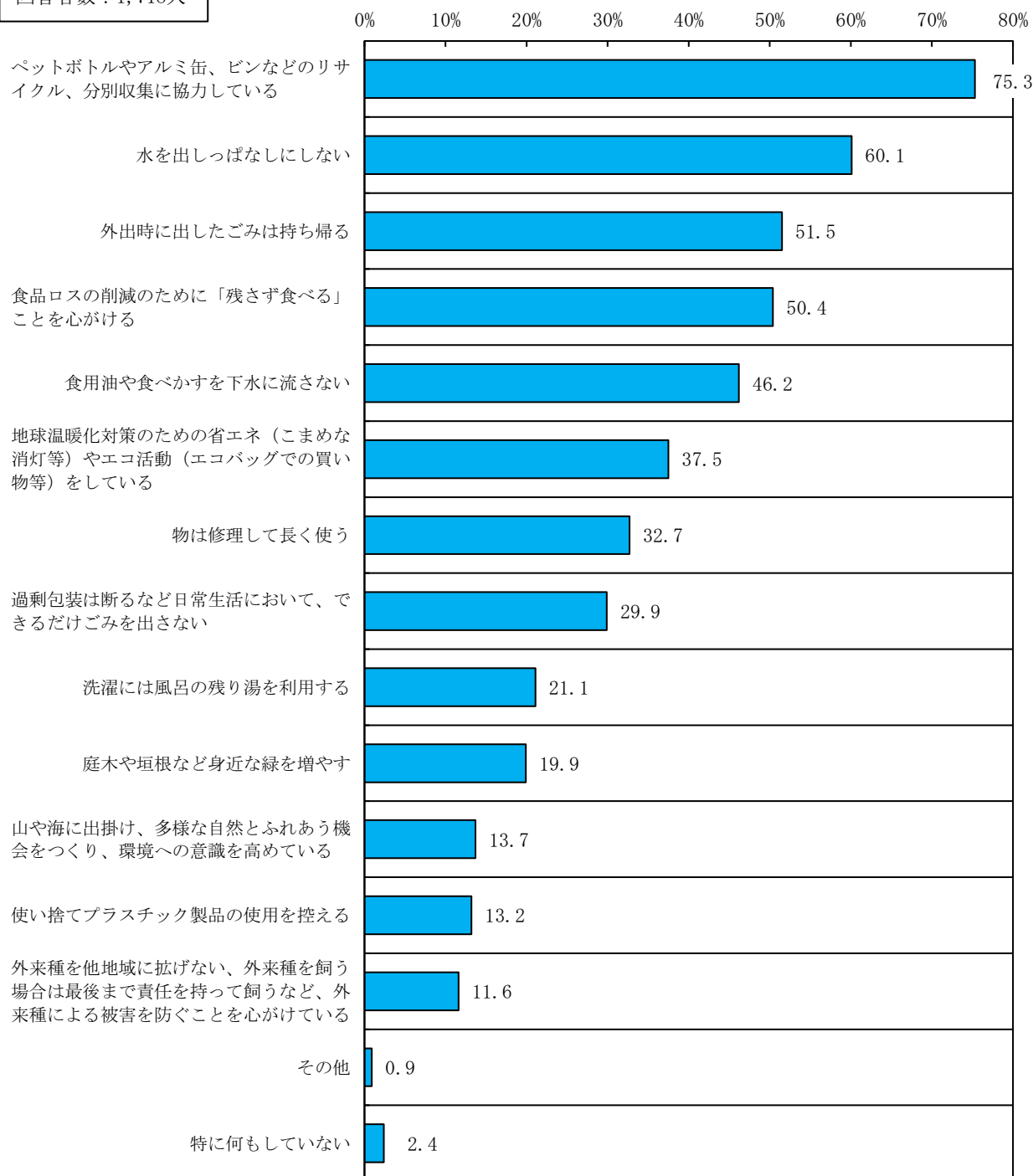
問39 あなたは、日常生活において、環境を守るためにどのような配慮をしていますか。
(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「ペットボトルやアルミ缶、ビンなどのリサイクル、分別収集に協力している」が75.3%で1位になっている。

次いで「水を出しっぱなしにしない」が60.1%、「外出時に出したごみは持ち帰る」が51.5%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

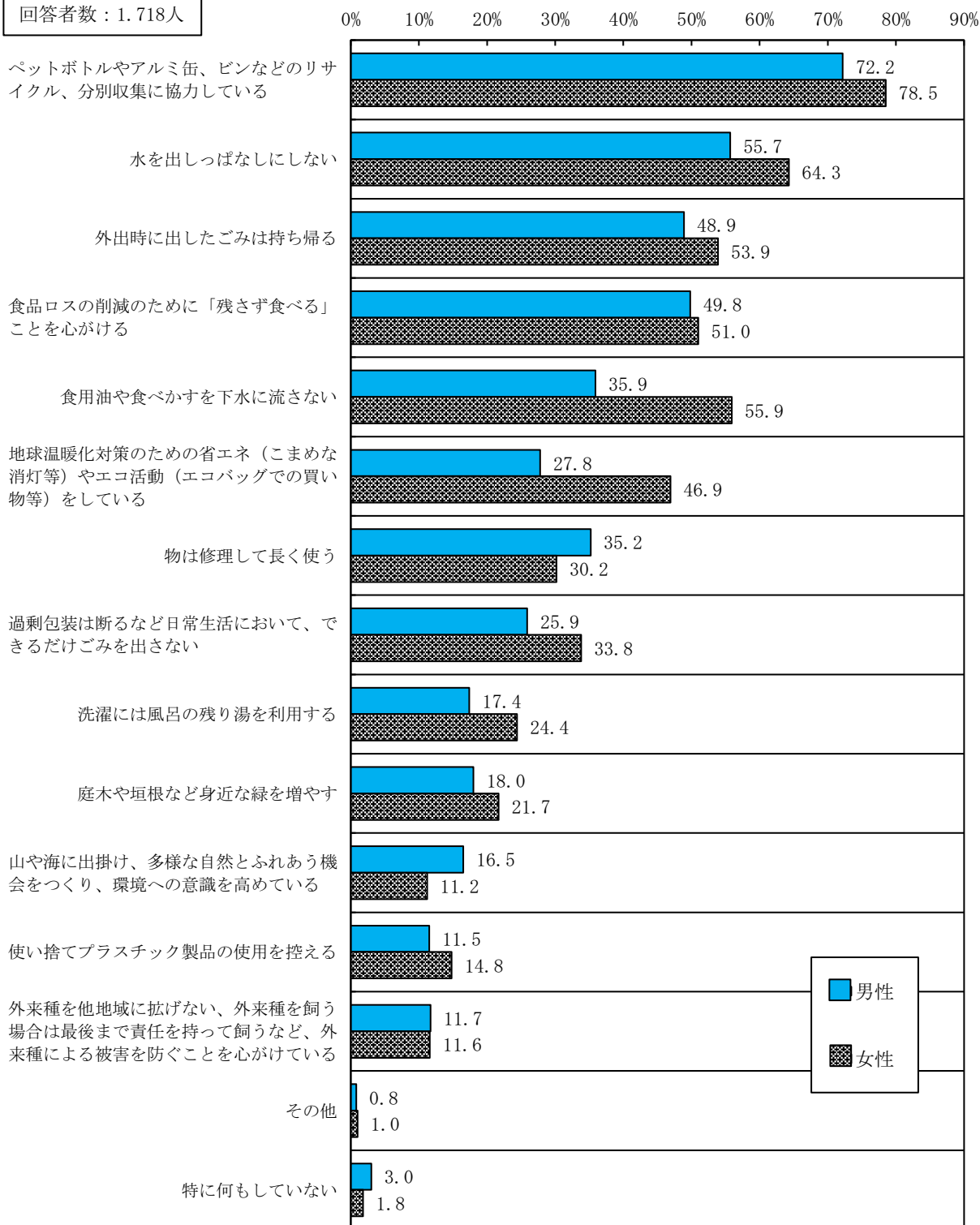


【性別】

男女ともに「ペットボトルやアルミ缶、ビンなどのリサイクル、分別収集に協力している」が最も高く、男性では「水を出しっぱなしにしない」、「食品ロスの削減のために「残さず食べる」ことを心がける」、女性では「水を出しっぱなしにしない」、「食用油や食べかすを下水に流さない」と続いている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

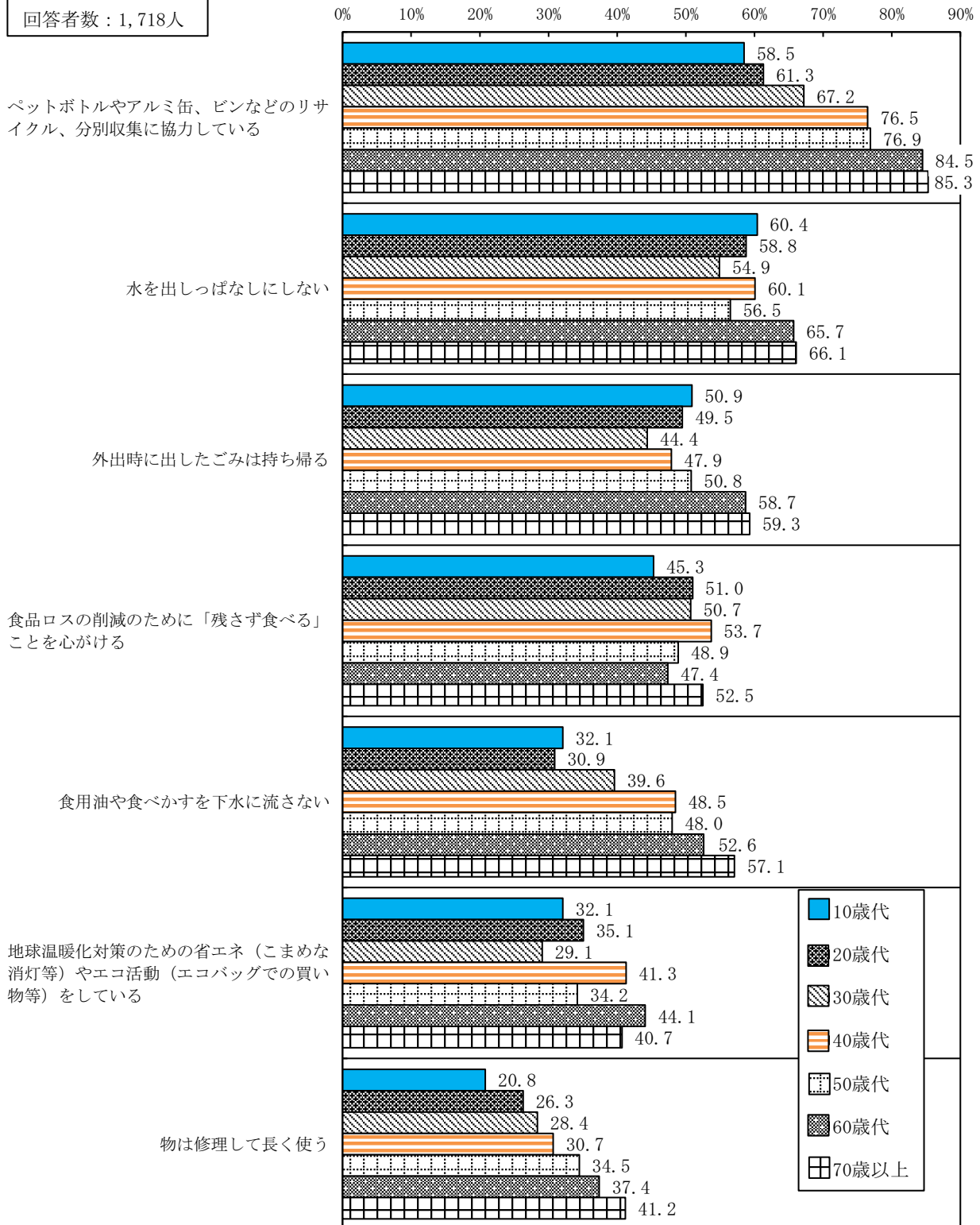


【年代別】

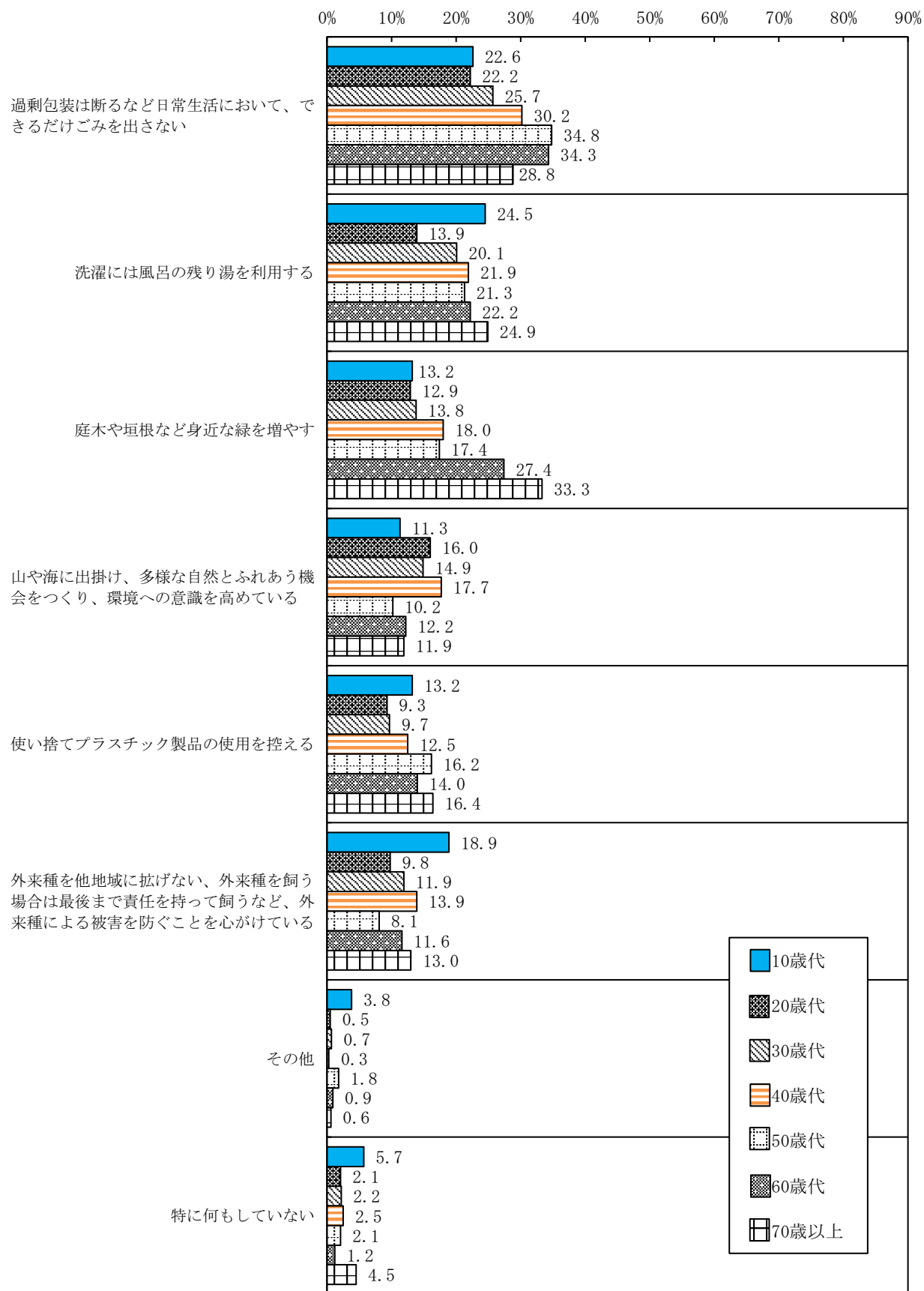
10歳代を除くすべての年代で「ペットボトルやアルミ缶、ビンなどのリサイクル、分別収集に協力している」が、10歳代では「水を出しっぱなしにしない」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人



《 年代別 》

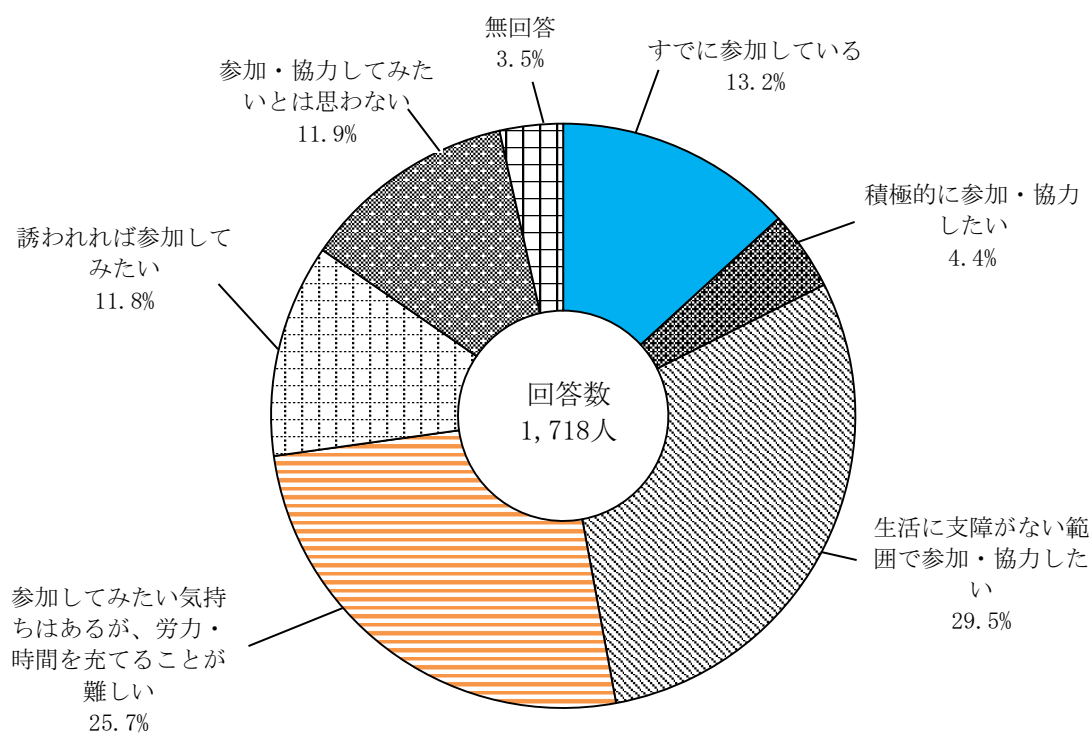


問 40 あなたは、地域の環境保全活動（地域の清掃活動や外来種の駆除活動等）に参加・協力してみたいと思いますか。（1つだけ○印）

【総合】 「生活に支障がない範囲で参加・協力したい」が29.5%で1位となっている。

次いで「参加してみたい気持ちはあるが、労力・時間を充てるのが難しい」が25.7%、「すでに参加している」が13.2%となっている。

《 総 合 》



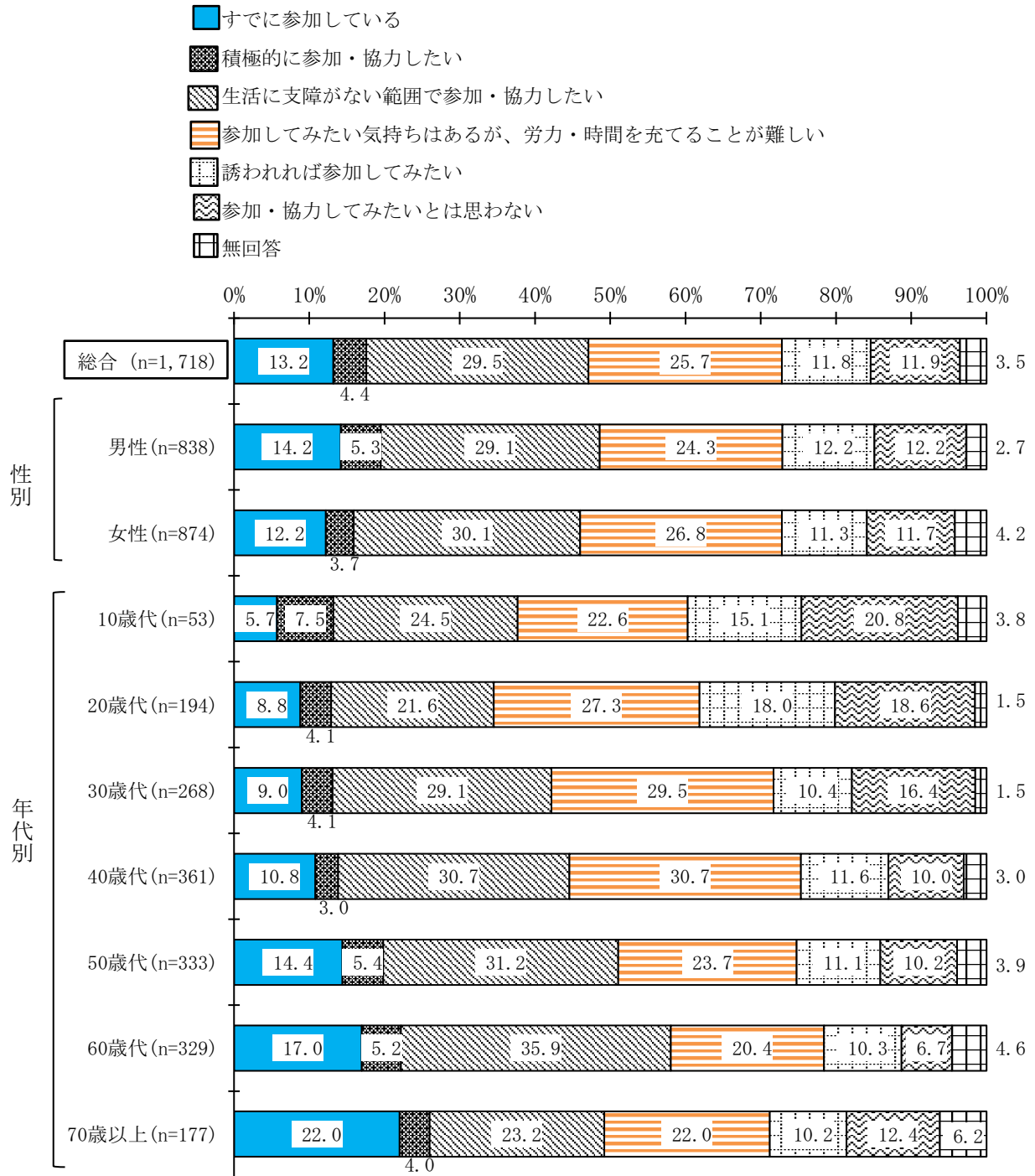
【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

【年代別】

10歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「生活に支障がない範囲で参加・協力したい」が、20歳代、30歳代では「参加してみたい気持ちはあるが、労力・時間を充てるのが難しい」が、40歳代は同率で「生活に支障がない範囲で参加・協力したい」と「参加してみたい気持ちはあるが、労力・時間を充てるのが難しい」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》



問41 県の環境をよりよくするために、今後行政が特に力を入れるべき取り組みは何ですか。

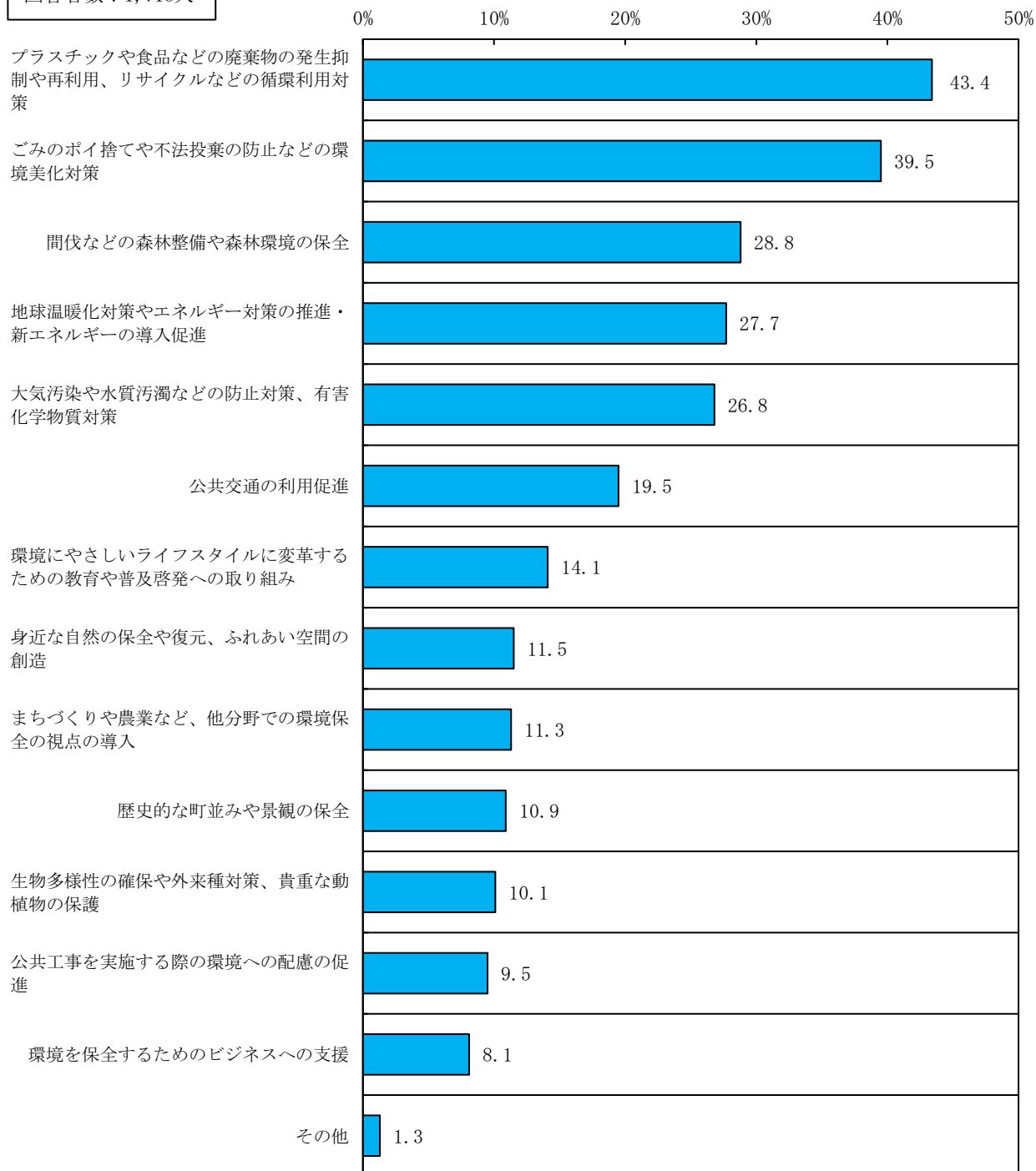
(3つまで○印)

【総合】「プラスチックや食品などの廃棄物の発生抑制や再利用、リサイクルなどの循環利用対策」が43.4%で1位になっている。

次いで「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策」が39.5%、「間伐などの森林整備や森林環境の保全」が28.8%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

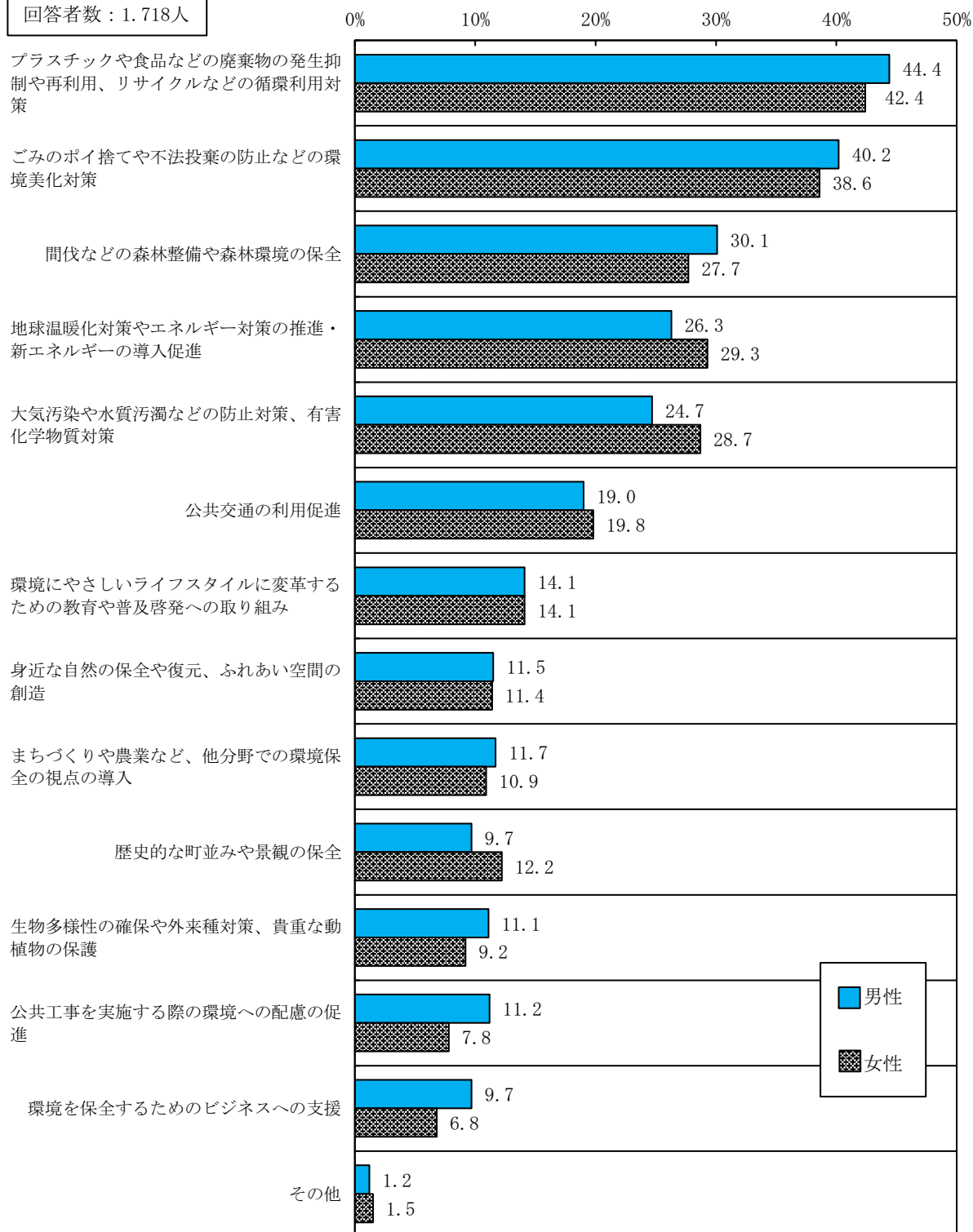


【性別】

男女ともに「プラスチックや食品などの廃棄物の発生抑制や再利用、リサイクルなどの循環利用対策」が最も高く、男性では「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策」、「間伐などの森林整備や森林環境の保全」、女性では「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策」、「地球温暖化対策やエネルギー推進・新エネルギーの導入促進」と続いている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

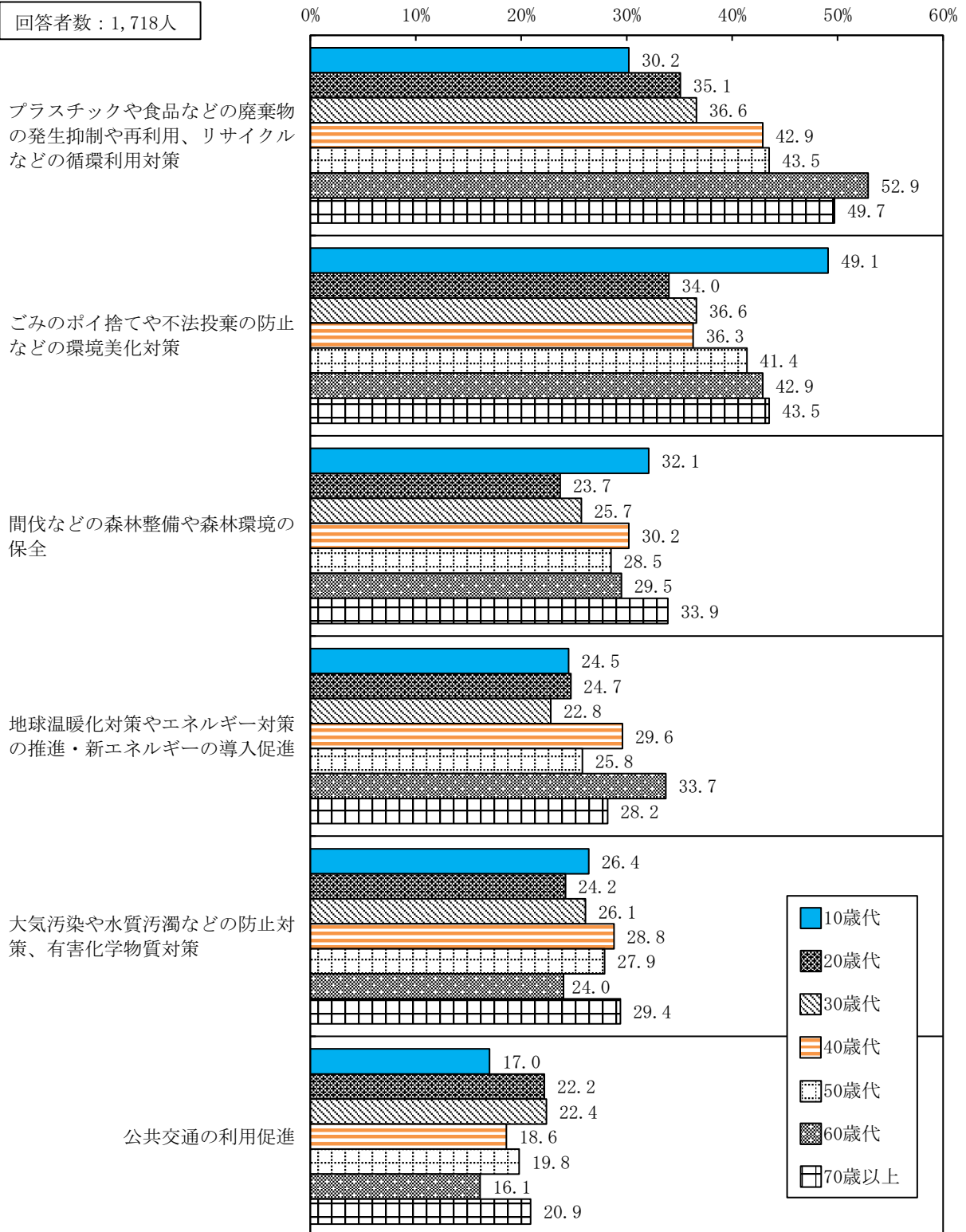


【年代別】

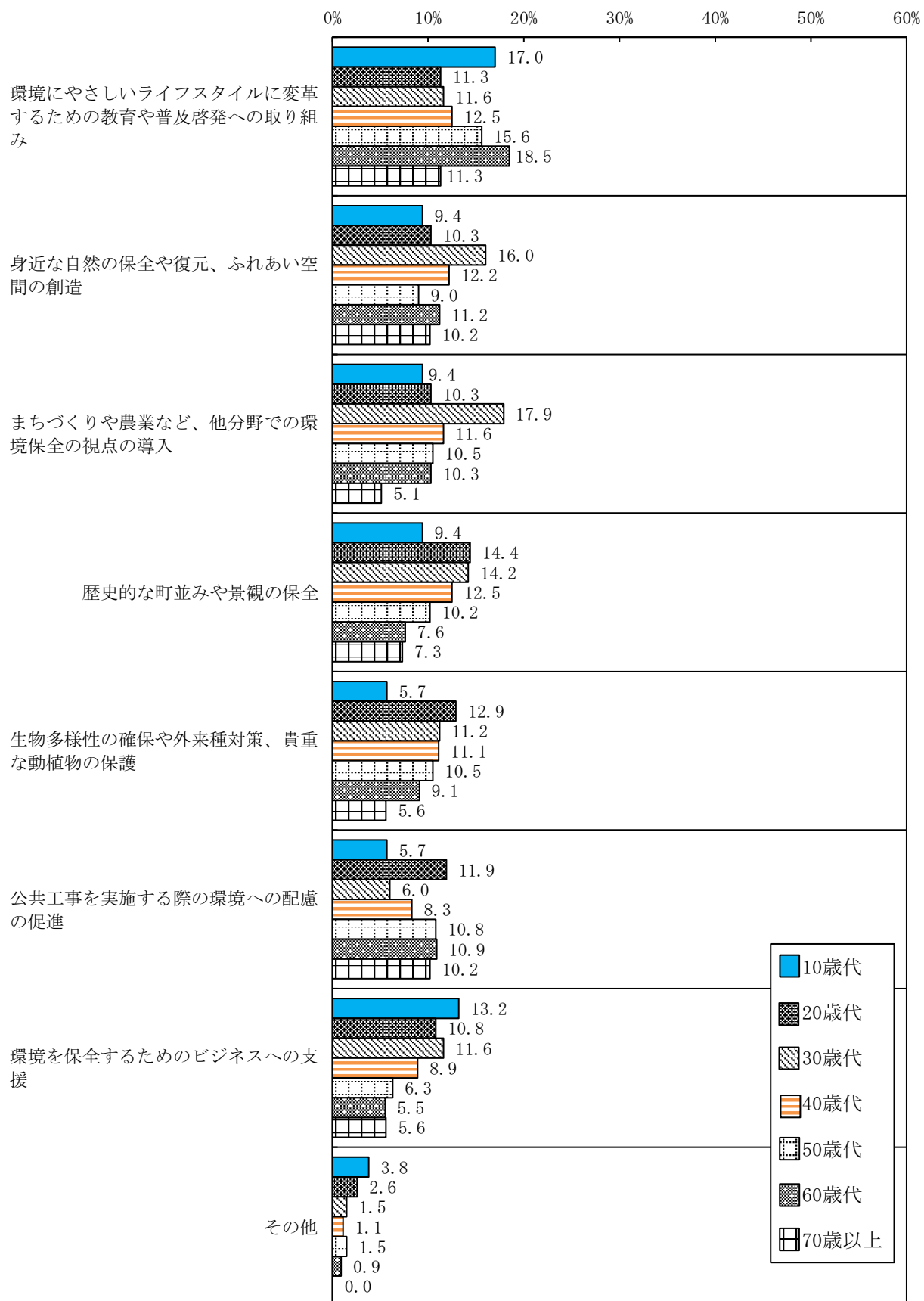
10歳代では「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策」が、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「プラスチックや食品などの廃棄物の発生抑制や再利用、リサイクルなどの循環利用対策」が、30歳代では同率で「プラスチックや食品などの廃棄物の発生抑制や再利用、リサイクルなどの循環利用対策」と「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人



《 年代別 》



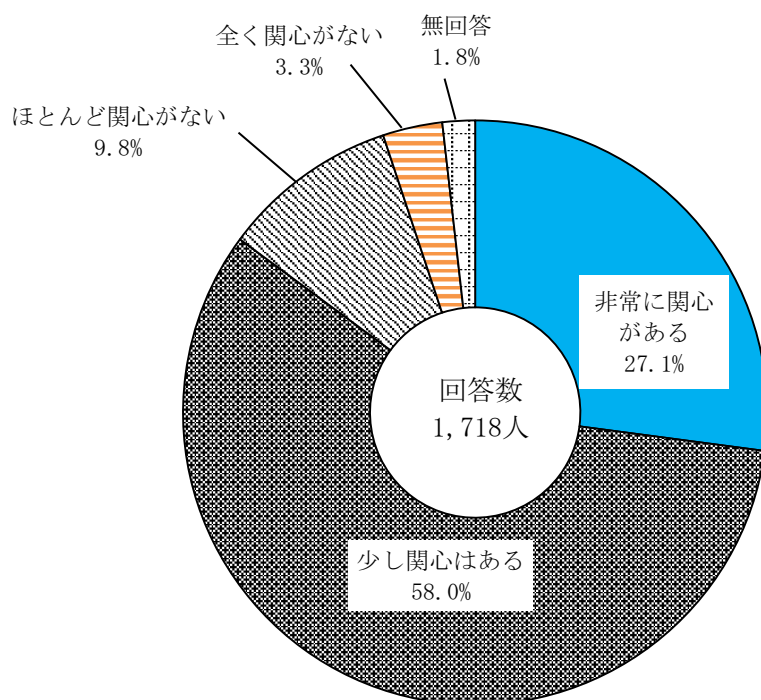
【地球温暖化対策について】

問 42 地球温暖化問題に対して、どの程度関心がありますか。（1つだけ〇印）

【総合】 「少し関心はある」が58.0%で1位となっている。

次いで「非常に関心がある」が27.1%、「ほとんど関心がない」が9.8%となっている。

《 総 合 》



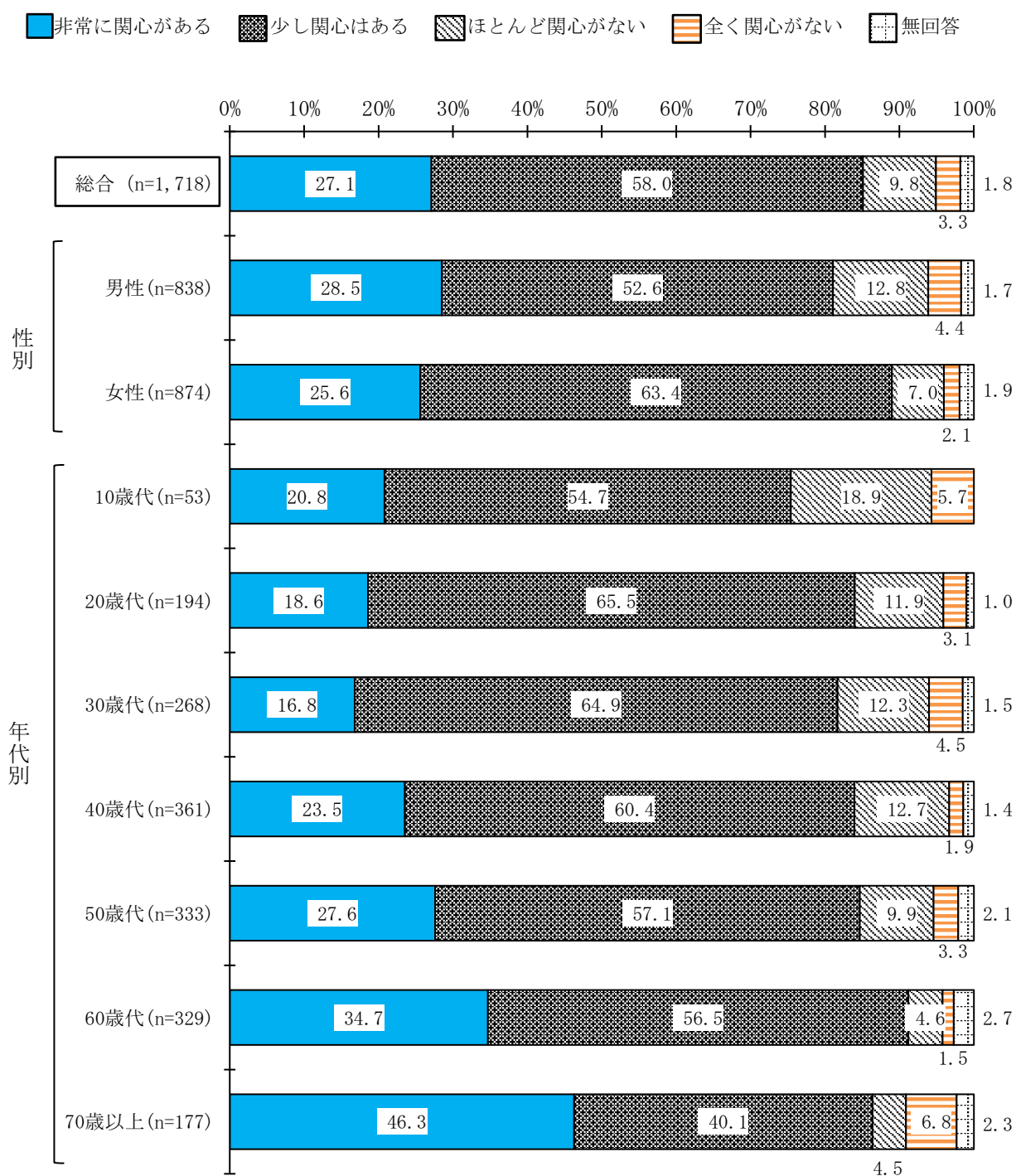
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「少し関心はある」が、70歳以上では「非常に関心がある」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》



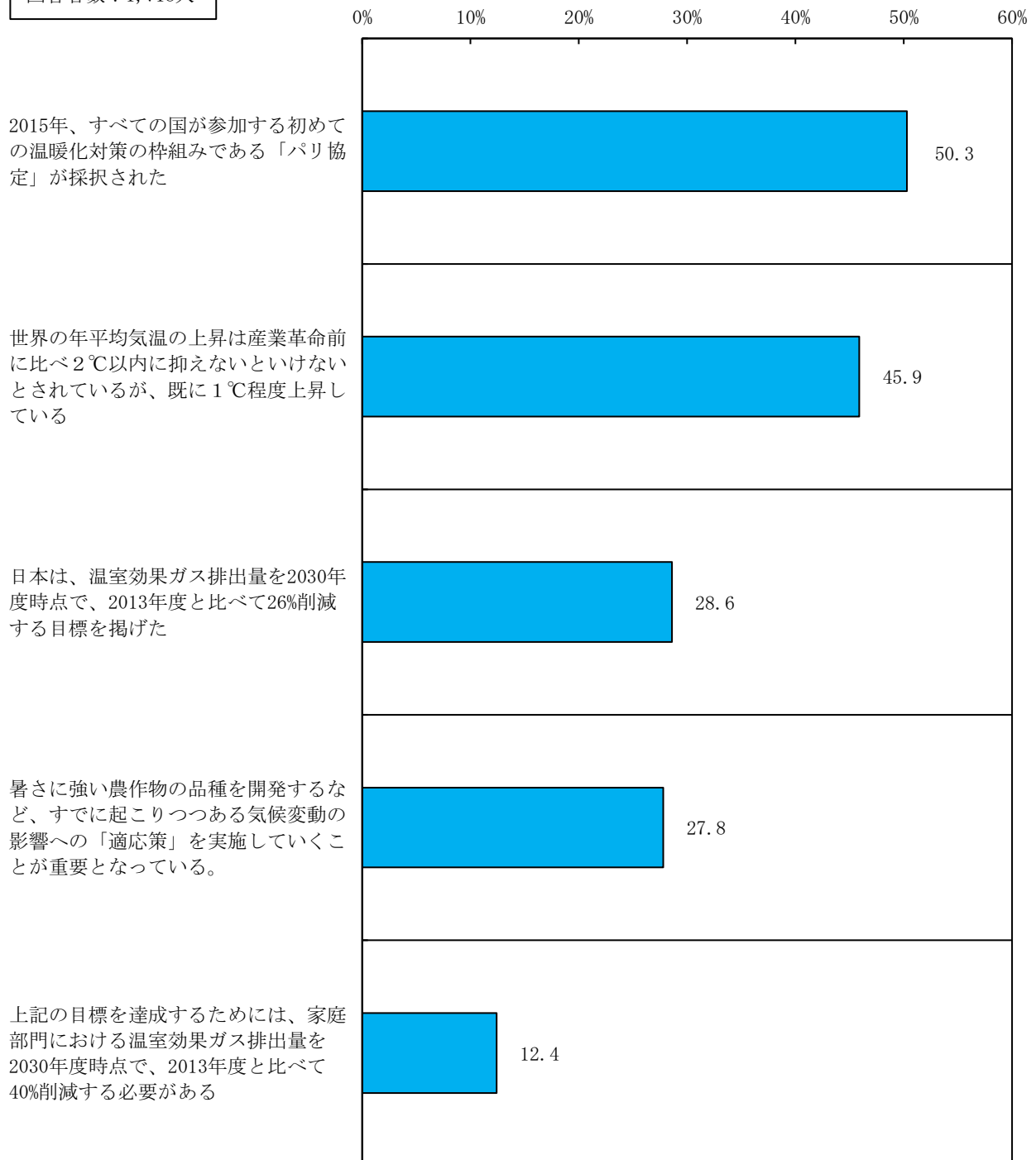
問 43 地球温暖化問題について、次のことを知っていますか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「2015年、すべての国が参加する初めての温暖化対策の枠組みである「パリ協定」が採択された」が50.3%で1位になっている。

次いで「世界の年平均気温の上昇は産業革命前に比べ2℃以内に抑えないといけないとされているが、既に1℃程度上昇している」が45.9%、「日本は、温室効果ガス排出量を2030年度時点で、2013年度と比べて26%削減する目標を掲げた」が28.6%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

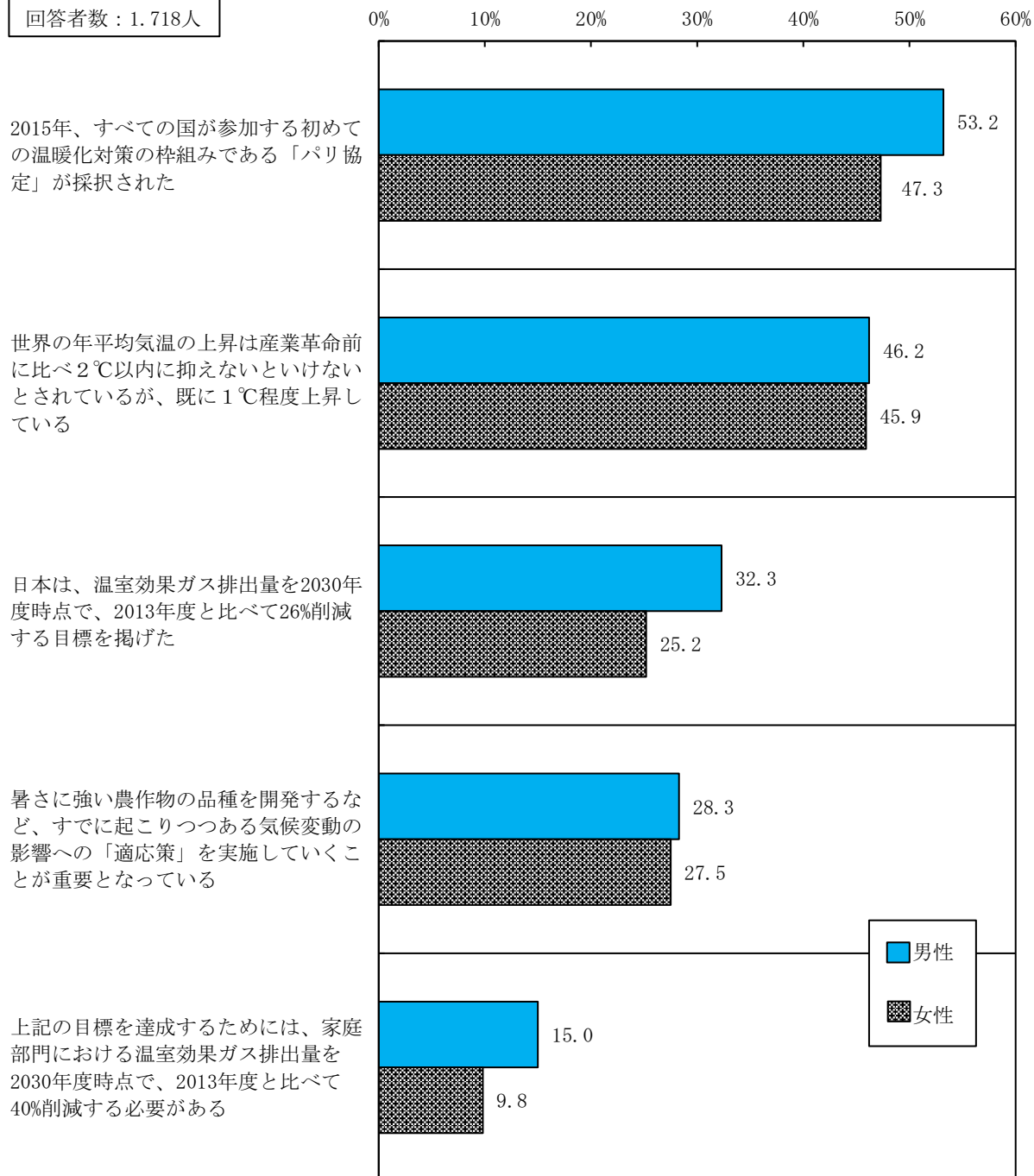


【性別】

男女ともに「2015年、すべての国が参加する初めての温暖化対策の枠組みである「パリ協定」が採択された」が最も高く、男性では「世界の年平均気温の上昇は産業革命前に比べ2℃以内に抑えないといけないとされているが、既に1℃程度上昇している」、「日本は、温室効果ガス排出量を2030年度時点で、2013年度と比べて26%削減する目標を掲げた」、女性では「世界の年平均気温の上昇は産業革命前に比べ2℃以内に抑えないといけないとされているが、既に1℃程度上昇している」、「暑さに強い農作物の品種を開発するなど、すでに起こりつつある気候変動の影響への「適応策」を実施していくことが重要となっている」が続いている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

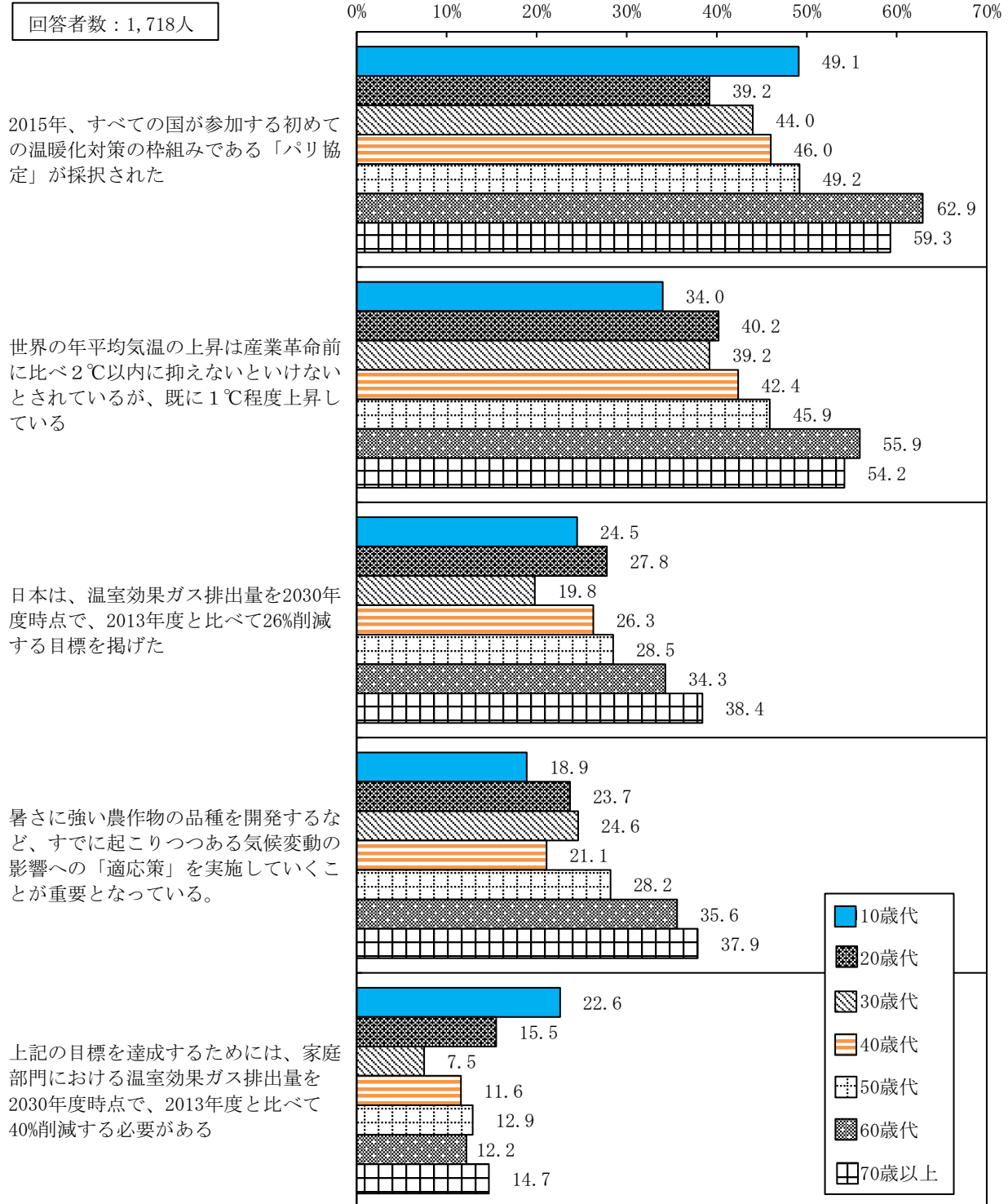


【年代別】

20歳代を除くすべての年代で「2015年、すべての国が参加する初めての温暖化対策の枠組みである「パリ協定」が採択された」が、20歳代では「世界の年平均気温の上昇は産業革命前に比べ2℃以内に抑えないといけないとされているが、既に1℃程度上昇している」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人

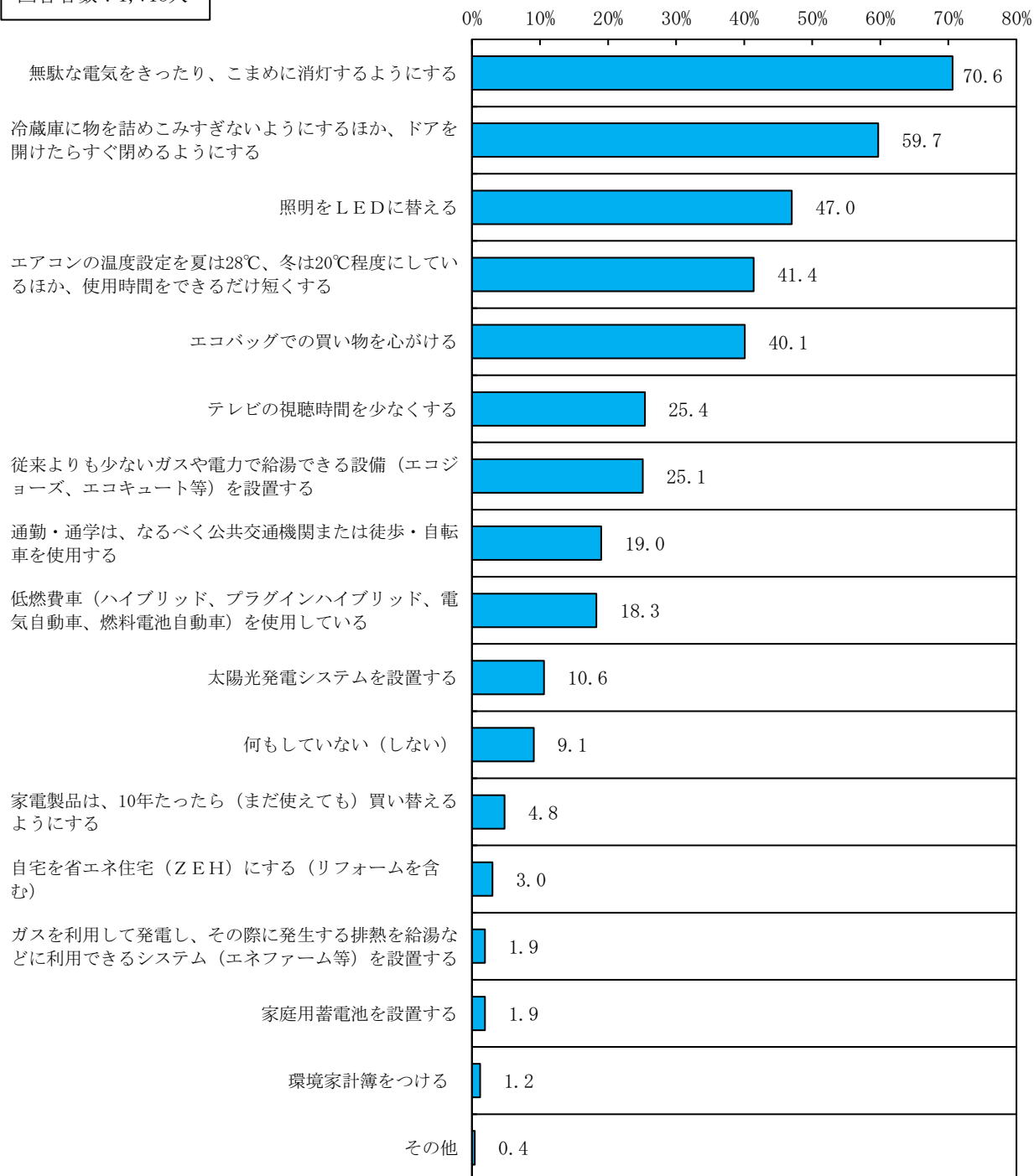


問44 地球温暖化対策について、次の中であなたが既に取り組んでいるものはありますか。
(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「無駄な電気をきったり、こまめに消灯するようにする」が70.6%で1位になっている。
次いで「冷蔵庫に物を詰めこみすぎないようにするほか、ドアを開けたらすぐ閉めるようにする」
が59.7%、「照明をLEDに替える」が47.0%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

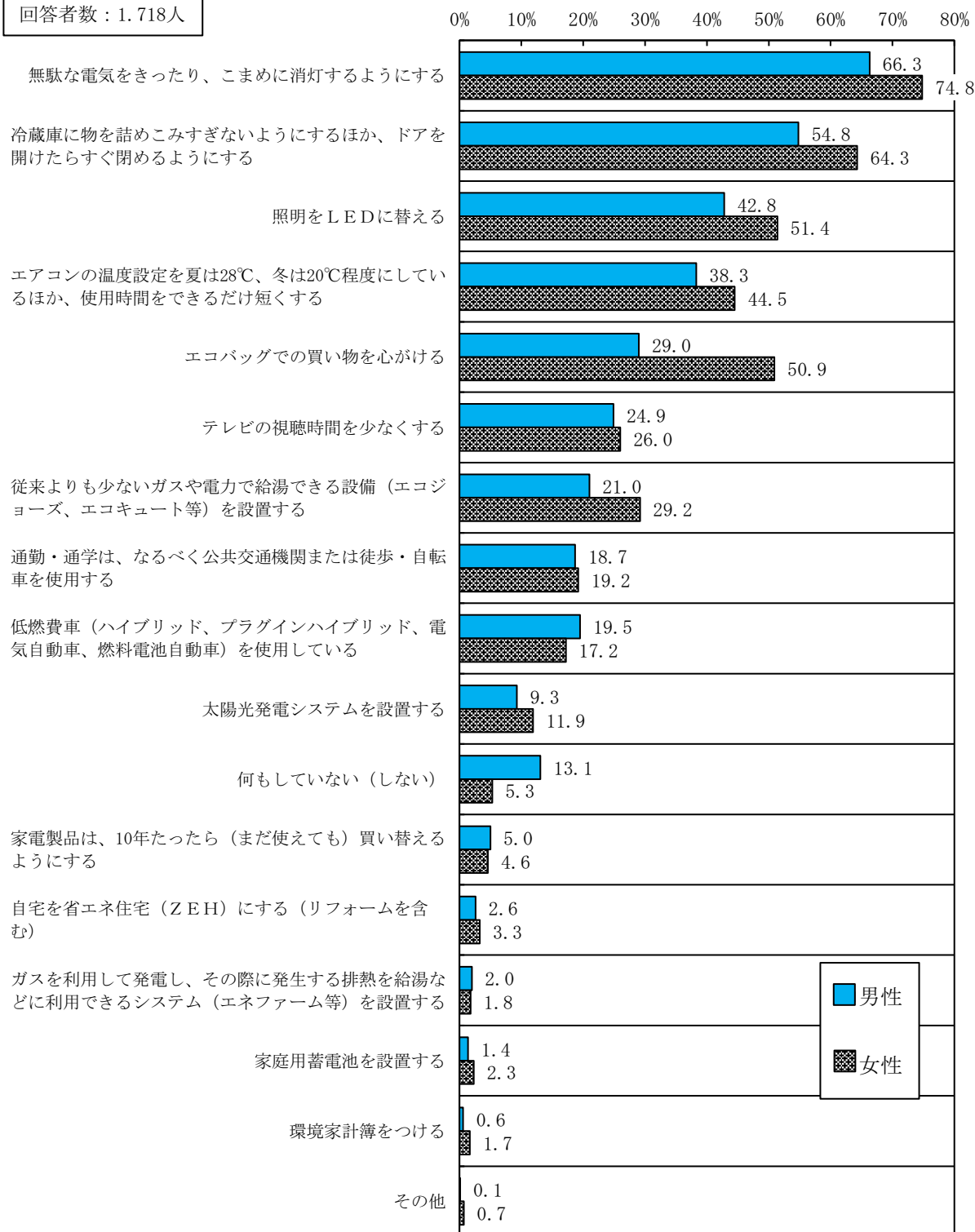


【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

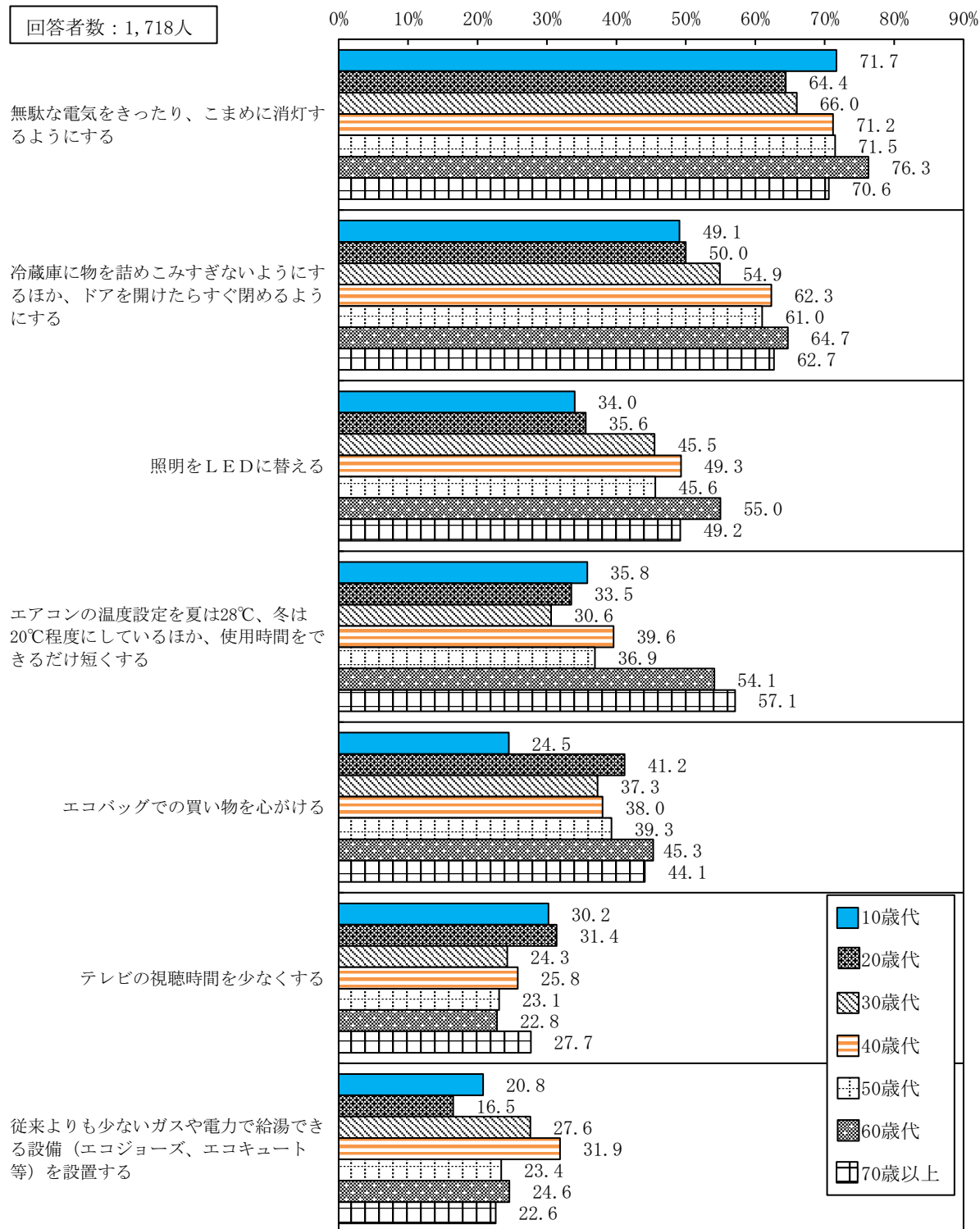


【年代別】

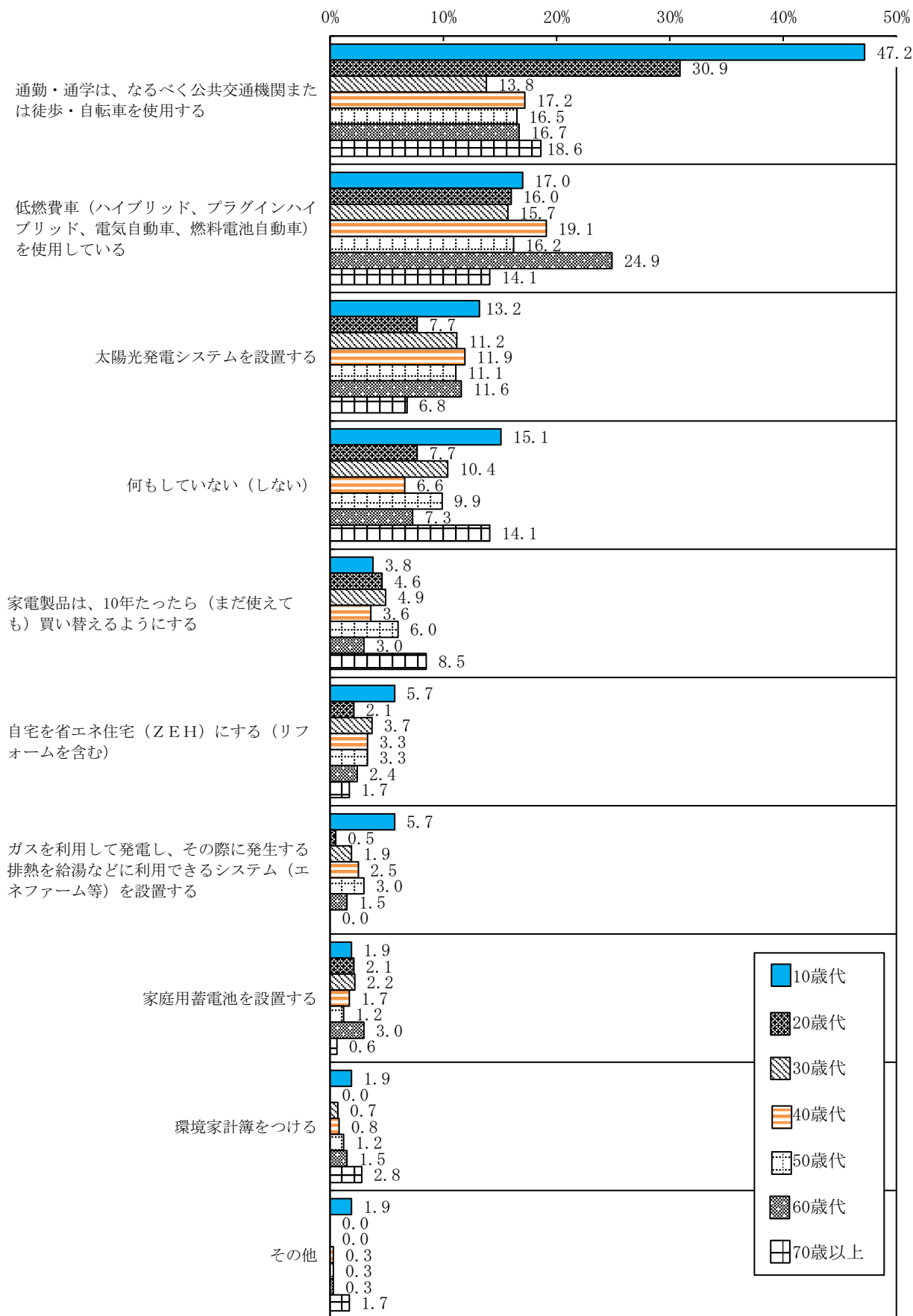
すべての年代で「無駄な電気をきったり、こまめに消灯するようにする」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人



《 年代別 》



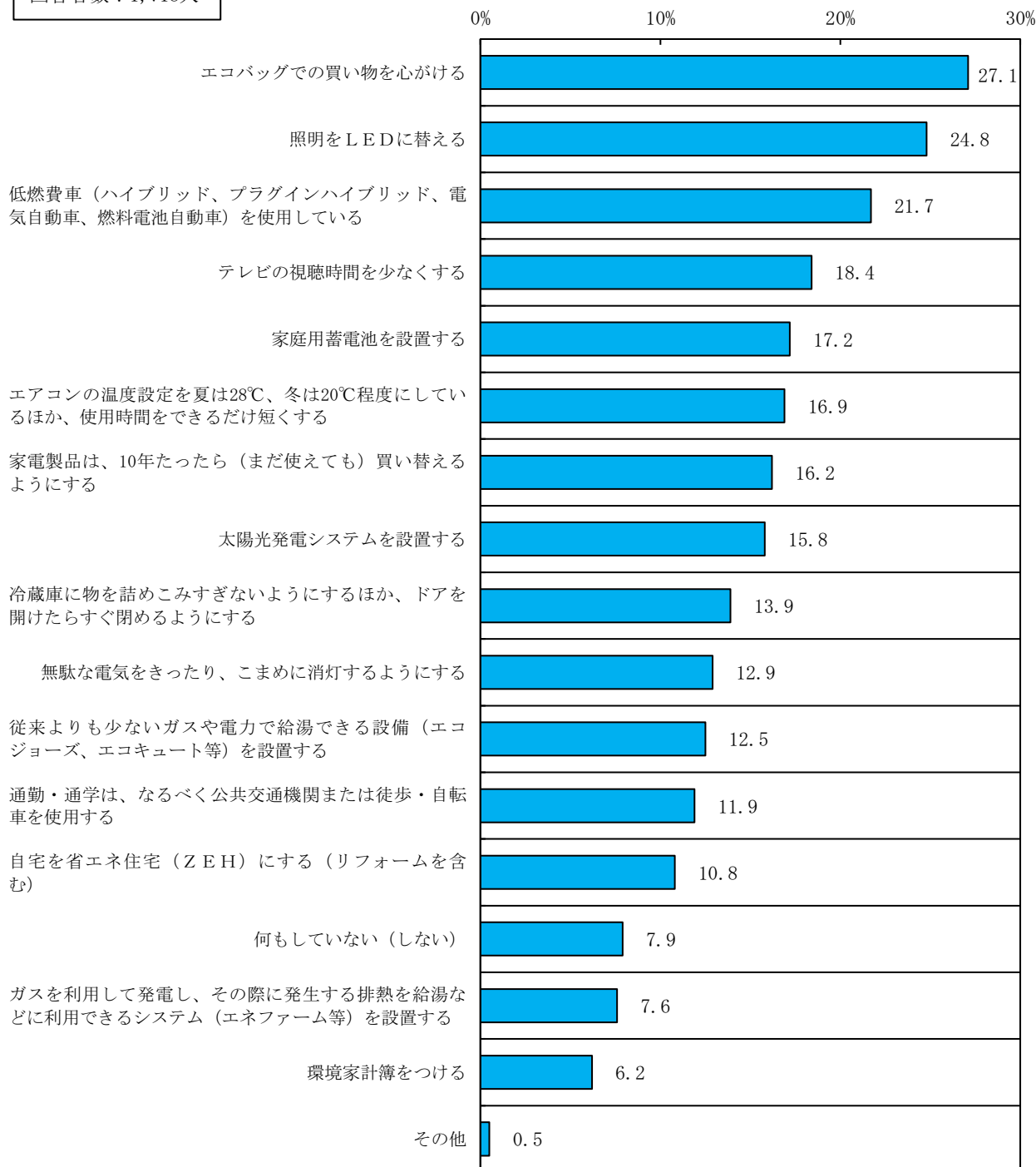
問45 地球温暖化対策について、次の中で、あなたがまだ取り組んでいないが、今後取り組んでいきたいものはありますか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「エコバッグでの買い物を心がける」が27.1%で1位になっている。

次いで「照明をLEDに替える」が24.8%、「低燃費車(ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車)を使用している」が21.7%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

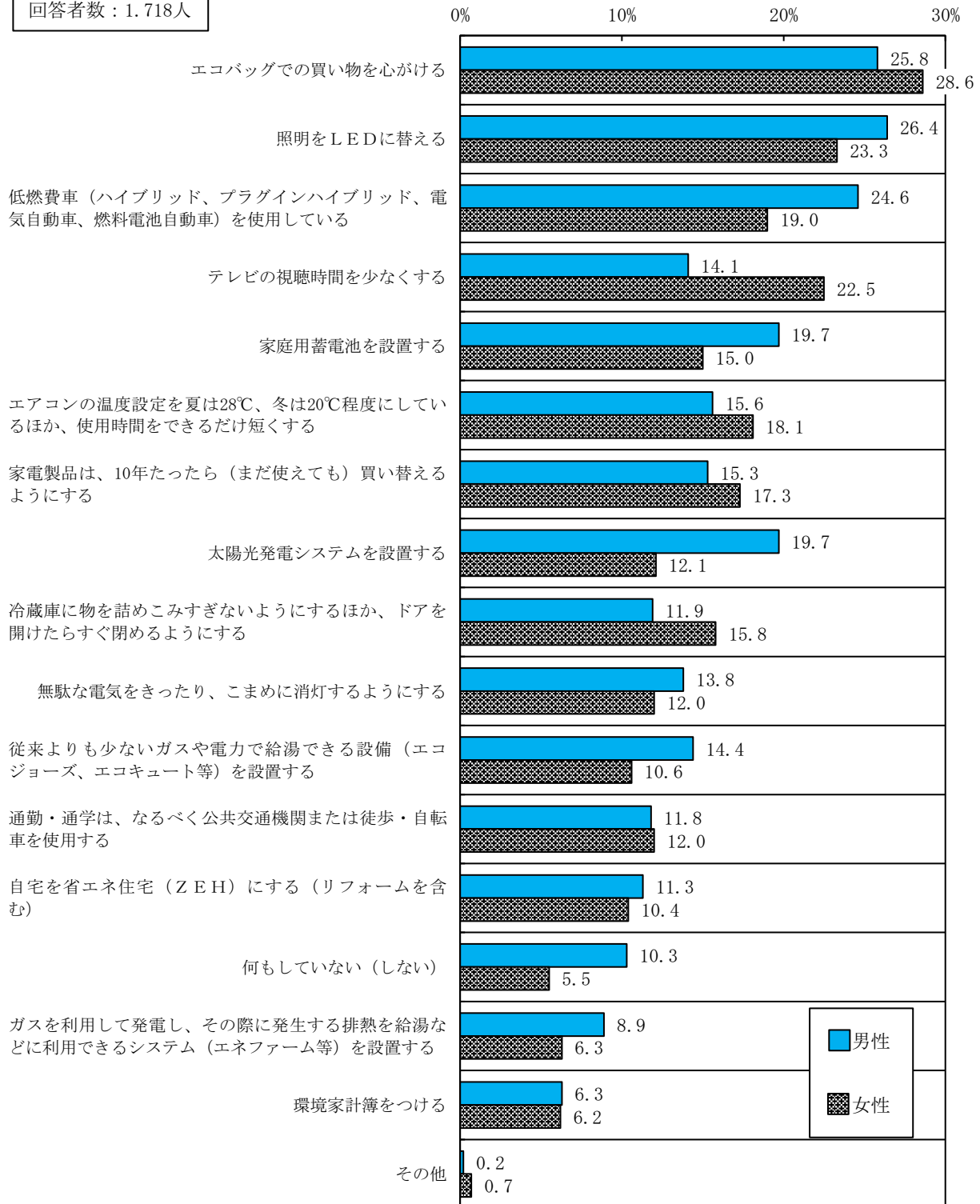


【性別】

男性では「照明をLEDに替える」が最も高く、「エコバッグでの買い物を心がける」、「低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している」、女性では「エコバッグでの買い物を心がける」が最も高く、「照明をLEDに替える」、「テレビの視聴時間を少なくする」が続いている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

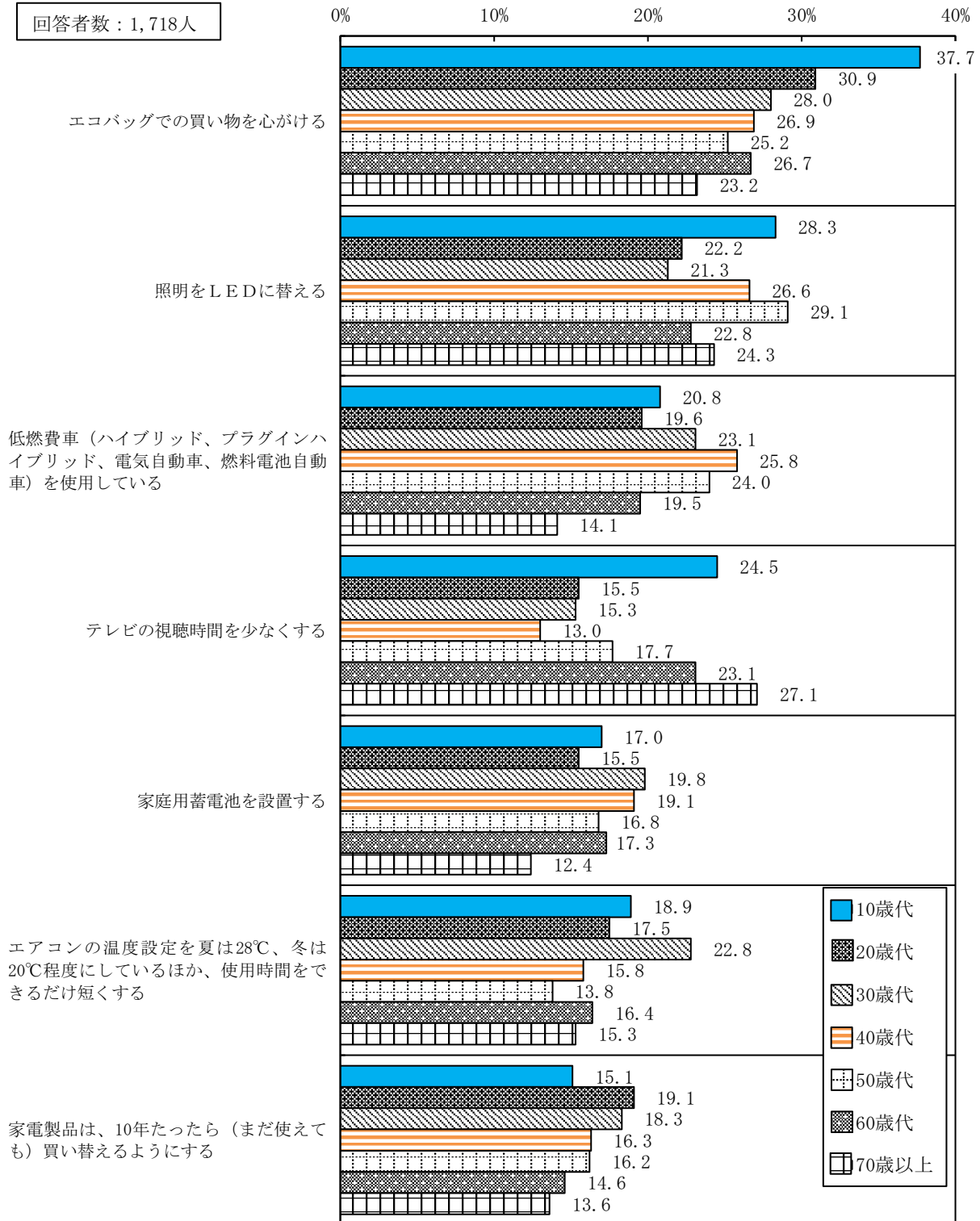


【年代別】

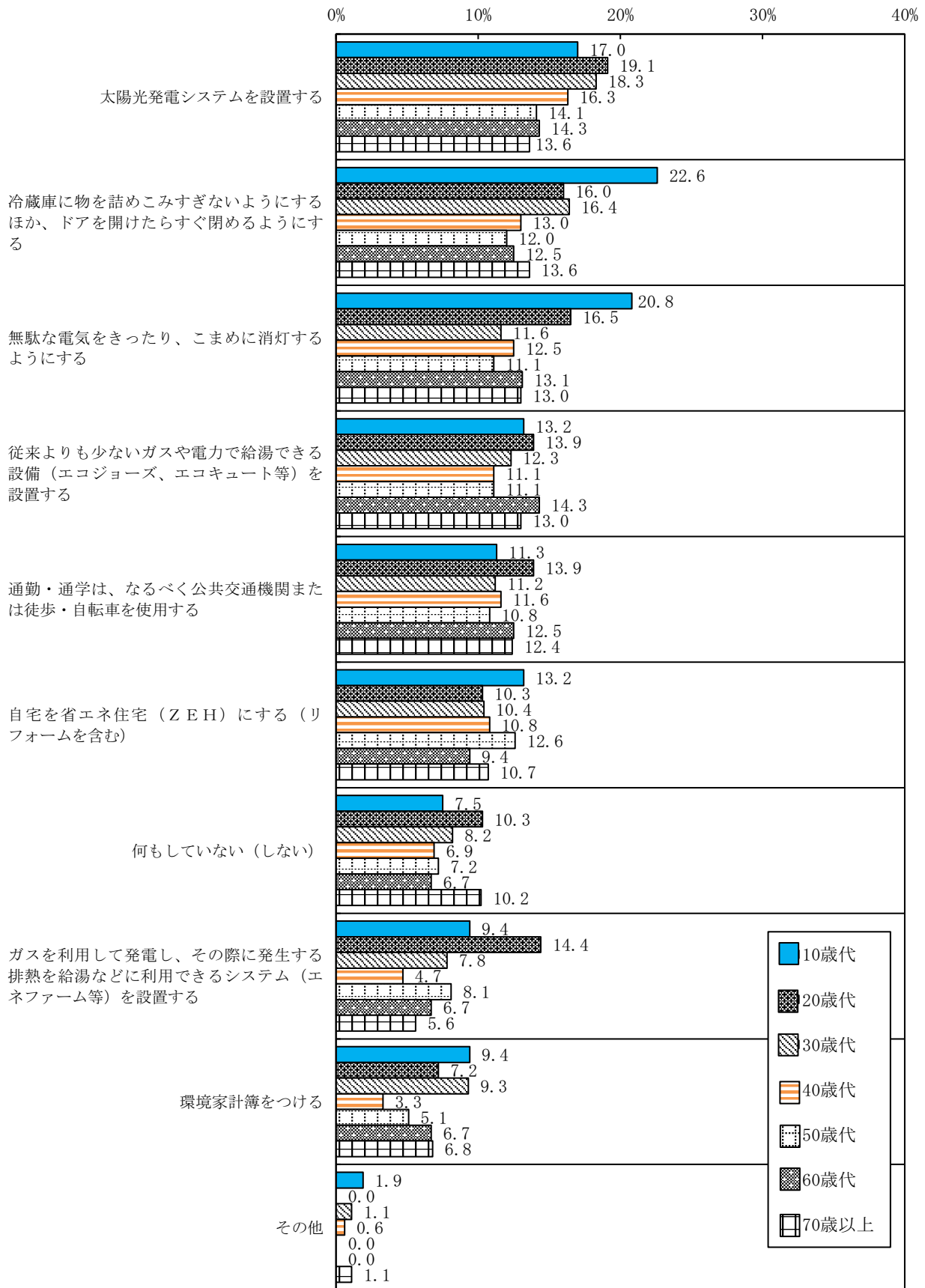
50歳代と70歳以上を除くすべての年代で「エコバッグでの買い物を心がける」が、50歳代では「照明をLEDに替える」が、70歳以上では「テレビの視聴時間を少なくする」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人



《 年代別 》



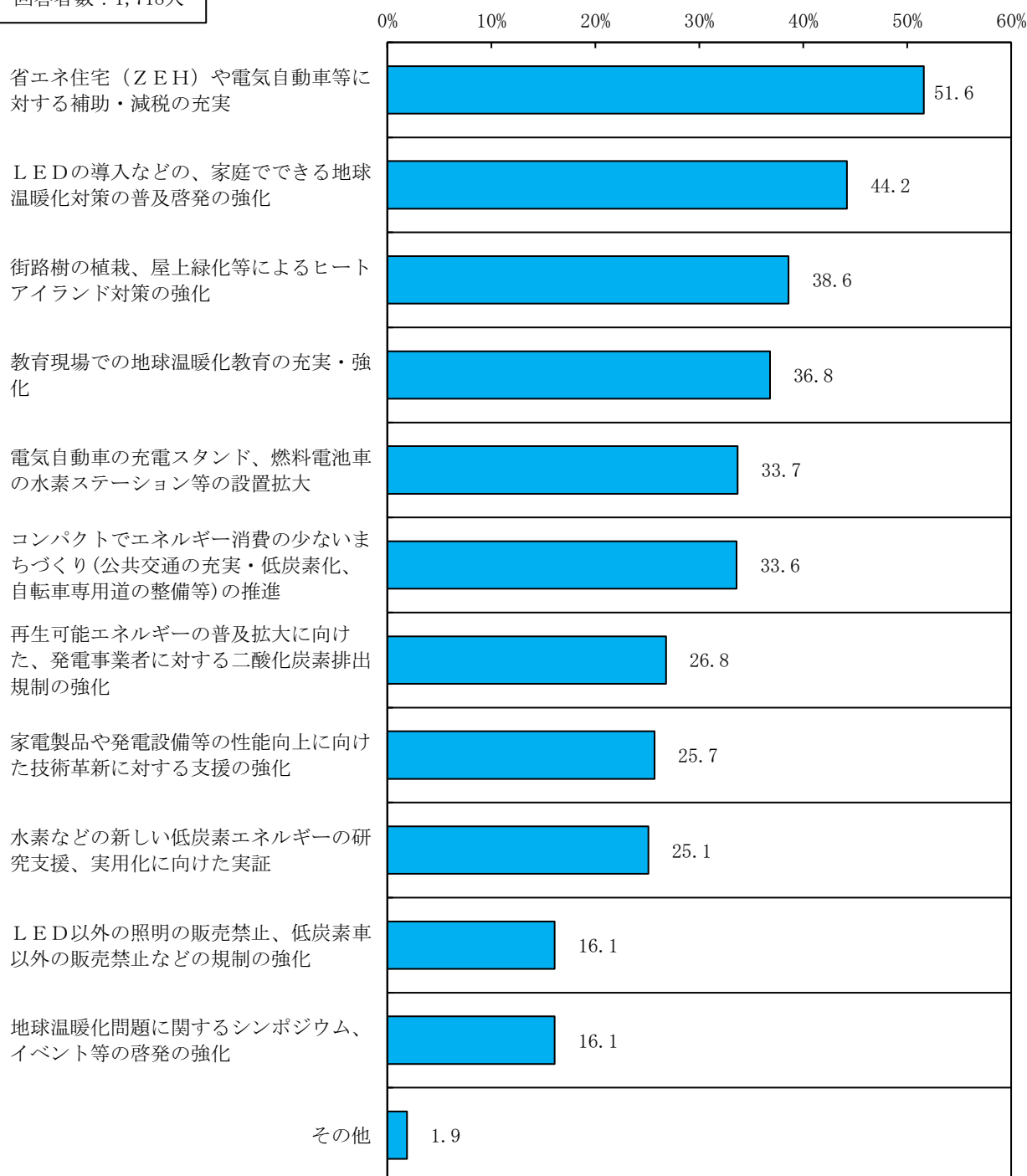
問46 今後、国の地球温暖化対策計画に沿って家庭部門で温室効果ガスの排出を40%削減していくために、行政が力を入れるべき施策は何だと考えますか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「省エネ住宅（ZEH）や電気自動車等に対する補助・減税の充実」が51.6%で1位になっている。

次いで「LEDの導入などの、家庭でできる地球温暖化対策の普及啓発の強化」が44.2%、「街路樹の植栽、屋上緑化等によるヒートアイランド対策の強化」が38.6%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

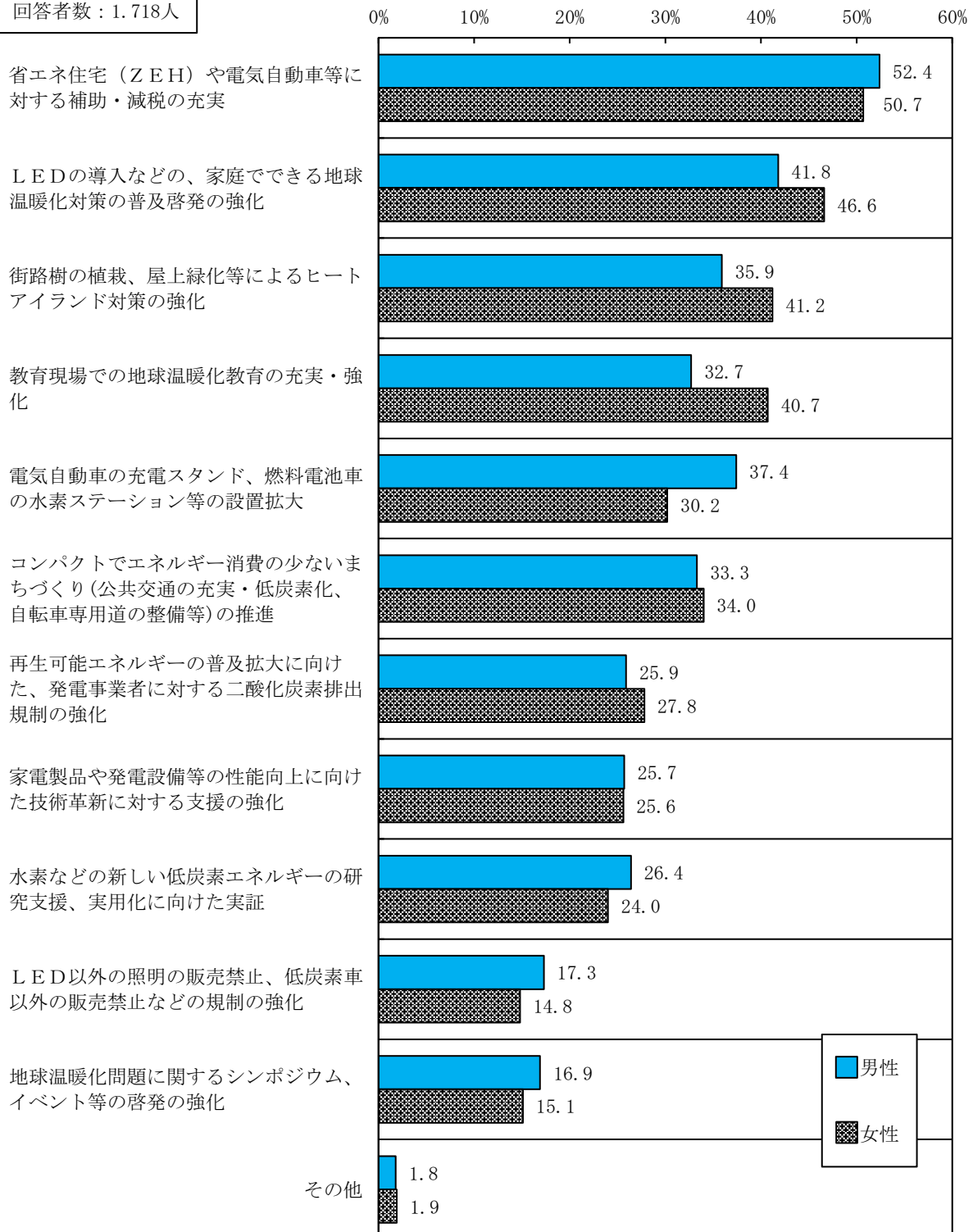


【性別】

男女ともに「省エネ住宅（ZEH）や電気自動車等に対する補助・減税の充実」が最も高く、男性では「LEDの導入などの、家庭でできる地球温暖化対策の普及啓発の強化」、「電気自動車の充電スタンド、燃料電池車の水素ステーション等の設置拡大」、女性では「LEDの導入などの、家庭でできる地球温暖化対策の普及啓発の強化」、「街路樹の植栽、屋上緑化等によるヒートアイランド対策の強化」が続いている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

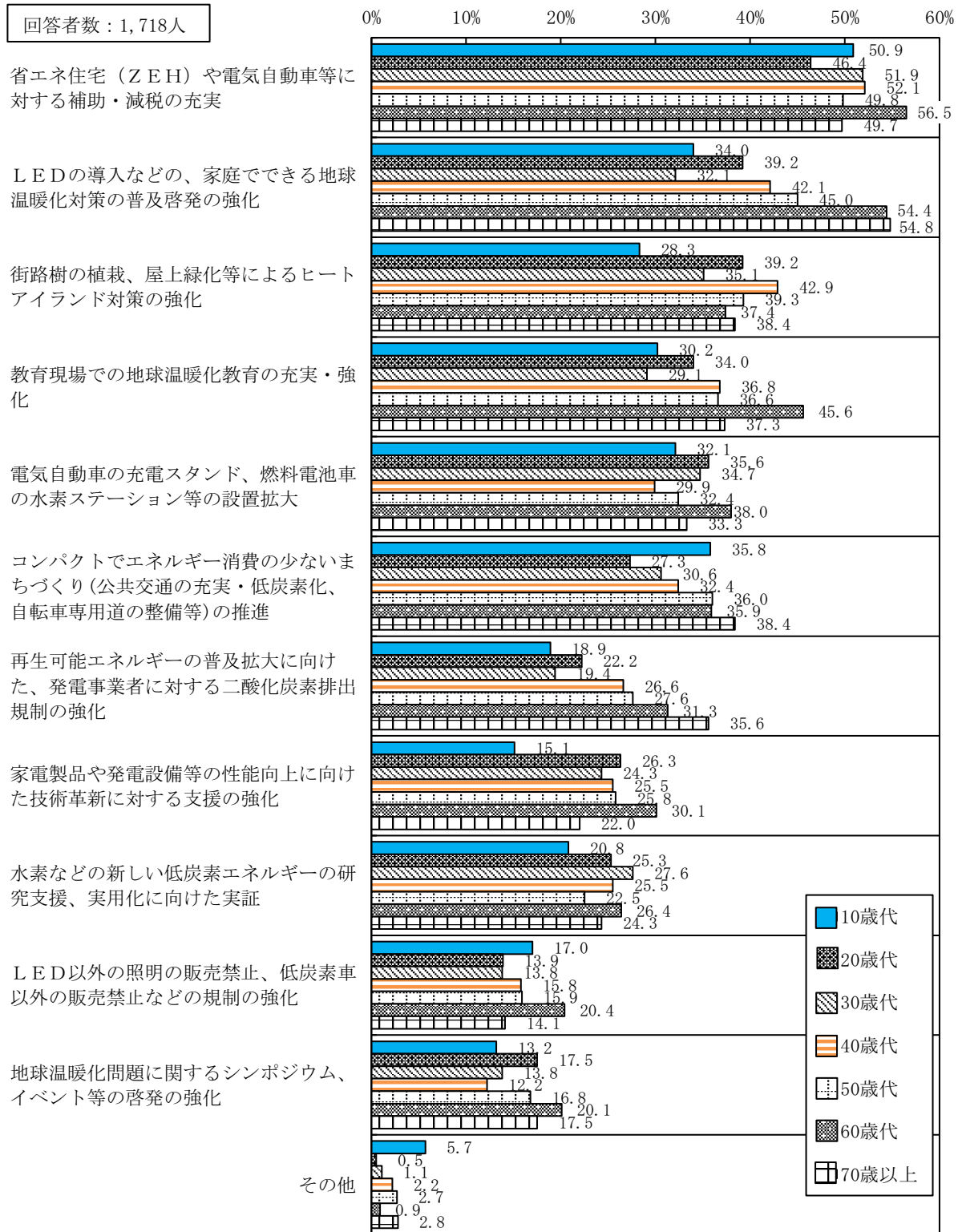


【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「省エネ住宅（ZEH）や電気自動車等に対する補助・減税の充実」が、70歳以上では「LEDの導入などの、家庭でできる地球温暖化対策の普及啓発の強化」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人



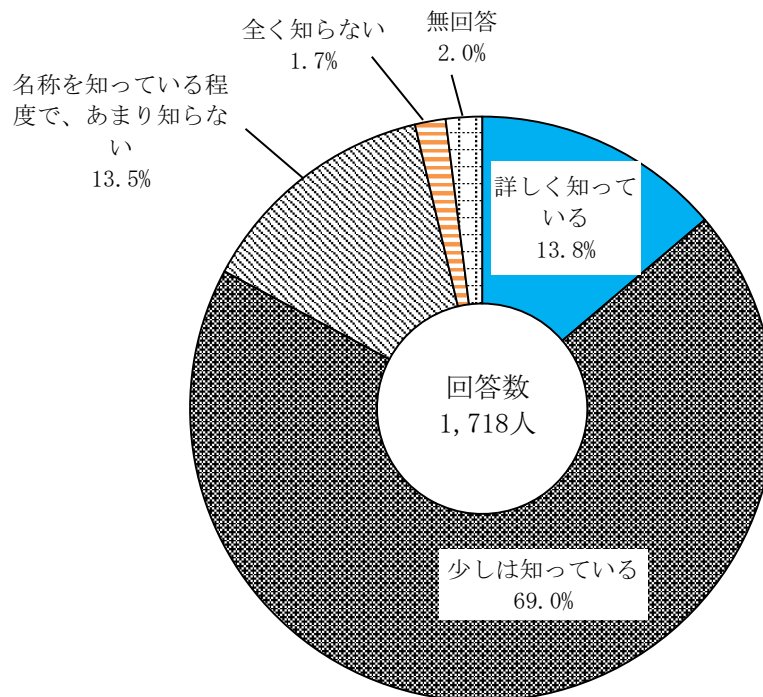
[6] 特殊詐欺について

問 47 特殊詐欺に関する知識はどの程度ありますか。(1つだけ○印)

【総合】 「少しは知っている」が69.0%で1位となっている。

次いで「詳しく知っている」が13.8%、「名称を知っている程度で、あまり知らない」が13.5%と続いている。

《 総 合 》



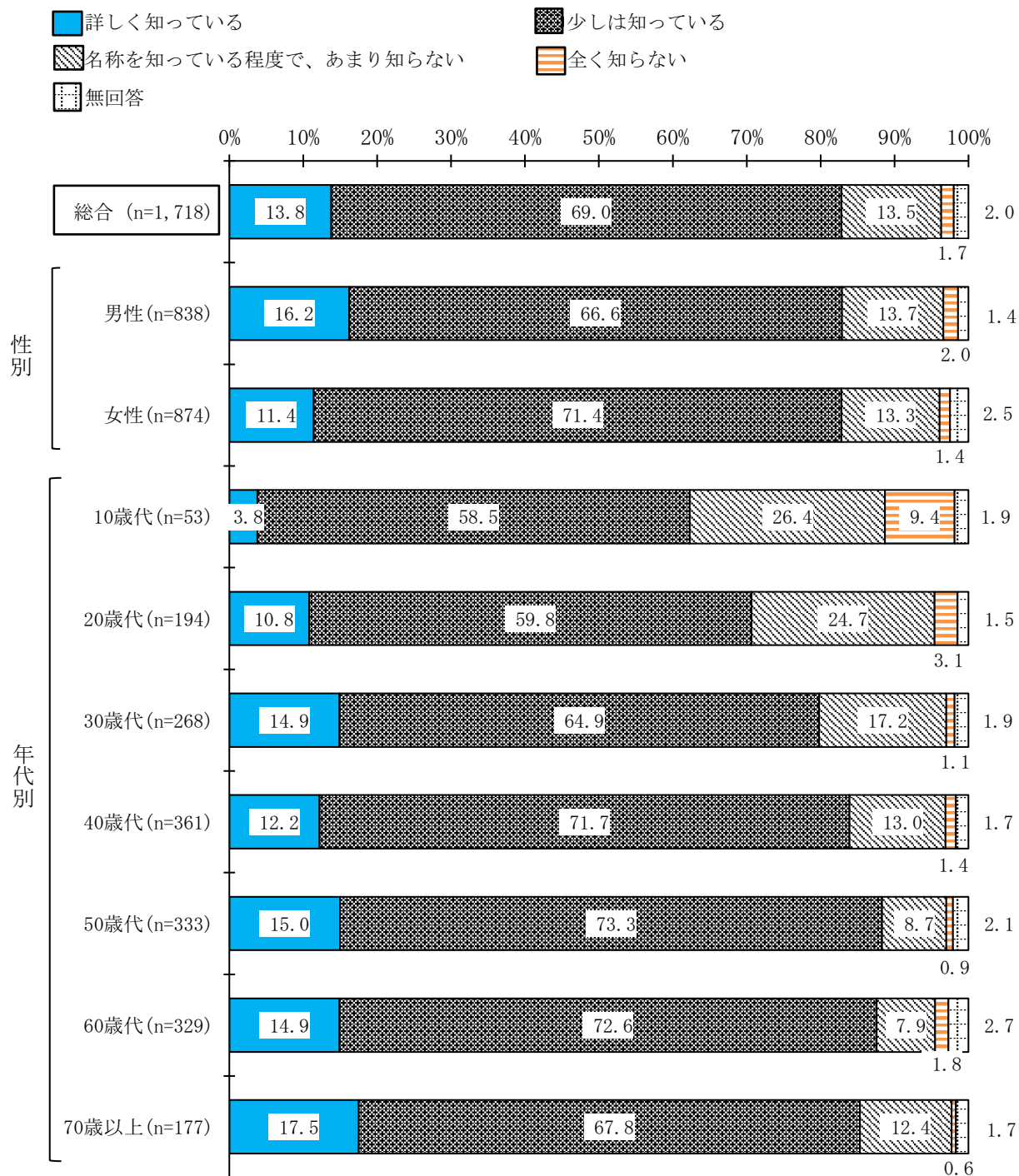
【性別】

男女とも「少しは知っている」が最も高く、男性では「詳しく知っている」、「名称を知っている程度で、あまり知らない」、女性では「名称を知っている程度で、あまり知らない」、「詳しく知っている」が続いている。

【年代別】

すべての年代で「少しは知っている」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》



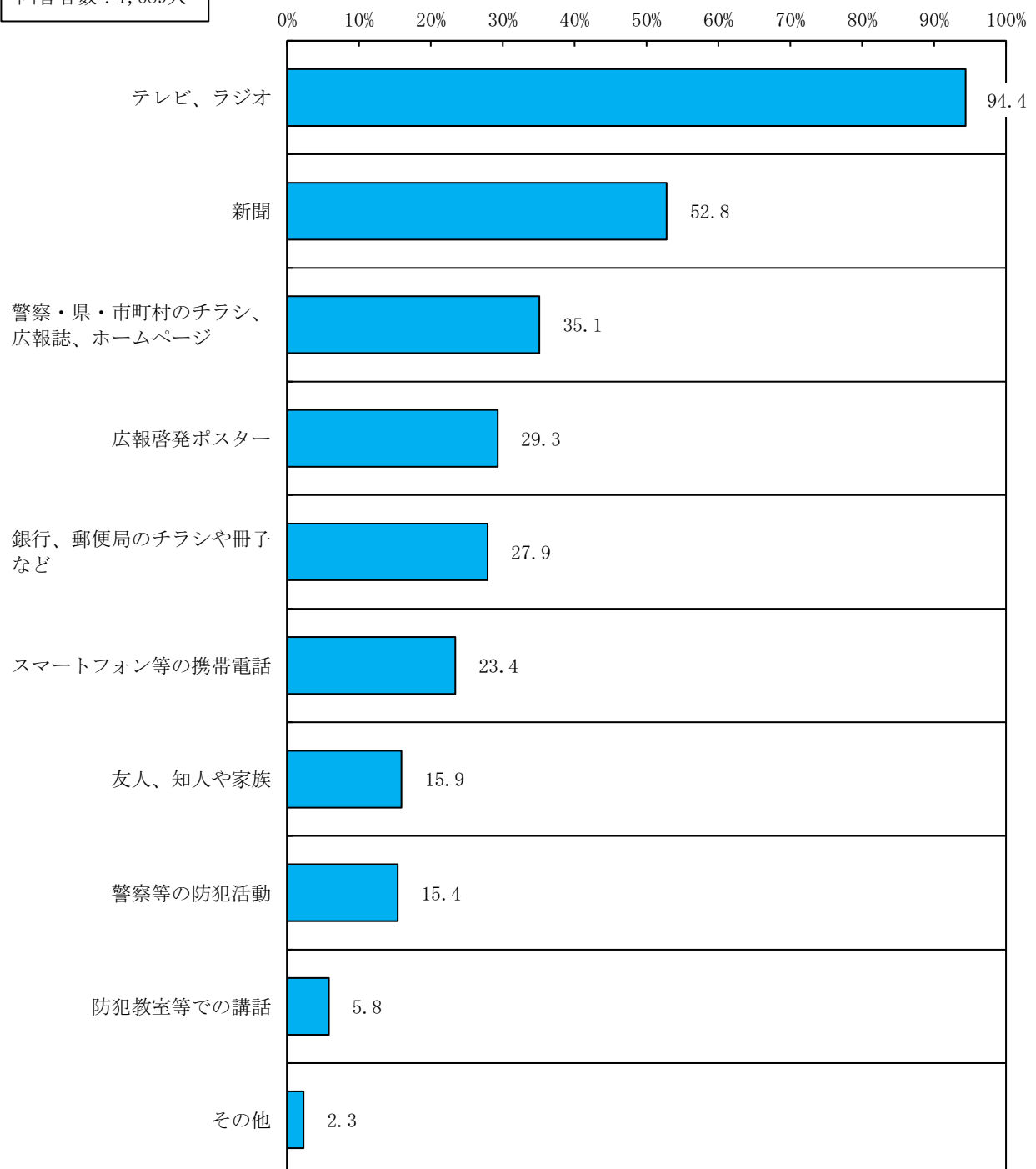
問48 どのような媒体で特殊詐欺に関する知識を得ましたか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「テレビ、ラジオ」が94.4%で1位になっている。

次いで「新聞」が52.8%、「警察・県・市町村のチラシ、広報誌、ホームページ」が35.1%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,689人

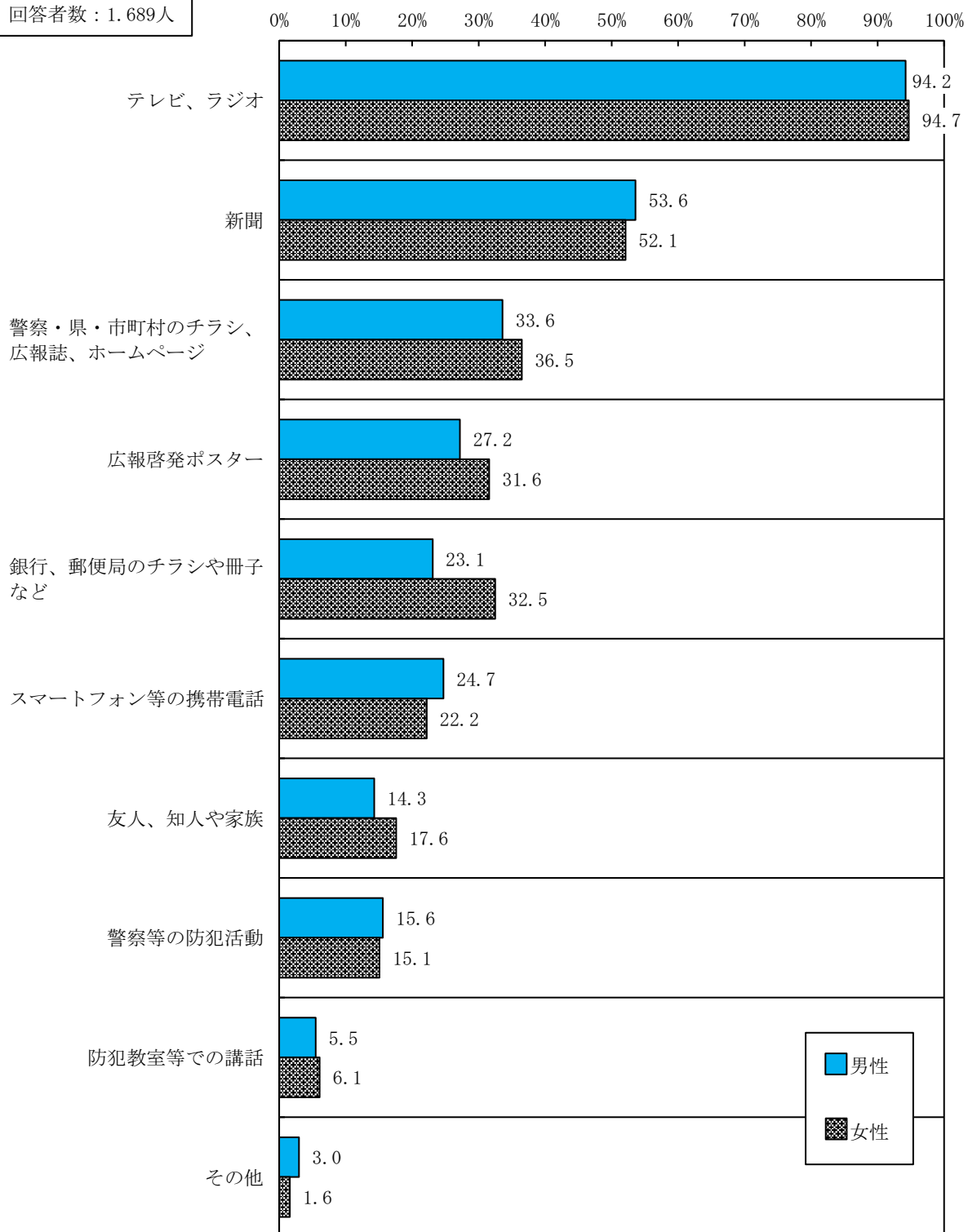


【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《 性別 》

回答者数：1,689人

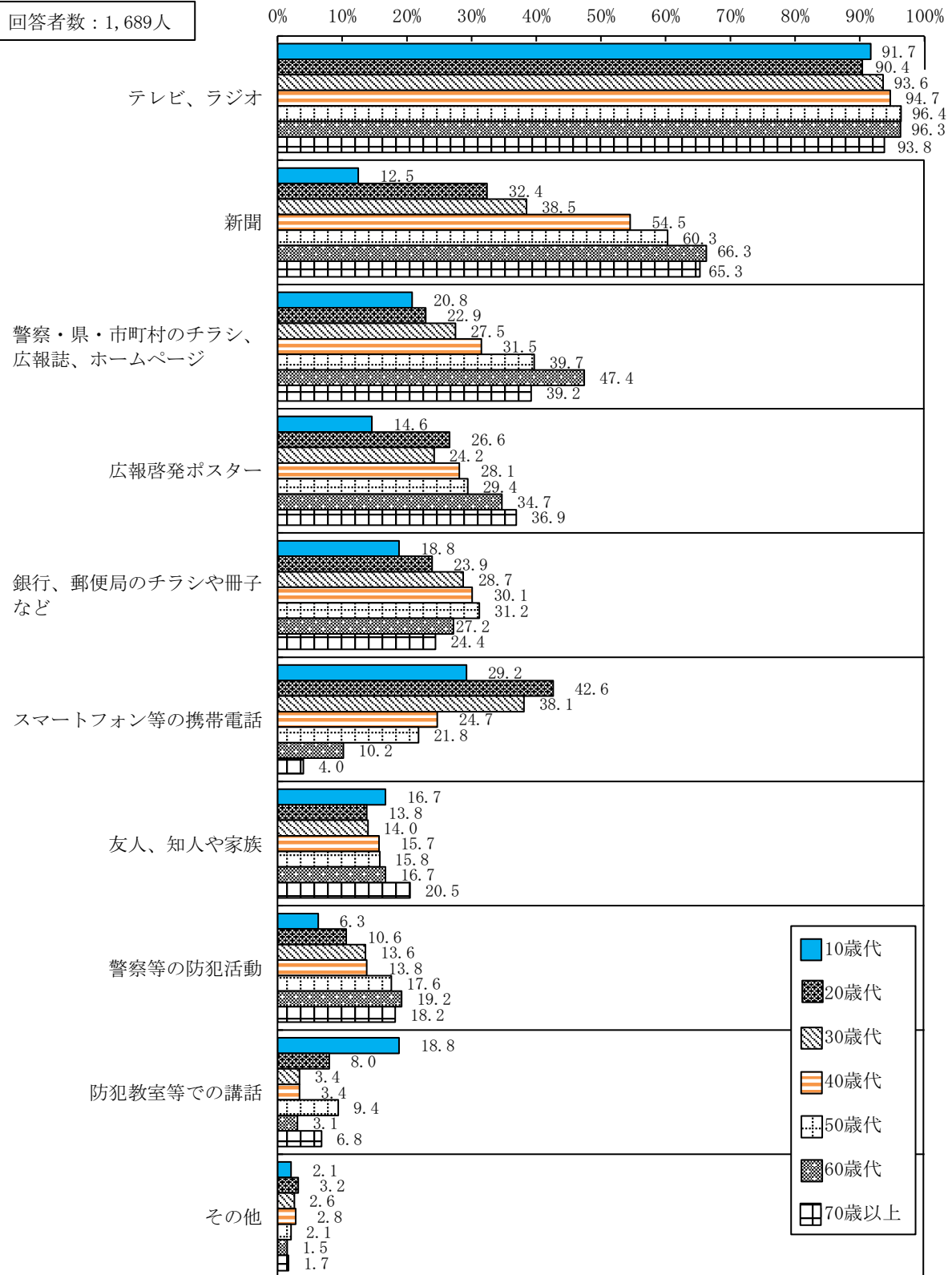


【年代別】

すべての年代で「テレビ、ラジオ」が最も高くなっている。

《 年 代 別 》

回答者数：1,689人



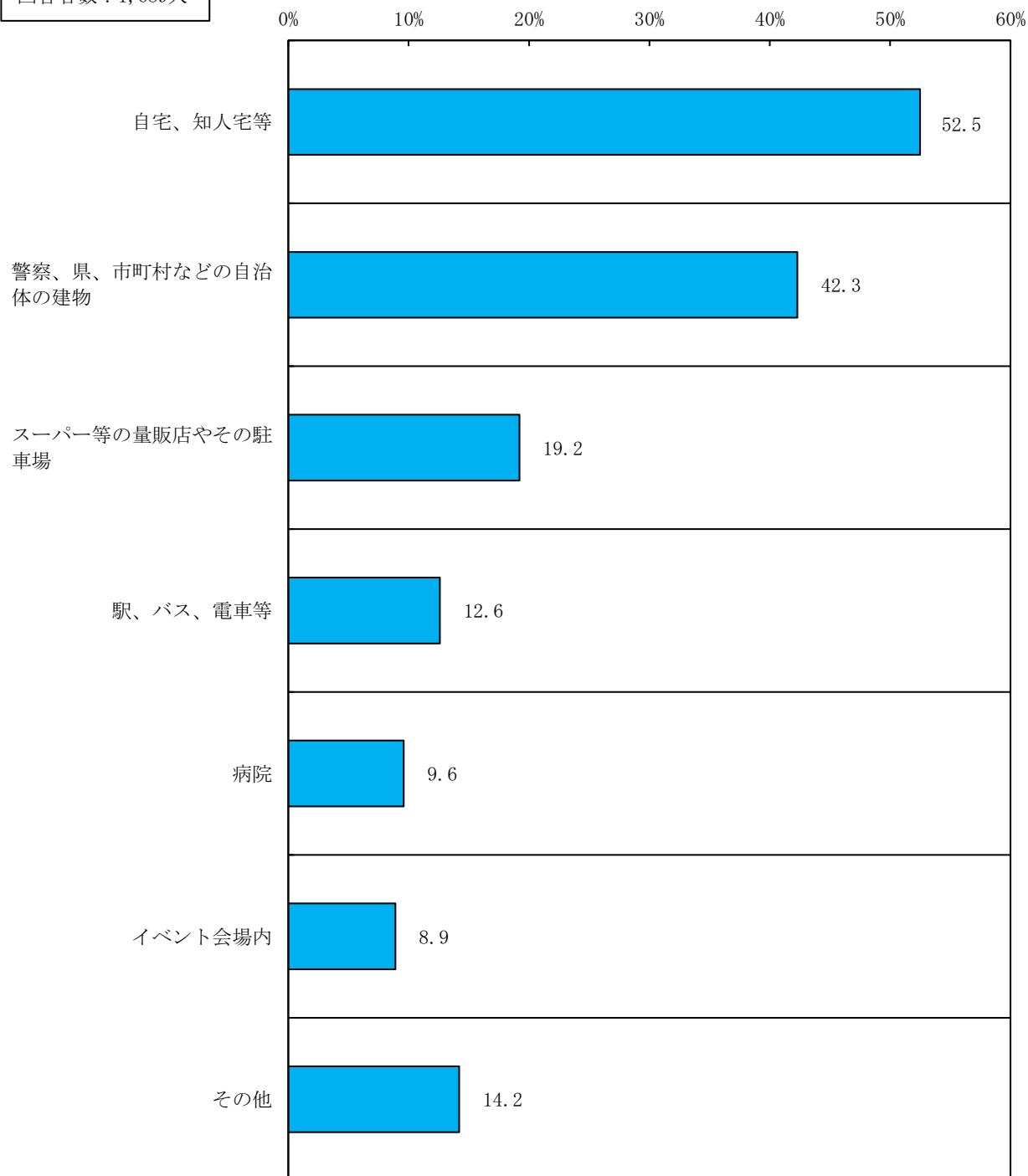
問49 どのような場所で特殊詐欺の知識を知りましたか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「自宅、知人宅等」が52.5%で1位になっている。

次いで「警察、県、市町村などの自治体の建物」が42.3%、「スーパー等の量販店やその駐車場」が19.2%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,689人

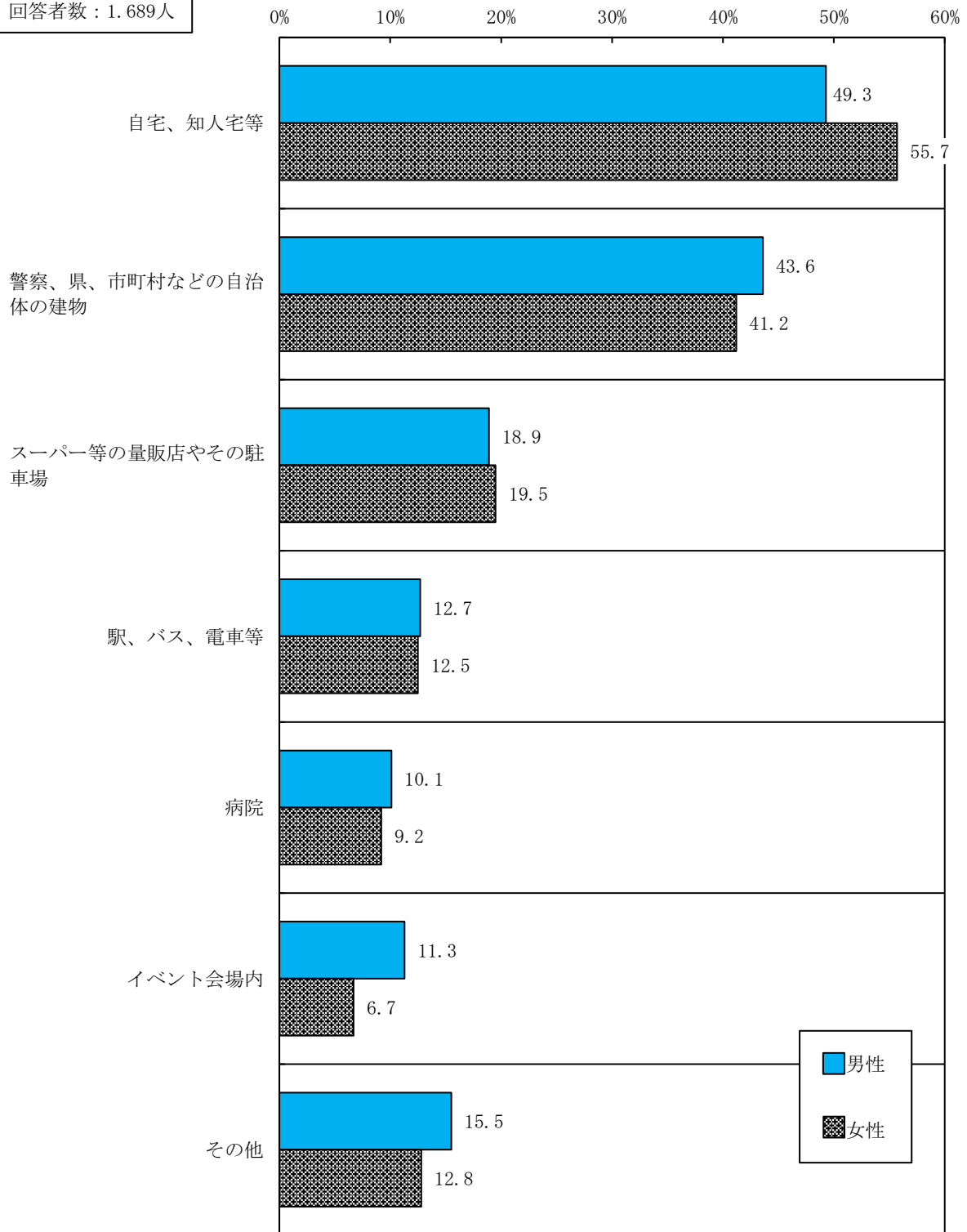


【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《 性別 》

回答者数：1,689人

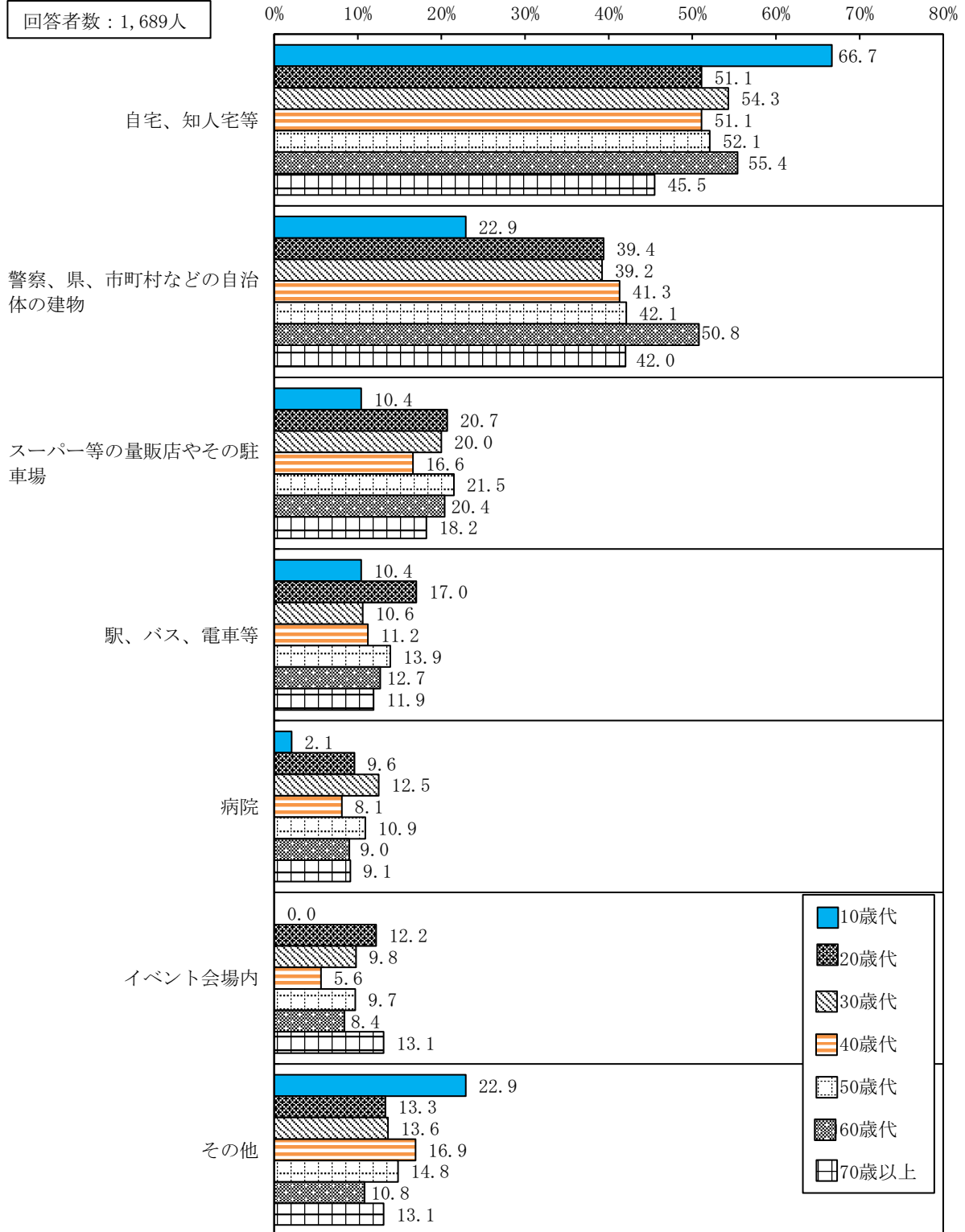


【年代別】

すべての年代で「自宅、知人宅等」が最も高くなっている。

《 年 代 別 》

回答者数：1,689人



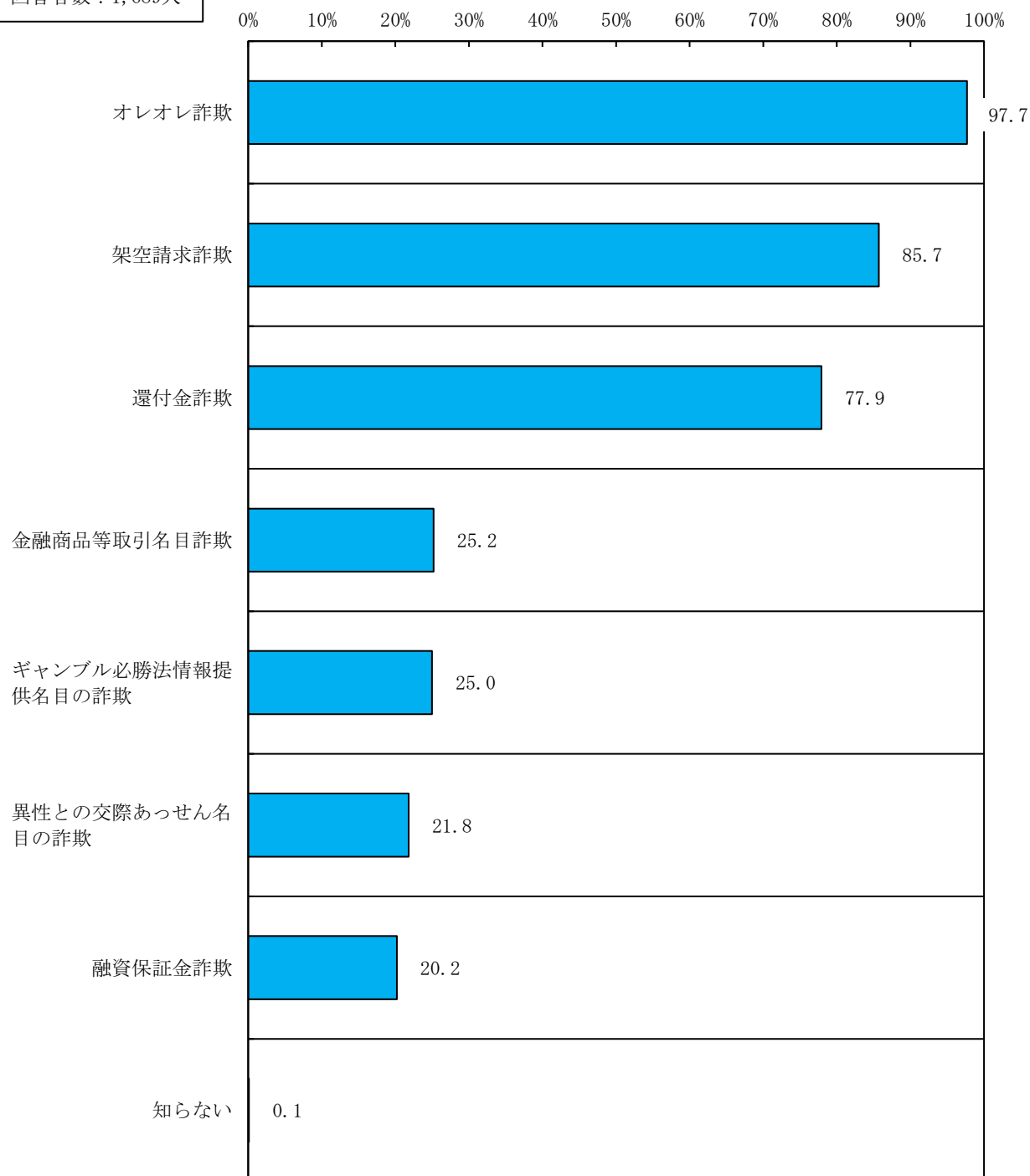
問50 あなたが知っていた特殊詐欺の手口の名称はどれですか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「オレオレ詐欺」が97.7%で1位になっている。

次いで「架空請求詐欺」が85.7%、「還付金詐欺」が77.9%と続いている。

《 総合 》

回答者数：1,689人

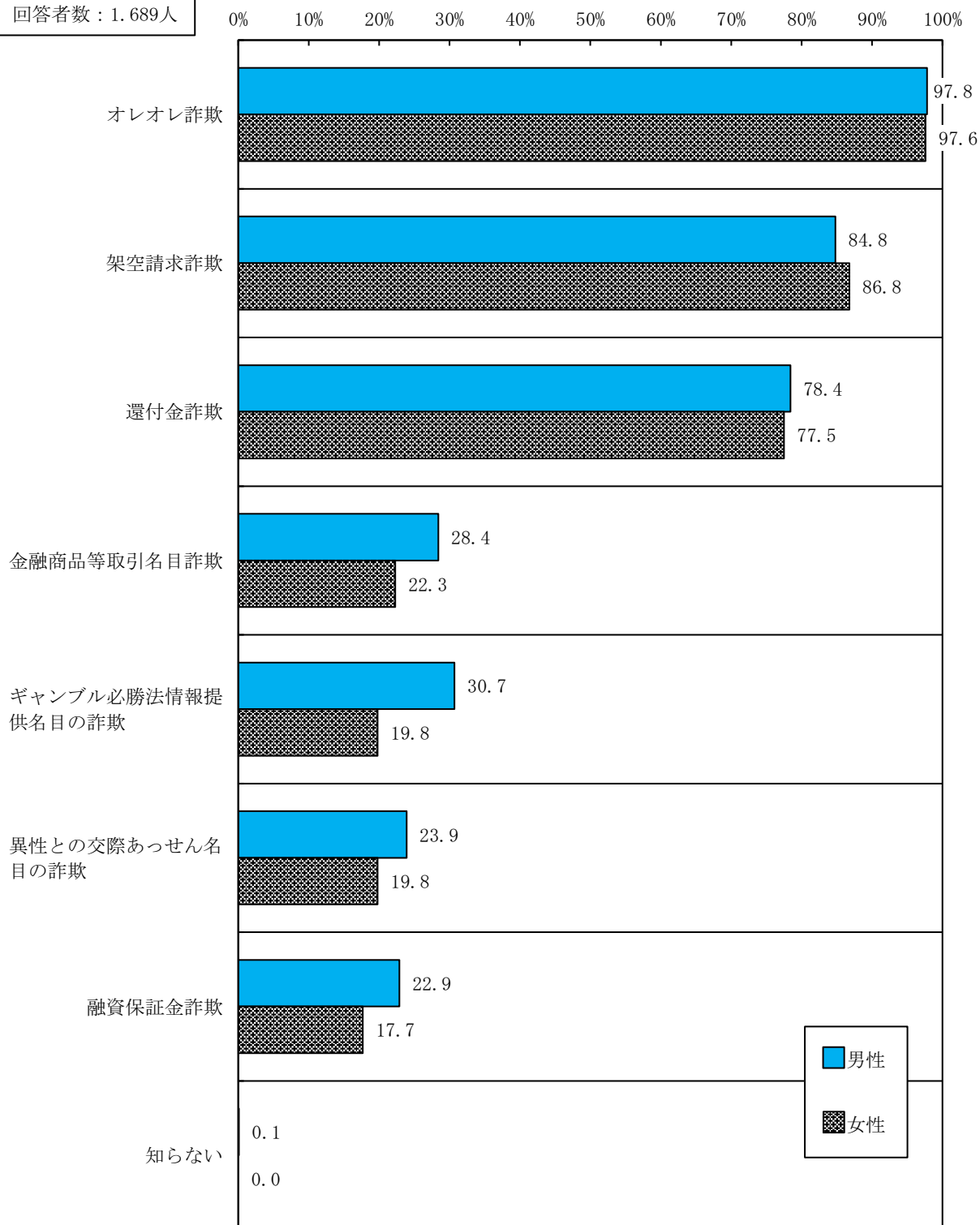


【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

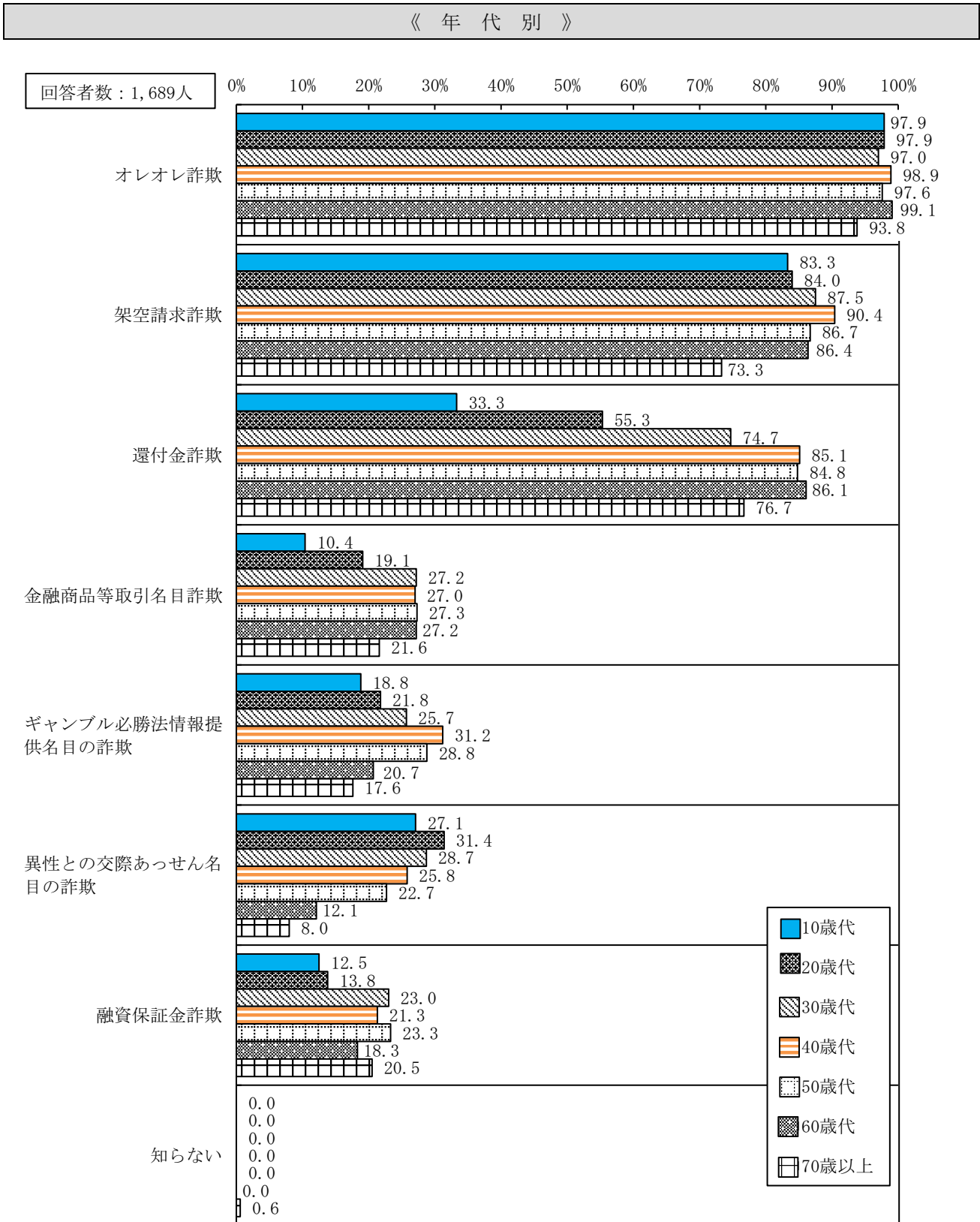
《 性別 》

回答者数：1,689人



【年代別】

すべての年代で「オレオレ詐欺」が最も高くなっている。



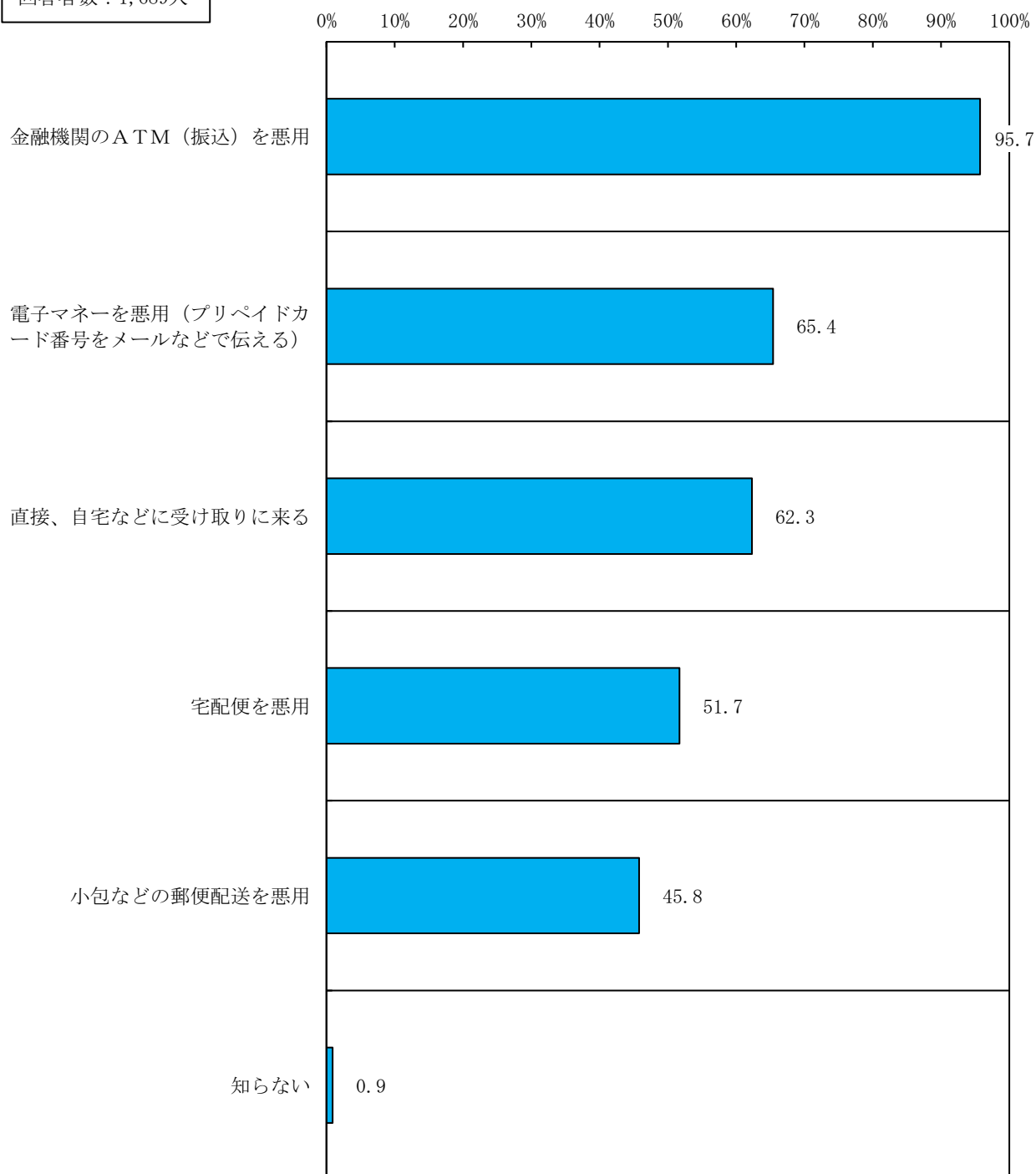
問51 特殊詐欺の犯人が、どのようなことを悪用して現金をだまし取っているのか知っていますか。
(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「金融機関のATM（振込）を悪用」が95.7%で1位になっている。

次いで「電子マネーを悪用（プリペイドカード番号をメールなどで伝える）」が65.4%、「直接、自宅などに受け取りに来る」が62.3%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,689人

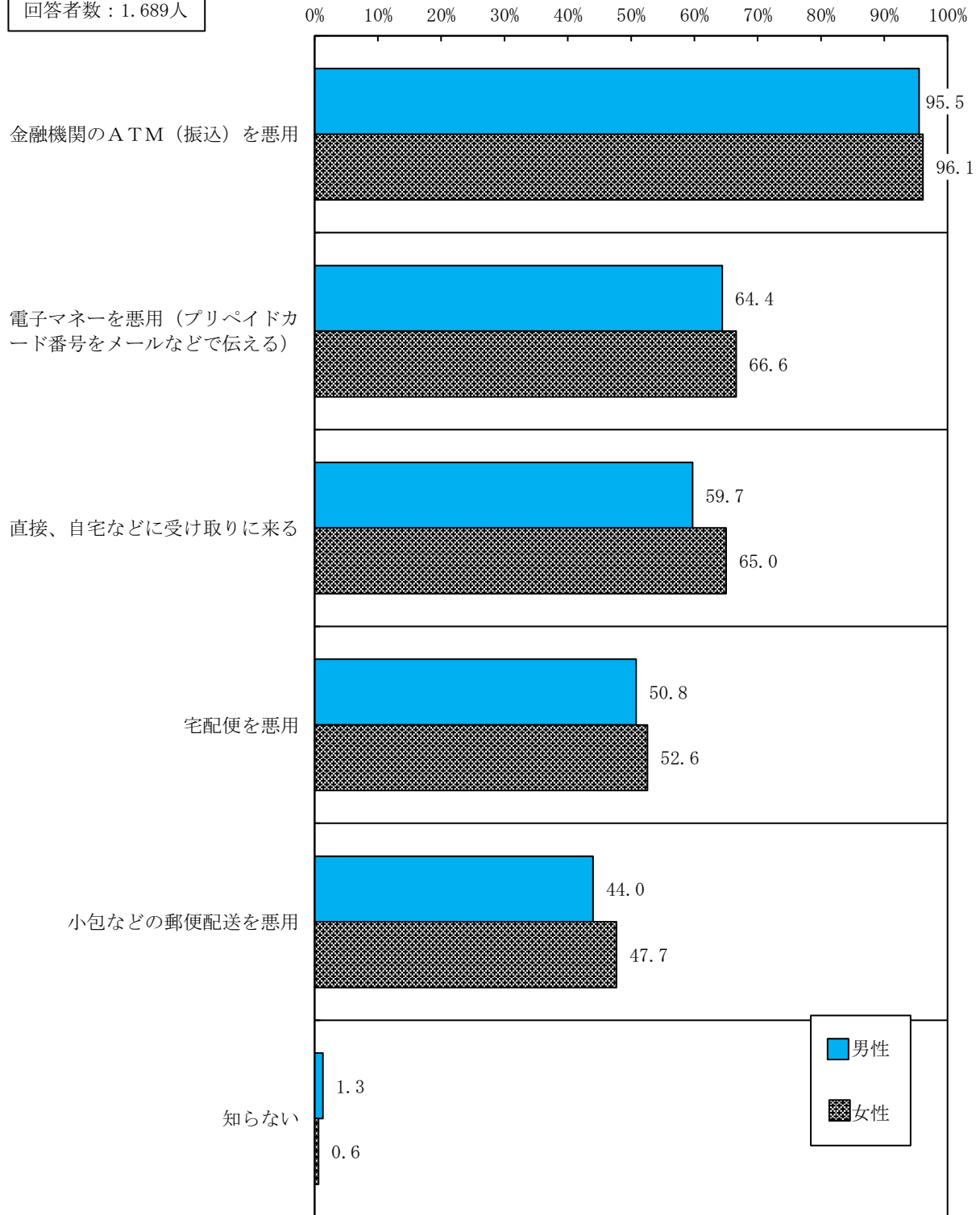


【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

《 性別 》

回答者数：1,689人

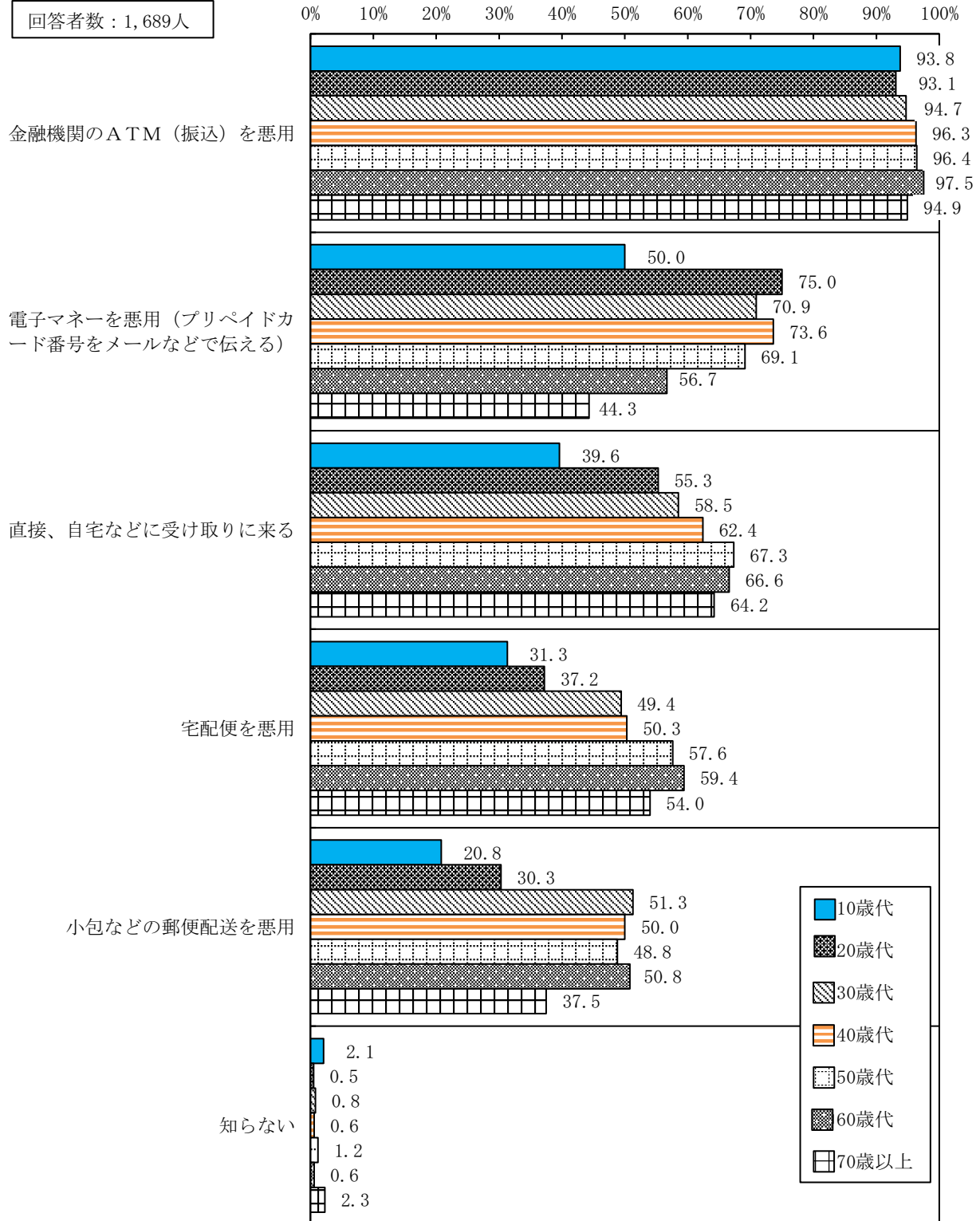


【年代別】

すべての年代で「金融機関のATM（振込）を悪用」が最も高くなっている。

《 年 代 別 》

回答者数：1,689人

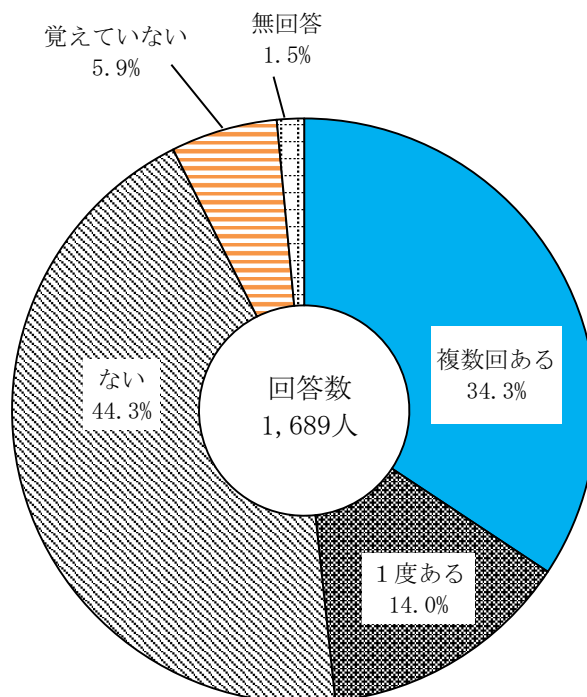


問 52 これまでに特殊詐欺と思われる電話、ハガキ、メールなどを受け取ったことがありますか。
(1つだけ○印)

【総合】 「ない」が44.3%で1位となっている。

次いで「複数回ある」が34.3%、「1度ある」が14.0%と続いている。

《 総 合 》



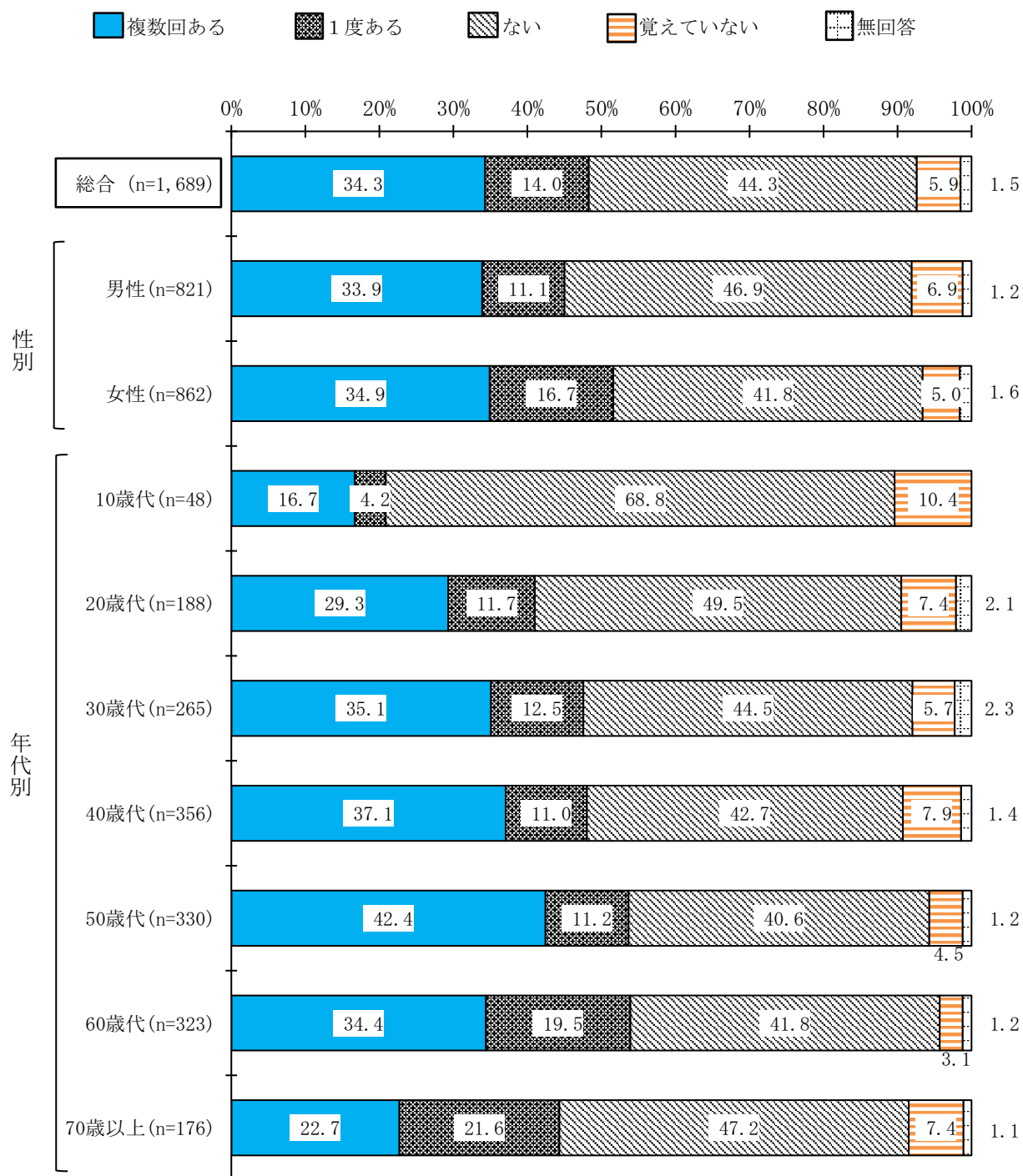
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

50歳代を除くすべての年代で「ない」が、50歳代では「複数回ある」が最も高くなっている。

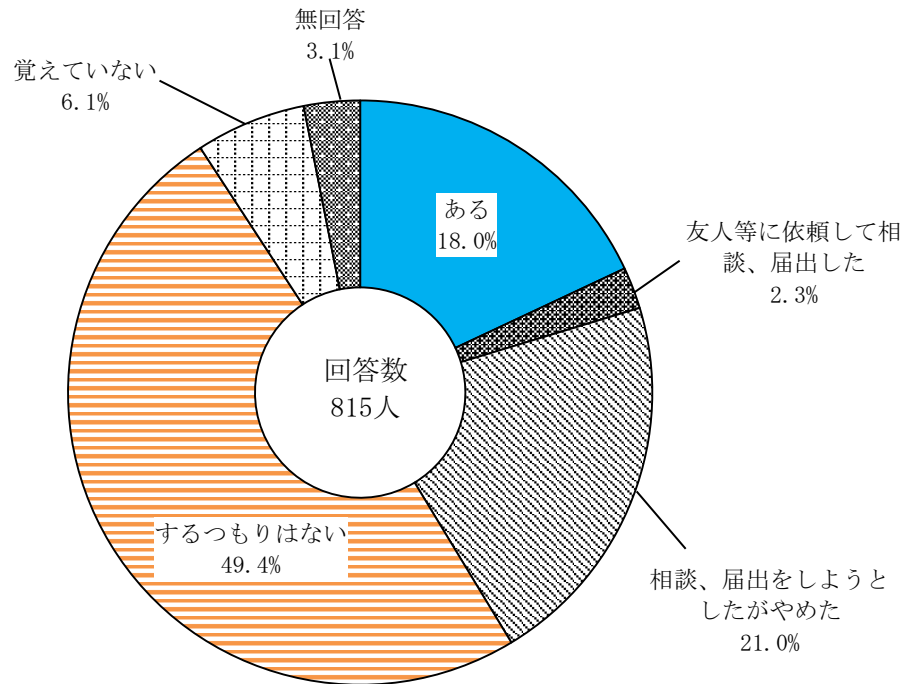
《 総合・性別・年代別 》



副問1 (問52で「1 複数回ある」・「2 1度ある」を選んだ方のみお答えください。)
これまでに特殊詐欺のことで警察に相談や届出をしたことがありますか。(1つだけ○印)

【総合】 「するつもりはない」が49.4%で1位となっている。
次いで「相談、届出をしようとしたがやめた」が21.0%、「ある」が18.0%と続いている。

《 総 合 》



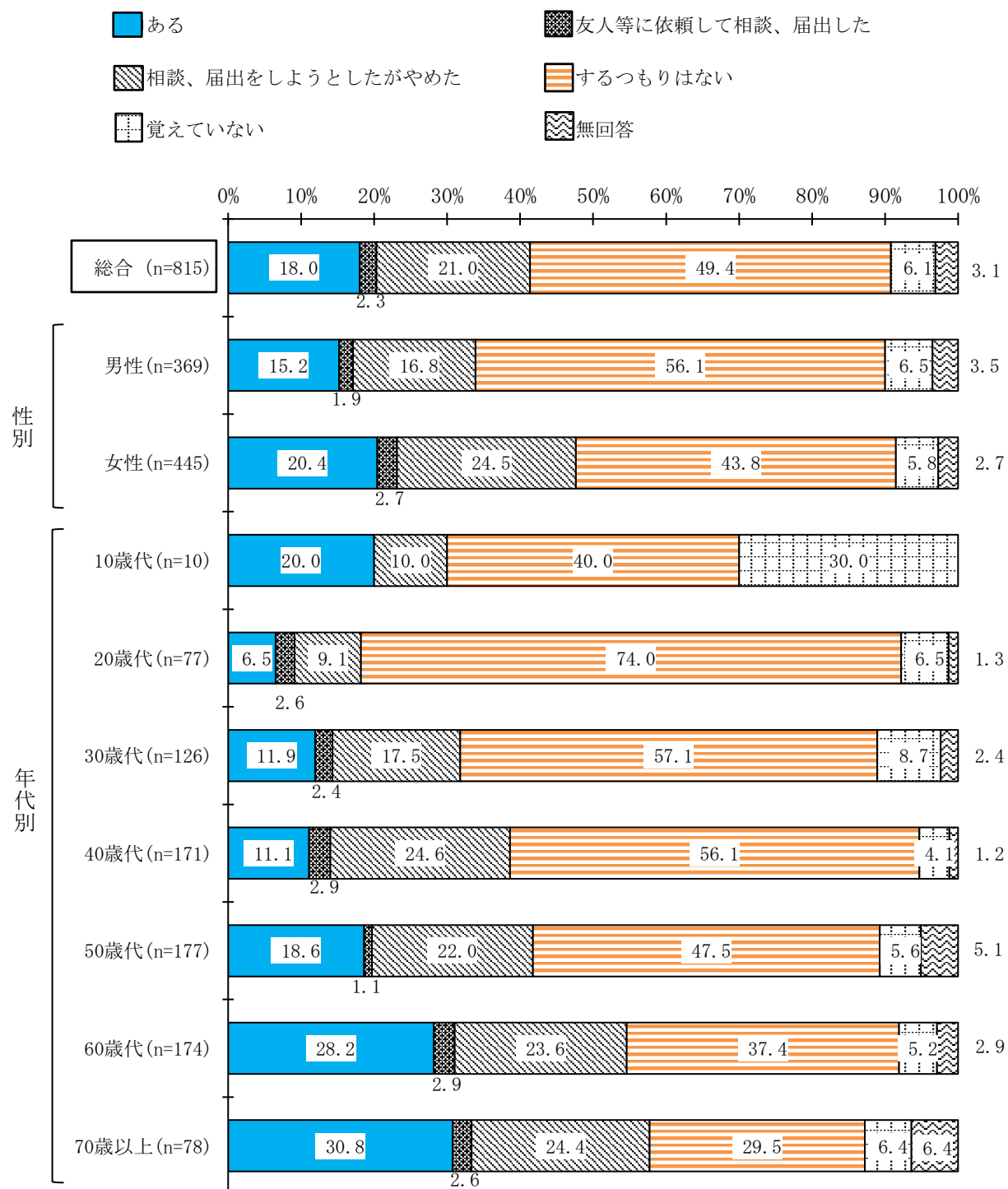
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「するつもりはない」が、70歳以上では「ある」が最も高くなっている。

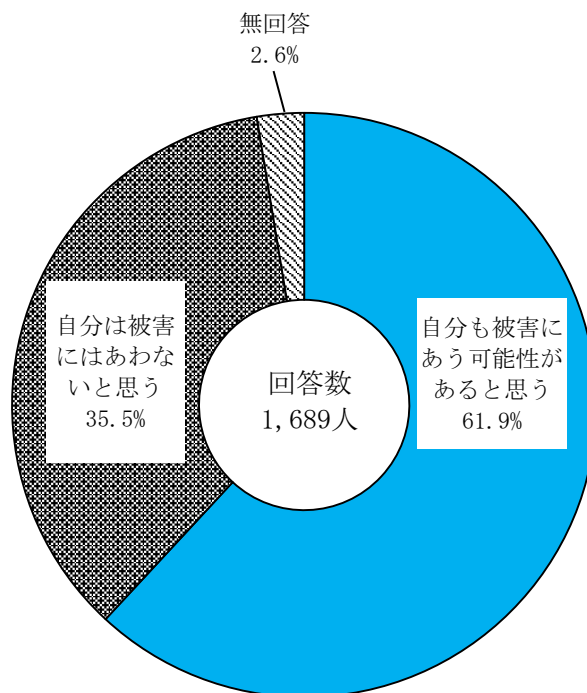
《 総合・性別・年代別 》



問 53 自分は特殊詐欺の被害にあうと思いますか。（1つだけ○印）

【総合】 「自分も被害にあう可能性があると思う」が61.9%で1位となっている。
次いで「自分は被害にはあわないと思う」が35.5%で続いている。

《 総 合 》



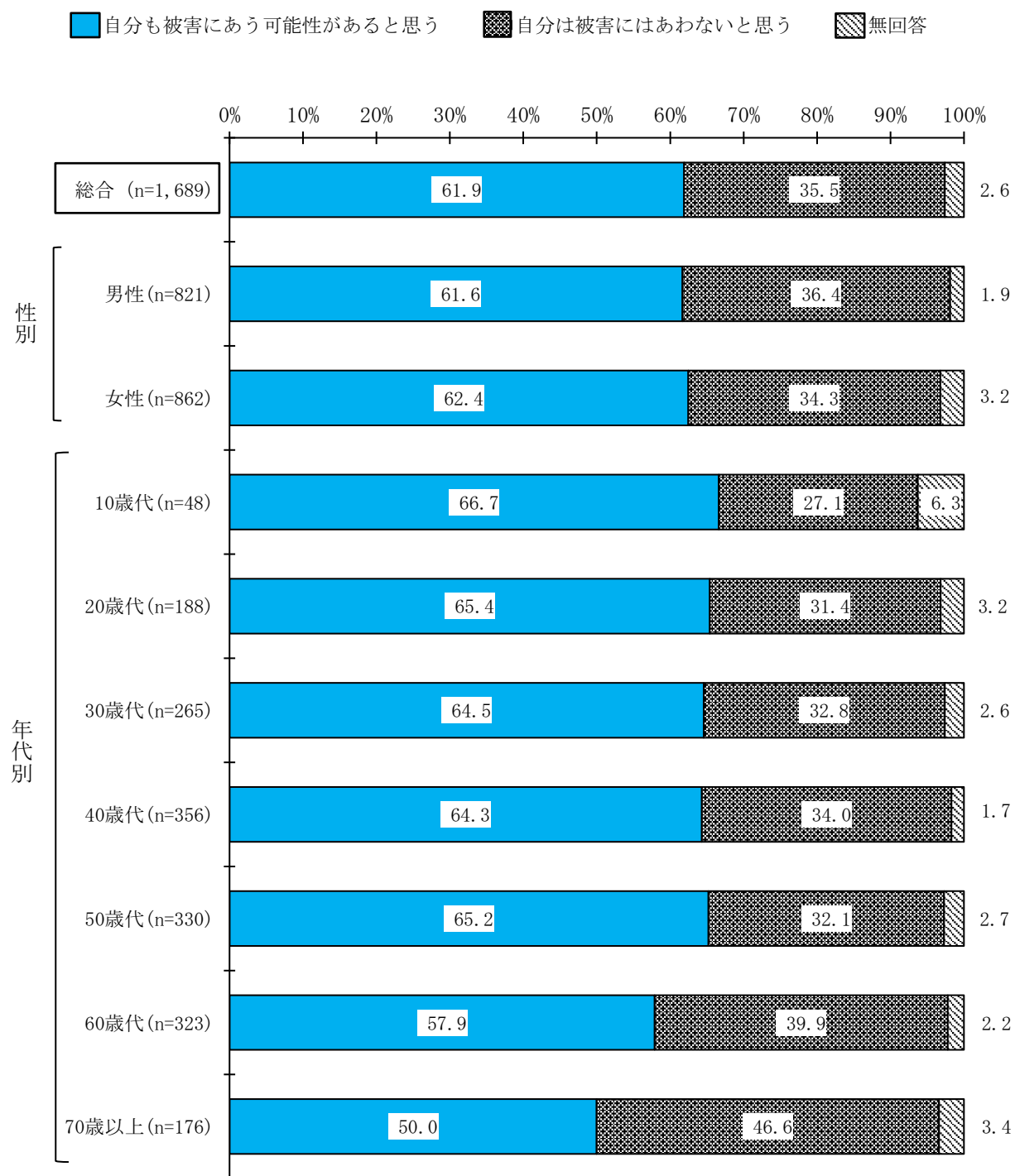
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「自分も被害にあう可能性があると思う」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》



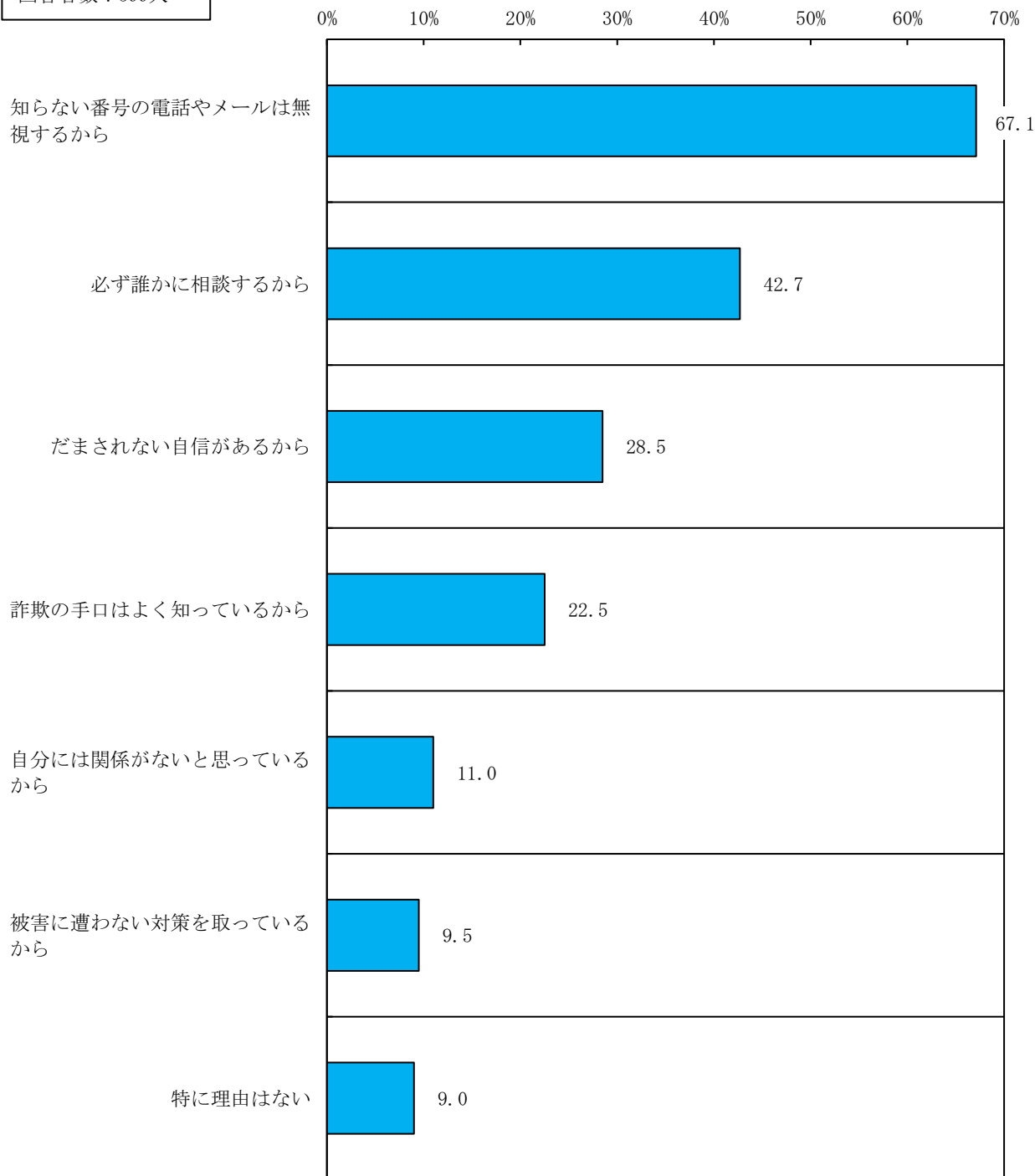
副問1（問53で「2 自分は被害にはあわないと思う」を選んだ方のみお答えください。）
その理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「知らない番号の電話やメールは無視するから」が67.1%で1位になっている。

次いで「必ず誰かに相談するから」が42.7%、「だまされない自信があるから」が28.5%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：599人

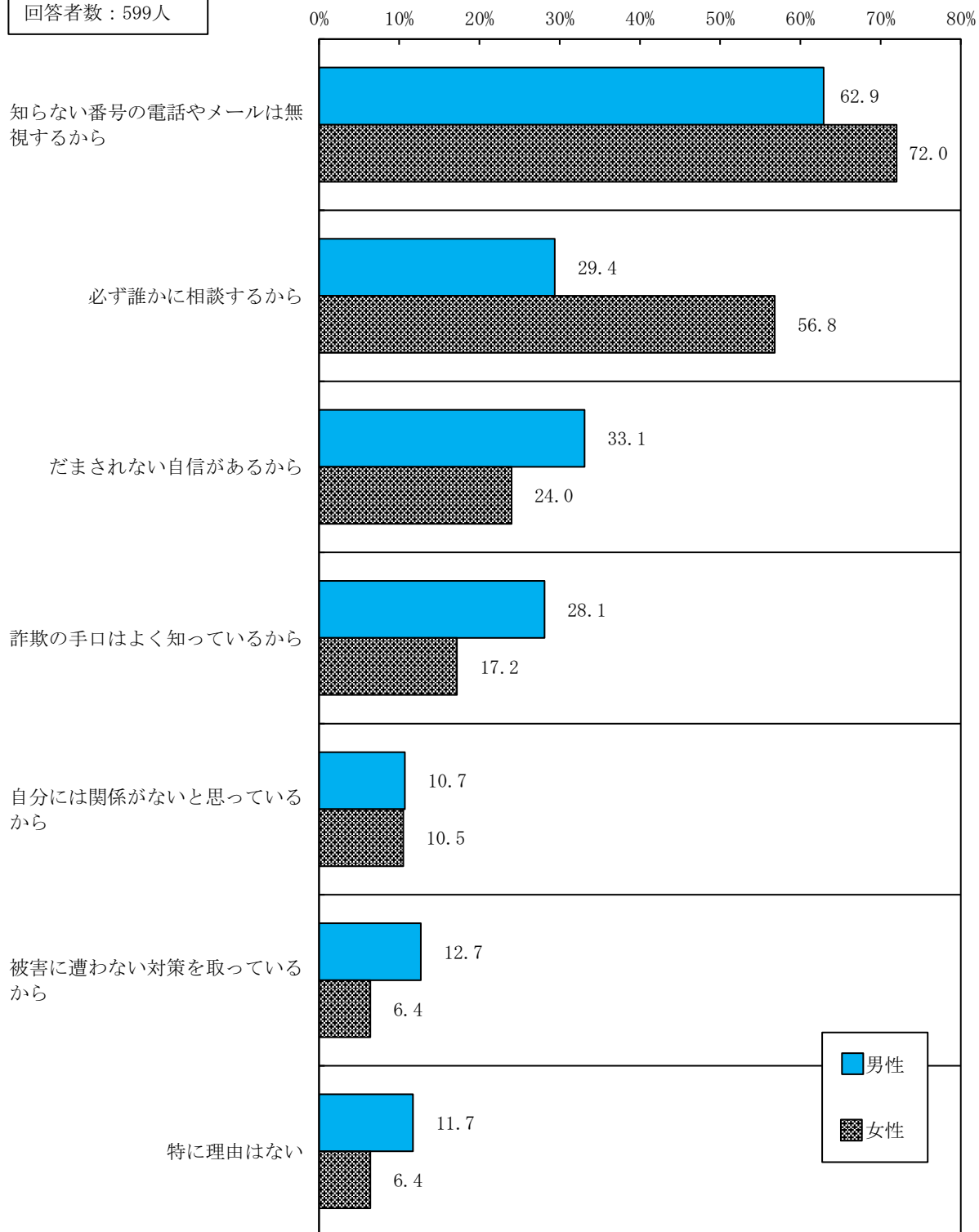


【性別】

男女ともに「知らない番号の電話やメールは無視するから」が最も高く、男性では「だまされない自信があるから」、「必ず誰かに相談するから」、女性では「必ず誰かに相談するから」、「だまされない自信があるから」が続いている。

《 性別 》

回答者数：599人

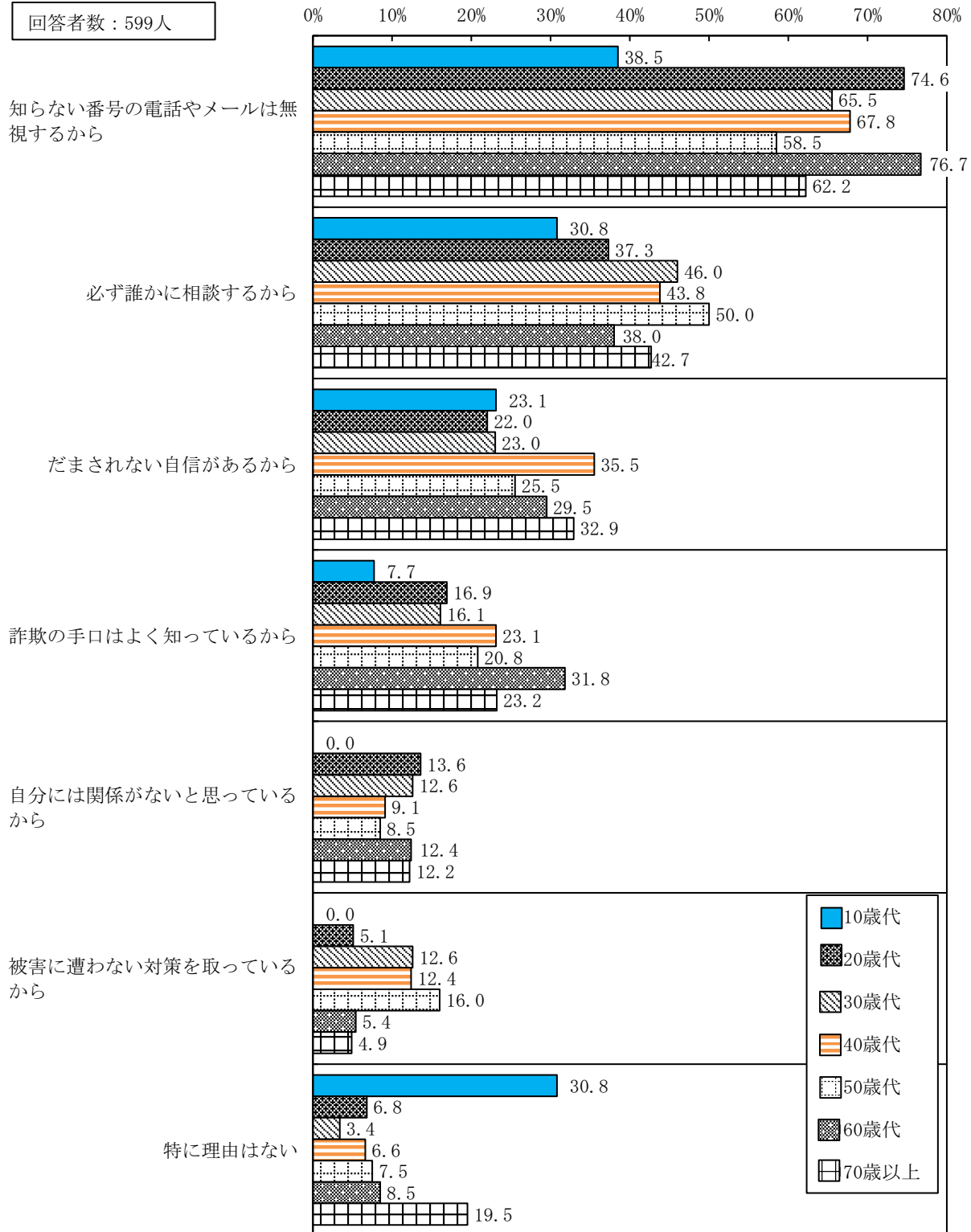


【年代別】

すべての年代で「知らない番号の電話やメールは無視するから」が最も高くなっている。

《 年代別 》

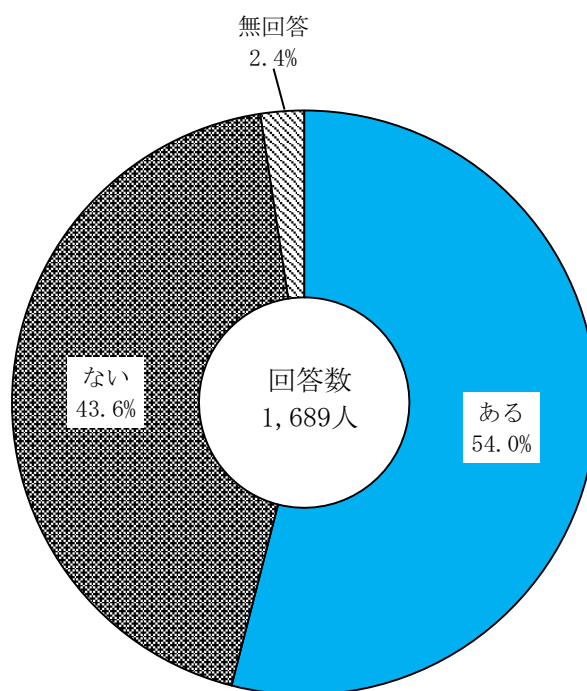
回答者数：599人



問 54 特殊詐欺について家族や近所の方と話したことがありますか。(1つだけ○印)

【総合】 「ある」が54.0%で1位となっている。
次いで「ない」が43.6%が続いている。

《 総 合 》



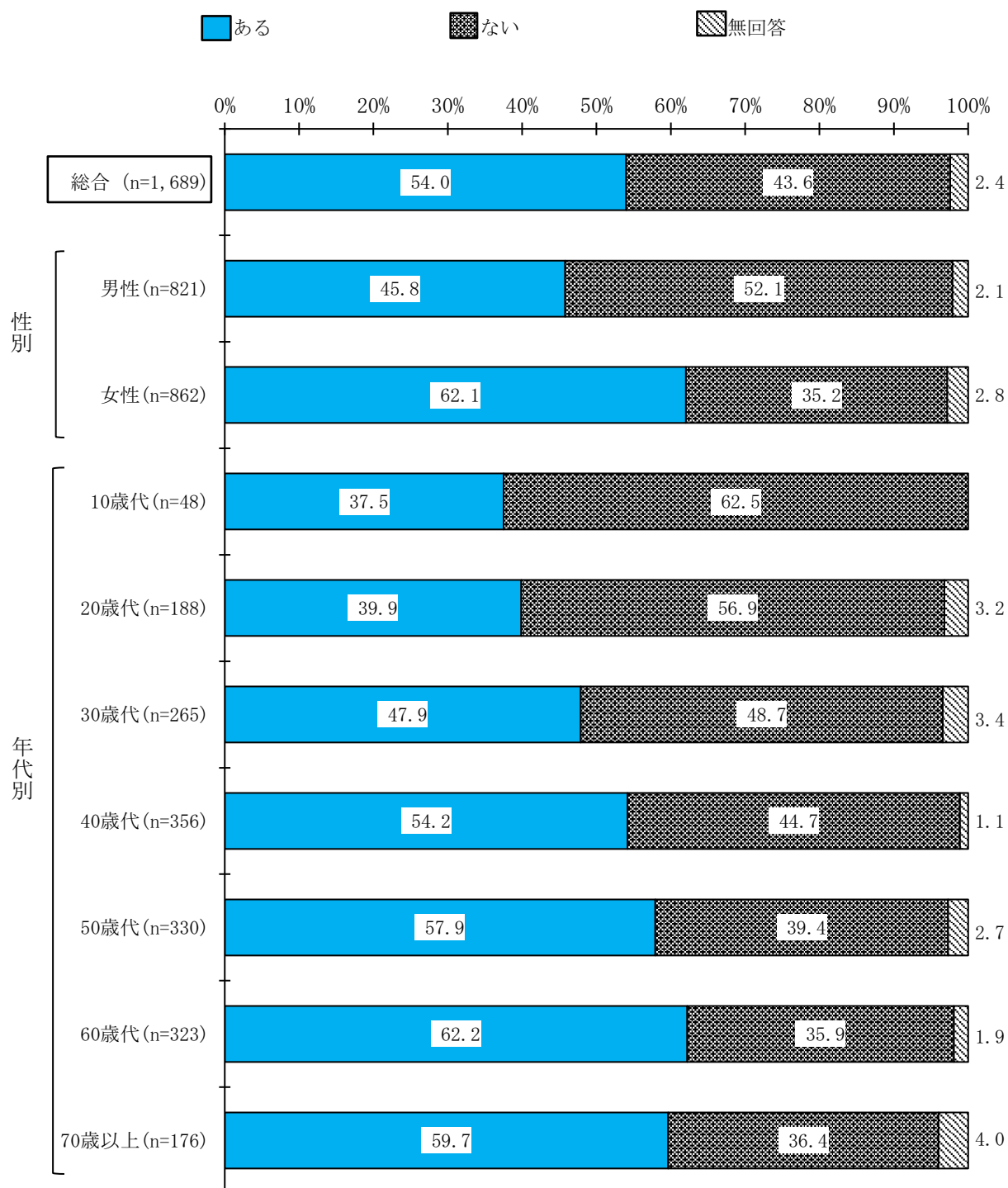
【性別】

男性は「ない」が、女性は「ある」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代では「ない」が、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「ある」が最も高くなっている。

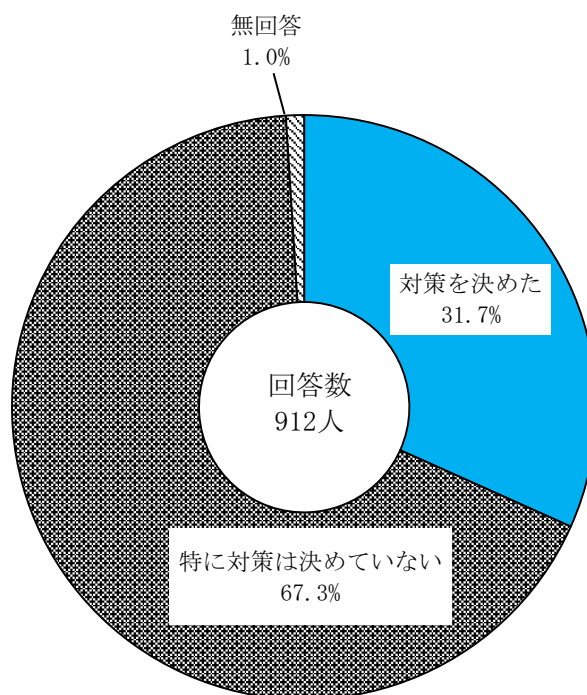
《 総合・性別・年代別 》



副問1（問54で「1 ある」を選んだ方のみお答えください。）
話をして、特殊詐欺への対策を決めましたか。（1つだけ〇印）

【総合】 「特に対策は決めていない」が67.3%で1位となっている。
次いで「対策を決めた」が31.7%が続いている。

《 総 合 》



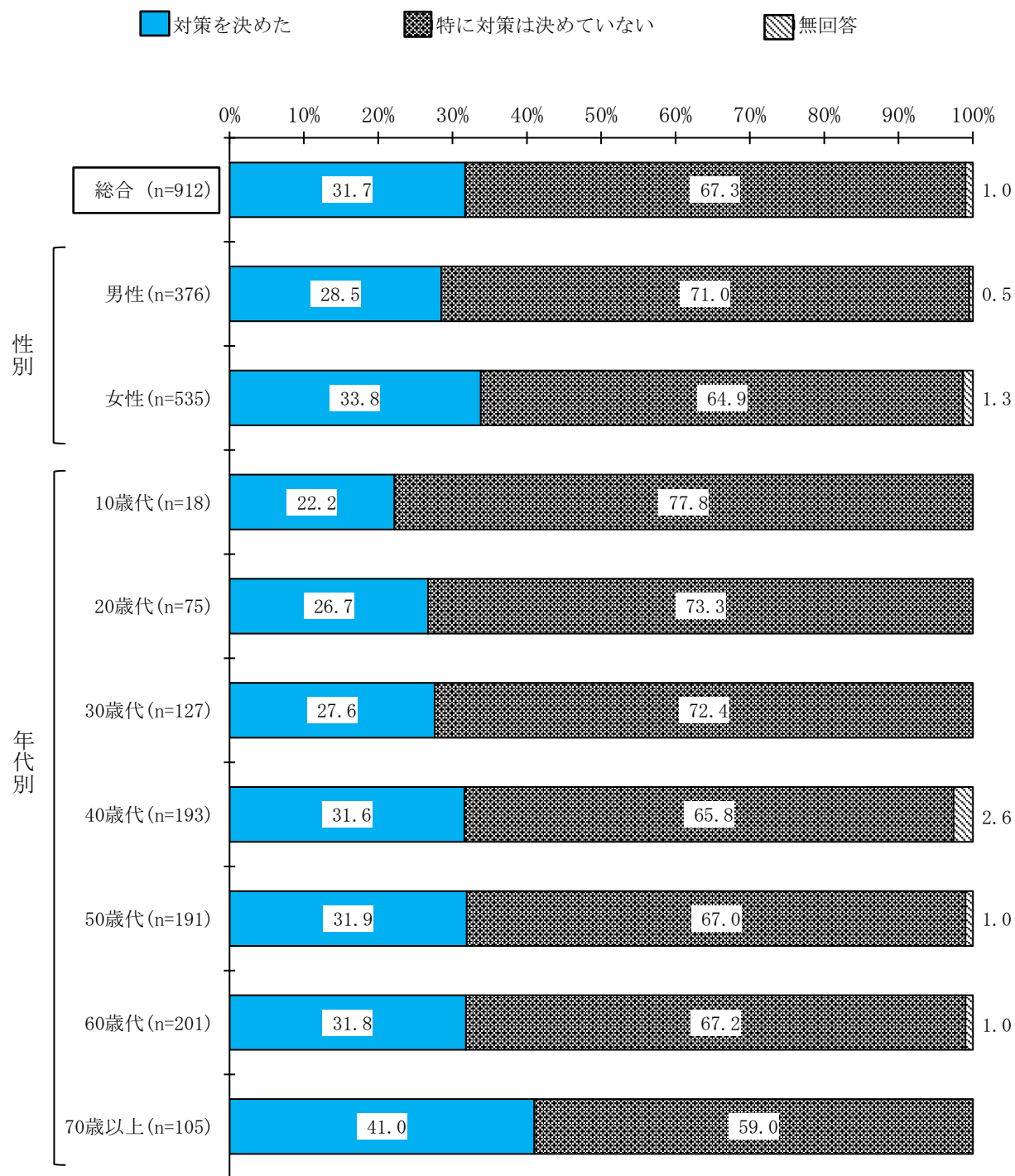
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「特に対策は決めていない」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》



問55 特殊詐欺の被害防止には、どのような対策が有効だと思いますか。

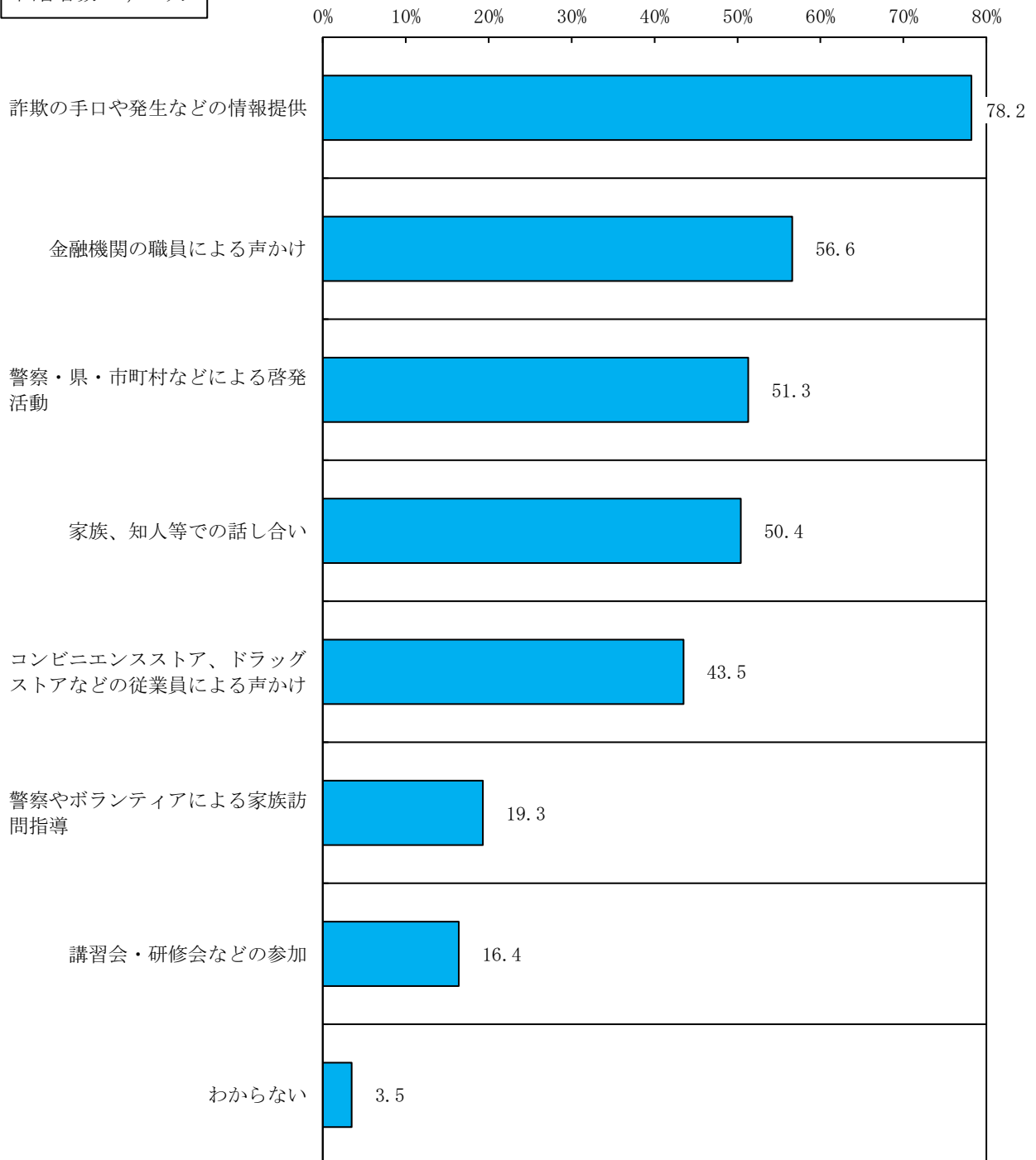
(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「詐欺の手口や発生などの情報提供」が78.2%で1位となっている。

次いで「金融機関の職員による声かけ」が56.6%、「警察・県・市町村などによる啓発活動」が51.3%と続いている。

《 総 合 》

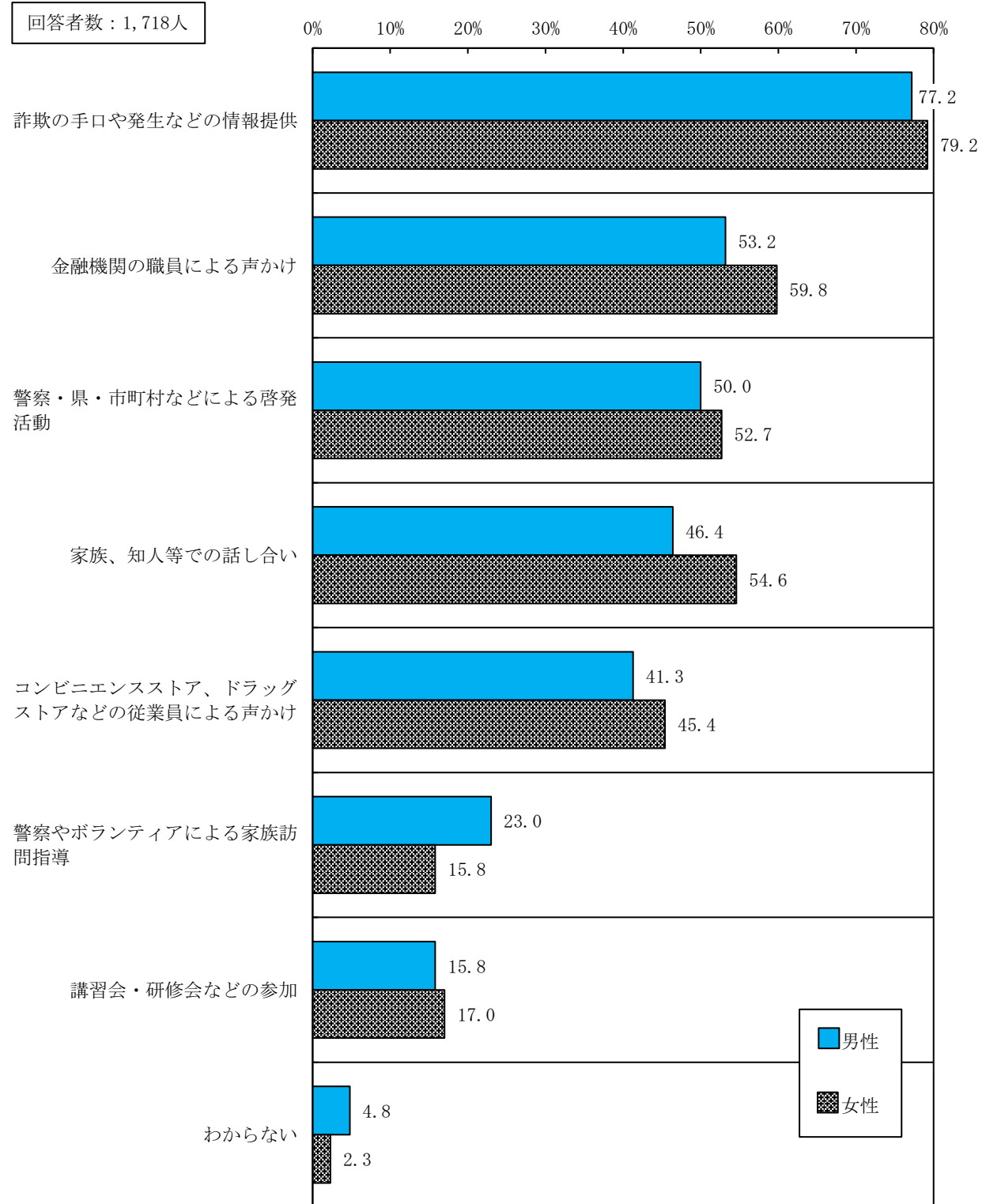
回答者数：1,718人



【性別】

男女とも「詐欺の手口や発生などの情報提供」が最も高く、次いで「金融機関の職員による声かけ」となっており、3番目は、男性が「警察・県・市町村などによる啓発活動」、女性は「家族、知人等での話し合い」と続いている。

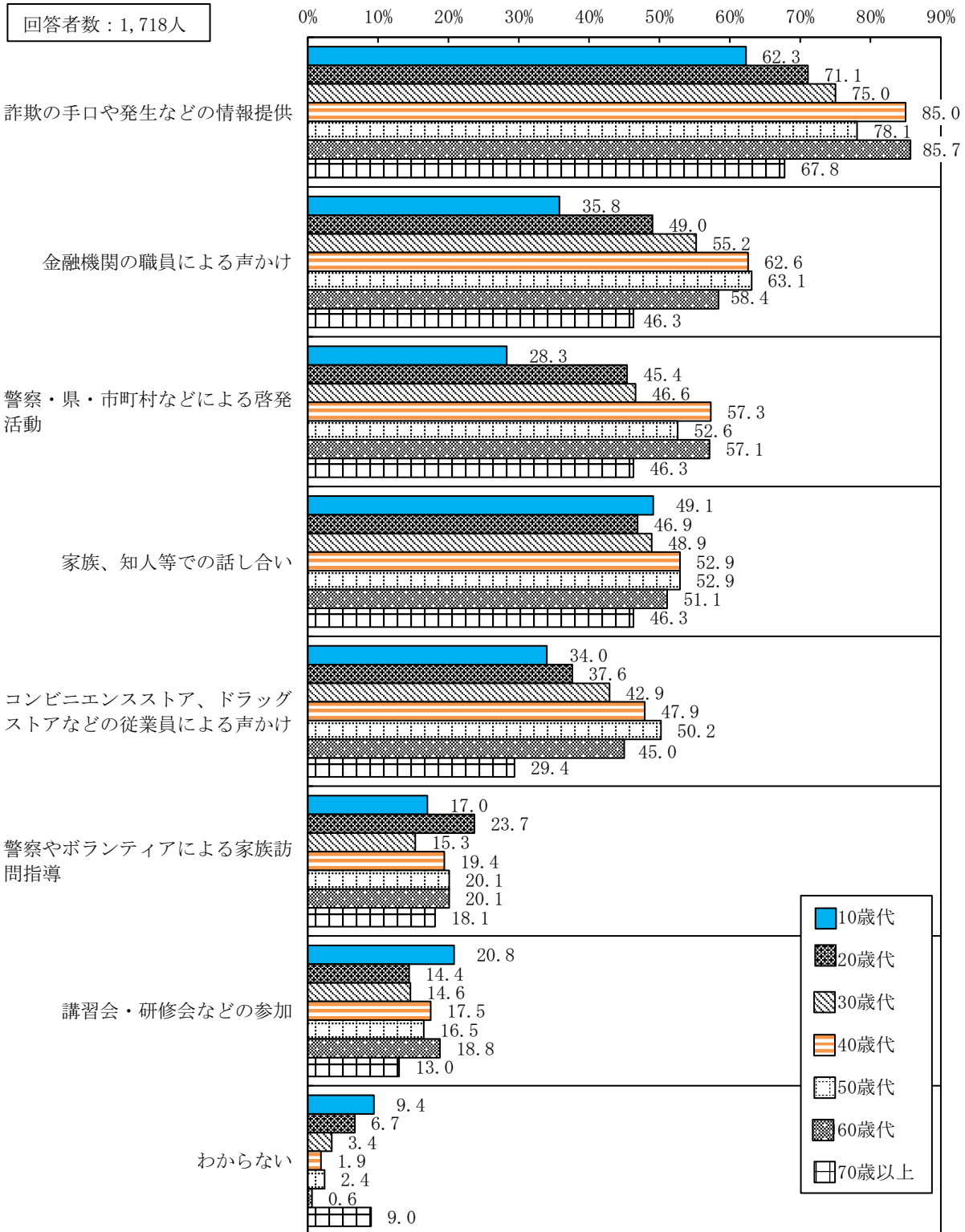
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「詐欺の手口や発生などの情報提供」が最も高くなっている。

《 年 代 別 》



問56 特殊詐欺の被害防止対策の中で知っているものはどれですか。

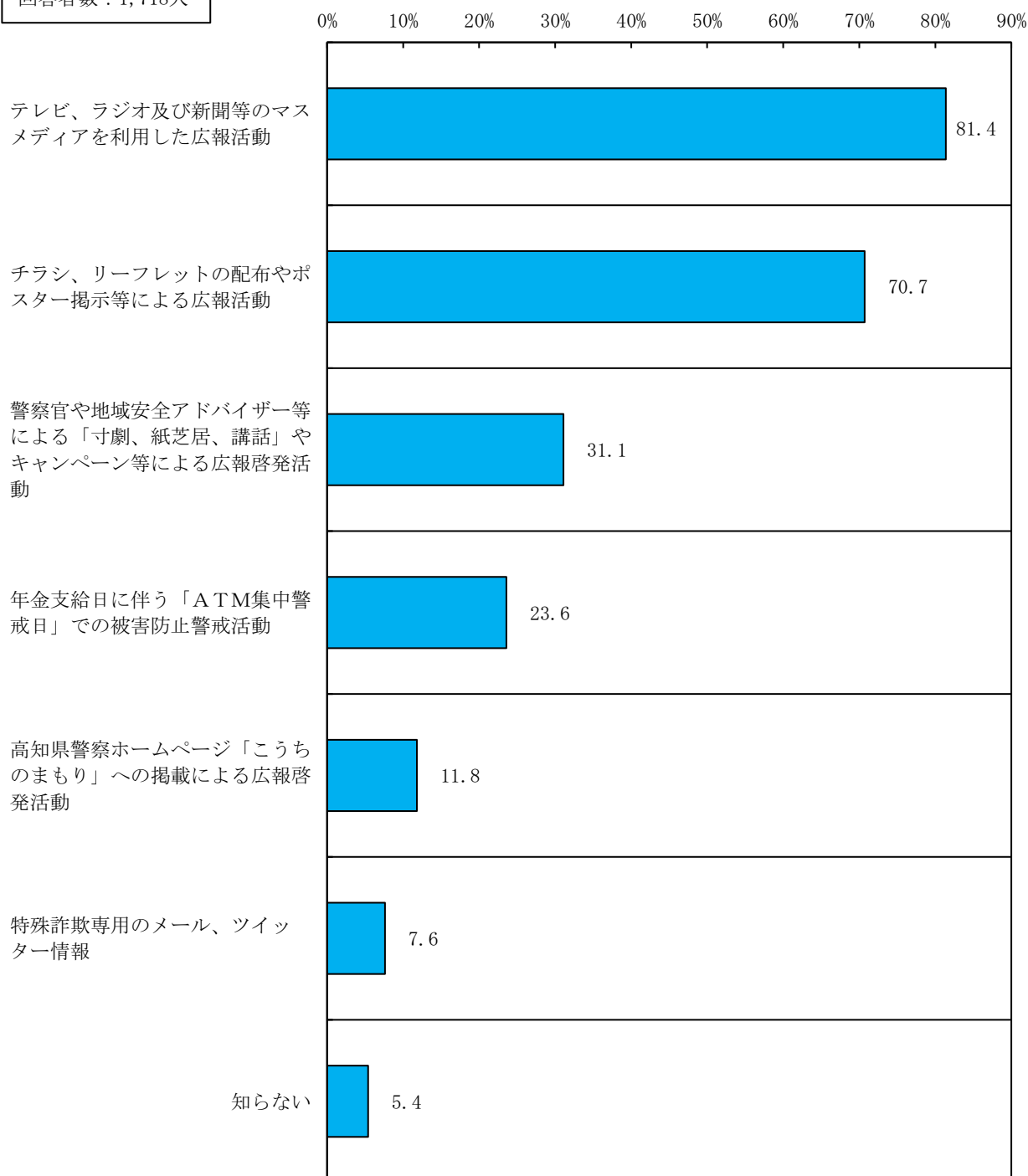
(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「テレビ、ラジオ及び新聞等のマスメディアを利用した広報活動」が81.4%で1位になっている。

次いで「チラシ、リーフレットの配布やポスター掲示等による広報活動」が70.7%、「警察官や地域安全アドバイザー等による「寸劇、紙芝居、講和」やキャンペーン等による広報啓発活動」が31.1%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

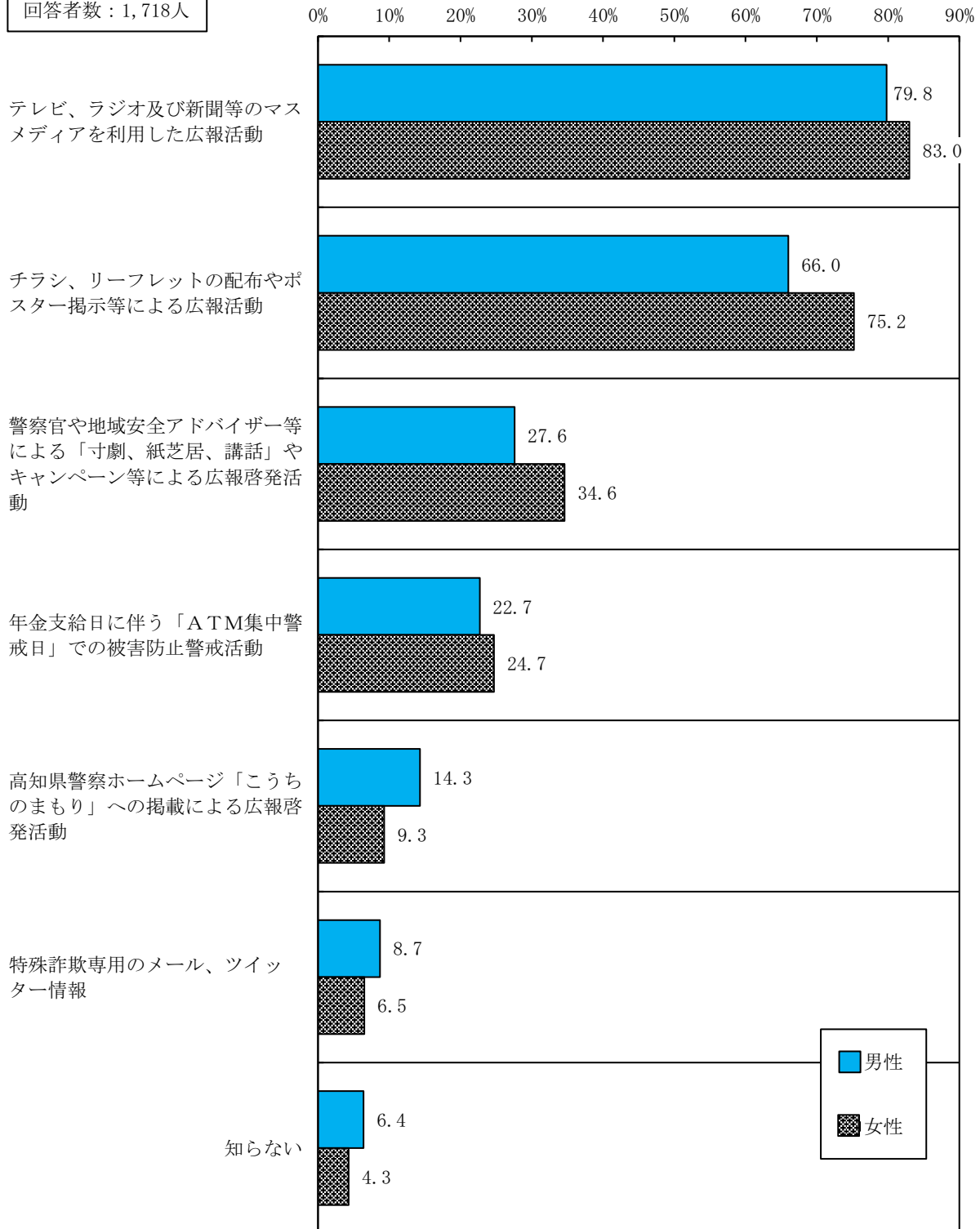


【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

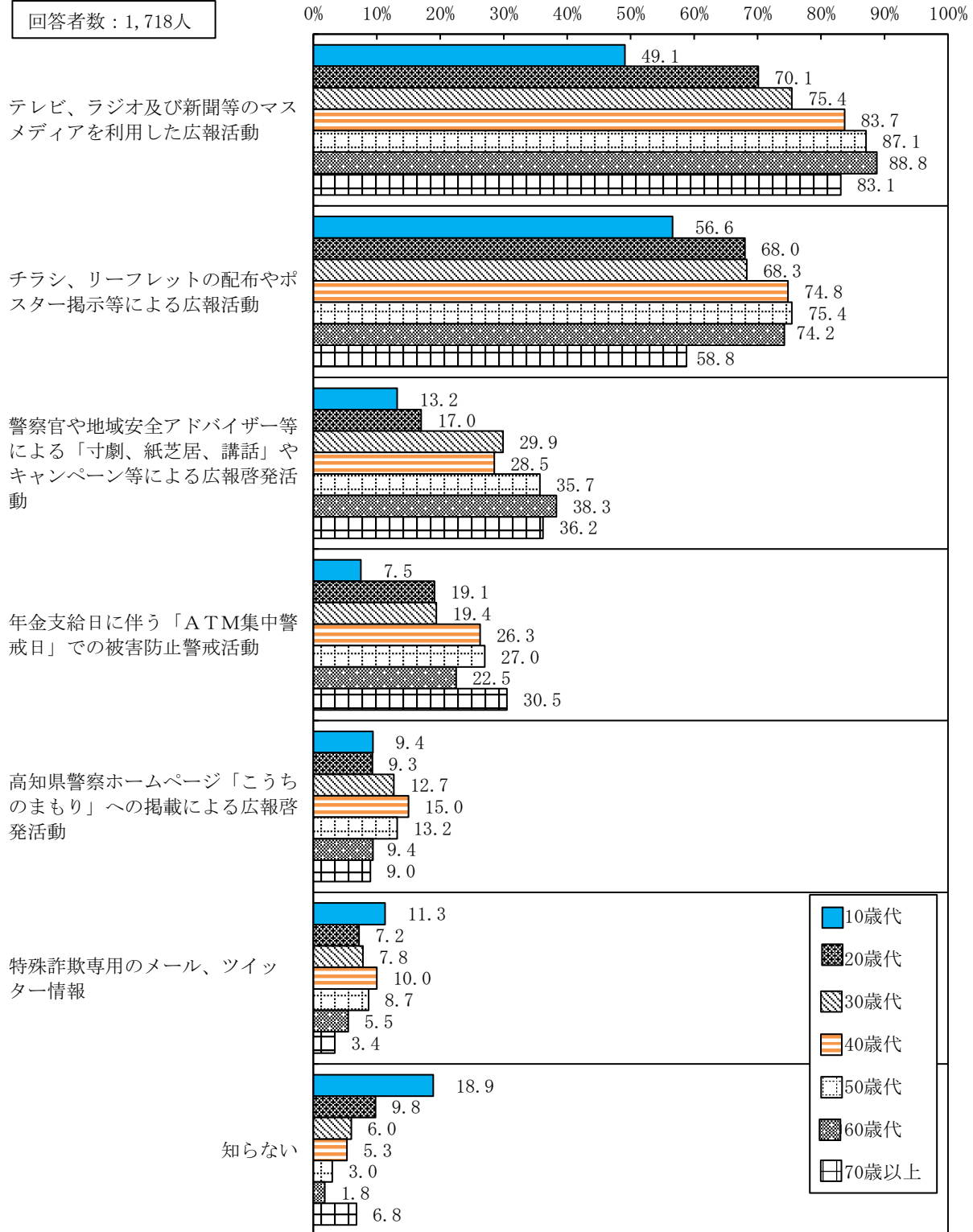


【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「テレビ、ラジオ及び新聞等のマスメディアを利用した広報活動」が、10歳代では「チラシ、リーフレットの配布やポスター掲示等による広報活動」が最も高くなっている。

《 年代別 》

回答者数：1,718人



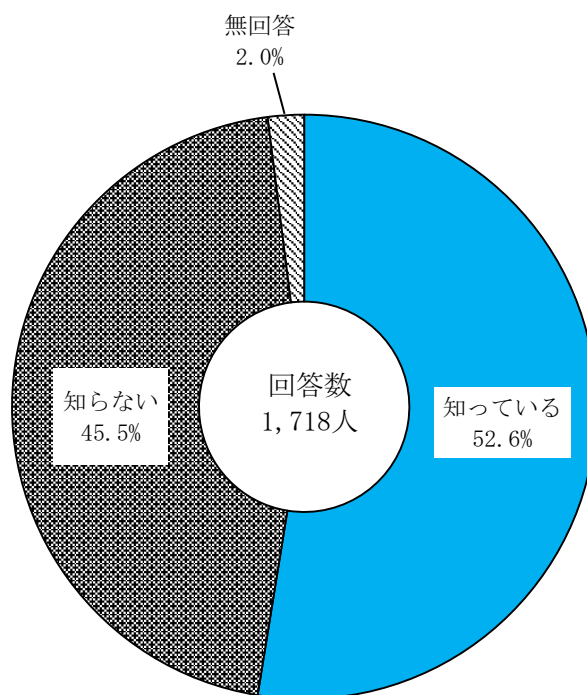
問 57 電話による特殊詐欺を防止するために有効な「詐欺電話撃退装置」（電話がかかってきた際、通話内容を録音している旨のアナウンスが流れる装置）を知っていますか。

（1つだけ○印）

【総合】 「知っている」が52.6%で1位となっている。

次いで「知らない」が45.5%が続いている。

《 総 合 》



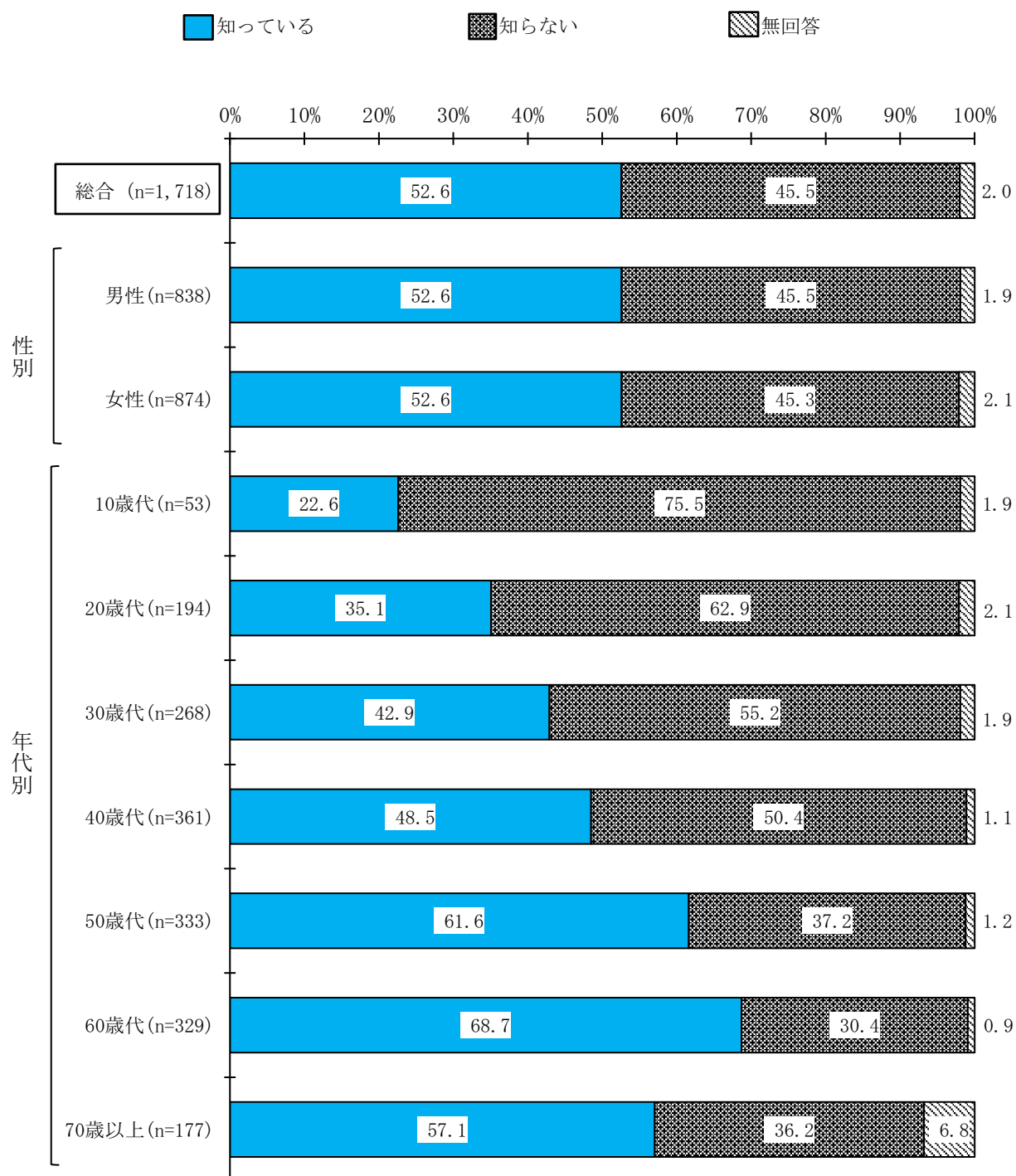
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、40歳代では「知らない」が、50歳代、60歳代、70歳以上では「知っている」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》

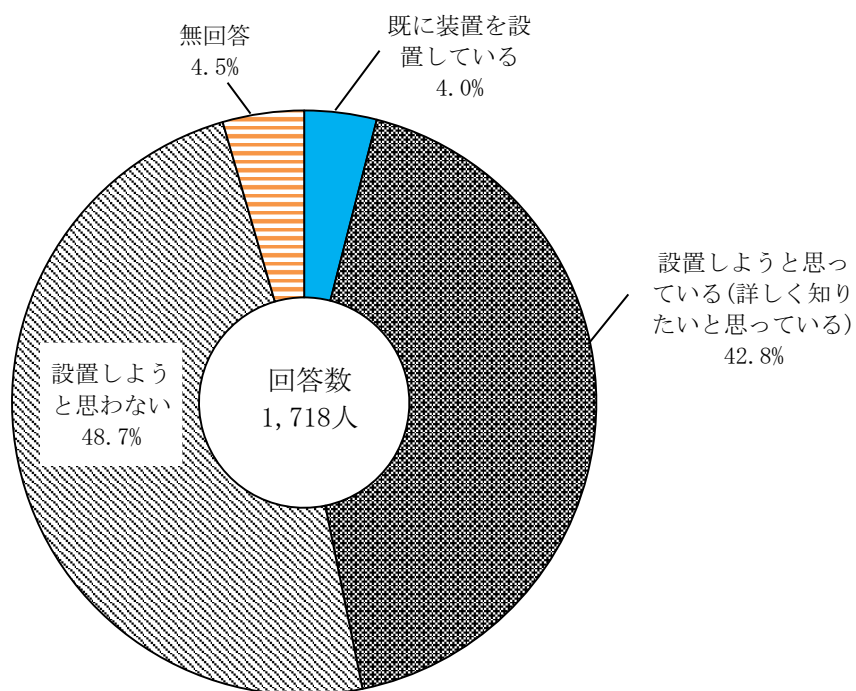


問 58 「詐欺電話撃退装置」を設置したいと思いますか。(1つだけ○印)

【総合】 「設置しようと思わない」が48.7%で1位になっている。

次いで「設置しようと思っている(詳しく知りたいと思っている)」が42.8%、「既に装置を設置している」が4.0%となっている。

《 総 合 》



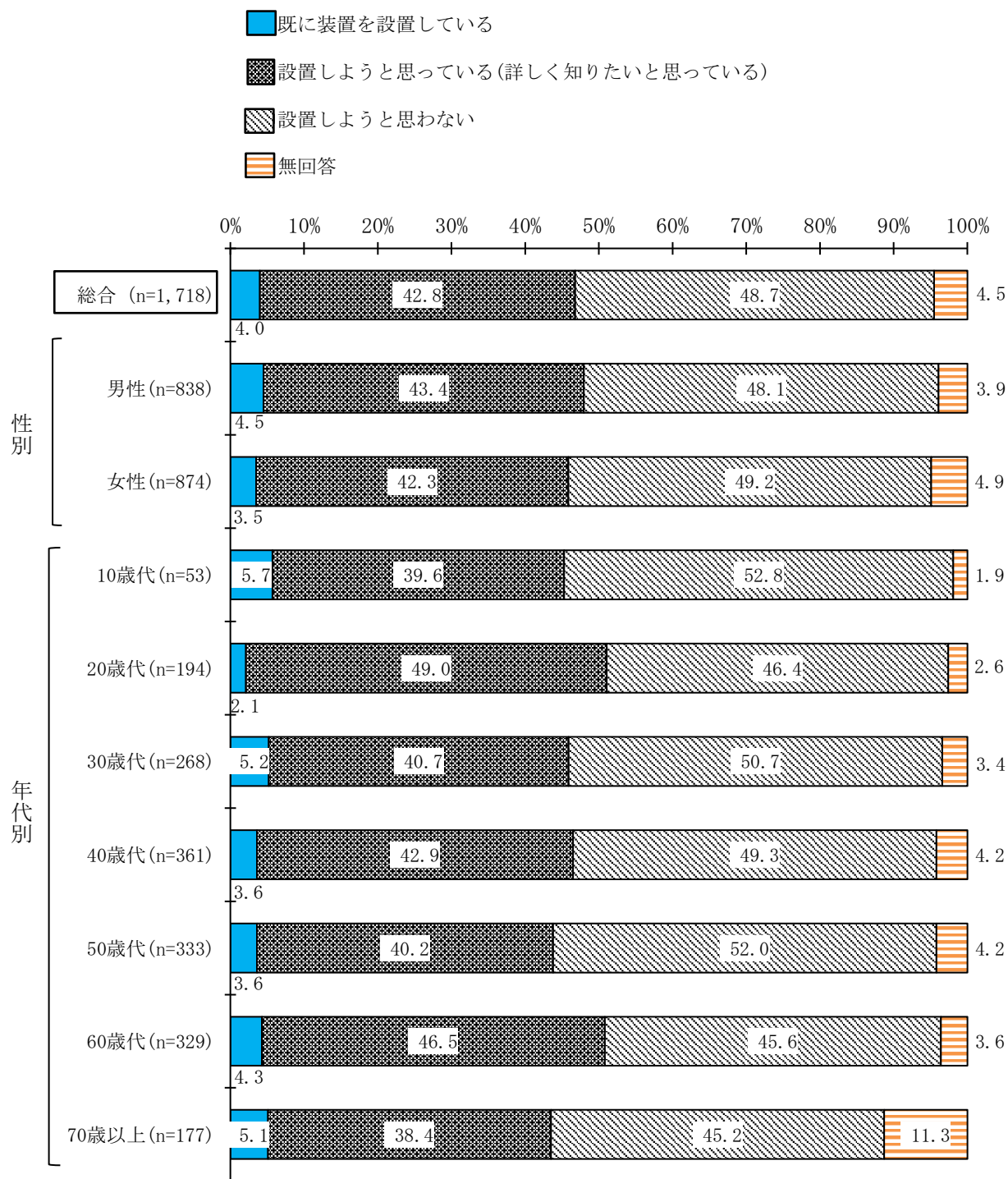
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

20歳代と60歳代を除くすべての年代で「設置しようと思わない」が、20歳代、60歳代では「設置しようと思っている(詳しく知りたいと思っている)」が最も高くなっている。

《 総合・性別・年代別 》



[7] 集落活動センターについて

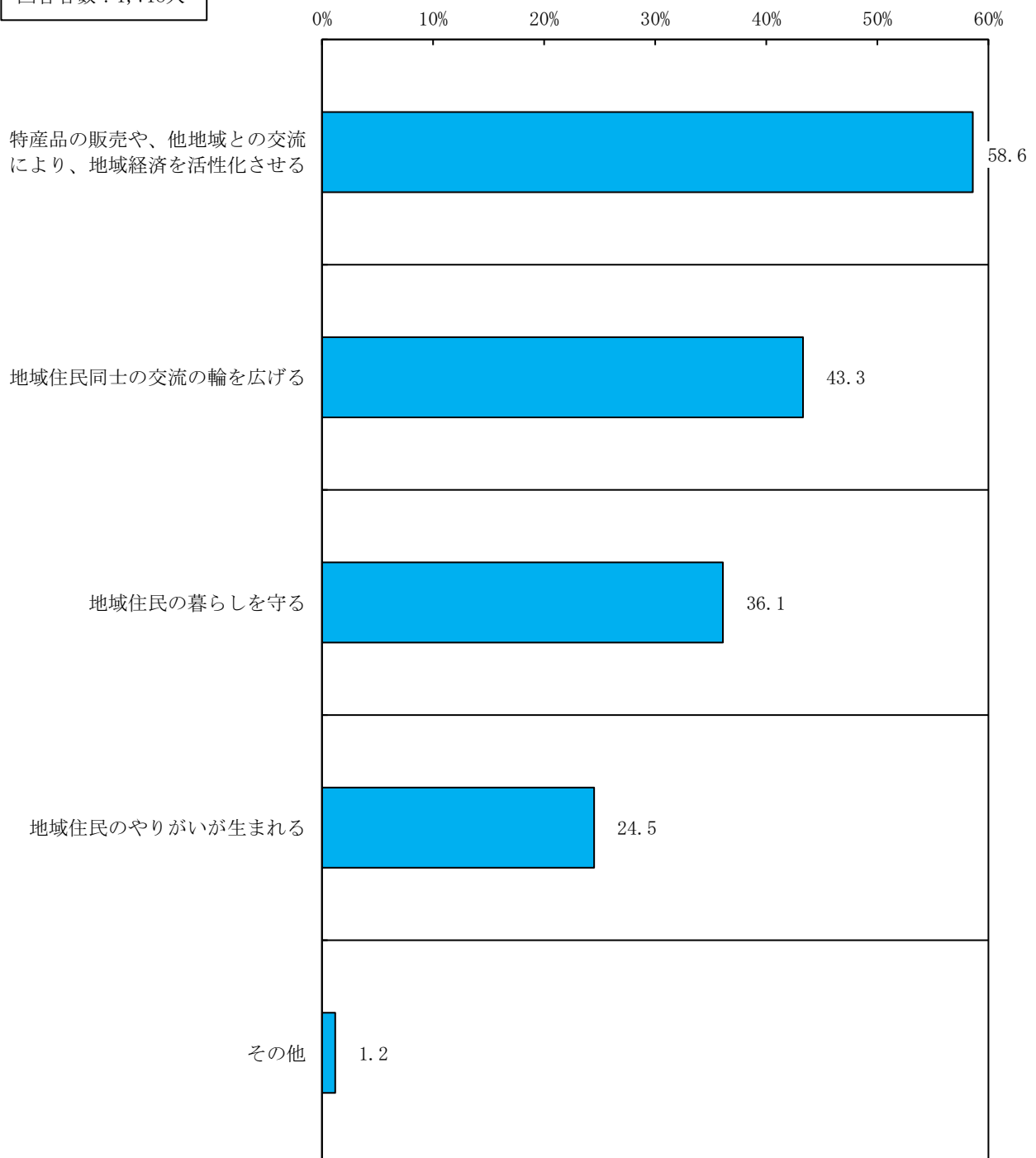
問 59 集落活動センターの取り組みは、特にどのような面で中山間地域の維持や活性化に有効だと思いますか。（2つまで〇印）

【総合】 「特産品の販売や、他地域との交流により、地域経済を活性化させる」が58.6%で1位になっている。

次いで「地域住民同士の交流の輪を広げる」が43.3%、「地域住民の暮らしを守る」が36.1%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

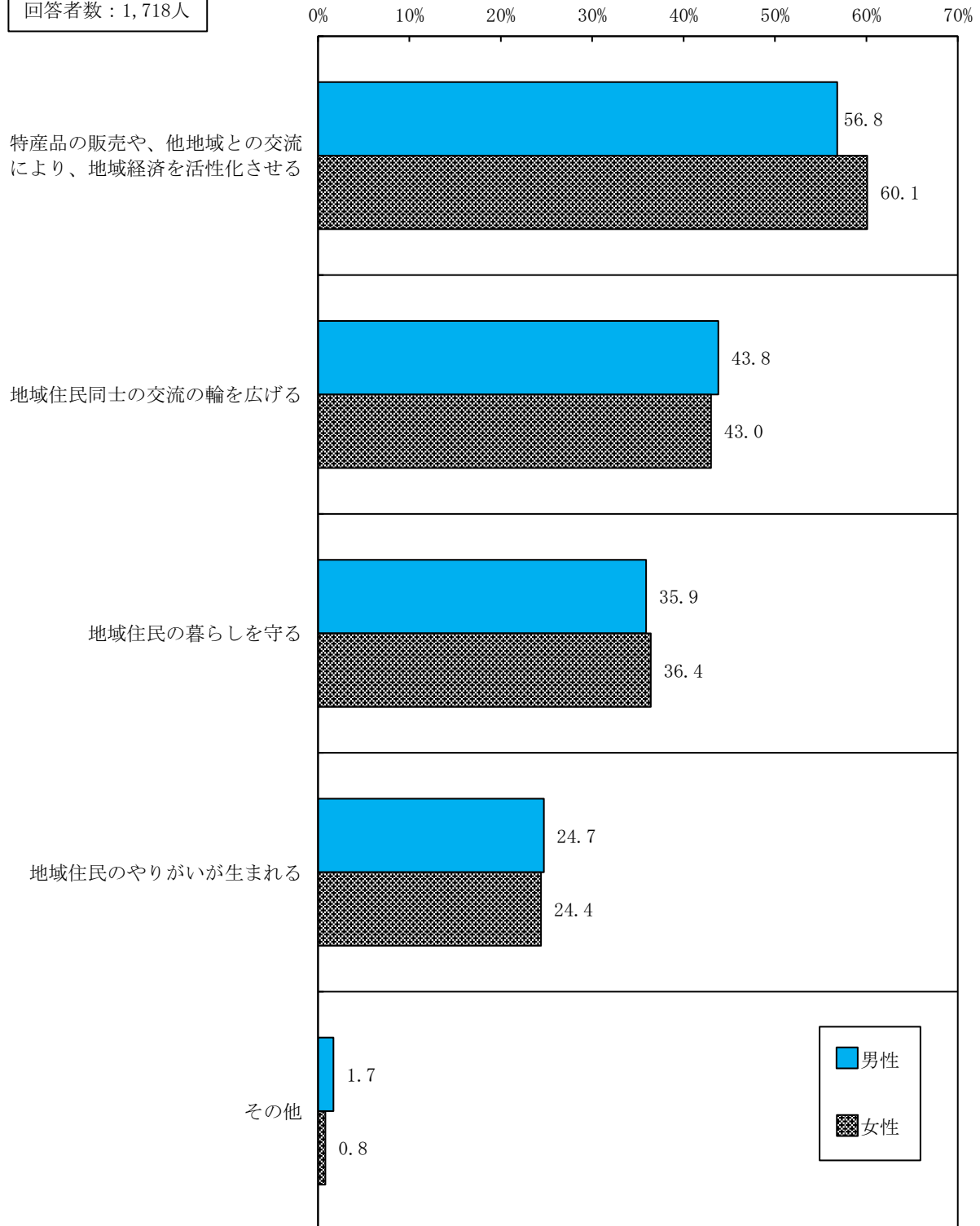


【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

《 性別 》

回答者数：1,718人

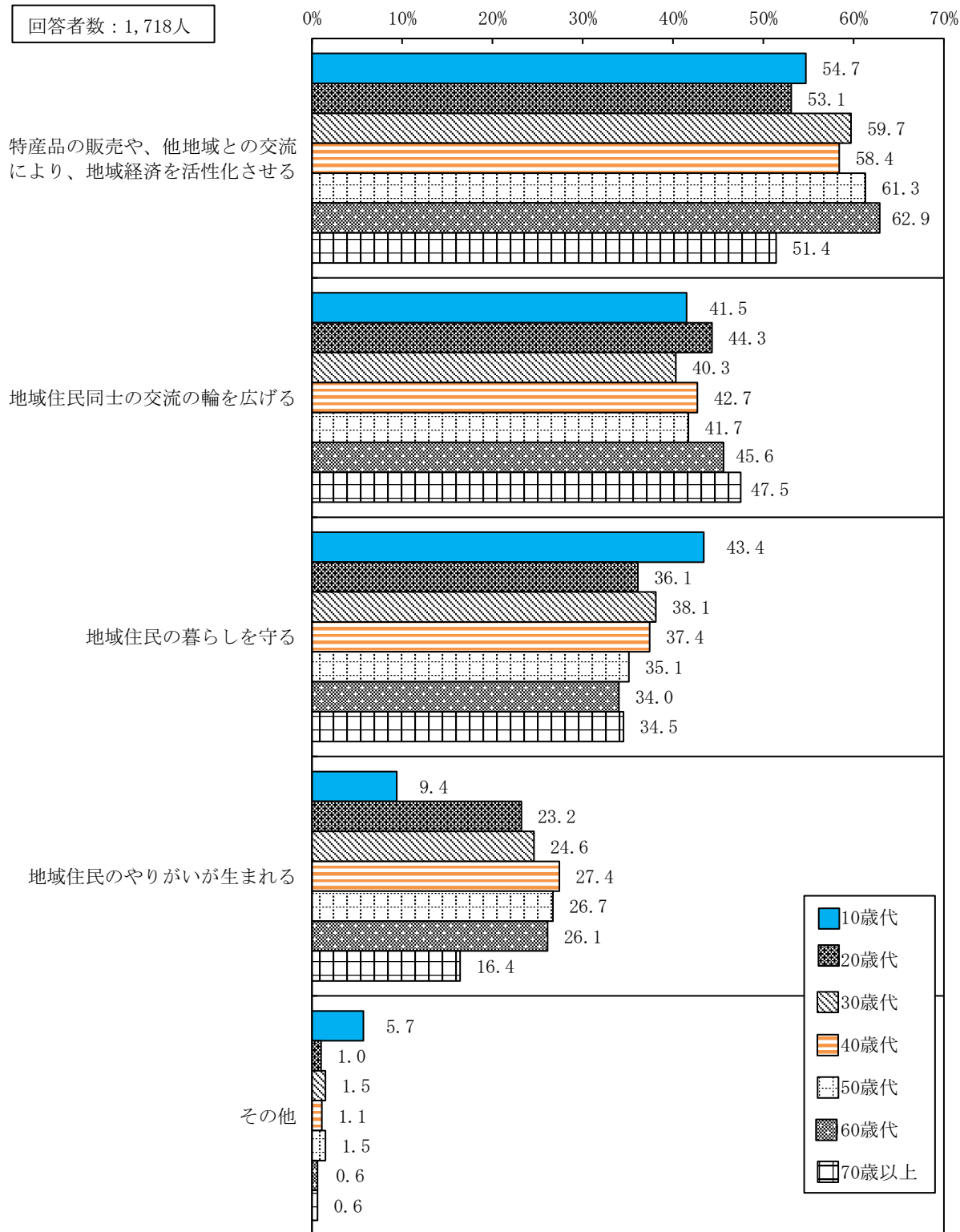


【年代別】

すべての年代で「特産品の販売や、他地域との交流により、地域経済を活性化させる」が最も高くなっている。

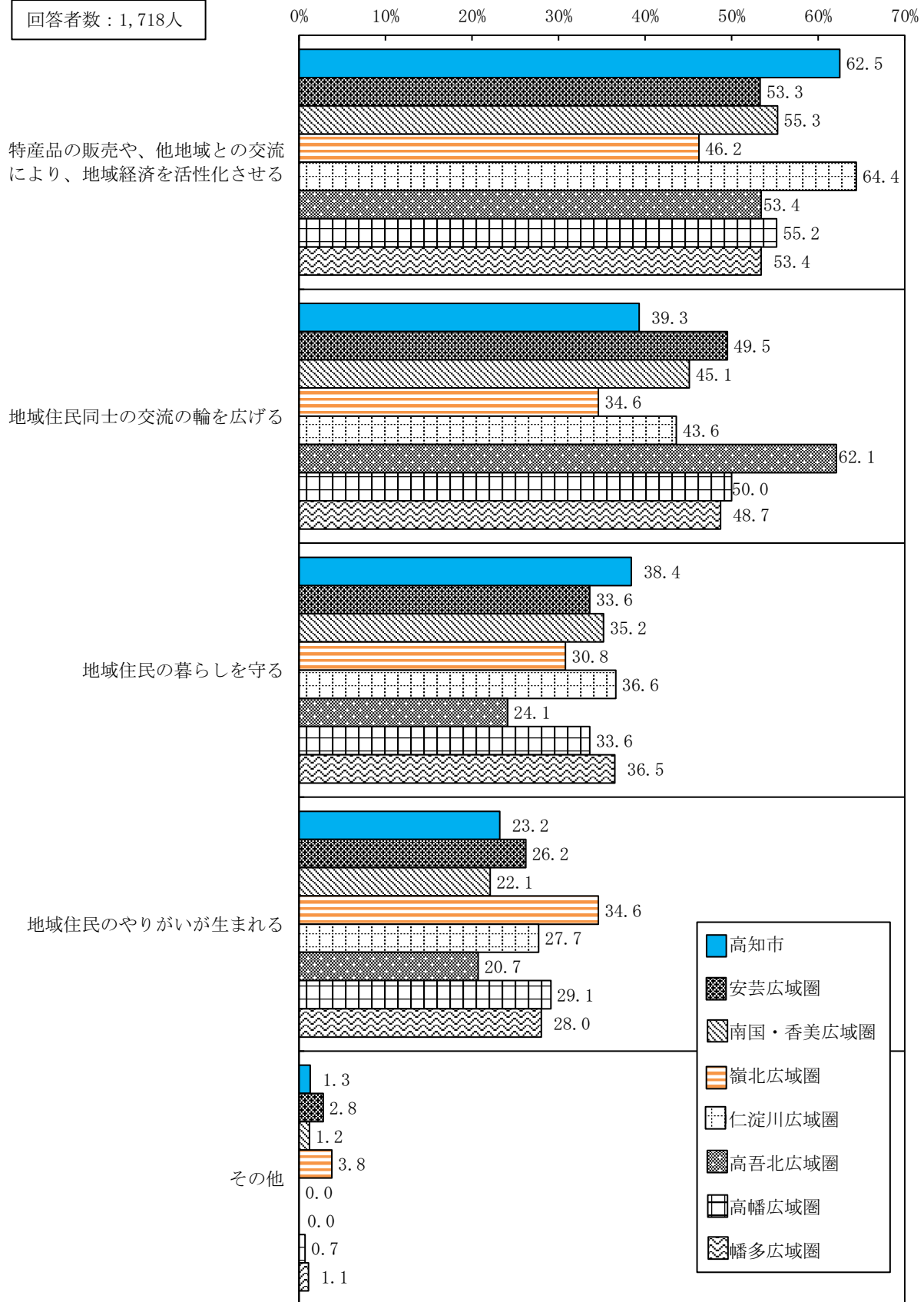
《 年代別 》

回答者数：1,718人



《 住まいの場所別 》

回答者数：1,718人

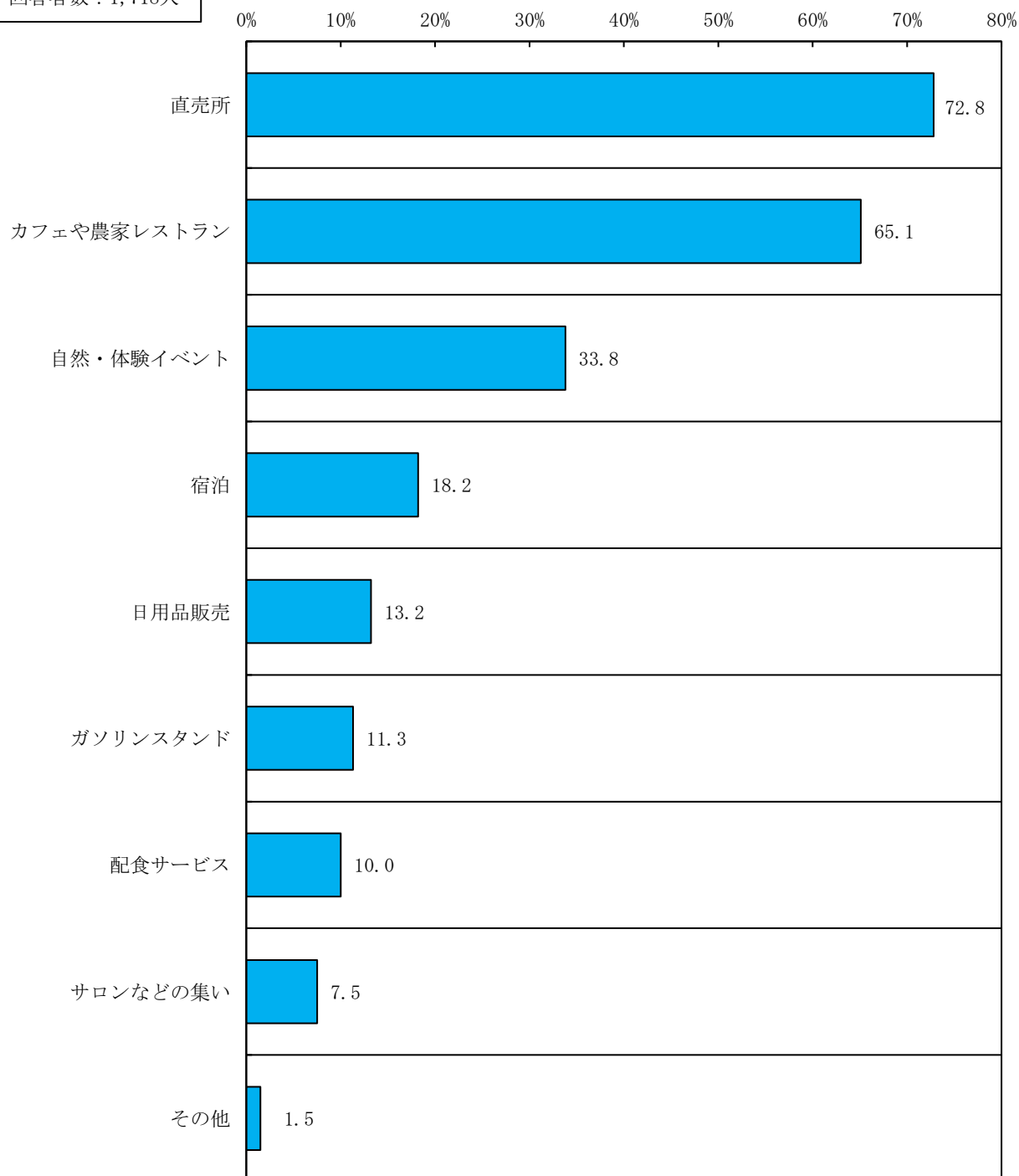


問 60 集落活動センターの活動の中で、あなたが利用したいサービスは何ですか。
(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「直売所」が72.8%で1位になっている。
次いで「カフェや農家レストラン」が65.1%、「自然・体験イベント」が33.8%と続いている。

《 総 合 》

回答者数：1,718人

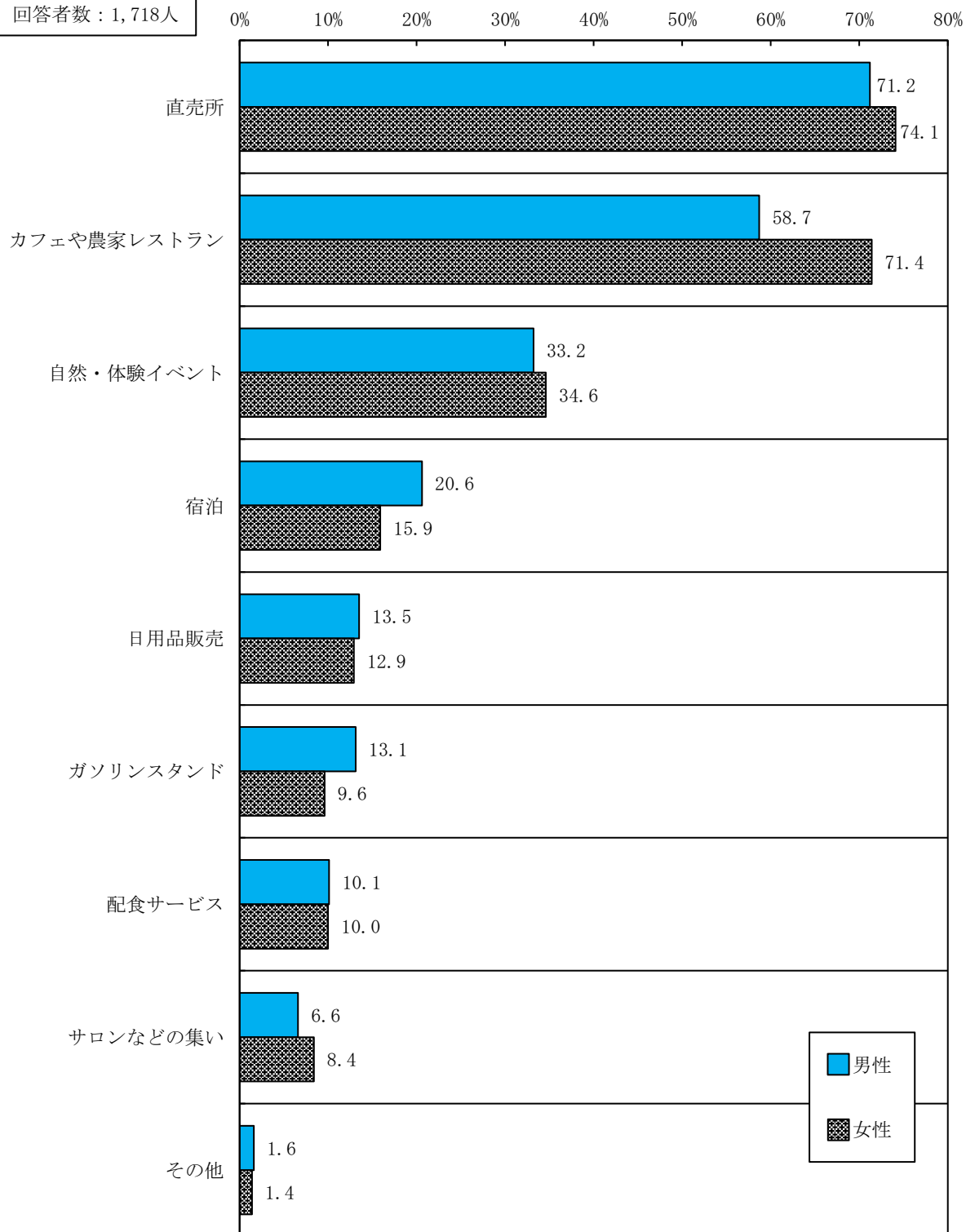


【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《 性別 》

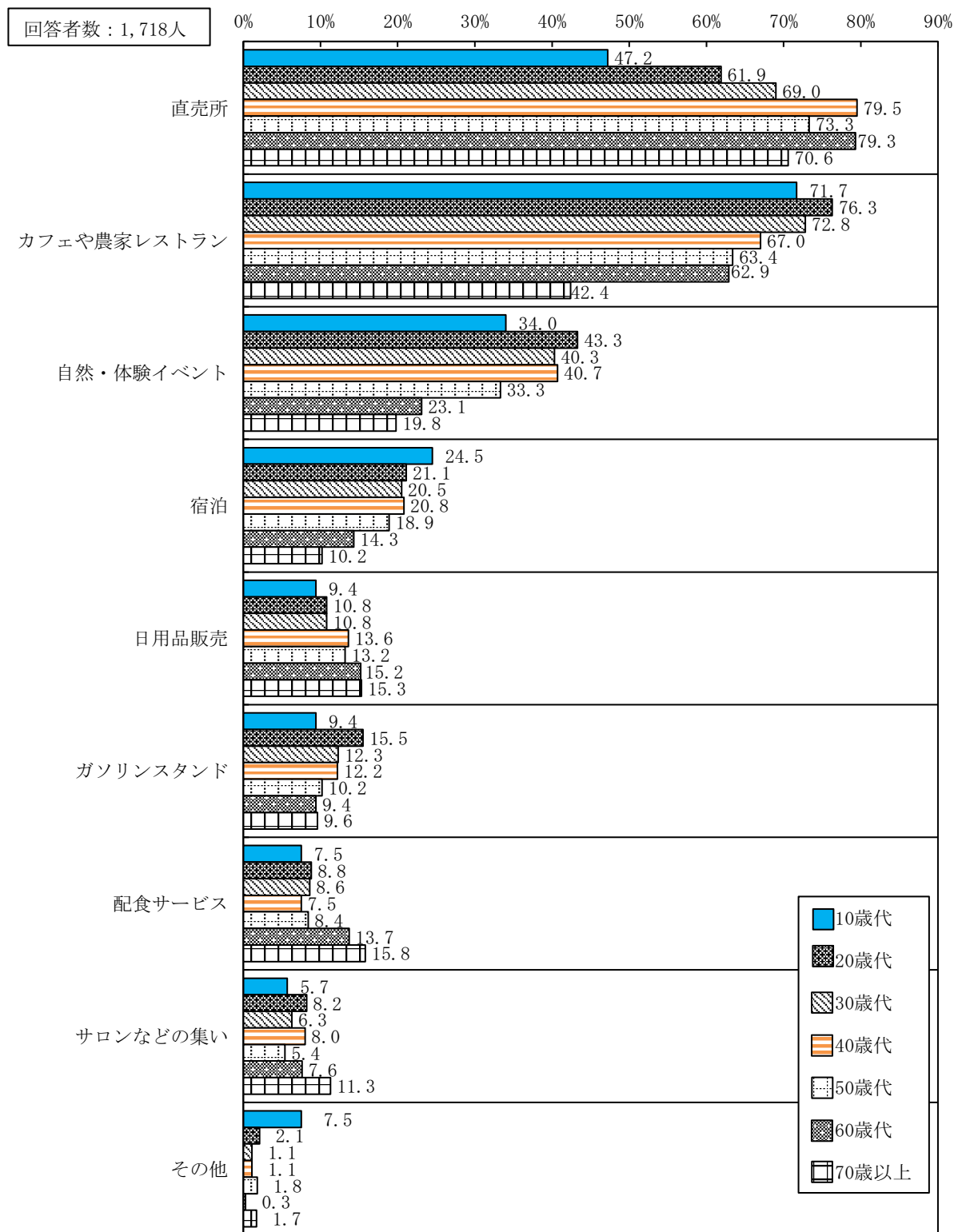
回答者数：1,718人



【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代では「カフェや農家レストラン」が、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「直売所」が最も高くなっている。

《 年代別 》



《 住まいの場所別 》

回答者数：1,718人

